

平成 25 年

農林水産業気象災害年報

平成 27 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	5

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	10
2	畑作物（小麦、大豆）	11
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	13
4	花き（りんどう、小ぎく）	15
5	果樹（りんご、ぶどう）	16
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	18
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	18
8	水産物（わかめ、こんぶ、ほたてがし、かき）	19

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月25日から26日の大雪災害	20
2	3月2日の暴風雪災害	20
3	3月10日の暴風雪災害	22
4	4月6日から8日の暴風雨災害	23
5	5月8日の低温被害	26
6	6月7日の降雹災害	27
7	6月14日の少雨高温被害	28
8	6月25日の降雹災害	29
9	7月15日の大雨災害	33
10	7月26日から28日の大雨災害	38
11	8月9日の大雨洪水災害	45
12	9月16日の台風18号災害	49
13	10月16日の台風26号災害	55
14	10月25日から26日の大雨洪水災害	61
15	11月7日の強風災害	64
16	12月15日から16日の強風災害	66
17	12月20日から21日の暴風雪災害	67

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	4月6日から8日の暴風雨災害	70
2	7月26日から28日の大雨災害	70
3	8月9日の大雨洪水災害	72
4	9月16日の台風18号災害	74
5	10月16日の台風26号災害	75

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	77
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	92
3	農林漁業セーフティネット資金の概要	95
4	農業共済事業の種類と仕組み	96
5	漁業共済事業の種類と仕組み	98
6	森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要	101
7	森林国営保険の概要	102
8	農作物災害対策要綱	105
9	農作物災害復旧対策事業の実施状況	106
10	平成元年以降における農林水産業気象災害	110

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1月、2月の低温、3月の暴風雪
- ・ 4月の低温、5月、6月晴れの日多く、降水量がかなり少ない
- ・ 7月、8月 大雨と局地的な豪雨
- ・ 9月、10月台風、10月の記録的な高温
- ・ 11月の低温、12月は雨多く高温傾向

平成 25 年は日照時間が全般に多かったものの、1月から2月の気温が低く、内陸の山沿いでは曇りや雪の日が多く、西和賀町湯田では2月25日に279cmの積雪を観測し、統計開始（1980年）以来の最深積雪の極値を更新した。3月2日と10日は暴風雪となり、人的被害や住家被害、交通障害の発生などの大きな影響が出た。

4月は7日から8日にかけて、暴風となり、交通機関に影響があった。強い寒気が南下し、5月のはじめまで気温はかなり低かった。その後6月までは高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温は高く、降水量はかなり少なかった。

7月は雨の日が続き、総降水量は平年の2倍を超える記録的な大雨となり、気温が低く経過した。8月は日最高気温が35℃を上回る気温の高い日が続いた。9日は雫石、紫波で記録的な豪雨となった。

9月16日に台風18号が日本の南を北上した。10月は12日、13日は低気圧や前線が通過し、16日は台風26号が接近した。気温の高い日が多く、10月としては記録的な高温となった。

11月は冬型の気圧配置が継続することが多く、12月20日は低気圧が三陸沖を発達しながら進んだため、大雨となった所もあったが12月の平均気温は平年並から高かった。

2 旬別の気象概況

〈1月〉：上旬から中旬の低温、多照、内陸沿岸で大雪

上旬：冬型の気圧配置となる日が多く、期間をとおして気温が低かった。内陸では山沿いを中心に雪の日が多く、2日は、前線や低気圧の影響で内陸の北部を中心に大雪となり、雫石では日降雪量38cmを観測し1月の極値を更新した。

中旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では山沿いを中心に雪の日が多く、14日から15日にかけて、発達しながら本州の南を東進した低気圧の影響により沿岸部を中心に大雪となった。

下旬：低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では山沿いを中心に雪の日が多く、25日から26日にかけて、前線の影響により内陸を中心に大雪のところがあり、西和賀町湯田では26日に217cmの積雪を観測し、1月の最深積雪の極値を更新した。

〈2月〉：内陸の山沿いに大雪、低温

上旬：低気圧や前線が次々と通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では山沿いを中心に雪の日が多く、沿岸部では天気が短い周期で変わった。低気圧や冬型の気圧配置の影響で強風となる日があり、2日に久慈など2地点で、5日に宮古市川井など3地点で、8日に遠野で2月の日最大風速の極値をそれぞれ更新した（宮古市川井は年の極値も更新）。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響を受けて曇りや雪の日が多かった。期間の終わりは冬型の気圧配置が強まり、内陸の山沿いを中心に大雪となる場所があった。

下旬：冬型の気圧配置の日が多く、気温が低く経過した。内陸の山沿いを中心に曇りや雪の日が多く、沿岸部では晴れの日が多かった。期間の中頃は冬型の気圧配置が強まり、内陸の山沿いでは日降雪量 20cm 以上の場所があった。

〈3月〉：天候の周期的な変動、少ない降水量、2日と10日の暴風雪

上旬：低気圧や前線、気圧の谷が次々と通過した影響で、曇や雪または雨の日が多かった。2日と10日は、低気圧が日本海で急速に発達し北日本を通過した影響で暴風雪となり、日最大風速は2日には岩泉など5地点で観測開始以来（3月としては8地点で）の極値を、10日には紫波で観測開始以来（3月としては4地点で）の極値を、それぞれ更新した。

中旬：前線や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。旬平均気温は高いから平年並だった。旬降水量は少ないから平年並で、内陸の北部では多いところがあった。旬日照時間は平年並から多かった。

下旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、前線や気圧の谷の影響により、曇や雨または雪となる日もあった。また、低気圧の影響を受けにくく、降水量はかなり少なかった。旬平均気温は低いから平年並だった。旬降水量はかなり少なかった。旬日照時間は多いから平年並だった。

〈4月〉：7日～8日の暴風、中旬以降の内陸を中心とした低温

上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。7日から8日にかけて、発達した低気圧の影響により、岩手県は大荒れとなった。8日の日最大風速は、5地点で4月の極値（内4地点は年の極値）を更新した（統計期間10年以上の地点）。

中旬：期間の前半は、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。後半は前線や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。盛岡（岩手公園）では、4月23日にさくらの開花を観測した（平年より2日遅く、昨年より1日早い）。

〈5月〉：少雨、上旬の顕著な低温・下旬の高温

上旬：期間のはじめから中頃にかけて、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。北から寒気が流れ込んだため、期間中の気温はかなり低く、7日の日最高気温は一戸町奥中山など12地点で低い方からの5月の極値を更新した。また、8日の日最低気温は紫波と花巻の2地点で低い方からの5月の極値を更新するなど、氷点下を観測した所が多かった（それぞれ統計期間10年以上の地点）。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。15日から16日にかけて、北日本の上空に寒気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となって雷雨の所があった。寒気や海風の影響を受けた沿岸部では、気温の低い日が続いた。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かった。また、低気圧や前線によるまとまった雨がなく、降水

量は少なかった。旬平均気温は高く、かなり高い所があった。旬降水量は少なく、かなり少ない所があった。旬日照時間は平年並から多かった。

〈6月〉：晴れの日が多く降水量少ない

上旬：高気圧におおわれて晴れの日が多かった。7日と8日は、気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨や局地的な強い雨が降ったものの、期間中の降水量は少なかった。

中旬：高気圧におおわれる日が多かったものの、湿った風の影響で曇りの日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かった。上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷雨となる日があったものの、低気圧や前線による雨がなく、降水量はかなり少なかった。

〈7月〉：記録的な大雨・長雨、少ない日照時間

上旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で気温はかなり高かった。また、大気の状態が不安定となり雷雨となる日もあった。

旬平均気温はかなり高かった。

中旬：前線や低気圧、オホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。12日、15日、18日は日降水量が100mmを超えた所があり、浸水害や土砂災害等が発生した。15日に宮古市区界で日最大1時間降水量86.5mmを観測し、通年の極値を更新した。

下旬：前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。26日から28日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が日本海を東進し東北地方を通過した影響で、3日間の降水量は住田で239.0mmを観測するなど県南部を中心に150mmを超える大雨となった。26日には、釜石で68.0mm、住田で66.5mmの日最大1時間降水量を観測し、通年の極値の記録を更新した。この大雨により、浸水害や土砂災害、農地の冠水、農業施設に被害が発生した。

〈8月〉：9日の集中豪雨、遅い梅雨明け、中旬の高温

上旬：天気は周期的に変わった。9日は東北地方北部に暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。9日の日最大1時間降水量は雫石で78.0mm、紫波で71.0mm、花巻市大迫で63.5mmを、日降水量は雫石で264.0mmを観測し、それぞれ統計開始以来の極値を更新するなど、盛岡地域、花北地域を中心に大雨となった。この大雨により、人的被害や浸水害、土砂災害、道路損壊のほか農業被害等が発生した。

中旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、後半は前線の影響で曇りの日が多く、大気の状態が不安定となり雷雨となる日もあった。暖かい空気に覆われて暑い日が多く、猛暑日（日最高気温35℃以上の日）となる所があった。旬平均気温は高く、かなり高い所が多かった。旬降水量は平年並から少なかった。旬日照時間は多く、かなり多い所もあった。

下旬：この期間は、天気は周期的に変わった。期間の終わりは、前線や低気圧の影響で、局地的に雷を伴って激しい雨の降った所があった。

〈9月〉：台風18号と前線による大雨、後半の高温と多照

上旬：低気圧や前線の影響で雨の日が多く、局地的に雷を伴って激しい雨の降る日もあった。期間の後半は、高気圧に覆われて晴れの日もあった。

中旬：前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が続いた。16日は台風18号の影響で大雨と強風により、二戸で日降水量の極値を更新したほか、江刺や若柳などで日最大風速の極値を更新するなど各地で9月としての極値を更新した。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。

〈10月〉：記録的高温、台風と前線に影響による多雨・暴風

上旬：低気圧や気圧の谷の影響で、1、2、9日は雨となったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れや曇りとなった。台風からの湿った南よりの風の影響により、1日と8日の日最高混は住田や一関市千厩など4地点で10月としての極値を更新した。

中旬：天気は周期的に変化した。11日は低気圧や前線通過により大雨となり、低気圧に向かって吹く南風により、山形では最高気温26.0℃を観測し10月の極値を更新した。

下旬：気圧の谷の通過や、冬型の気圧配置などの影響により、曇りや雨の日が多かった。

〈11月〉：低気圧や前線の影響による強風、冬型の気圧配置による沿岸部の少雨

上旬：この期間、天気は周期的に変わった。7日から8日にかけては、低気圧や前線の影響により県内各地で風が強まり、沿岸や北部で10m/s以上を観測した所もあった。旬平均気温は平年並から高かった。旬降水量は平年並から少なかったが、多い所もあった。旬日照時間は多いから平年並で、かなり多い所もあった。

中旬：この期間、はじめは冬型の気圧配置が継続し気温が低く、中ごろは高気圧に覆われ晴れ、終わりには低気圧の影響で雨の日が多かった。

下旬：この期間、前線や気圧の谷が通過し、通過後は冬型の気圧配置となる日が多かった。このため、内陸や山沿いでは曇りや雨となった所が多く、沿岸では晴れの所が多かった。旬平均気温は高いから平年並だった。旬降水量は多いから平年並だった。旬日照時間は少ないから平年並で、内陸ではかなり少ない所もあった。

〈12月〉：上旬の強風、20日の大雨、中旬以降冬型の気圧配置強まる

上旬：この期間は、高気圧や低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。7日は上空に強い寒気が流れ込んだため、内陸や山沿いでは気温が上がらず、区界の最高気温は氷点下2.0℃、藪川では氷点下1.8℃を観測し今季初めての真冬日となった。また、10日は日本海を発達しながら北上した低気圧の影響により県内は風が強まり、久慈では日最大風速13.2m/sを観測し、12月としての極値を更新した。旬平均気温は高いから平年並だった。旬降水量は少ないから平年並で、かなり少ない所もあった。旬日照時間は多いから平年並で、かなり多い所もあった。

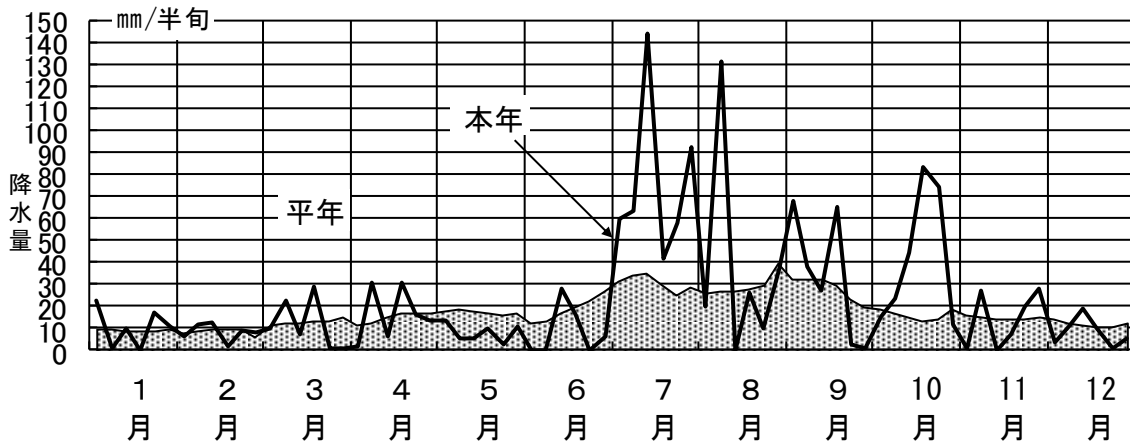
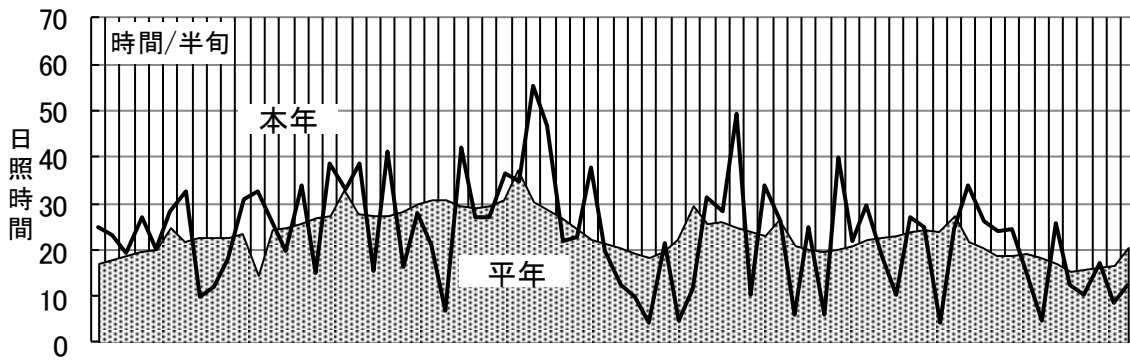
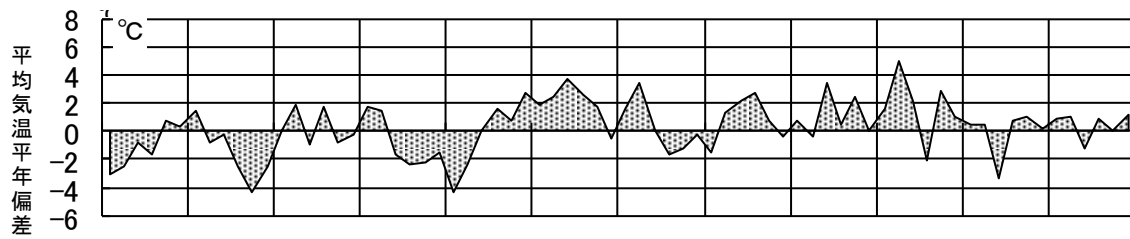
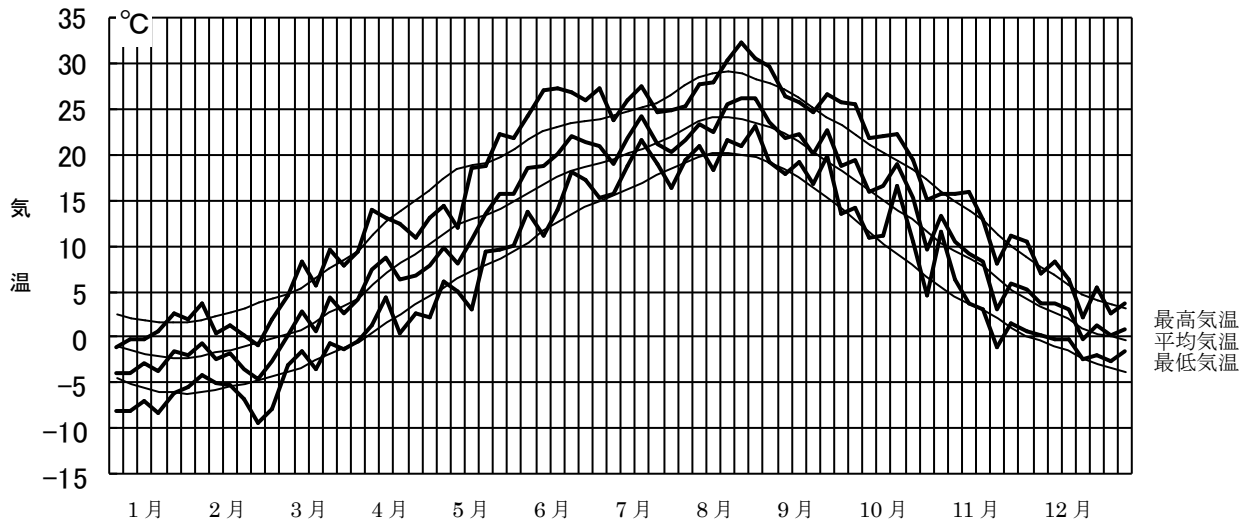
中旬：この期間、低気圧や前線の通過後に冬型の気圧配置となる日が多く、内陸では曇りや雪または雨となる日が多かった。沿岸では晴れる日が多かった。13日は前線を伴った低気圧が東北北部を通過した影響で、内陸中心に大雪となった。旬平均気温は平年並から高かった。旬降水量は多く、かなり多い所があった。旬日照時間は概ね平年並で、少ない所もあった。

下旬：この期間、低気圧の通過後に冬型の気圧配置となる日が多く、曇りや雪の日が多かった。旬平均気温は平年並で、低い所もあった。旬降水量は少ないから平年並で、かなり少ない所もあった。旬日照時間は少なく、かなり少ない所もあった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2013年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	5月8日	5月3日	4月22日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月15日頃	6月14日頃 (1日遅い)	6月9日頃 (6日遅い)
梅雨明け	8月10日頃	7月28日頃 (13日遅い)	7月26日頃 (15日遅い)

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温の高い方から

地点名	起日	値 (°C)	順位	統計開始年
大船渡	2013年6月	20.4	2	1924年
盛岡	2013年10月	13.9	1	1923年
大船渡	2013年10月	15.5	3	1963年

イ 月平均気温の低い方から

地点名	起日	値 (°C)	順位	統計開始年
大船渡	2013年5月	12.3	4	1964年

ウ 日最高気温の高い方から

地点名	起日	値 (cm)	順位	統計開始年
盛岡	2013年10月1日	26.4	3	1923年

エ 日最低気温の高い方から

地点名	起日	値 (°C)	順位	統計開始年
大船渡	2013年5月8日	1.4	4	1964年
大船渡	2013年10月2日	19.8	1	1963年
大船渡	2013年10月9日	19.6	2	1963年
大船渡	2013年10月8日	18.4	5	1963年
盛岡	2013年10月8日	19.0	2	1923年
盛岡	2013年10月7日	17.2	4	1923年

オ 日最低気温の低い方から

地点名	起日	値 (°C)	順位	統計開始年
大船渡	2013年5月8日	1.4	4	1964年

カ 月間日照時間の少ない方から

地点名	起日	値 (h)	順位	統計開始年
盛岡	2013年7月	64.2	2	1924年
大船渡	2013年7月	67.7	3	1964年
盛岡	2013年10月	109.2	4	1923年

キ 月降水量の多い方から

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
盛岡	2013年7月	461.0	1	1924年
宮古	2013年7月	310.0	5	1883年
大船渡	2013年7月	412.0	2	1964年
盛岡	2013年10月	252.5	1	1923年
宮古	2013年10月	391.0	3	1883年
大船渡	2013年10月	260.5	5	1963年

ク 月降水量の少ない方から

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
大船渡	2013年6月	45.5	1	1964年

ケ 日降水量

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
盛岡	2013年8月9日	121.0	2	1924年

コ 月最大24時間降水量

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
盛岡	2013年8月9日	125.0	4	1971年
宮古	2013年10月16日	162.0	2	1971年
盛岡	2013年10月25日	65.0	5	1971年

サ 日最大1時間降水量

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
宮古	2013年7月26日	29.0	4	1937年
大船渡	2013年7月26日	53.0	1	1964年

シ 日最大 10 分間降水量

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
宮古	2013 年 7 月 26 日	11.0	3	1940 年
大船渡	2013 年 7 月 26 日	19.0	2	1964 年
宮古	2013 年 8 月 20 日	17.0	5	1940 年

ス 月降水量の少ない方から

地点名	起日	値 (mm)	順位	統計開始年
宮古	2013 年 3 月	5.0	2	1883 年
大船渡	2013 年 3 月	11.5	1	1964 年
大船渡	2013 年 5 月	48.0	1	1964 年

セ 降雪の深さの日合計 (降雪量)

地点名	起日	値 (cm)	順位	統計開始年
盛岡	2013 年 1 月 2 日	36	2	1953 年

ソ 日最大風向・風速

地点名	起日	値(m/s)	順位	統計開始年
大船渡	2013 年 2 月 5 日	北西 17.8	2	1964 年
大船渡	2013 年 3 月 21 日	北西 13.2	2	1964 年
	2013 年 3 月 9 日	北西 13.2	3	
	2013 年 3 月 16 日	北北西 12.7	4	
大船渡	2013 年 4 月 8 日	北西 16.2	1	1964 年
	2013 年 4 月 15 日	北北西 13.6	5	
大船渡	2013 年 10 月 16 日	北 20.6	2	1963 年
盛岡	2013 年 10 月 16 日	北 15.1	5	1923 年
大船渡	2013 年 11 月 29 日	北北西 11.7	5	1963 年
大船渡	2013 年 12 月 16 日	北西 15.7	2	1963 年
大船渡	2013 年 12 月 15 日	北西 14.2	4	1963 年
大船渡	2013 年 12 月 10 日	北西 14.2	5	1963 年

ケ 日最大瞬間風速・風向

地点名	起日	値 (cm)	順位	統計開始年
宮古	2013 年 3 月 2 日	西南西 29.1	4	1941 年
大船渡	2013 年 10 月 16 日	北東 35.0	3	1963 年

ケ 日最小相对湿度

地点名	起日	値 (%)	順位	統計開始年
大船渡	2013年3月12日	10	1	1964年
宮古	2013年3月12日	11	2	1950年
	2013年3月22日	13	5	
大船渡	2013年8月28日	34	3	1963年

II 農林水産物の生育状況

1 水稻（作況指数は「102」、1等米比率は95.6%）

水稻の移植後、良好な気象経過により初期生育は旺盛であったが、7月第3半句以降、低温寡照となり生育が停滞した。梅雨明け後は高温多照で経過し、出穂期は平年より1日遅く、成熟期は平年より2日早かった。

初期生育は旺盛だったが、7月中旬以降の低温寡照経過や断続的な降雨により生育量に見合った追肥を実施できなかった圃場が多かったと推察され、有効茎歩合が低下し、総粒数は北部を除いて平年を下回った。

登熟期は全般に良好な気象経過であったが、一部地域では大雨等による冠水や土砂流入等の被害が発生し、倒伏程度の高い圃場も散見された。また、いもち病発生も近年で最も多かった。

作況指数は平年よりやや良の「102」となったが、粒厚分布及び千粒重が平年よりやや小さくなり、1.9mm篩以下の割合が増加したことから作況指数ほどの実感が得られなかったとする生産者がみられた。

品質では、うるち米の1等米比率が95.6%（平成26年1月末日現在）と全国第2位（長野県に次いで）であった。主な落等理由は着色粒（斑点米カメムシ類）であった。

(1) 育苗期（播種盛期は平年に比べ1日遅い4月16日、苗質は良好）

県全体の播種作業は、平年に比べて1日遅かった。播種後、気温は育苗期間中を通じて平年を下回って経過した。苗質は、草丈が平年よりやや短かったが、充実度（風乾重/草丈）は平年を上回り、良好であった。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年より3日遅く5月19日、活着は概ね良好）

5月上旬は曇りや雨の日が多く、気温も平年を下回る日が多かったことから圃場準備が進まず、県全体の移植盛期は平年より3日遅かった。田植え後は好天に恵まれ活着は概ね良好であった。

なお、5月上旬に移植した一部の圃場では低温により活着・初期生育の遅れが見られた。また、用水を沢水やため池に依存している一部地域では、用水確保ができず移植を断念した圃場があったほか、代かき等の遅れから老化苗を移植した圃場で初期生育が遅れた事例が見られた。

(3) 分けつ期（高温多照により初期生育は良好）

6月に入ってから高温多照・少雨で経過したことから分けつ発生は旺盛で、各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査（6月14日及び6月25日の調査結果とも）では、各地域で草丈、茎数、葉数とも平年を上回った。

(4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重やや少・窒素吸収量やや少）

6月25日の調査以降、各地域とも概ね必要茎数は確保され、葉色が低下傾向であったこと、3～4月の降水量が少なかったものの根雪が遅くまであり、乾土効果による土壌中の窒素発現がそれほど期待できないと判断されたこと等から、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」「いわてっこ」は基準量N2kg/10aを上限に、「どんぴしゃり」は、幼穂形成期にN2kg/10aの追肥を基本として追肥指導を行った。

なお、用水量が全般に不足している地域が多かったため、ひび割れを生じるほどの強い中干しは行わず、中干し終了後の用水確保に努めるよう指導した。

(5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は1日遅い8月8日）

7月第3半句以降、低温寡照の気象経過となり、幼穂形成期は平年より3日早かったが、減数分裂期は平年並となった（幼穂形成期7月10日、減数分裂期7月27日）。

特に、県北・沿岸地域は7月第3半句以降20℃を下回る気象経過となり（宮古では7/15以降、10日間連続でやませが吹走）、久慈地域、軽米地域では積算冷却度が20を超える地域があり低温影響が懸念された。（しかし、生育遅延により危険期は低温期とずれたことで、不稔歩合は平年を若干上回る程度であった。）

7月第6半句以降、高温多照の気象経過となり出穂期は平年より1日遅い8月8日で、開花も良好だった。

(6) 登熟熟期～成熟期（登熟歩合はやや良）

登熟期は全般に高温多照で経過したものの、玄米品質の低下が懸念される高温とはならず、8月30日に各業改良普及センターが実施した登熟状況調査では、沈下籾数歩合が平年を上回り、登熟は良好であった。また、危険期の低温影響を調査するため不稔調査を行った結果、不稔歩合は各地とも概ね平年並で、収量への影響はほとんどないものと推察された。

(7) 刈取り期（刈取り盛期は平年より2日早い10月2日）

収穫作業は平年を上回る進捗で進み、刈取盛期は平年より2日早い10月2日であった。

(8) 収量（作況指数102）

全県で穂数は平年を下回り、一穂籾数は東部を除き平年並～やや多かった。総籾数は北部で平年を上回ったが、他地域では平年を5%程度下回った。登熟歩合は平年を上回ったものの、粒厚分布は平年よりやや小さくシフトし、千粒重が平年よりやや小さかった。

作況指数は平年よりやや良の「102」となったが、粒厚分布は平年よりやや小さいほうにシフトしたことから、1.9mm以下となる割合がやや増加したことから、作況指数ほどの実感を伴わなかったとする生産者が多かった。

なお、穂数が少なかった要因としては、断続的な降雨により中干しを十分に行うことができず、生育量に見合った追肥も行えなかった生産者が多く、この結果、有効茎歩合が低下したと推察された。

(9) 品質（1等米比率95.6%と全国第2位。落等原因1位は斑点米カメムシ）

平成26年1月末日現在、うるち米の1等米比率は95.6%と全国第2位（長野県に次いで）であった。2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が40.5%（総検査数量に占める割合1.8%）、「形質（その他）」が21.6%（同1.0%）、「充実度」が7.2%（同0.3%）であった。

品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が95.7%、「どんぴしゃり」が96.1%、「あきたこまち」が96.0%、「いわてっこ」が95.7%であった。

(10) 病害虫の発生（葉いもちやや多・穂いもち多、斑点米カメムシ類やや少（斑点米やや多））

いもち病は、7月の多雨により、全県的に感染好適条件が多く出現し、特に葉いもちの8月上旬における上位葉での発生がやや多くなった。8月以降も引続き降雨日数が多かったことに加え、穂いもち防除実施率が低かったことも一因となり、穂いもちが多発した。

斑点米カメムシ類は、期間を通じて平年並からやや少ない発生であったが、全県の平均割れ籾率は16.3%と平年（10.7%）に比べると高く、そのため斑点米被害は平年に比べるとやや多くなった。発生程度が中以上（落等相当）のほ場率は、県北・沿岸部が高く、県南部が低かった。

2 畑作物

(1) 小麦

ア 25年産小麦（24年播種）

(ア) 越冬前

10月に入って播種作業が本格化し、10月31日時点で97%が終了したが、県南部を中心に播種期が平年よりも遅れたところが多かった。

10月は気温の高い傾向が続き、適期に播種した地域では小麦の出芽が順調で越冬前の生育も平年より旺盛であったが、10月中旬以降の降雨の影響で播種が遅れた地域では生育量が少なく、越冬前の茎数も平年を下回った。

(イ) 越冬後

根雪期間が平年よりやや長かったものの、越冬後の好天により起生期は平年並みで、湿害の発生も少なく越冬後の生育も概ね順調に進んだ。

(ウ) 生育期

4月20日現在の生育は、ゆきちからの生育量は平年をやや上回ったものの、ナンブコムギは、萎縮病類の発生している圃場が平年並みに多くみられ、茎立ちが遅れ、茎数がやや少ないため、全体的にはほぼ平年並みの生育量と生育ステージとなった。

4月中旬以降は低温傾向が続き、5月上旬に入っても降霜の日があるなど低温傾向が続いた。このため小麦の生育は停滞し、5月上旬時点での生育ステージは平年よりも5日程度の遅れとなった。

(エ) 出穂～収穫

5月中旬に入り平均気温は平年を上回り、ゆきちからを中心に生育がすすんだものの、生育ステージは依然として平年よりも5日程度の遅れで、花巻管内の出穂期はゆきちからで5月24日前後となった。また、出穂から開花期までの日数は平年よりも短いところが多く、開花期は全県で平年よりも4日程度の遅れとなった。

開花期以降、登熟は順調に進んだが、6月の高温・少雨の影響により成熟がやや早まった。収穫は、6月末から紫波方面で始まり、順次収穫が進んだが、収穫開始は平年よりも3日程度の遅れとなった。7/3～7/6、7/8、7/10～7/15にほぼ連続してまとまった降雨がみられ、まとまった日照時間があったのは唯一7/7のみという状況であった。このため、収穫適期に達していてもコンバインが入れず、雨害により穂発芽の発生が品種によらず広域で多発する状況となり、規格外が3割程度発生し、外観品質が大きく低下した。穂発芽以外にも黒カビ粒や退色粒等の被害粒の発生も見られた。

成熟期の生育・収量については、ナンブコムギで縞萎縮病の発病程度が大きかった一部の地域を除くと、全般に穂数が多く、穂長が長い傾向がみられた。これは、4月の低温で窒素追肥の回数を増やした地域が多く、分けつ茎や幼穂の発育が促されたことが要因の一つと考えられる。県平均収量は対平年比102の176kg/10aであった。

(オ) 病害の発生

病害の発生状況をみると、雪腐病は生育が旺盛な圃場で散見されるものの発生程度は低かった。萎縮病類は、播種後の気温が高かったため連作ほ場を中心に発病がみられ、平年よりも発生量が多かった。例年萎縮病類の発生の見られる地域では発病程度が高く、株全体に黄化の見られる圃場もあった。赤さび病はナンブコムギを中心に散見されたが、発生圃場率は約26%と平年よりもやや低かった。うどんこ病はほとんど発生が見られず、発生圃場率は平年よりも低かった。赤かび病は、発生圃場率は44%と平年並みであったが、ほとんどが発病穂率1%未満の圃場であり、発病程度は低かった。また、ゆきちからを中心に6月後半に症状が目立つ圃場も見られた。

表1 小麦の品種別検査成績（平成25年12月31日現在）

品種名	区分		25年産	品種名	区分		25年産
ナンブコムギ	検査数量(t)		3,428	ゆきちから	検査数量(t)		3,498
	等級比率 (%)	1等	46.4		等級比率 (%)	1等	75.1
		2等	15.7			2等	6.2
		規格外	37.9			規格外	18.6

イ 26年産麦（25年播種）

播種は9月末から始まったものの、10月に入ってから台風や断続的な降雨により播種作業が遅れ、播種終期は平年よりも1週間程度遅かった。出芽後の生育は概ね順調に進んだ。

(2) 大豆

ア 播種～開花期

6月の高温・少雨の影響により、播種開始は平年よりもやや遅れたが、6月20日前後には終期となった。また、出芽に要する日数が平年よりも長くなったものの、出芽揃い・苗立ちは概ね良好であった。ただし、県北の一部地域では乾燥により、県南の一部地域では

播種直後の降雨によるクラスト形成により、出芽不良となる圃場も見られた。

6月中旬と下旬に適度な降雨もあり、生育は順調に進んだ。一方、7月に入ってからは降雨の日が多く、日照時間が少なかった。このため、各地で滞水している圃場が見られ、7月後半には葉色の低下や茎疫病の発生が見られる圃場が散見された。

開花期は、県平均で平年より3日程度早かった。8月1日現在の生育は、7月の長雨の影響により全般に分枝数が少なく、県南部では主茎長が短い傾向であった（盛岡以北では並～長い）。

イ 開花～収穫期

7月下旬に県南部を中心とした大雨、8月上旬には県中部で集中豪雨があり、各地で浸冠水の被害が見られた。9月中旬には、一関地域で台風による圃場への浸水の被害が見られた。

開花期以降は、比較的気温の高い傾向が続き、日照時間も多かったが、9月中旬の台風の影響により倒伏した圃場が多く見られ、またその後の断続的な降雨の影響もあり登熟がやや劣った。

成熟期は概ね平年並みであったが、10月に入り降雨の日が多く、収穫は平年よりも7日程度遅れ、収穫が12月にずれ込む地域も見られた。

ウ 病害虫の発生

播種後にネキリムシやタネバエの被害が一部地域で見られたが、発生量は少なかった。

7月にはツメクサガやオオタバコガなどの食葉性害虫の被害が各地でみられ、平年よりも発生量がやや多かった。紫斑病は、9月上旬に感染に好適な気象条件となったため、平年よりも発生量がやや多かった。また、登熟期に入って、褐紋病と思われる葉の褐変症状が各地で散見された。マメシンクイガ、カメムシは平年よりも発生量が多かった。

エ 収量及び品質

6月の乾燥、7月の長雨により、栄養成長が抑制され、さらに開花も早まったために全般に生育量が小さく、着莢数が少なく、さらに登熟期後半の9月、10月の断続的な降雨により登熟が抑制されて粒の肥大が悪くなり、百粒重が小さく、特にリュウホウを中心にしわ粒が多く発生した。また、降雨の影響による刈遅れから、腐敗粒や紫斑粒などの被害粒が多発した。平成26年2月18日現在の収量は、県全体で84kg/10aで（農林水産省発表）、平年（過去7カ年のうち最高値と最低値を除いた5カ年平均値）比71%となっている。品質面では1等比率が1月末現在で7.0%と平年（36.6%）よりもかなり低い。開花期以降の台風や断続的な降雨による登熟不良の影響で粒の充実が劣り、しわ粒の発生が多かったことが一因である。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では定植後1ヶ月間少雨乾燥傾向が続いたことにより、初期生育が緩慢で節間が短く推移したほか、側枝の発生や雌花の着生が例年に比べ少ない傾向であった。7月以降は曇天及び度重なる豪雨が9月まで続き、冠水、排水不良等による生育障害も各地で発生し全般に昨年の終了を下回った。しかしかん水施設を整備し、初期の乾燥時に適切な水管理を実施した圃場においては10月下旬まで収穫が継続された。

病害虫ではキュウリホモプシス根腐病が例年より多発した。梅雨明け後は県内で広く炭そ病が発生したほか、褐斑病の発生も例年並みに見られた。害虫では6月下旬頃からキュウリでは今まで問題とならなかったオオタバコガによる被害が県内で広く発生し、病害との誤認から防除が遅れ気味であった。

収量は前年比80%、全体出荷量も77%といずれも前年を大きく下回った。

(2) トマト

3～4月の低温の影響により、生育初期の生育が緩慢で、低段果房に障害果の発生が目立った。6月は一転して好天となったが、低温により根張りが不十分な圃場が多く、生育が弱

い状態が続いた。7月は日照不足から全般に着色が遅れ気味となり、なかなか出荷量が伸びてこなかった。梅雨明け後も度重なる豪雨等の影響により草勢回復には時間を要し、8月上旬に出荷ピークを迎えたものの、以降は気温の低下により着色も進まず、9月いっぱいまで終盤となる圃場が例年より多かった。

病害虫では、6月下旬から灰色かび病が発生したほか、豪雨の影響により疫病の発生も例年より多かった。土壌病害では、青枯病、かいよう病の発生が例年より多発傾向であった。害虫ではオオタバコガの被害が6月から確認されたほか、アザミウマ類の被害も多かった。収量は前年比92%、全体出荷量も89%といずれも昨年を下回った。

(3) ピーマン

3～4月の低温により、苗の生育・定植後の活着・初期生育が全般に停滞傾向であった。その後6月の乾燥により尻腐れ果が多発したほか、露地作型では圃場の乾燥による活着・初期生育の不良も見られた。7月は一時期低温の影響で黒変果の発生も見られたが、日照不足の影響により花落ちが多く、着果のサイクルが大きく乱れた。梅雨明け以降9月までは雨よけ、露地作型ともに高温乾燥の影響による尻腐れ果や日焼け果の発生が多く見られた。特に露地では、9月以降過着果等による草勢の低下、果実肥大の遅れによる赤果が多発した。

病害虫は、6月以降アブラムシの発生が増加し、それに伴うウイルス病(CMV)の発生も見られた。タバコガは7月以降発生が確認されたが、昨年と比べると被害は少なかった。病害の発生は、6月に斑点病の発生が散見され、7月以降は灰色かび病や疫病の発生が見られた。斑点病は発生が早かったところで多発傾向となり、梅雨明け以降は青枯病の発生が増加した。9月に入ると草勢の低下とともに斑点病・うどんこ病の多発圃場が見られた。

収量は前年比90.3%、全体出荷量も前年比86.9%と、いずれも昨年を下回った。

(4) ほうれんそう

昨年よりも雪解けが早く、作業は順調に進み、4、5月の天候も安定し、概ね順調に生育したことから、5月の出荷量は一昨年並みとなった。6月は乾燥が続いたことから、適切な土壌水分を維持できなかったところで発芽不良や生育不良が発生した。6月の乾燥による生育不良と7月の曇雨天による寡日照が重なったことにより、抽だいが7月下旬頃まで各地で確認された。8月に梅雨明け(8月10日頃)となり生育は回復したが、高温による生育不良や萎れなどの障害が見られた。9月は概ね順調に生育したが、台風の影響により一部地域が被害を受け、過湿による生育不良となった。

病害虫では、萎凋病が6月以降発生したが、土壌消毒を実施した圃場の多くでは発生が抑えられた。6月の高温乾燥の影響でアザミウマ類が発生し、被害株が例年より多く、7月まで発生した。ケナガコナダニ、シロオビノメイガ、アブラムシは例年並に発生した。ウリハムシモドキも一部で発生したものの、昨年より被害は少なく経過した。

生食用露地ほうれんそうの春どりは収穫期近くの降雨も少なく、品質としては良好となったが一部の品種で抽だいが見られた。またマツ花粉の付着による葉の汚れが一部であった。秋どりは9月の台風による水分過多での生育不良や、収穫期近くの大雨による葉の裂けや葉縁の枯れが見られ、生食用として出荷困難な圃場もあった。

(5) ねぎ

定植は、一部低温などにより遅れが見られたが、概ね順調に行われた。6月は乾燥により生育が停滞傾向となった。7、8月は降雨が続く乾燥が解消された一方、管理の遅れなどや排水不良により生育不良が見られた。さらに8月上旬に盛岡地域を中心とした豪雨による圃場の土壌流出などの影響で倒伏や生育不良が見られた。9月以降は気温が低下し、葉鞘茎の肥大が進んだ一方で、台風などの影響により作業の遅れや倒伏などが見られた。収穫開始は6月の生育停滞の影響により全体的に遅れ、例年より細い株が多かった。また降雨による作業遅れにより軟白部のボケが見られた。

病害虫の発生は全体的に例年並かやや少ない発生だったが、大雨の影響により9月後半から10月にかけてべと病、さび病、黒斑病の発生が各地で確認された。

(6) キャベツ

雪解けは例年並みで、順調に定植が開始された。生育は5～6月にかけては少雨の影

響で概ね1週間程度の生育遅れとなった。6月は乾燥により小玉傾向となった。その後は降雨により生育は概ね順調に推移したものの、株腐病が発生し数量は例年よりも少なく経過した。9月以降は気温の低下に伴い生育が緩慢となり小玉傾向となった。

病害虫では7月～8月にかけて株腐病が例年よりも多く発生した。

(7) レタス

雪解けは例年並みで、順調に定植が開始された。県央部の春レタスは低温により生育が停滞し小玉傾向となった。県北部の定植は平年並に4月上旬から始まったが、その後低温と乾燥により収穫が1週間程度遅れ、本格的な出荷は6月中旬となった。6月は乾燥が続き、7月中旬以降は日照不足により生育は停滞し、出荷量も減少傾向となった。8月は高温により腐敗性病害が発生し、9月前半まで収穫に影響した。9月後半以降は腐敗性病害が減少し、出荷量も増加したが10月前半で収穫終了となった。

(8) だいこん

高冷地での播種作業は例年並の4月下旬から開始された。7月は長雨の影響で播種作業が遅れが見られた。5月下旬に低温があったため収穫初期の一部で抽だいの発生が見られた。6月は乾燥で推移したことにより、発芽不良や株の枯死が見られた。7月以降の生育は比較的順調に推移した。8月は乾燥のため生育遅延が見られたが、例年よりもキスジノミハムシの被害が少なく、堅調な出荷量となった。9月は7月の播種遅れにより一時期出荷量が減少したが、その後は順調な出荷となった。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育期

雪融けが遅れたことから萌芽・展葉期は平年より2～4日程度の遅れとなった。4月下旬から5月上旬にかけて低温で推移したこと、6月に降雨が少なく圃場乾燥したことから草丈が平年よりやや短い生育となった。5月下旬以降、気温が平年より高く経過したことから側芽発生期は平年より5日程度早くなった。

イ 開花期

7月以降の日照不足や長雨の影響を受け、開花期は極早生種で平年より2日程度、早生種では5日程度遅くなった。前年に発生した花卉の着色不良などの高温障害は少なかった。

晩生種は早生種同様、開花の遅れがみられた。一方、極晩生種は平年並みの開花となった。

ウ 病害虫

主要病害である葉枯病、花腐菌核病は平年より少ない発生となった。一方、7月以降、降雨が多く、県内各地で黒斑病の発生が多かった。また、長雨や大雨による圃場の浸水などの影響で茎枯病などによる立枯れや根腐れ症状の発生が多くみられた。害虫ではリンドウホソハマキの発生が平年よりやや多い傾向にあったが、薬剤防除により被害は少なく抑えられた。ハダニ類やアザミウマ類の発生は少なかった。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

8月咲品種の定植は、育苗期間中に気温が経過したため発根が遅れたこと、4月下旬から5月上旬の定植時期に天候不順となったことで、やや遅れがみられた。また定植後の降霜や低温により初期生育は緩慢であった。一方、9月咲品種の定植は、5月中旬以降は天候に恵まれ、順調に進んだが、圃場の乾燥により初期生育の遅れがみられた。

イ 生育期・開花期

8月咲品種は初期生育の遅れや6月に降雨が少なく圃場が乾燥したことにより草丈が短い生育となった。開花期は平年よりやや早くなったが、概ね8月上旬の盆需要期に出荷となった。

9月咲品種は定植後に圃場が乾燥し、初期生育の遅れがみられたが、その後の降雨で草丈は平年並みにまで回復した。開花期は前年のような開花遅延はみられず平年並みの開花となった。

ウ 病害虫

7月以降の長雨や大雨による影響で、県内各地で白さび病の発生が多く、出荷量が減少する要因となった。

害虫では一部地域でカメムシ類やアブラムシ類、キクスイカミキリの発生が多かったが、全般に少なく経過した。オオタバコガは6月下旬以降、県内各地で発生が確認され、8月以降発生が増したが、薬剤防除により被害は少なく抑えられた。また、ハダニ類、アザミウマ類の発生は少なかった。

5 果 樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

平成25年産りんごの花芽の状況は、花芽率を県平均で見ると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも概ね平年並みとなった。一方、一部地域では60%以下となっており、地域的なバラツキもみられた。また、弱小花芽率は、県平均と比較すると「ふじ」でやや高め、特に県中部で高い傾向にある。「つがる」、「ジョナゴールド」は平年を下回った。

近年の生育期間中の猛暑による影響で花芽率は、23年産は平年より低く、24年産は平年より高く、隔年結果（25年産は低くなること）が懸念されたが、花芽形成期（7月）の最高気温（平年差+2.3℃）と比較して最低気温（平年差+1.1℃）が低く推移したため、25年産は平年並みに落ち着いていた。一方、花芽が多く、結実も良かったことから摘果作業が遅れたこと、8月以降は記録的な高温干ばつだったこと、10月以降も気温が高めに推移したため、果実のデンプンや地色の抜けが悪く、収穫作業が遅れたことなどにより、弱小花芽が高めになったと推察される。

イ 発芽～展葉期

4月上旬までの気温が高めに推移したため、発芽は概ね平年並み、昨年と比較すると6日前後早くなった。

4月中旬以降の気温は平年より低くなり、展葉は、低温の影響が少なかった県南部で概ね平年並み、それ以外の地域は平年より3～4日の遅れとなった。

ウ 開花期および結実の状況

4月からの低温が5月半ばまで続いたため、開花、満開はふじで平年より7日程度遅れた。つがるやジョナゴールドでも5～6日の遅れとなった。

開花期間中の気温は平年より高く、天候も良好であったため、ふじの結実率は概ね平年並からやや高めとなった。ふじ以外の品種では、つがる、ジョナゴールドとも中心果の結実率はやや高めとなった。

5月8日の低温（降霜等）によりめしべの褐変等が認められたが、収量への大きな影響は認められなかった。一方、県南部や沿岸部等でサビ果が見られており、開花前の低温の影響と推察された。

エ 果実肥大

開花が遅れたことにより、6月1日時点の果実肥大はいずれの品種も県平均で平年比の60%程度であった。6月は干魃、7月は長雨、日照不足、8月の高温、集中豪雨など厳しい気象条件であったが、果実肥大は回復傾向となった。しかしながら、平年値にはわずかに届かず、全体的に小玉傾向となった。

オ 収穫期および果実品質

「つがる」の果実品質は、硬度、デンプン反応が平年並み～やや高め、糖度は平年並みとなった。しかし、地域的なバラツキがあり、県南部では硬度の低下が見られた。8月下

旬に気温の低い時期があったため早生品種の着色は良好であったが、デンプンや地色の抜けが悪い傾向がみられた。収穫期は概ね9月中旬頃となった。

「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度、デンプン反応指数が平年より高め、糖度は平年より低くなった。9月以降気温が高く推移し、また、降雨も多かったため、デンプン、地色の抜けが悪い傾向がみられた。一方、全体的に気温は高めであったが、9月中旬の一時に気温の低下が見られたため、「つがる」同様、着色は良好であった。収穫期は10月中旬頃となった。

「ふじ」の果実品質は、硬度、デンプン反応指数が平年よりやや高め、糖度は平年より低くなった。また、蜜入りは平年よりやや低いものの、ここ数年では多い傾向であった。早生、中生品種同様、着色は良好であったが、デンプン、地色の抜けが悪い傾向がみられた。

7月から8月にかけての集中豪雨や9月16日の台風18号により、園地への浸水や土砂の流入、それに伴う倒木等がみられた。

収穫期の強風害では、9月16日の台風18号、10月16日の台風26号、11月7日の低気圧により落果や倒木の被害が認められた。

カ 病害虫

7月以降、降雨日が多く、病害の多発が心配されたが、斑点落葉病、果実病害である輪紋病、炭そ病、すす病などいずれの病害も平年並みに抑えられた。害虫の発生も全般的に少なく推移した。なお、ナミハダニは8月までの発生は少なかったものの、9月以降増加する園地も認められた。昨年多発したカメムシは少なく推移した。

キ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績（平成26年1月末時点）から、数量で前年対比85%となった。これは、開花の遅れや厳しい気象条件による小玉化、収穫期前の台風等による落下が原因と考えられた。

販売単価については、前年比107%となった。これは、気象災害（長野県の霜害、青森県の開花遅れによる小玉化）により、全国的に生産量が少なくなったことにより、引き合いが強くなったためと考えられた。

(2) ぶどう（キャンベルアーリー）

ア 発芽期～展葉期

5月上旬まで気温が低く推移したため、発芽及び展葉は平年より5～8日程度遅れた。

イ 開花期～結実期

5月中旬以降は気温が高めに推移したため、定点観測地点の満開期は平年より早くなった。一方、天候の回復で新梢伸長が旺盛になったこと、6月まで早魃が続いたこと等により若干の花ぶるいが見られ、結実率は平年を下回った。

ウ 新梢伸長期

発芽、展葉の遅れで新梢長は平年の63%でのスタートとなった。5月中旬以降は気温が高く推移したため、急速に平年並みまで回復した。しかし、6月の乾燥や7月の日照不足や長雨などの影響により、最終的な新梢長は平年の80%となった。

厳しい気象条件ながら房長は平年並み、一方、果粒肥大は7月以降、降水量が多かったため、生育期間を通して平年値を上回った。

エ 収穫期

キャンベルアーリーの着色はやや早め、紅伊豆、サニールージュ等の着色はやや遅く、品種によるばらつきが見られた。

7月は日照不足となったが、生育期間を通して概ね気温が高めで推移したため、糖度は8月までは平年より高めとなった。しかし、収穫期前（9月）に降水量が多かったため9月以降はやや低下した。

収穫期前の降雨により、紅伊豆等大粒種を中心に裂果の被害が見られた。

オ 落葉期

10月以降も気温が高めで経過したものの、落葉は平年並だった。
新梢の登熟程度は、概ね平年並みだった。

カ 病害虫

6月までは降水量が少なかったため、灰色かび病の発生は少なかった。一方、7月以降は降水量が多くなり、べと病の発生が目立った。また、醸造用品種を中心にサビ病の発生も見られた。害虫の発生は全般的に少なかった。

キ 作柄評価

生産量は、系統取り扱いの出荷販売実績から、前年比93%の数量となった。これは、収穫期直前の降雨による裂果が原因と考えられた

販売単価については前年比96%であり、概ね平年並みが維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1番草

5月上中旬の気温が低く、5月を通じて降水量が少なかったことから、1番草の生育はやや遅めに推移し、収量もやや不良であった。

イ 2番草

6月末、降水量が少ないことにより一部で生育不良が見られた。収穫まで生育不良が続いた地域と7月の降水量が多くなり、生育状況は平年並みに戻った地域もあり、収量は平年並みからやや不良となった。収穫期（7月）の多雨により、収穫作業が遅れた。

ウ 3番草

8月に、降水量が少ない地域で生育がやや遅れ気味となったが、その他地域では概ね平年並みに推移。草丈が十分に確保できず収量は平年より少なかった。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

播種作業は、一部消雪の遅れから1週間ほど遅れる地域もあったが、概ね平年と同等であった。播種時期に降水量が少なく、発芽の遅れや不揃いが目立つ地域も見られた。少雨等により一部発育不良が見られるものの、概ね平年並みの生育であった。

イ 収穫期

黄熟期到達は平年並からやや早く推移したものの、播種時期の少雨による発芽の遅れがその後の生育に影響した地域もあり、作況はやや不良～平年並みで推移。

ウ 局地的に生じた障害等

台風18号の影響により、奥州地域で一部収穫を断念するほどの倒伏が見られた。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

春先の降雨不足によりホダ木の過乾燥が続いたことや、発生時期に寒暖の差が激しかったことから、芽切ったものの傘の生長が進まず、小型のものが多く平年の7割程度の生産量となった。

(2) まつたけ

8～9月の降水量は、平年より多かったが、9月の発生期になっても気温が高めであったことから、地温の低下が進まず、発生に必要な温度刺激が得られなかったと考えられる。

8 水産物

(1) わかめ(平成 25 年産わかめ)

平成 24 年秋の高水温により種苗の巻込みが遅れたが、生産量は平成 24 年産を上回った。

(2) こんぶ

養殖施設の復旧により生産の再開が進んだが、震災前の水準に至っていない。加工施設の整備に合わせ、生産量が伸びていく見通しである。

(3) ほたてがい

養殖施設の復旧により生産の再開が進んだが、震災前の水準には至っていない。平成 24 年度に導入した種苗の出荷が平成 26 年度から開始される見込みとなっている。

(4) かき

養殖施設の復旧により生産の再開が進んだが、震災前の水準に至っていない。平成 24 年度に導入した種苗の出荷が平成 26 年度から本格化する見込みとなっている。

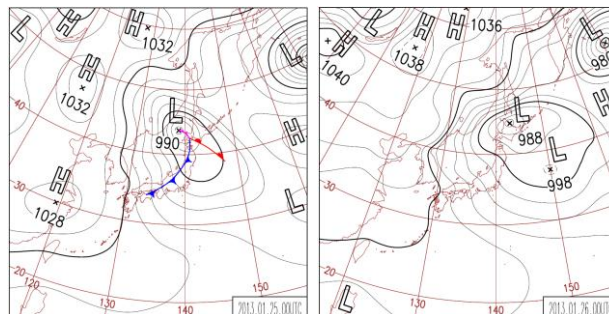
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 1月25～26日の大雪による災害

(1) 気象概況

25日は、北海道の西海上に停滞する低気圧からのびる寒冷前線が本州付近を通過した。その後、26日にかけて日本付近は冬型の気圧配置となり、岩手県の内陸の山沿いを中心に大雪となった。26日には、西和賀町湯田で217cmの積雪を観測し、1月の極値を更新した。

大雪により、西和賀町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図1月25日09時

地上天気図1月26日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（1月25～26日：花北地域）

地域	警報	注意報	府県気象情報
花北地域	大雪	大雪、風雪、なだれ、着雪、雷	

注) 市町村等をまとめた地域で記載

○西和賀町湯田の降雪量と最深積雪（1月25日～26日） 単位：cm

日	降雪量	最深積雪
25日	46	203
26日	21	217

注) 色塗りは1月の極値更新を表す。

○極値更新状況（1月：統計期間10年以上）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
月最深積雪	cm	湯田	1	217	1月26日	1980年～

(2) 被害状況

(単位：千円)

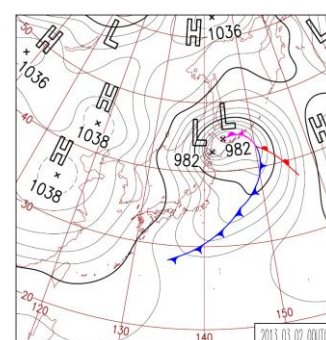
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	1,500	パイプハウス破損 1棟	西和賀町
計	1,500		

2 3月2日の暴風雪による災害

(1) 気象概況

日本海の低気圧が急速に発達しながら釧路沖から千島近海に進み、日本海北部に別の低気圧が発生した。北日本は冬型の気圧配置が強まり、岩手県では暴風雪となった。釜石や紫波など8地点で日最大風速の3月の極値（内5地点では通年の極値）を更新した。

暴風雪により、住家被害や停電、交通障害のほか、花巻市など9市町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図3月2日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（3月2日：岩手県）

地域	警報	注意報
盛岡地域	暴風雪	大雪、風雪、着雪、強風
二戸地域 遠野地域	—	風雪、強風
花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雪、風雪、強風、着雪
沿岸南部	—	風雪、強風
宮古地域	暴風雪	風雪、強風、着雪
久慈地域	暴風雪	風雪、強風

府県気象情報
「暴風雪と高波」に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第5号まで発表

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○官署等と日最大風速 15m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速（3月2日）

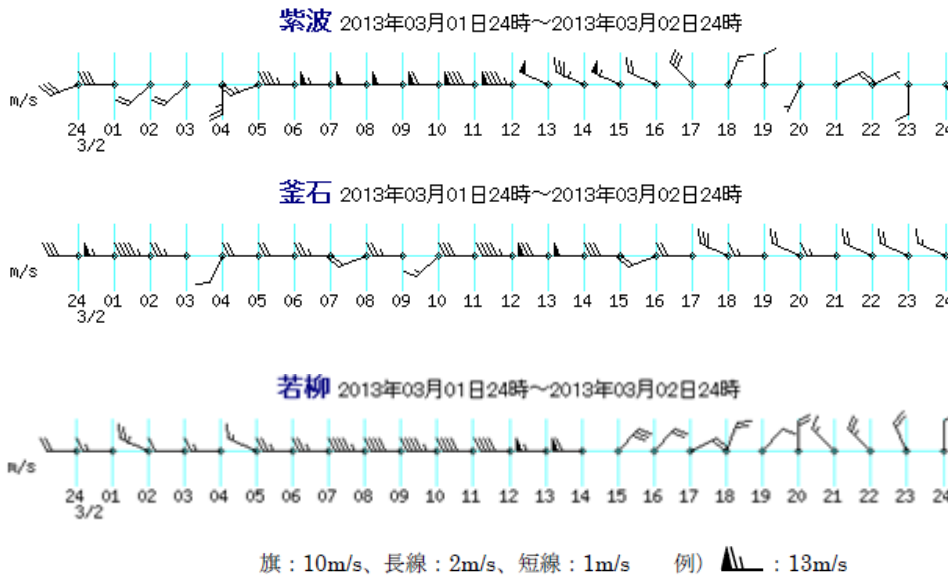
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分	
官署等	盛岡	西 11.2	10時57分	西南西 21.6	11時00分	紫波	西 18.3	12時20分	西 29.0	12時40分
	宮古	西南西 10.2	10時56分	西南西 29.1	12時20分	釜石	西 16.5	13時22分	西 30.7	13時41分
	大船渡	北西 12.2	01時50分	北西 23.6	14時43分	若柳	西 15.3	13時30分	西 24.1	13時22分

注1) 色塗りの黄色は3月の極値更新、橙色は通年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図（3月2日）



○日最大風速の極値更新（3月：統計期間10年以上）

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年	地点名	順位	値	起日	統計開始年
久慈	年1	西南西 14.3	3月2日	1977年	遠野	1	西北西 13.4	3月2日	1977年
奥中山	年1	西 12.2	3月2日	1978年	釜石	年1	西 16.5	3月2日	1977年
岩手松尾	年1	西北西 14.4	3月2日	1977年	若柳	年1	西 15.3	3月2日	1977年
紫波	1	西 18.3	3月2日	1977年	千厩	1	西北西 11.1	3月2日	1977年

注) 「年1」は通年の極値を表す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

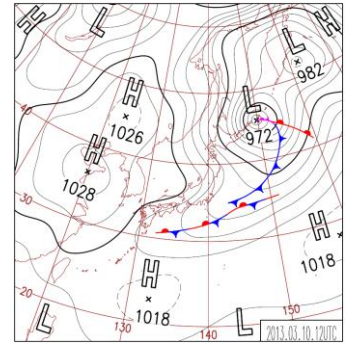
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	1,786	パイプハウス破損等 46 棟	花巻市、雫石町等 9 市町
計		1,786		

3 3月10日の暴風雪による災害

(1) 気象概況

急速に発達しながら北海道付近を東進する低気圧からのびる寒冷前線が、本州付近を通過した。その後、低気圧が千島近海に進み、北日本は冬型の気圧配置が強まり、岩手県では暴風雪となった。紫波や岩泉町小本など4地点で日最大風速の3月の極値（紫波では通年の極値）を更新した。

暴風雪により、人的被害や住家被害、停電、交通障害のほか、花巻市など12市町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 3月10日 21時

○関連する警報・注意報等の発表状況（3月10日：岩手県）

地域	警報	注意報
盛岡地域	暴風雪	風雪、強風、雷
花北地域	暴風雪	大雪、風雪、強風、雷
二戸地域	—	風雪、強風、雷
遠野地域 両磐地域		
奥州金ヶ崎地域	—	大雪、風雪、強風、雷
沿岸南部	暴風雪、	強風、雷
沿岸北部	暴風	

府県気象情報
「暴風雪と高波に関する岩手県気象情報」を第7号まで発表

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

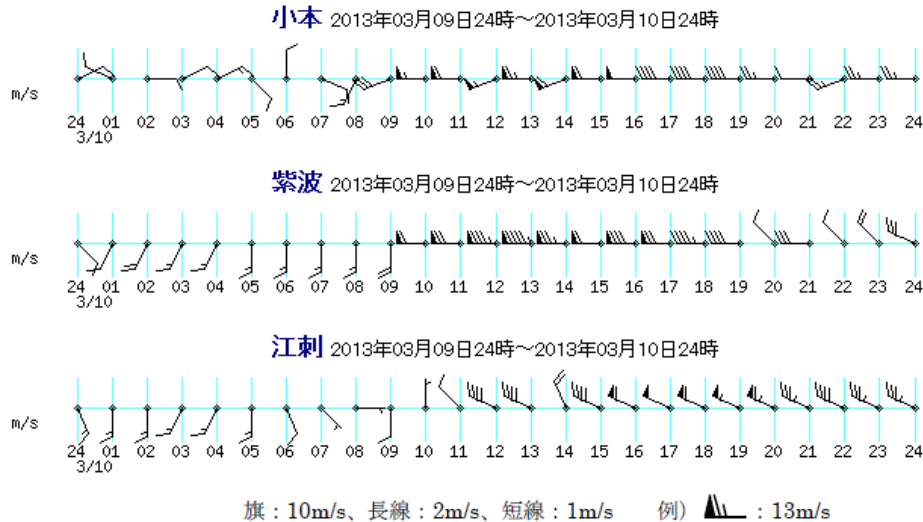
○官署等と最大風速 15m/s の地点の日最大風速と日最大瞬間風速 (3月10日)

単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速	
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分
官署等	盛岡	西北西 13.3 12時24分	西北西 24.6 11時59分	アメダス	紫波	西 20.7 12時32分	西 29.7 12時30分		
	宮古	西南西 11.2 16時17分	西 27.4 13時58分		小本	西 15.6 13時42分	西 28.4 12時48分		
	大船渡	北北西 10.3 23時30分	北北西 19.6 15時01分		江刺	西北西 15.2 17時41分	西北西 21.3 17時32分		

注1) 色塗りの黄色は3月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。



○日最大風速の極値更新 (3月: 統計期間10年以上)

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年
荒屋	1	南 11.3	3月10日	1977年
小本	1	西 15.6	3月10日	1978年
紫波	年1	西 20.7	3月10日	1977年
千厩	1	西 11.5	3月10日	1977年

注) 「年1」は通年の極値を表す。

(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	20,959	パイプハウス破損等 285 棟	花巻市、山田町等 12 市町
計	20,959		

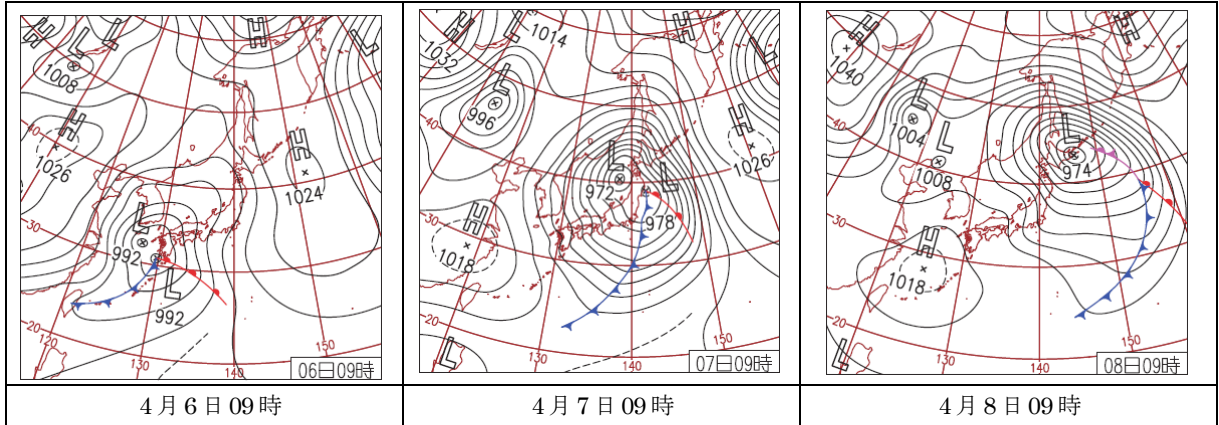
4 4月6日から8日の暴風雨災害

(1) 気象概況

6日から8日にかけて、日本海の低気圧と本州南岸の低気圧が共に発達しながら北東進し、北海道付近で一つにまとまり、北日本は一時的に強い冬型の気圧配置となった。このため、岩手県では暴風となり、海上は大しけとなった。

8日には、葛巻や久慈など4地点で観測開始以来の日最大風速の極値を更新(統計期間10年以上の地点)した。この強風で、飛散物による人的被害のほか、住家被害、停電、交通障害のほか農業施設被害など、また、沿岸では船舶被害が発生した。

○地上天気図



○関連する警報・注意報等の発表状況（4月6日～8日：岩手県）

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域	—	強風、融雪、濃霧、雷、なだれ	久慈地域	暴風、波浪	強風、濃霧、雷、波浪
二戸地域	—	強風、濃霧、雷	宮古地域	暴風、波浪	強風、濃霧、大雨、雷、洪水、高潮、波浪
花北地域	—	強風、融雪、濃霧、雷、洪水、なだれ			
遠野地域	—	強風、濃霧、大雨、雷、洪水	釜石地域	暴風、波浪	強風、濃霧、大雨、雷、洪水、高潮、波浪
奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	強風、融雪、濃霧、大雨、雷、洪水、なだれ	大船渡地域	大雨、洪水	

注) 市町村をまとめた地域で記載

府県気象情報
「発達する低気圧に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第7号まで発表


○官署等と最大風速 15m/s の地点の日最大風速と日最大瞬間風速（4月8日）

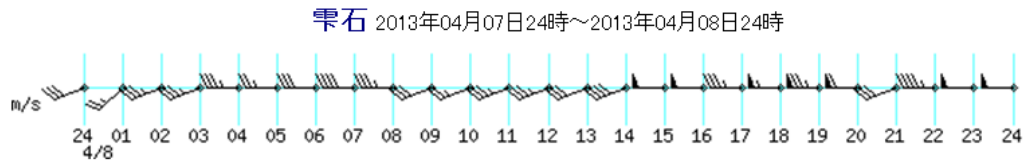
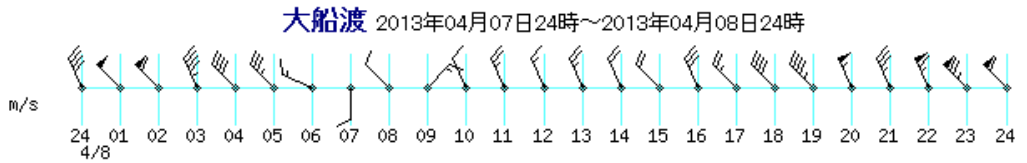
地点名	日最大風速		日最大瞬間風速	
	風向/風速(m/s)	時分	風向/風速(m/s)	時分
官署等	盛岡	西南西 8.0 16時02分	南南西 17.0 09時31分	
	宮古	西南西 8.2 11時44分	南西 18.3 08時39分	
	大船渡	北西 16.2 22時37分	西北西 29.0 02時16分	
アメダス	雫石	西 15.6 19時23分	西 28.4 19時35分	
	住田	西北西 15.1 20時53分	西北西 24.1 20時48分	
	葛巻	南南西 15.0 14時59分	南西 29.6 14時52分	
	遠野	西北西 15.0 20時45分	西北西 24.0 20時38分	

注1) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。
 注2) 塗潰しの黄色は4月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図（4月7日24時～8日24時）

県内で最大風速を観測した大船渡と強風害が発生した盛岡地域（雫石）の観測値

風速の凡例 旗：10m/s、長線：2m/s、短線：1m/s 例)  : 13m/s



○極値更新状況（4月：統計期間10年以上の要素を記載）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
月降水量の多い方から	mm	大槌	1	163.5	2013年4月	2001年
日最大風向・風速	m/s	大船渡	1	北西 162	2013年4月8日	1964年
		久慈	年1	西南西 14.8	2013年4月8日	1977年
		葛巻	年1	南南西 15.0	2013年4月8日	1977年
		区界	1	南東 12.9	2013年4月6日	1994年
		遠野	年1	西北西 15.0	2013年4月8日	1977年
			2	西北西 11.2	2013年4月7日	
住田	年1	西北西 15.1	2013年4月8日	1978年		

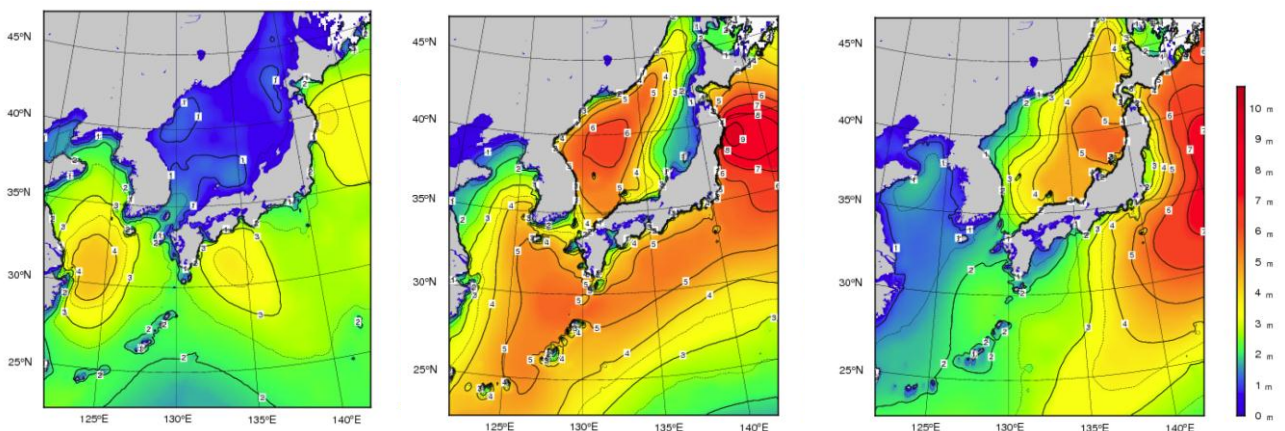
注) 「年1」は通年の極値更新を表す。

○ 沿岸波浪図

6日09時

7日09時

8日09時



【図の説明】

- 波の高さを等波高線で示しています。等波高線は、1メートルごとの実線と0.5メートルごとの破線(4メートル未満の領域のみ)を表示しています。
- 波の高さは「**有義波高**」で示しています。

(2) 被害状況

(単位：千円)

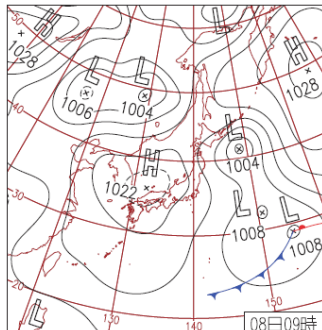
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	53	ほうれんそう 0.03ha	洋野町
	農業施設	18,444	パイプハウス破損等 140 棟	雫石町、洋野町等 20 市町村
林 業	林業施設	17,900	林道法面崩壊、治山施設破損等 10 箇所	奥州市、住田町、大槌町
水産業	水産施設	10,420	作業保管施設破損等 5 箇所	釜石市、大船渡市、洋野町
	漁船	17,730	漁船転覆等 15 隻	大船渡市、陸前高田市等 4 市町
	養殖施設	8,100	養殖施設の破損 23 台	大船渡市、釜石市
	水産物	77,802	養殖物の落下等 258 トン	大船渡市、釜石市、陸前高田市
漁 港	漁港施設	93,880	防波堤の破損等 33 箇所	大船渡市、宮古市等 5 市町
計		244,329		

5 5月8日の低温被害

(1) 気象概況

8日は、日本海に中心を持つ高気圧に覆われ本県でも晴れとなり、上空の寒気と放射冷却により気温が下がったため、日最低気温は紫波と花巻の2地点で低い方からの5月の極値を更新するなど、内陸や沿岸北部で氷点下を観測した所が多く（それぞれ統計期間 10 年以上の地点）、八幡平市及び滝沢村などで野菜、果樹に被害が発生した。

○地上天気図 5月8日 09時



○関連する警報・注意報等の発表状況 (5月7~8日：花北地域)

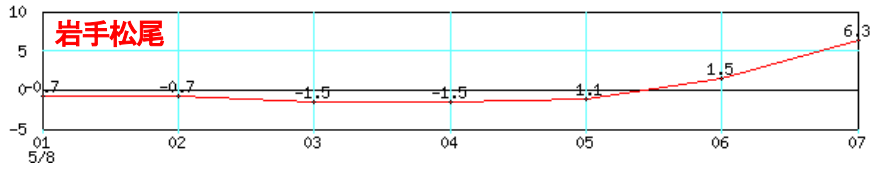
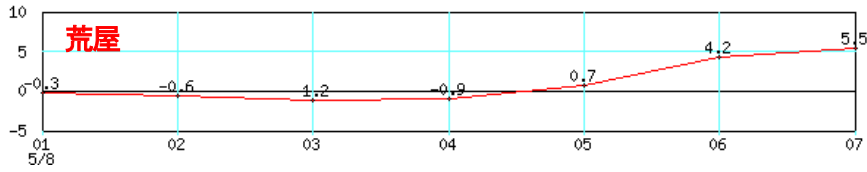
地 域	警 報	注意報
花北地域	—	霜、強風、濃霧、なだれ

注)市町村等をまとめた地域で記載

○極値更新状況 (統計期間 10 年以上)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日最低気温の低い方から	℃	紫波	1	-0.7	2013年5月8日	1977年	日最高気温の低い方から	℃	葛巻	1	2.6	2013年5月7日	1977年
		花巻	1	-0.6	2013年5月8日	2003年			岩手松尾	1	6.9	2013年5月7日	1977年
日最高気温の低い方から	℃	軽米	1	4.9	2013年5月7日	1977年			好摩	1	6.8	2013年5月7日	1977年
		二戸	1	5.2	2013年5月7日	1977年			岩泉	1	5.9	2013年5月7日	1977年
		山形	1	3.9	2013年5月7日	1978年			藪川	1	2.8	2013年5月7日	1977年
		荒屋	1	4.9	2013年5月7日	1977年			区界	1	3.1	2013年5月7日	1994年
		奥中山	1	2.5	2013年5月7日	1978年			花巻	1	9.4	2013年5月7日	2003年

○主な地点の気温時系列図 (八幡平市の5月8日：01時~07時)



(2) 被害状況

(単位：千円)

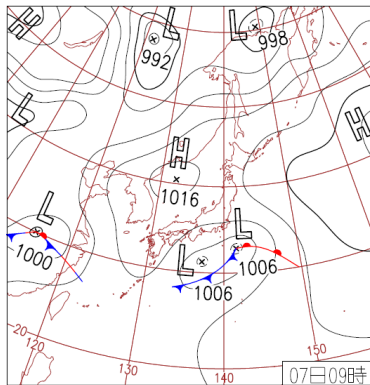
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	925	おとう等 3.4ha	一戸町、八幡平市、滝沢市
計				

6 6月7日の降雹被害

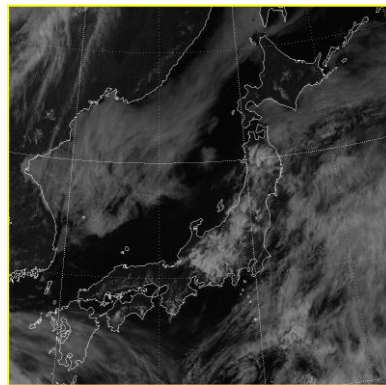
(1) 気象概況

7日は、寒気を伴った気圧の谷が東北地方上空を通過した影響により大気の状態が不安定となり、局地的な雷雨や降雹があり、八幡平市で花き等に被害が発生した。

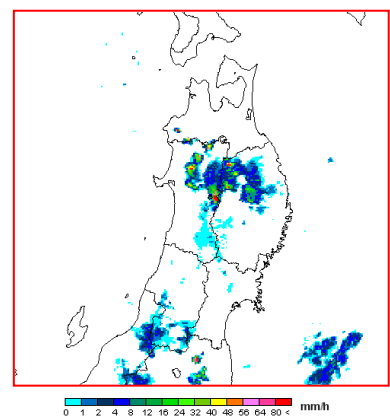
○地上天気図、気象衛星写真、レーダー画像



地上天気図 7日09時



気象衛星可視画像 7日14時30分



レーダー画像 7日14時30分

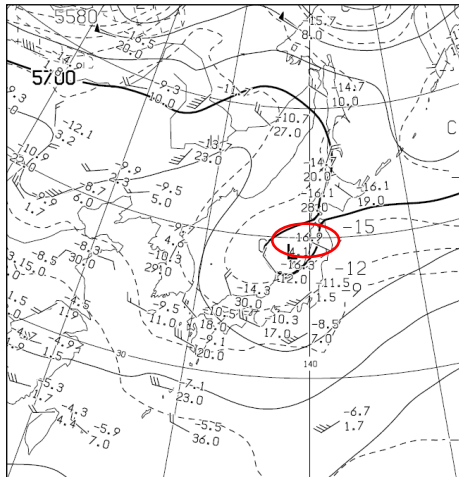
○関連する警報・注意報等の発表状況（6月7日：岩手県）

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	雷、大雨、洪水、濃霧
二戸地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域 沿岸北部	—	雷、大雨、洪水、濃霧
遠野地域 花北地域 沿岸南部	—	雷、濃霧

府県気象情報

「雷と突風及び降雹に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第3号まで発表

○高層天気図（6月7日）



秋田上空約5500mの気温（℃）

観測日時	観測値	平年差
6月7日	-16.8	-3.1

500hPa 高層天気図 6月7日 09時
(上空約5500m)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物	499	りんどう 2.5ha	八幡平市
計	499		

7 6月14日の少雨高温被害

(1) 気象概況

5月下旬から、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、平均気温はかなり高かった。降水量はかなり少ない所があった。日照時間は平年並からかなり多かった。特に6月上旬は、県内アメダス観測地点全体の70%以上の地点で降水量0.0mmを記録した。

月降水量は大船渡など13地点で少ない方からの6月の極値を更新し、記録的な少雨となった。月間日照時間は盛岡市好摩など4地点で多い方からの6月の極値を更新し(それぞれ統計期間10年以上の地点)、八幡平市、滝沢村では、水稻の作付け不能や、野菜のしおれ等の被害が発生した。

○旬別の気温、降水量、日照時間（盛岡：5月中旬から、6月中旬）

<官署：盛岡地方気象台>

種別	5月下旬			6月上旬			6月中旬		
	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分
平均気温(°C)	17.2	+1.9	かなり高い	19.5	+2.3	かなり高い	21.6	+3.1	かなり高い
降水量(mm)	13.0	40	少ない	0.0	0	かなり少ない	44.0	115	平年並
日照時間(h)	71.3	105	平年並	102.0	170	かなり多い	44.6	86	平年並

<単位：気温=°C、降水量=mm、日照時間=h、平年差（比）=°C（%）> 平年値：1981～2010年の平均値

○極値更新（6月：統計期間10年以上の観測所）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年	
月降水量の少ない方から	mm	大船渡	1	45.5	2013年6月	1964年	月降水量の少ない方から	mm	大槌	1	34.5	2013年6月	2001年	
		久慈	1	30.5	2013年6月	1976年			北上	1	45.0	2013年6月	1977年	
		下戸鎖	1	26.5	2013年6月	1979年			釜石	1	46.0	2013年6月	1976年	
		普代	1	33.0	2013年6月	1977年			住田	1	46.0	2013年6月	1978年	
	月間日照時間の多い方から	h	岩手松尾	1	20.0	2013年6月	1976年	月間日照時間の多い方から	h	好摩	1	216.2	2013年6月	1988年
			好摩	1	21.5	2013年6月	1976年			大迫	1	192.1	2013年6月	1988年
			葛根田	1	49.0	2013年6月	1978年			若柳	1	185.4	2013年6月	1987年
			川井	1	35.0	2013年6月	1978年			江刺	1	193.4	2013年6月	1986年
			大迫	1	44.5	2013年6月	1976年			遠野	1	西 6.9	2013年6月22日	1977年
			日最大風向・風速	m/s	遠野	1	西 6.9			2013年6月22日	1977年			

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	28,924	水稲、野菜 59.9ha	一関市、平泉町等 7 市町
計				

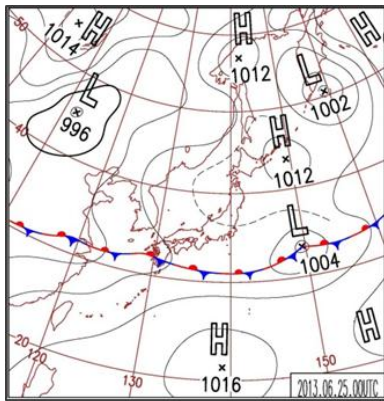
8 6月25日の降雹災害

(1) 気象概況

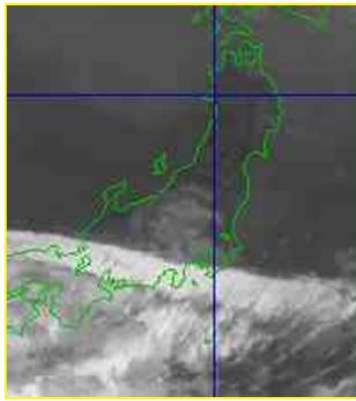
6月25日、北日本は千島近海の高気圧に覆われたため晴れて気温が上昇した。一方、岩手県北部の上空を、寒気を伴った気圧の谷が通過した。このため岩手県の北部では大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、県の北部を中心に局地的に雷を伴った激しい雨が降った。葛巻町では、日最大1時間降水量23.0mm、八幡平市荒屋では21.5mmを観測した。

この発達した積乱雲から、一戸町ではひょうが降り、農作物（野菜）に被害が発生した。

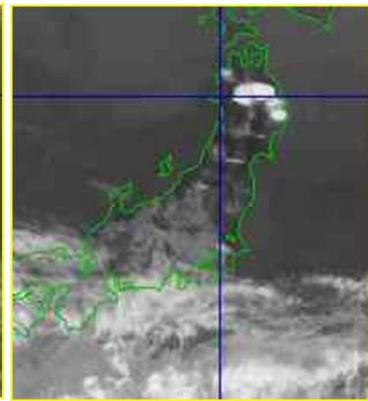
○地上天気図、気象衛星赤外画像（6月25日）



地上天気図 6月25日09時

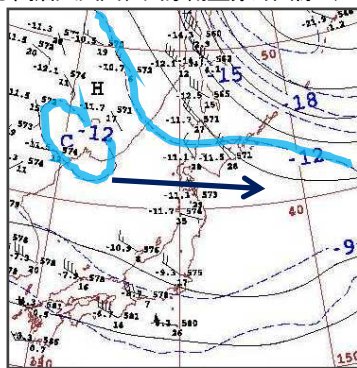


気象衛星赤外画像 6月25日09時



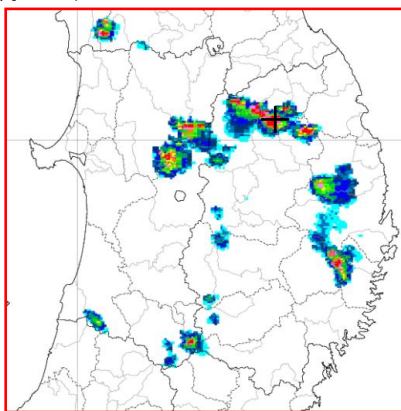
気象衛星赤外画像 6月25日15時

○高層天気図、気象衛星赤外画像（6月25日）

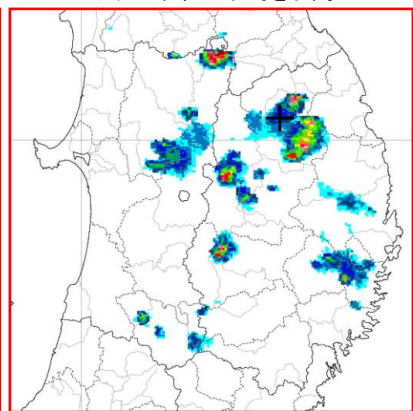


500hPa 高層天気図 6月25日09時

(上空約5500m)



レーダー画像6月25日14時00分



レーダー画像6月25日15時00分

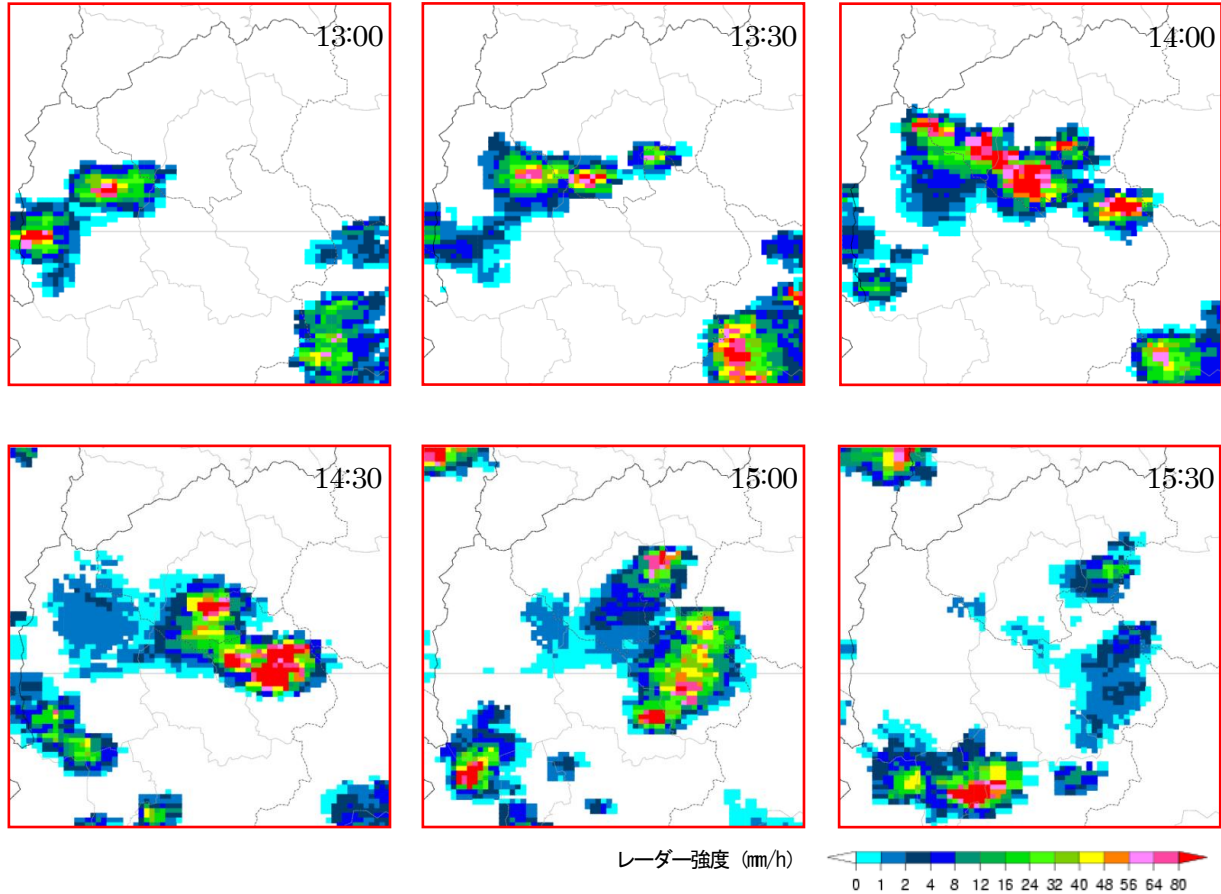
注) 十印は一戸町を示す。

○関連する警報・注意報等の発表状況（6月25日：岩手県）

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
一戸町 葛巻町 岩泉町 釜石市	大雨・洪水	大雨・洪水・雷	宮古市 山田町 大槌町 大船渡市 陸前高田市	—	大雨・洪水・雷 高潮・濃霧
内陸 (葛巻町と一戸町を除く) 住田町	—	大雨・洪水・雷	久慈地域 田野畑村	—	大雨・洪水・雷 濃霧

気象情報
「岩手県竜巻注意情報」を第3号まで発表
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を2回発表

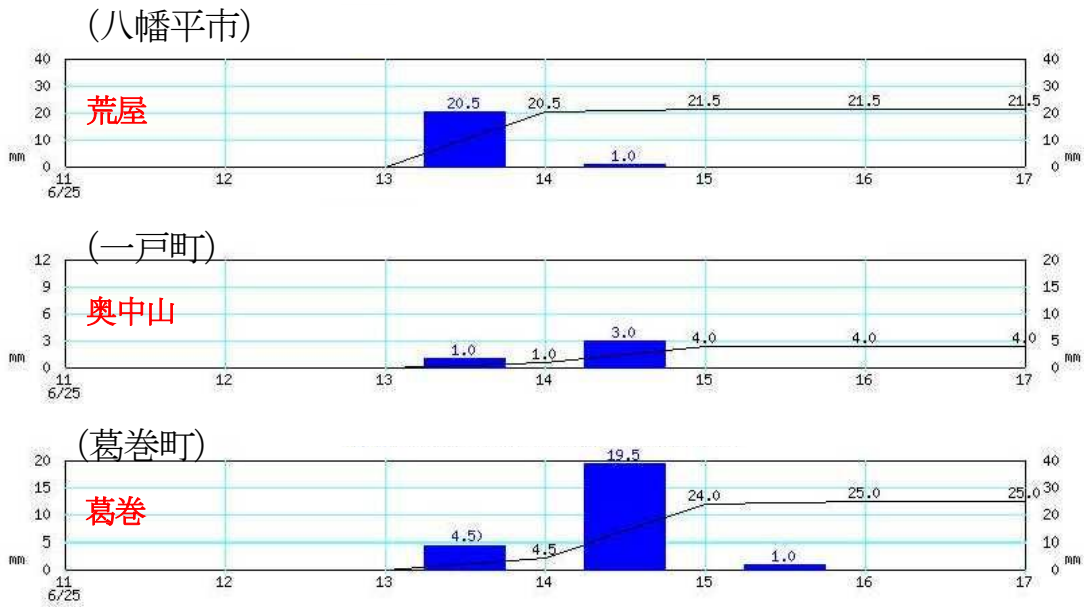
○気象レーダー画像 (6月25日 : 13時00分~15時30分)



○主な地点の降水量 (6月25日 : 単位 mm)

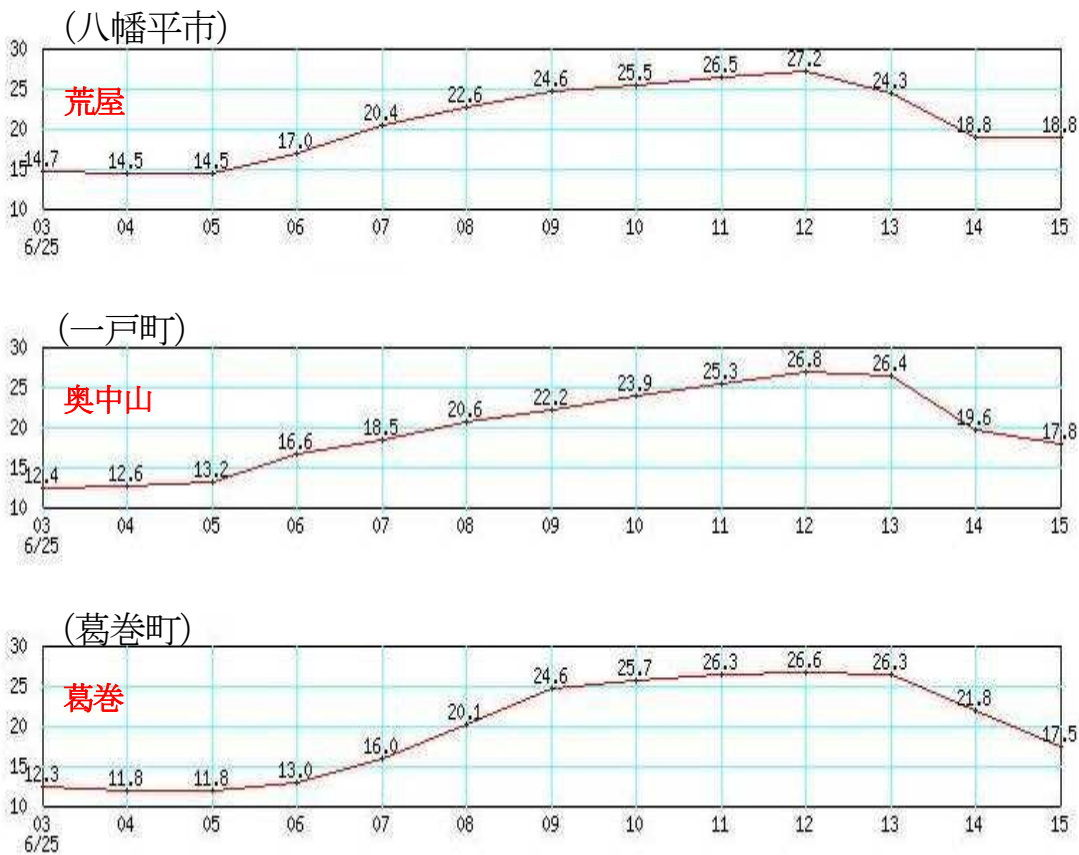
観測所名	日降水量		日最大1時間降水量			統計期間
	順位	値	順位	値	起時	
荒屋	—	21.5	2	21.5	14時17分	1977年
奥中山	—	4.0	—	4.0	14時53分	1978年
葛巻	—	25.5	2	23.0	14時55分	1976年

○主な地点の降水量時系列 (6月25日 11時~17時 : 単位 mm)



注1) 1時間降水量：棒グラフ、降水量積算値：折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○主な地点の気温時系列 (6月25日 3時~15時 : 単位 °C)



注) 毎正時の気温：折れ線グラフ

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	20,286	レタス、はくさい8.2ha	一戸町
計		20,286		

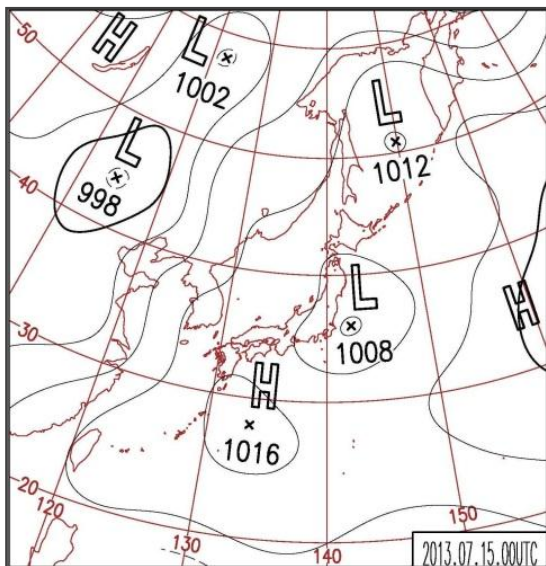
9 7月15日の大雨による災害

(1) 気象概況

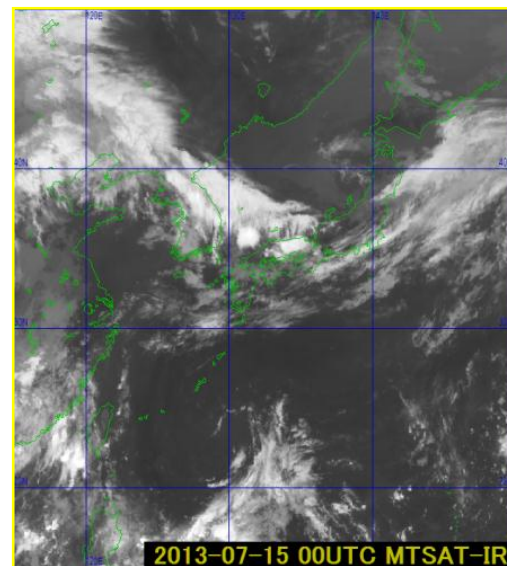
15日は、低気圧が日本の東を東北東に進んだため、東北地方には暖かく湿った空気が流入した。16日、日本付近は気圧の尾根に覆われ、日本の南にある高気圧縁辺を回る、暖かく湿った空気が流入し気温が上昇した。一方、15日から16日にかけて寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したことにより不安定な状態となった。このため、岩手県では局地的に激しい雨が降った。

この大雨により、宮古市区界では15日に日最大1時間降水量86.5mmを観測し通年の極値を更新した。北上市では土砂災害等により農業施設等に被害が発生した。

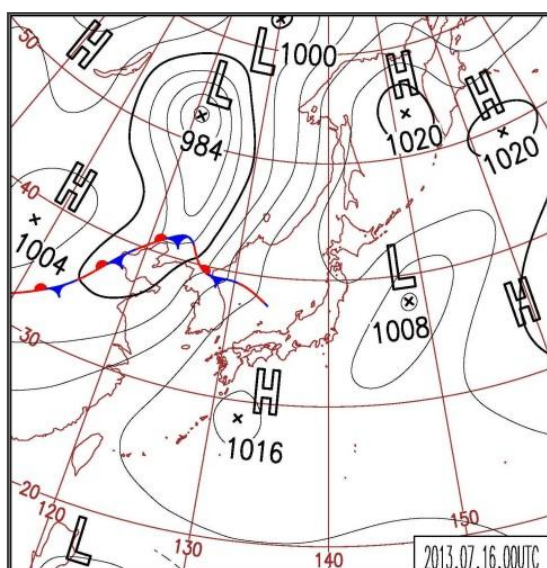
○地上天気図、気象衛星赤外面像（7月15日～16日）



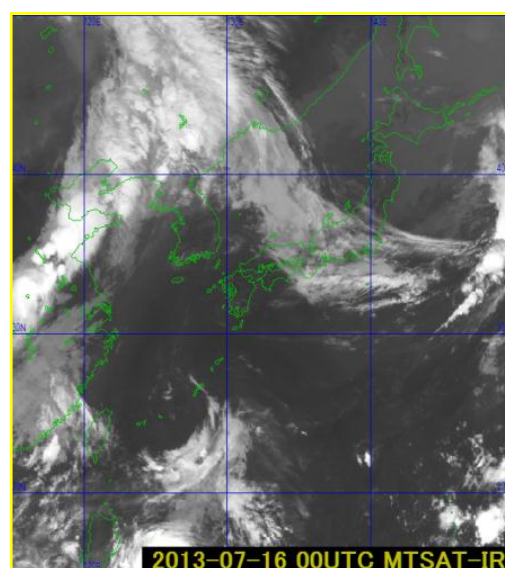
地上天気図 7月15日09時



気象衛星赤外面像 7月15日09時



地上天気図 7月16日09時



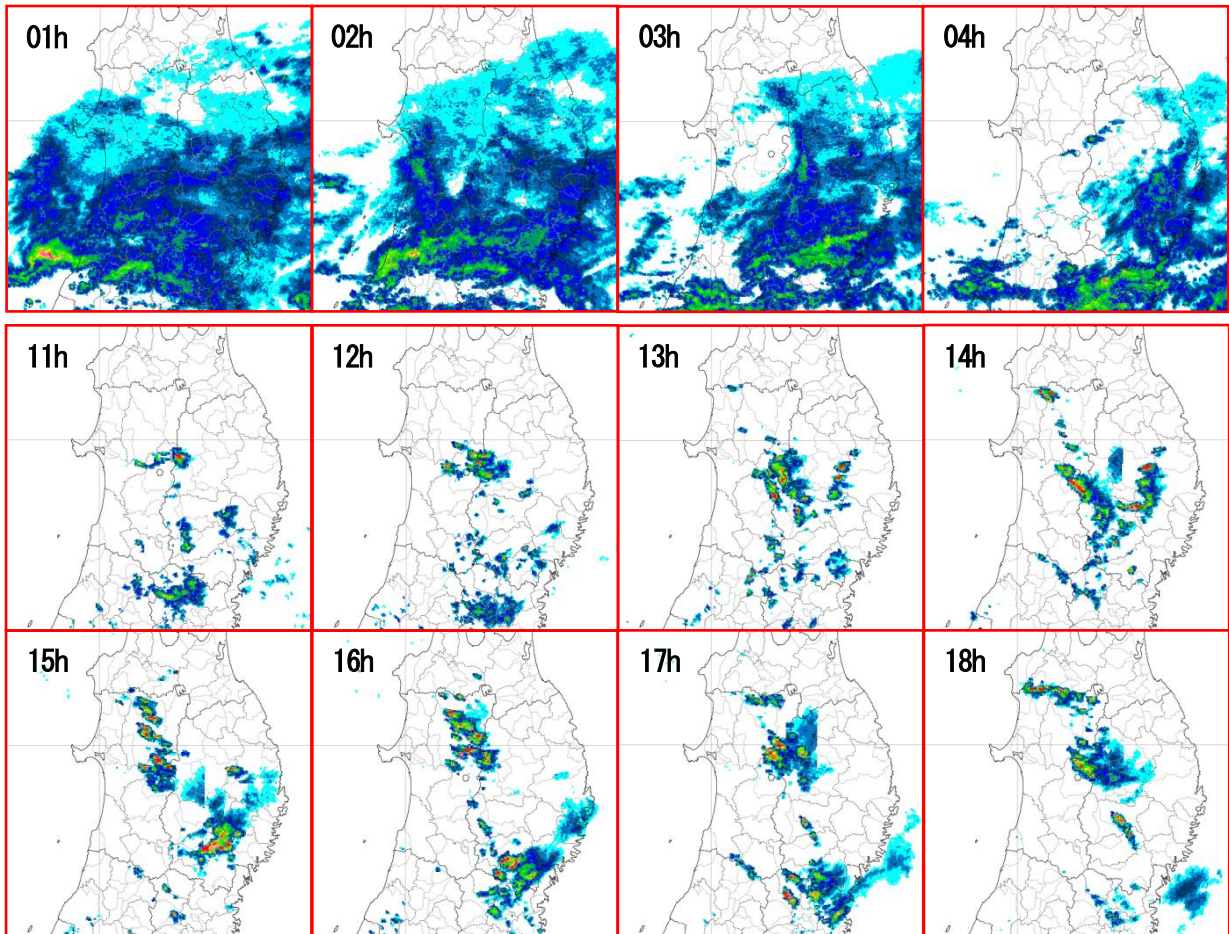
気象衛星赤外面像 7月16日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況 (7月15日：岩手県)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡市、雫石町	大雨、洪水	大雨、洪水、雷、濃霧	葛巻町、岩手町	—	大雨、洪水、雷、濃霧
花北地域			滝沢村、紫波町		
遠野地域			矢巾町		
宮古市、岩泉町			釜石地域		
奥州市			田野畑村、山田町		
大船渡市			金ヶ崎町		
陸前高田市			住田町		
一関市			平泉町		
八幡平市	大雨	大雨、洪水、雷、濃霧	二戸地域	—	大雨、雷、濃霧
			久慈地域		

気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第3号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を7回発表

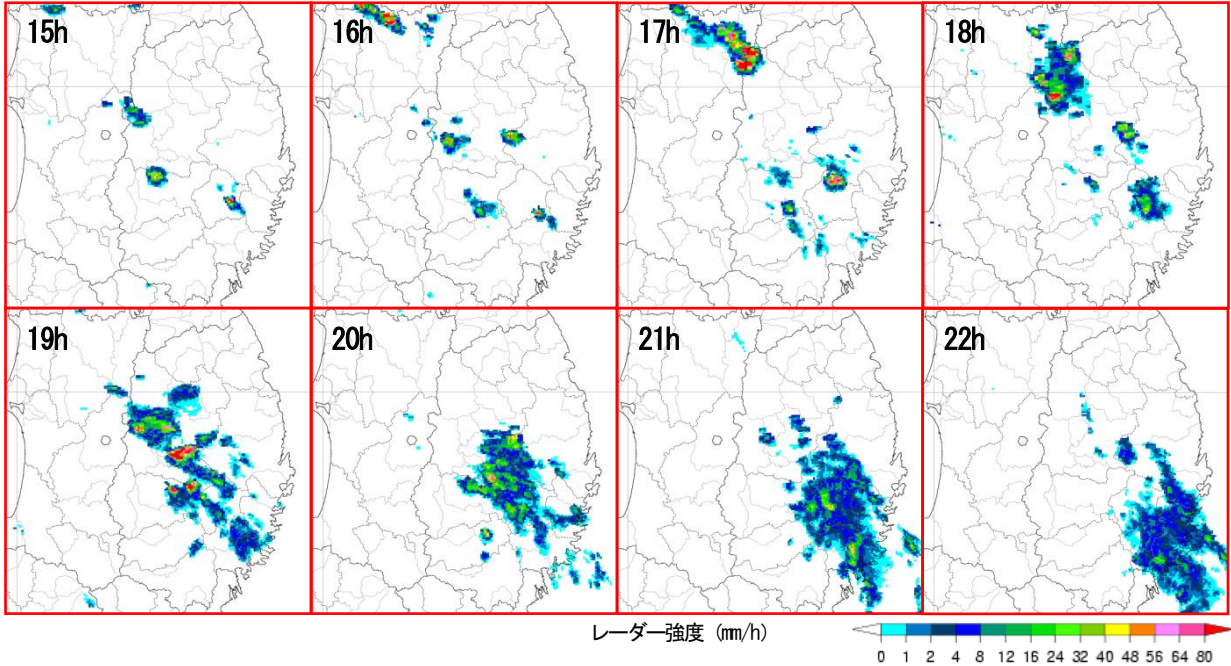
○気象レーダー画像 (7月15日 01h~04h・11h~18h)



レーダー強度 (mm/h)



○気象レーダー画像 (7月16日 15h~22h)

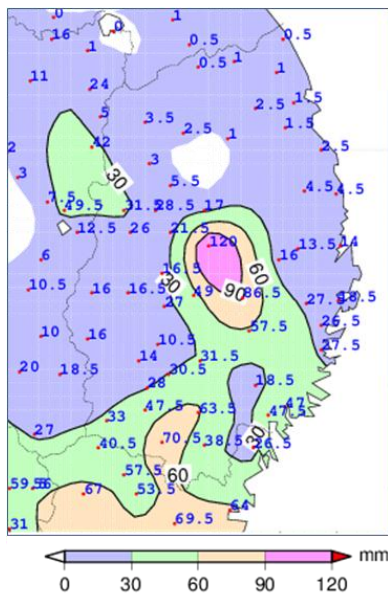


○主な地点の降水量 (7月15~16日 単位: mm)

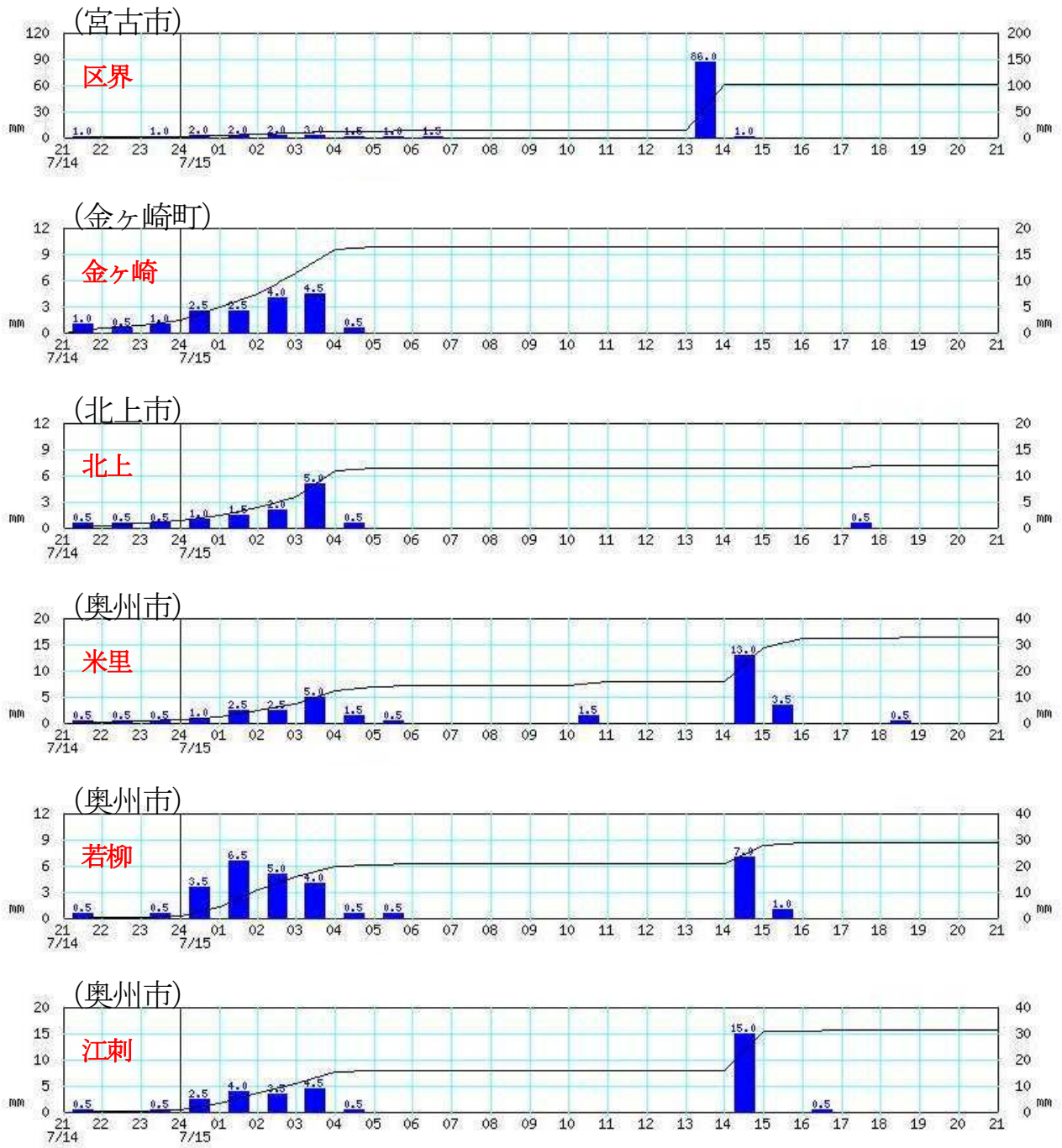
地点名	15日			地点名	16日		
	日降水量	1時間最大降水量			日降水量	1時間最大降水量	
		値 (mm)	起時			値 (mm)	起時
区界	105.5	86.5	14時13分	大迫	32.5	31.0	20時39分
衣川	47.5	18.0	16時43分	附馬牛	66.0	43.5	17時58分
大東	63.5	31.0	03時17分	遠野	37.0	21.5	21時18分
陸前高田	44.5	25.0	03時45分	滝沢	20.5	19.0	19時22分
一関	70.5	26.0	03時10分	区界	14.5	12.5	20時24分

注) 塗りつぶし橙色は年の極値更新

○主な地点の降水量分布図 (7月15日00時分~16日24時00分 単位: mm)

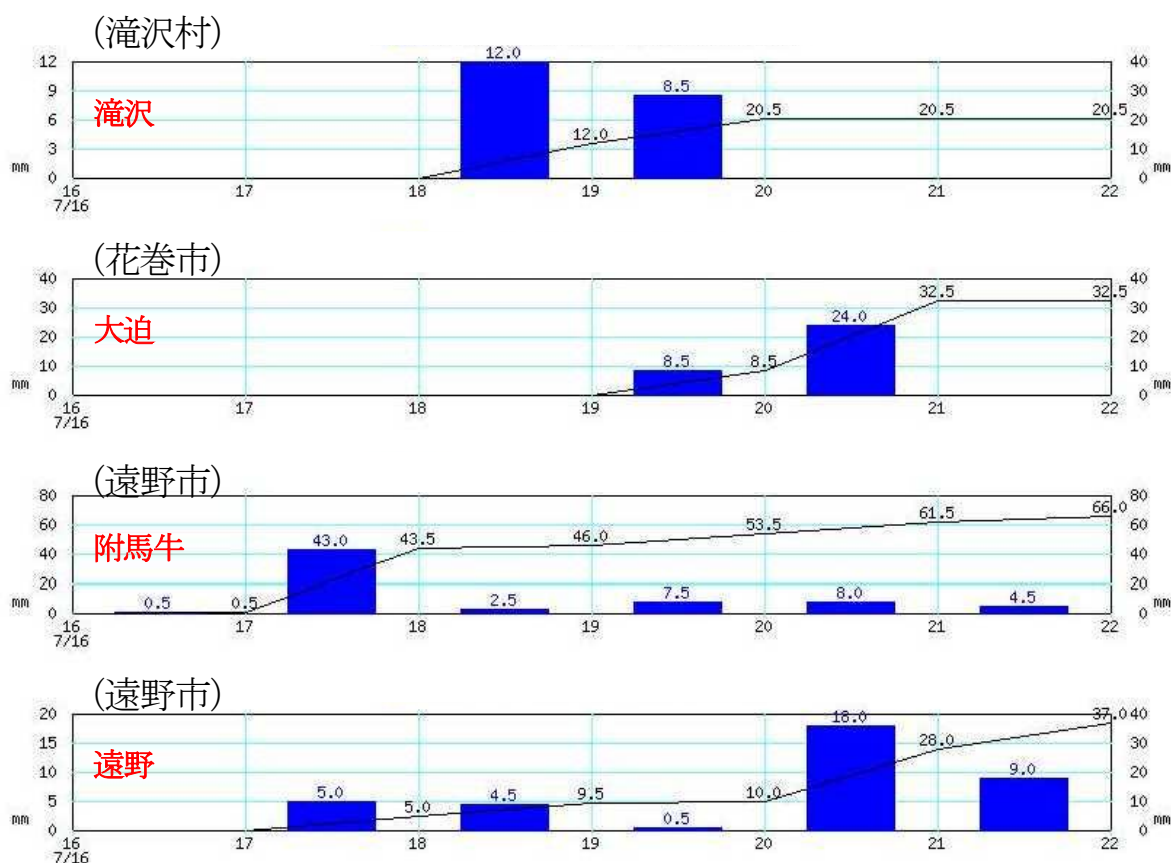


○主な地点の降水量時系列図（7月14日21時～15日21時：単位 mm）



注1) 1時間降水量：棒グラフ、降水量積算値：折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○主な地点の降水量時系列図 (7月16日16時~22時 : 単位 mm)



注1) 1時間降水量: 棒グラフ、降水量積算値: 折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○極値更新 (7月15日、16日 : 単位 mm)

地点名	要素名	順位	値	起日	統計期間
区界	日降水量	2	105.5	2013年7月15日	1994年
附馬牛		1	66.0	2013年7月16日	2006年
大東		2	63.5	2013年7月15日	2006年
陸前高田		4	44.5	2013年7月15日	2011年
区界	日最大1時間降水量	年1	86.5	2013年7月15日	1994年
大迫		2	31.0	2013年7月16日	1976年
附馬牛		1	43.5	2013年7月16日	2006年
小鍬		5	8.5	2013年7月16日	2011年
大東		4	31.0	2013年7月15日	2006年
陸前高田		3	25.0	2013年7月15日	2011年

注) 「年1」は7月の極値更新、「1」は統計期間10年の未満の極値更新

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	25,170	だいこん、しそ等 18.1ha	宮古市
	農地・農業用施設	42,000	農地の法面崩壊 39 箇所、水路への土砂流入、道路の法面崩壊等 42 箇所	一関市、奥州市、宮古市
計		67,170		

10 7月26～28日の大雨による災害

(1) 気象概況

26日から28日にかけて、上空約5500mに氷点下6℃以下の寒気を伴った気圧の谷が日本海をゆっくり東進し、28日に東北地方を通過した。日本海の低気圧に向って暖かく湿った空気が流れ込み、東北地方は大気が不安定な状態が続いた。

このため岩手県では、非常に激しい雨が降り、3日間の総降水量は住田で239.0mmを観測するなど、県の南部を中心に150mmを超える大雨となった。26日の日最大1時降水量は釜石と住田で通年の極値を、26日の日降水量は住田で7月の極値をそれぞれ更新した。

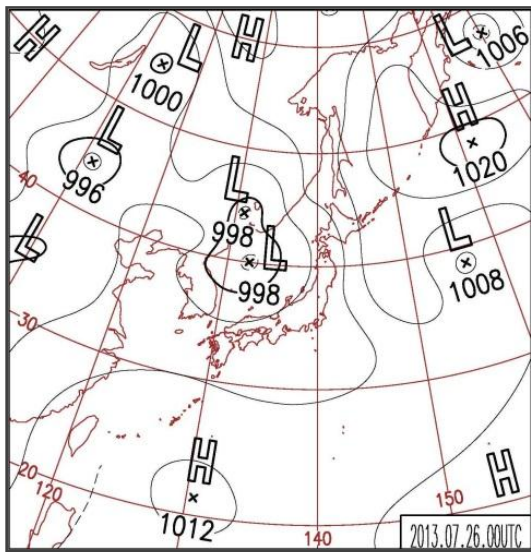
この大雨により、県の南部を中心に住家の床上浸水やがけ崩れなどの土砂災害等のほか、農地の冠水、農林水産業施設等に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況 (7月26～28日：岩手県)

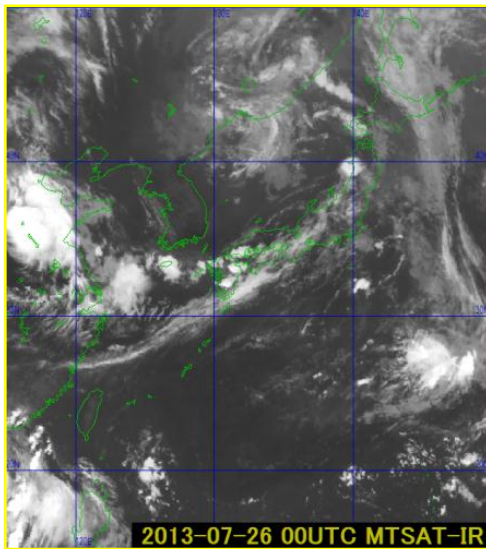
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域 花北地域 遠野地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	大雨、洪水	大雨、洪水、雷 濃霧	宮古地域 沿岸南部	大雨、洪水	大雨、洪水、強風、雷 高潮、濃霧
九戸村	大雨	大雨、洪水、雷 濃霧	久慈市	大雨	大雨、洪水、強風、雷 濃霧
二戸市、軽米町 一戸町	—	大雨、洪水、雷 濃霧	普代村、野田村 洋野町	—	大雨、洪水、強風、雷 濃霧

気象情報
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」及び引継ぐ情報を第7号まで発表
「竜巻注意情報」を2回発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を18回発表
「北上川上流洪水予報」を7回発表

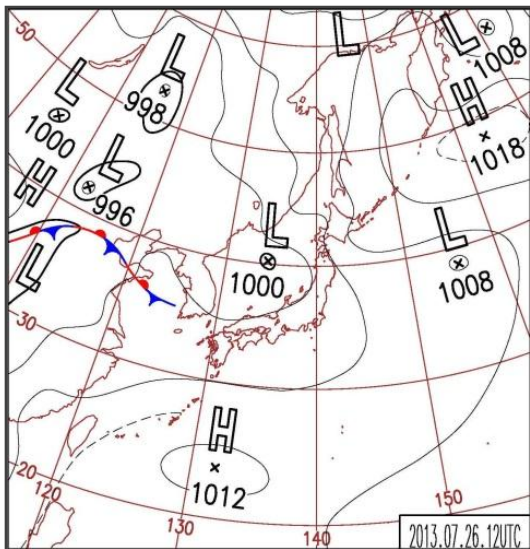
○地上天気図、気象衛星赤外画像（7月26日～27日）



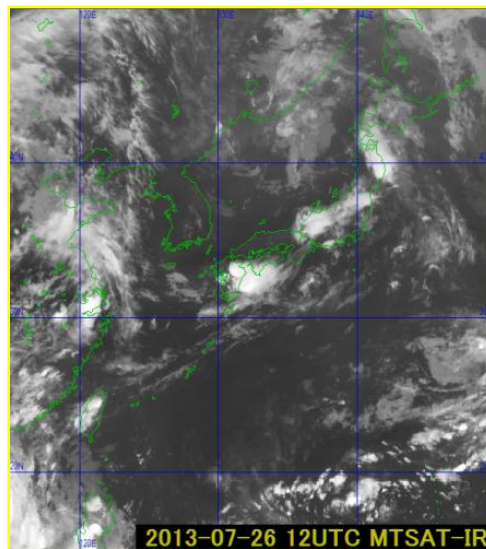
地上天気図 7月26日09時



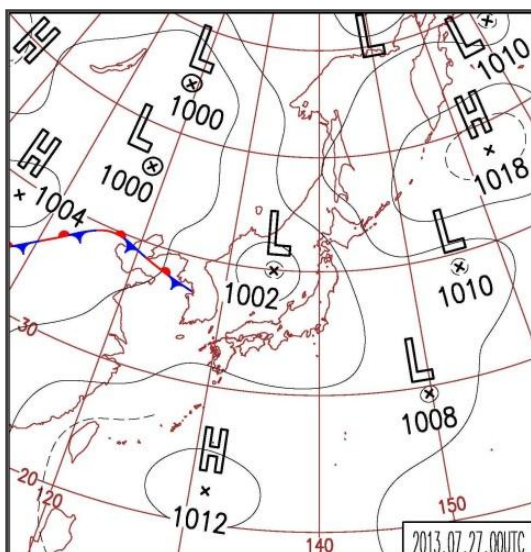
気象衛星赤外画像 7月26日09時



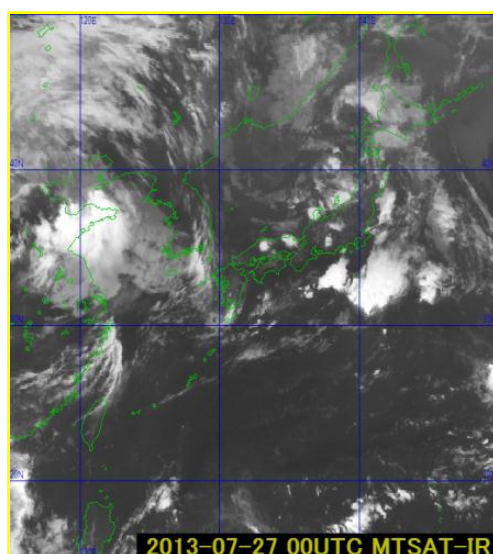
地上天気図 7月26日21時



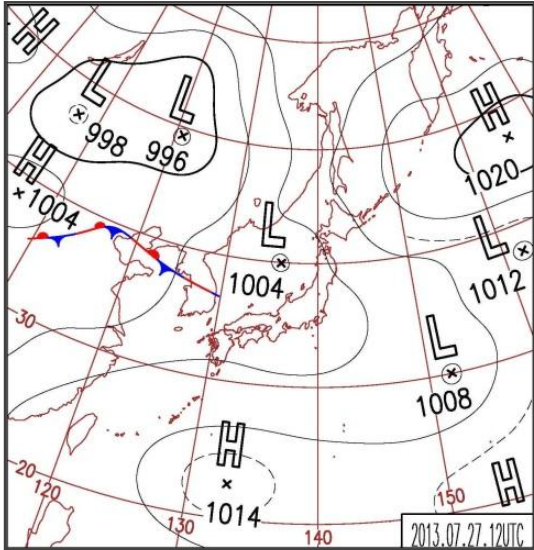
気象衛星赤外画像 7月26日21時



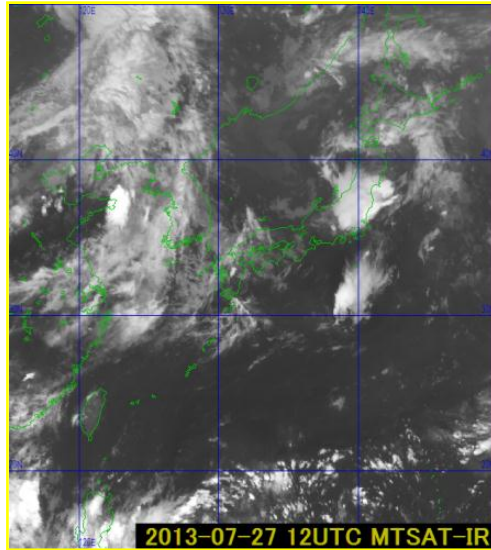
地上天気図 7月27日09時



気象衛星赤外画像 7月27日09時



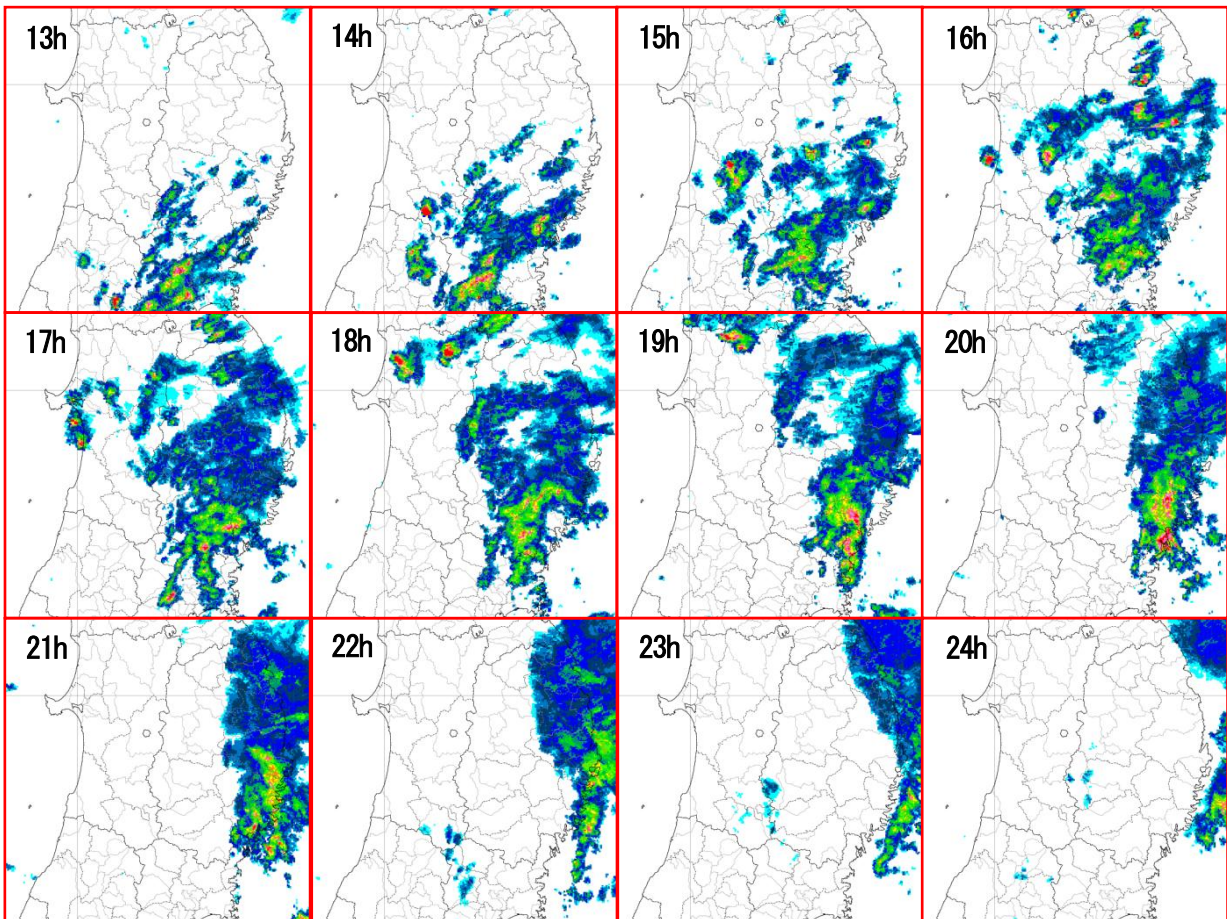
地上天気図 7月27日21時



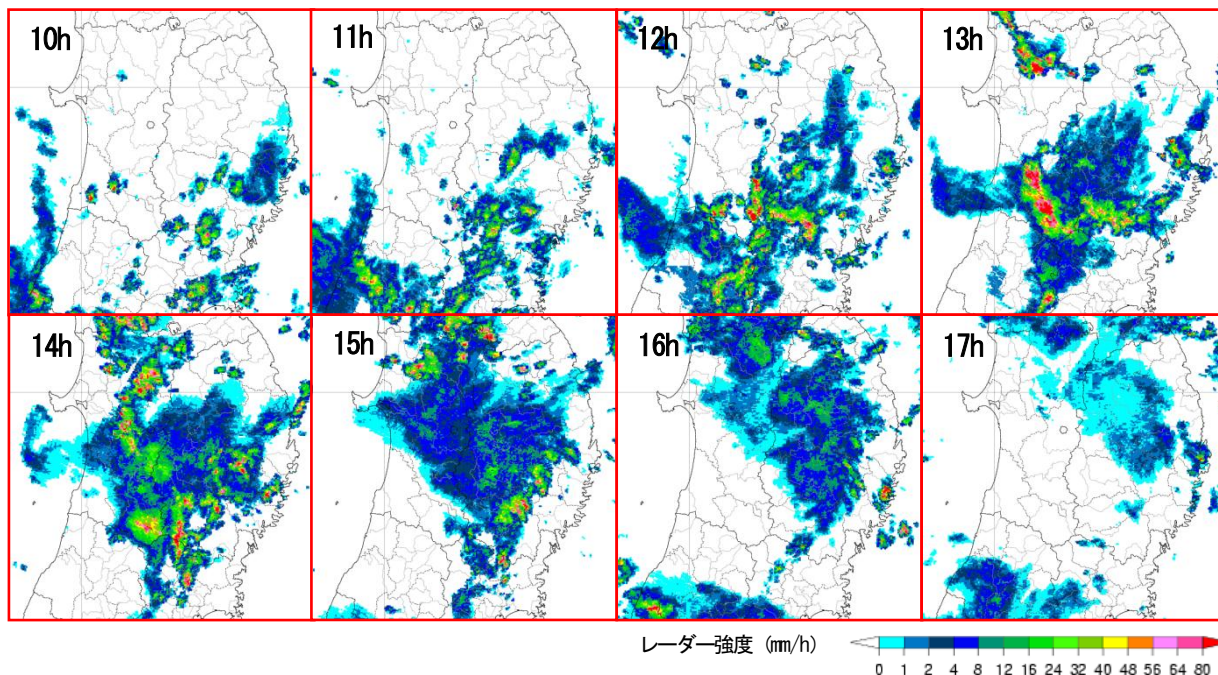
気象衛星赤外画像 7月27日21時

○気象レーダー画像

(7月26日 13h~24h)



(7月27日 10h~17h)

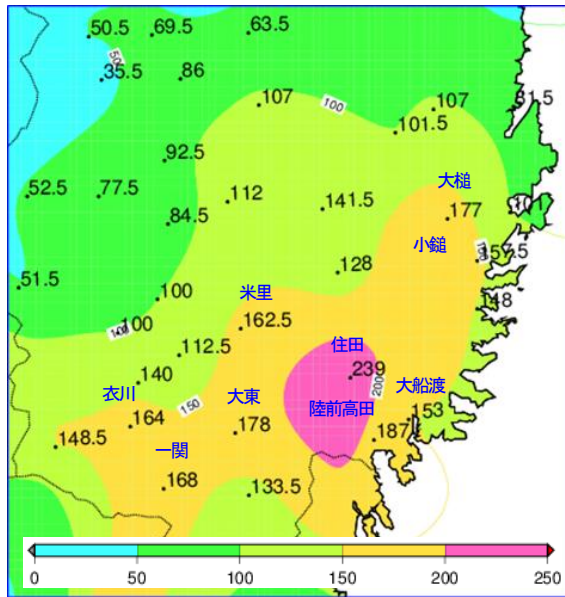


○主な地点の降水量 (7月26日~28日 単位: mm)

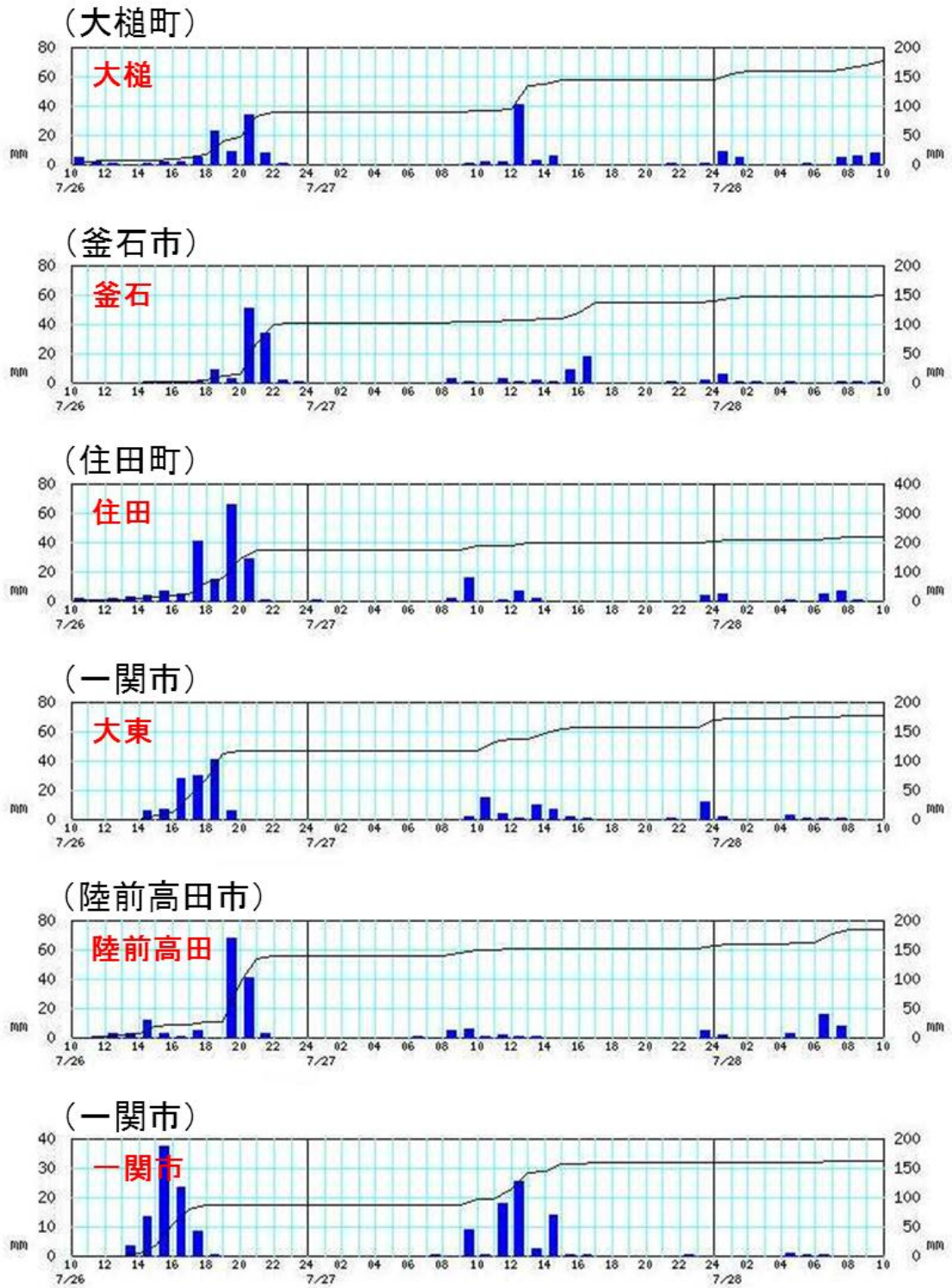
観測所名	7月26日			7月27日			7月28日		
	日降水量 値	1時間降水量		日降水量 値	1時間降水量		日降水量 値	1時間降水量	
		値	起時		値	起時		値	起時
区界	29.0	14.5	04時24分	21.0	8.5	15時14分	57.0	43.5	16時58分
刈屋	46.0	19.5	21時30分	10.5	6.0	15時40分	50.5	20.0	10時00分
宮古	61.5	29.0	22時00分	5.5	3.0	18時18分	14.5	6.5	02時08分
大槌	90.0	34.5	21時10分	54.5	42.5	13時19分	32.5	10.0	01時13分
山田	81.5	47.5	21時54分	8.0	2.5	13時41分	11.5	5.0	01時30分
遠野	94.5	35.5	20時32分	22.5	8.0	14時25分	11.0	7.0	01時14分
小鎚	99.5	59.5	21時38分	47.5	28.0	17時09分	10.5	6.5	01時13分
米里	70.0	21.0	19時14分	70.0	39.5	15時24分	22.5	16.5	18時54分
釜石	101.0	68.0	21時23分	37.5	27.0	16時47分	9.5	6.5	01時05分
若柳	68.5	33.0	16時24分	71.0	34.5	12時59分	0.5	0.5	07時53分
江刺	56.0	17.5	16時40分	45.0	24.0	14時24分	11.5	10.5	01時00分
住田	191.0	66.5	19時57分	30.0	16.5	09時57分	18.0	8.0	07時44分
祭時	35.0	12.5	13時48分	99.5	30.0	14時06分	14.0	5.0	15時37分
衣川	55.5	21.0	16時17分	108.0	37.0	12時58分	0.5	0.5	09時12分
大東	118.5	46.5	18時49分	52.5	15.5	10時59分	7.0	12.5	00時15分
陸前高田	140.0	73.0	20時22分	18.5	10.0	09時34分	28.5	18.5	07時18分
大船渡	104.5	53.0	20時58分	25.0	11.0	24時00分	23.5	13.0	00時18分
一関	92.5	43.0	15時37分	71.5	42.0	12時41分	4.0	2.0	19時21分
千厩	116.5	42.5	18時30分	15.0	5.5	23時56分	2.0	4.0	00時01分

注) 薄茶色塗は日降水量7月の極値更新、濃茶色塗は通年の極値更新を表す。

○総降水量分布図 (7月26日00時00分~28日24時00分 : 単位 mm)



○主な地点の降水量時系列図（7月26日～28日）



注1) 1時間降水量：棒グラフ、降水量積算値：折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○極値更新（7月：統計期間10年以上の観測所）

要素 地点	日降水量			1時間最大降水量				統計期間
	順位	値	起日	順位	値	起日	起時	
大槌	2	90.0	7月26日	1	42.5	7月27日	13時19分	2001年
山田	-	81.5	7月26日	1	47.5	7月26日	21時54分	1976年
小鎚	2	99.5	7月26日	年1	59.5	7月26日	21時38分	2011年
釜石	8	101.0	7月26日	年1	68.0	7月26日	21時23分	1976年
若柳	10	71.0	7月27日	1	34.5	7月27日	12時00分	1976年
住田	1	191.0	7月26日	年1	66.5	7月26日	19時57分	1978年
大東	年1	118.5	7月26日	年1	46.5	7月26日	18時49分	2006年
陸前高田	年1	140.0	7月26日	年1	73.0	7月26日	20時22分	2011年
一関	2	92.5	7月26日	1	43.0	2月12日	15時37分	1976年
千厩	2	116.5	7月26日	1	42.5	2月11日	18時30分	1976年

注) 赤字「1」は7月の極値更新、「年1」年の極値更新を表す。

注) 黒字「1」「年1」は統計期間10年未満の極値更新を表す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	108,705	水稲、大豆等488.4ha、ブロイラー死亡15千羽	一関市、奥州市等8市町
	農業施設	6,480	パイプハウス破損等33棟	一関市
	農地・農業用施設	1,969,000	農地の法面崩壊等2,138箇所、水路への土砂流入、道路の法面崩壊等1,750箇所	一関市、岩泉町等12市町
林業	林業施設	297,118	林道の法面崩壊、治山施設破損等532箇所	一関市、住田町等12市町
	林産物	2,126	菌床しいたけ流失1,600kg、菌床しいたけブロック流失2,000玉	一関市
	森林	117	県有林の山腹崩壊0.1ha	陸前高田市
	林地荒廃	486,500	山腹崩壊等25箇所	一関市、遠野市等5市町
水産業	漁船	150	漁船の水没1隻	大船渡市
漁港	漁港施設	3,500	浮遊ゴミ流入7箇所	大船渡市、釜石市等4市町
	計	2,873,696		

11 8月9日の大雨洪水災害

(1) 気象概況

9日は北日本が気圧の谷となり、東北地方に日本海から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため、岩手県では盛岡地域を中心に朝から昼過ぎにかけて猛烈な雨が降り、日最大1時間降水量が雫石で78.0mm、紫波で71.0mm、大迫で63.5mmを観測した。また、日降水量は、雫石で264.0mm、紫波で211.0mmを観測し、盛岡地域を中心に200mmを超える大雨となった。

雫石と紫波では、日降水量が平年の8月の月降水量平年値を超える記録的な豪雨となった。

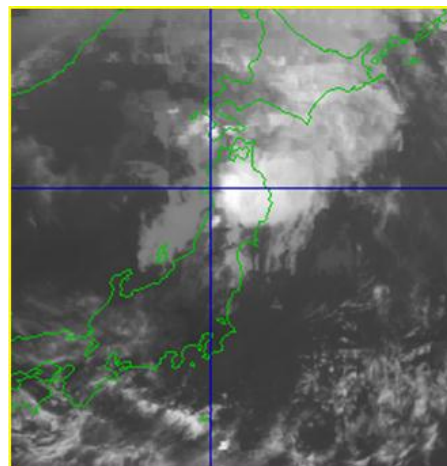
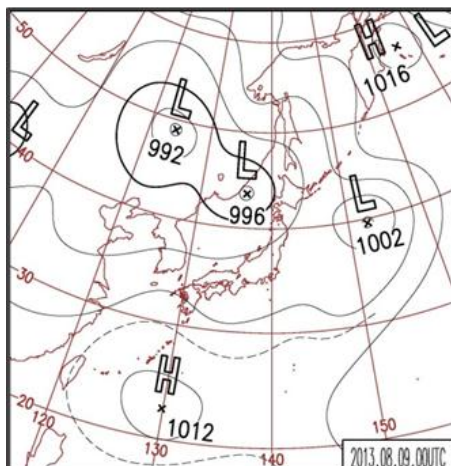
この大雨により、盛岡地域、花北地域を中心に、住宅の床上浸水やがけ崩れなどの土砂災害等のほか、道路の損壊や農地の冠水など農林業施設等に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表（8月9日～10日：岩手県）

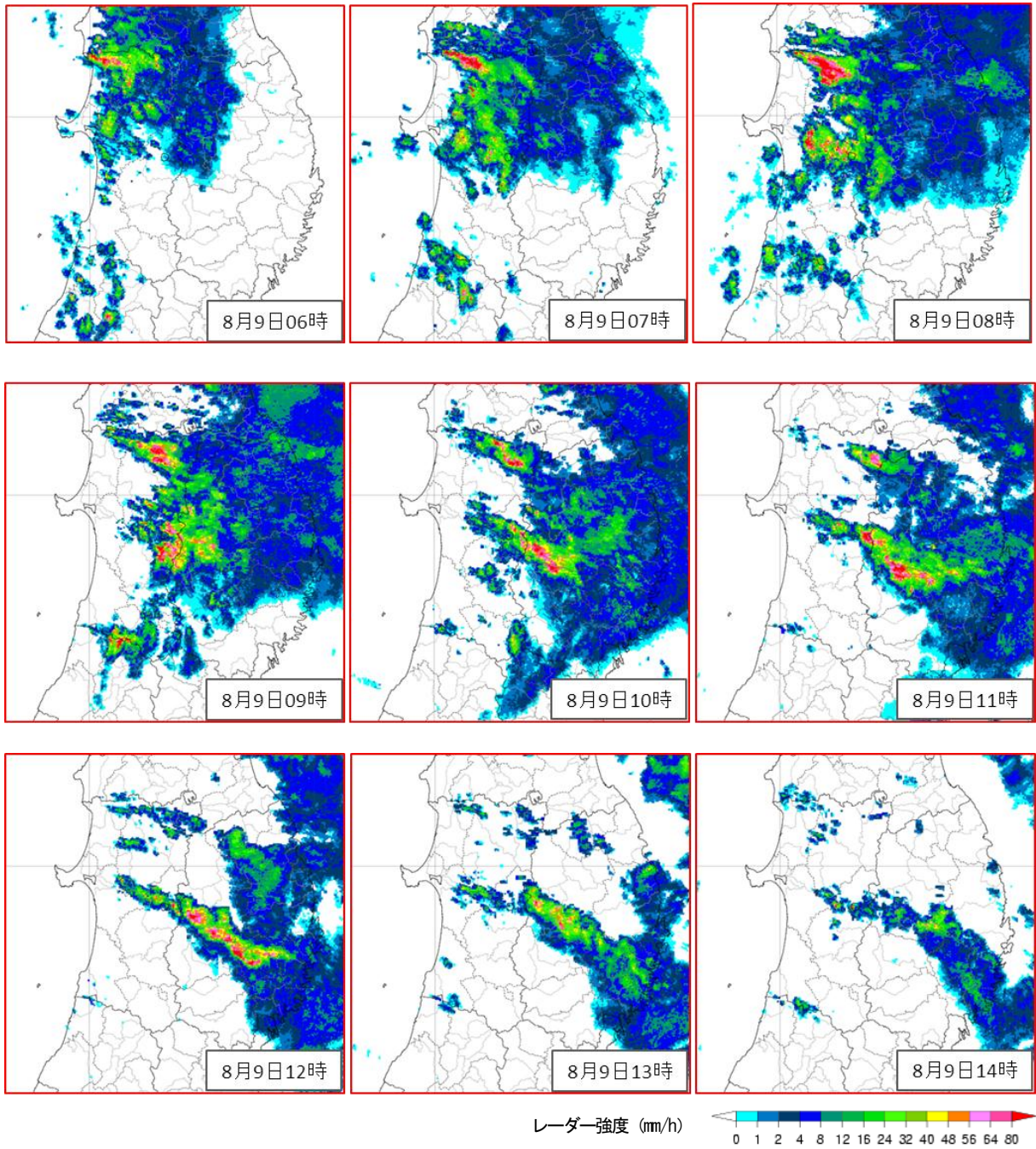
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域 花北地域 遠野地域 二戸地域	大雨 洪水	大雨・洪水・雷 濃霧	宮古地域 釜石地域	大雨 洪水	大雨・洪水・雷 濃霧・高潮
両磐地域 奥州金ヶ崎地域 住田町 久慈地域	—	大雨・洪水・雷 濃霧	大船渡市 陸前高田市	—	大雨・洪水・雷 濃霧・高潮

岩手県気象情報
「岩手県竜巻注意情報」を、第3号まで発表。
「岩手県土砂災害警戒情報」を、第7号まで発表。
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」及び引継ぐ情報を、第8号まで発表。
「岩手県記録的短時間大雨情報」第1号発表。
「雫石川洪水予報」を、第3号まで発表。
「北上川上流洪水予報」を、第9号まで発表。

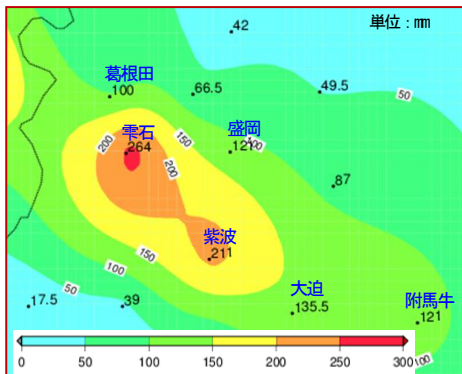
○地上天気図、気象衛星赤外面像



○気象レーダー画像 (8月9日 6h~14h)



〇8月9日、主な地点の降水量

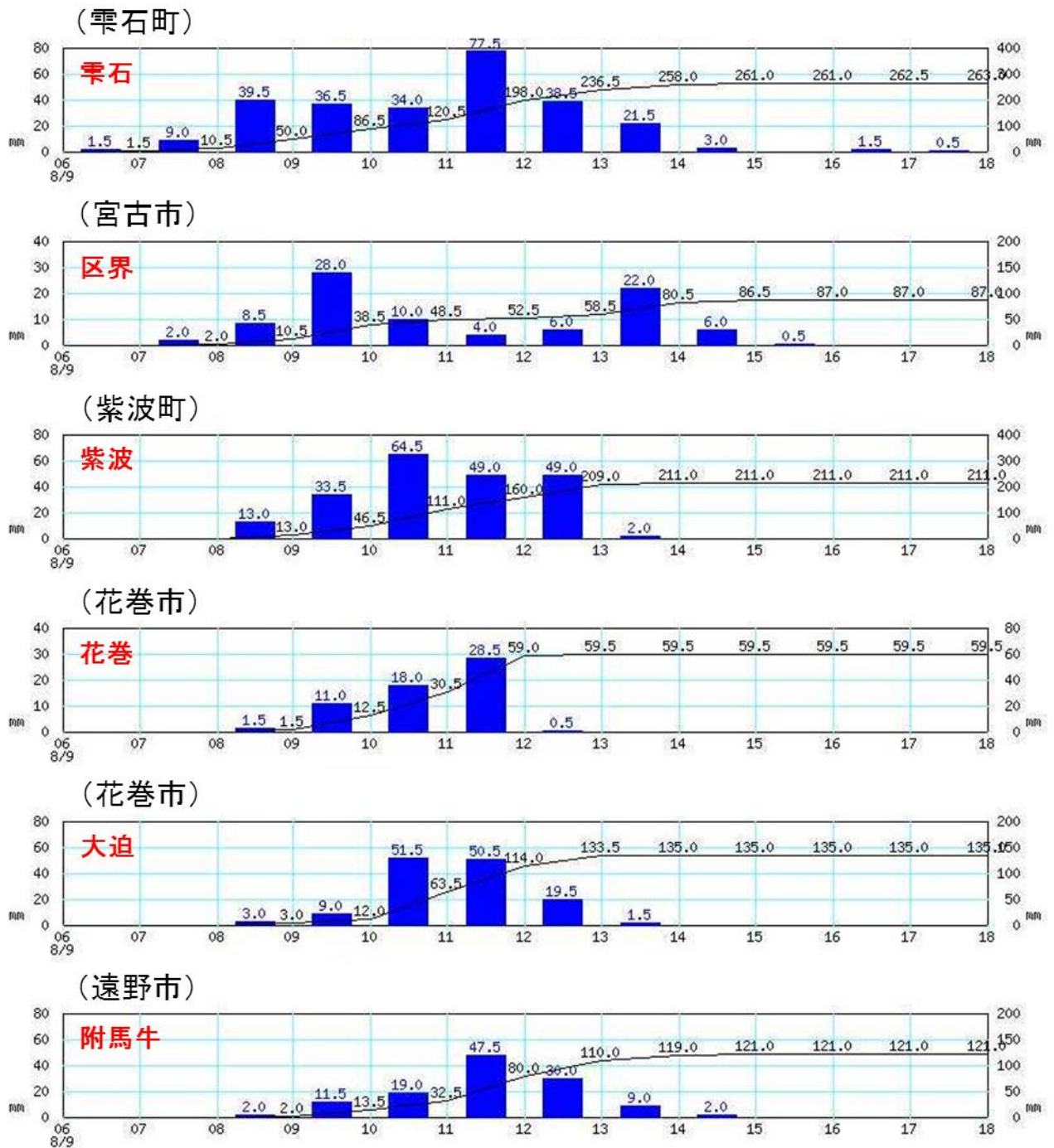


8月9日の日降水量分布図 単位：mm

地点名	日降水量	1時間最大降水量	
		値(mm)	起時
荒屋	78.5	24.0	8時49分
葛根田	100.0	36.0	8時55分
雫石	264.0	78.0	12時02分
盛岡	121.0	33.0	13時53分
区界	87.0	30.0	10時16分
紫波	211.0	71.0	10時44分
花巻	59.5	45.0	11時40分
大迫	135.5	63.5	11時24分
附馬牛	121.0	50.0	12時13分
遠野	69.0	42.0	12時36分

注) 色塗は、極値更新を表す。
 濃茶色：通年の極値更新、薄茶色：8月の極値更新

○主な地点の降水量時系列図 (8月9日:06時~18時)



注1)左縦軸(棒グラフ):時間降水量、右縦軸(折れ線):降水量積算値
注2)縦軸のスケールが異なる場合がある。

○極値更新（8月：統計期間10年以上の観測所）

要素名	単位	地点名	順位	値	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	統計期間
日降水量	mm	雫石	年1	264.0	1976年	日最大 1時間降水量	mm	雫石	年1	78.0	1976年
		区界	1	87.0	1994年			区界	5	30.0	1994年
		紫波	1	211.0	1977年			紫波	年1	71.0	1977年
		花巻	3	59.5	1976年			花巻	1	45.0	1976年
		大迫	1	135.5	1976年			大迫	年1	63.5	1976年
		附馬牛	1	121.0	2006年			附馬牛	年1	50.0	2006年
		小鎚	1	50.0	2011年			小鎚	1	17.5	2011年

注)「1」は、8月の極値更新。「年1」は、年の極値更新。「1」は、統計期間10年未満の地点で8月の極値更新。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	597,212	水稲、牧草等2,083.4ha、豚死亡10頭	雫石町、紫波町等12市町
	農業施設	12,642	パイプハウス破損等53棟	雫石町、紫波町等6市町
	農地・農業 用施設	5,298,000	農地の法面崩壊等2,914箇所、水路への 土砂流入等1,404箇所	雫石町、紫波町等9市町
林 業	林業施設	763,328	林道の法面崩壊等387箇所	雫石町、盛岡市等6市町
	林産物	2,600	菌床しいたけブロック等流失13,000玉	雫石町
	森林	9,533	県有林及び町有林の山腹崩壊4.7ha	紫波町、雫石町等4市町
	林地荒廃	2,264,000	山腹崩壊等66箇所	雫石町、盛岡市等7市町
計		8,947,315		

12 9月16日の台風第18号災害

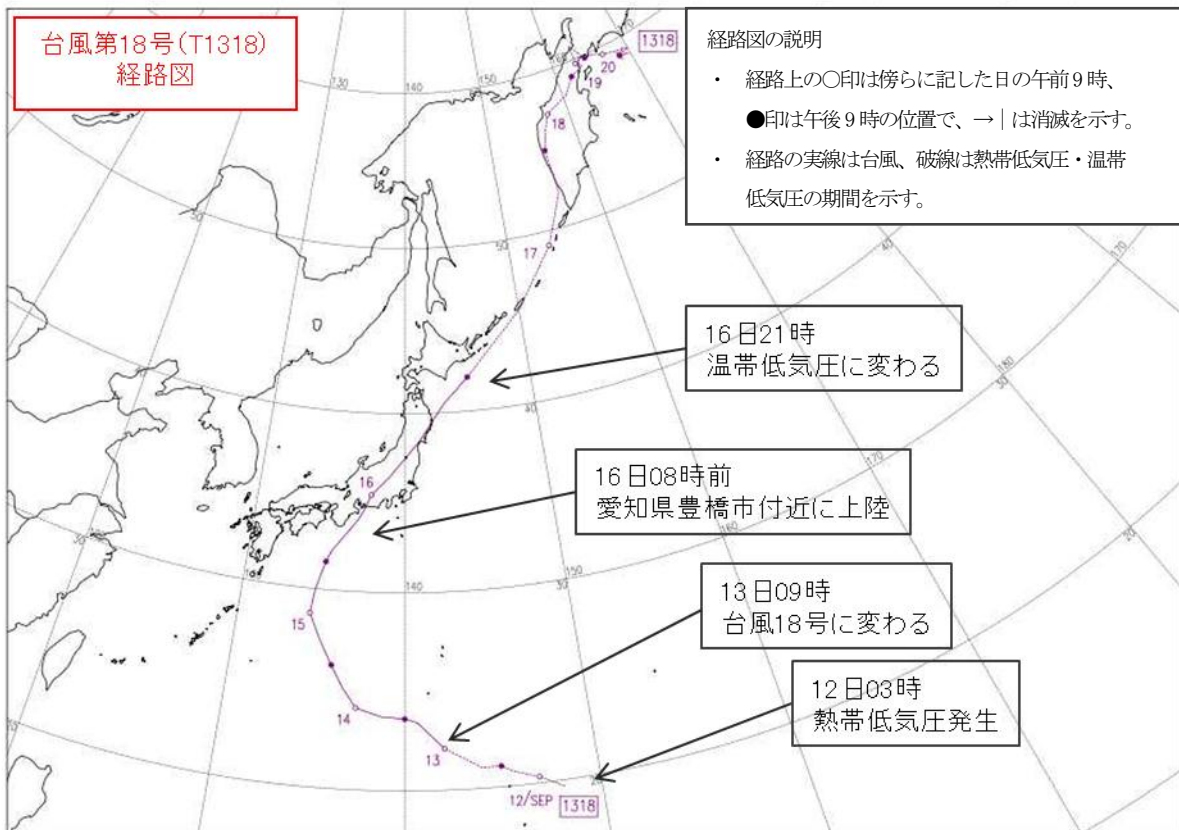
(1) 気象概況

台風第18号は、16日朝に愛知県付近に上陸した後、速度を速めながら東日本を北東進し、16日夕方には東北地方を通過して、三陸沖に達した。

15日は、気圧の谷と南から流れ込む湿った空気の影響により、大気の状態が不安定となって県内の広い範囲で雨となった。16日は、東北地方に停滞する前線の活動が活発化し、また、台風が接近したことから、岩手松尾で48.5mm(16日15:16)、葛根田で47.5mm(16日15:53)の日最大1時間降水量を観測した。降り始め(15日5時)からの総降水量は、岩手松尾で195.5mm、祭時で194.5mmを観測するなど、県の北部を中心に150mmを超える大雨となった。

台風の大雨や強風により、死者1人の人的被害があった他、住家の床上浸水や床下浸水、河川の増水、道路の損壊や冠水、農業被害、交通障害、停電などの被害が発生した。

○台風第18号の経路図



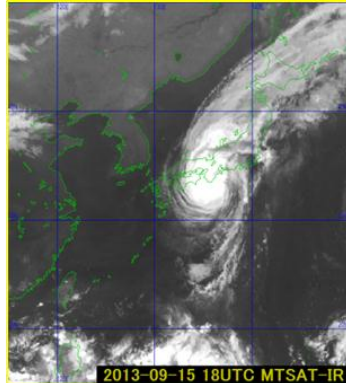
○関連する警報・注意報等の発表 (9月15日～16日：岩手県)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
内陸	大雨・洪水 暴風	大雨、洪水、雷、強風 濃霧	沿岸北部	大雨・洪水 波浪・高潮 暴風	大雨、洪水、雷、強風 濃霧、波浪、高潮
			沿岸南部		

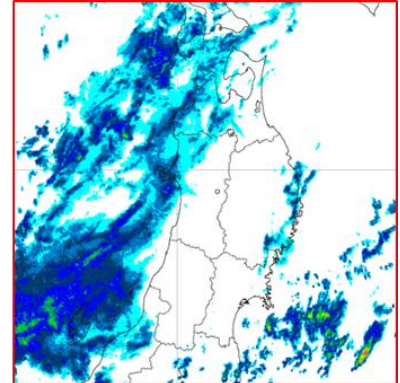
注)一次細分区域で記載

府県気象情報
「平成25年 台風第18号に関する岩手県気象情報」を第8号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を第8号まで発表。
「大潮による高い潮位に関する岩手県潮位情報」を第2号まで発表
「北上川上流洪水予報」を第12号まで発表

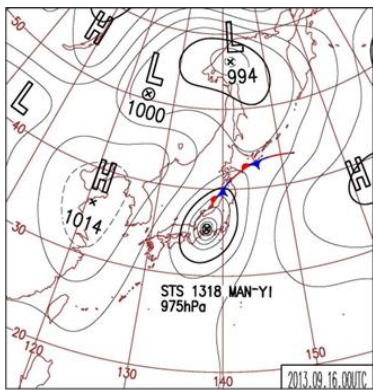
○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像 (9月16日)



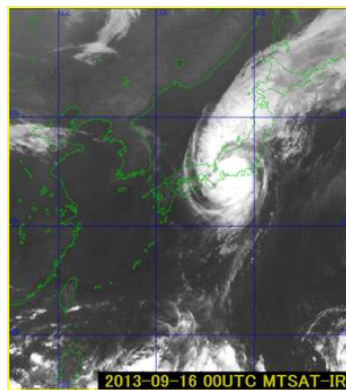
気象衛星赤外画像 9月16日03時



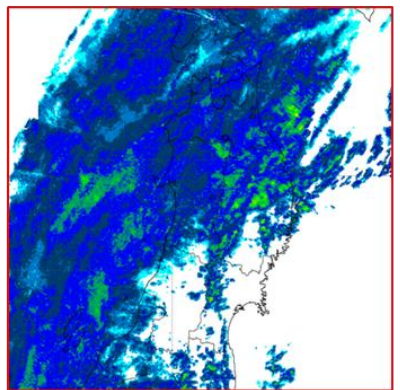
レーダー画像 9月16日03時



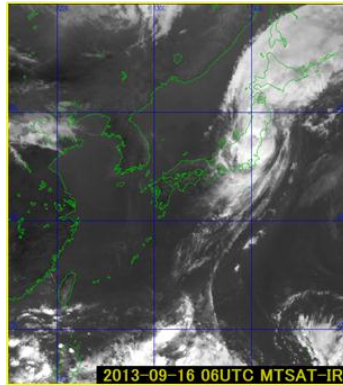
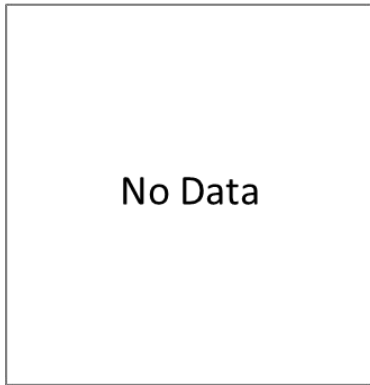
地上天気図 9月16日09時



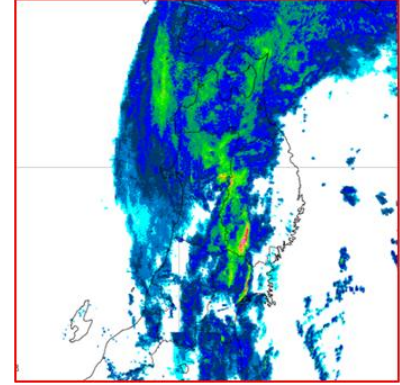
気象衛星赤外画像 9月16日09時



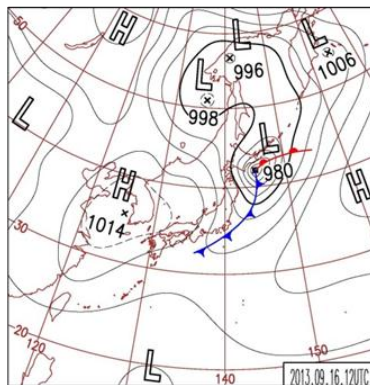
レーダー画像 9月16日09時



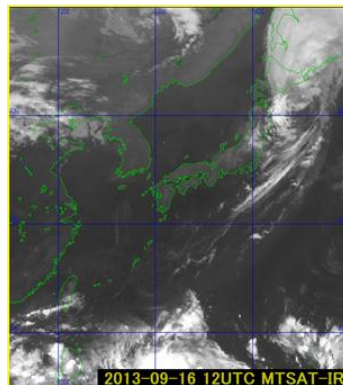
気象衛星赤外画像 9月16日15時



レーダー画像 9月16日15時



地上天気図 9月16日21時

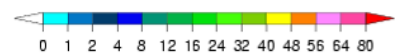


気象衛星赤外画像 9月16日21時

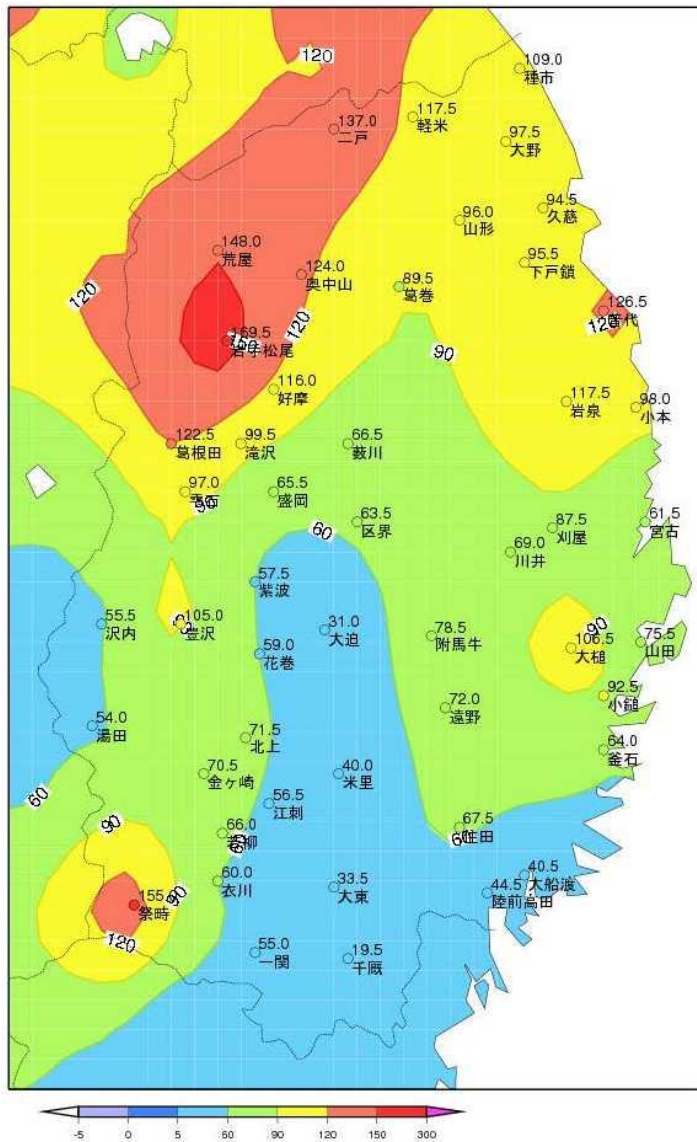


レーダー画像 9月16日21時

レーダー強度 (mm/h)



○降水量分布図（9月16日の日降水量 [単位：mm]）



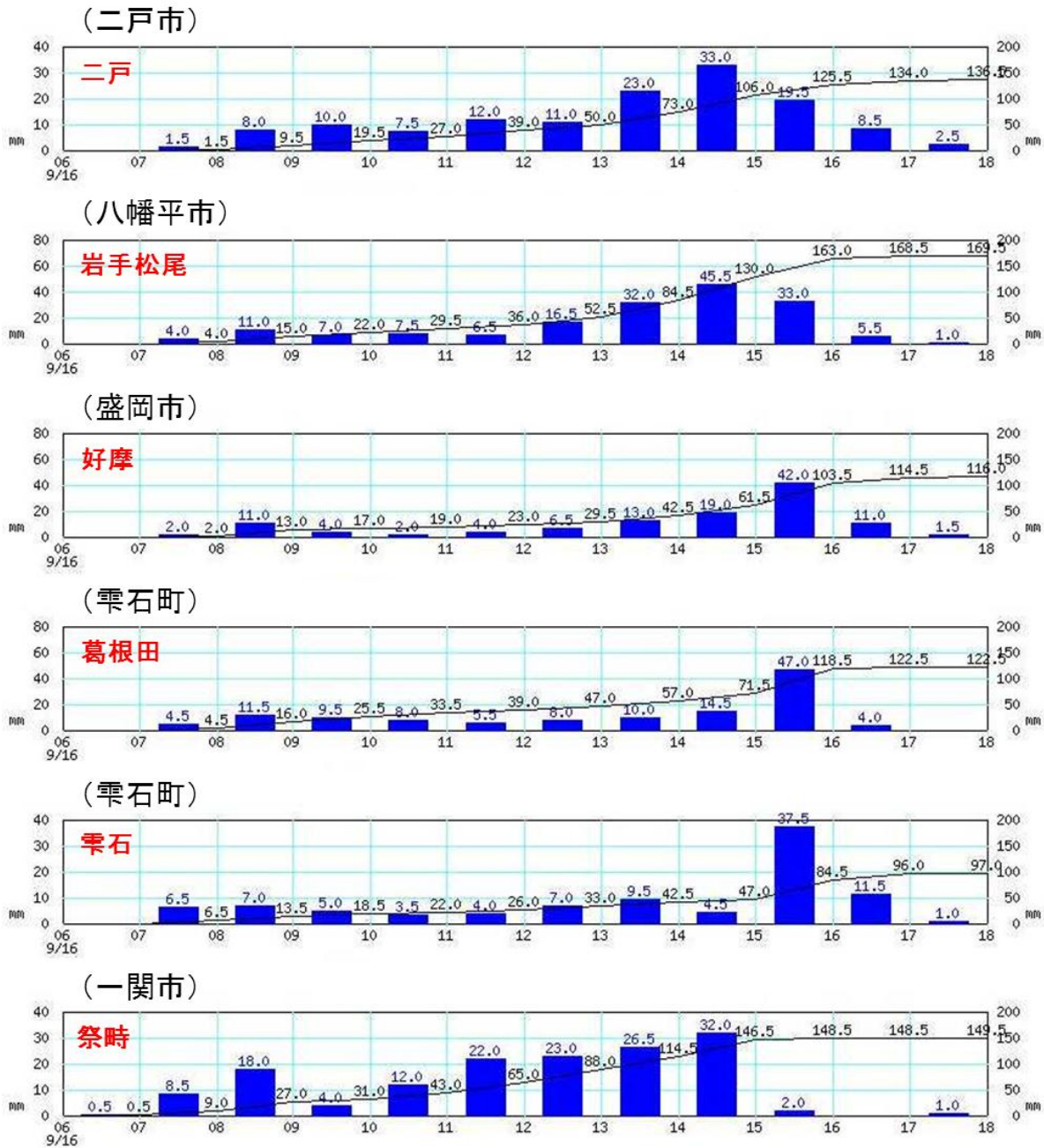
○日降水量（9月16日）

単位 mm

地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量
種市	109.0	普代	126.5	区界	63.5	大槌	106.5	江刺	56.5
軽米	117.5	岩手松尾	169.5	刈屋	87.5	山田	75.5	住田	67.5
二戸	137.0	好摩	116.0	宮古	61.5	湯田	54.0	祭時	155.0
大野	97.5	岩泉	117.5	紫波	57.5	遠野	72.0	衣川	60.0
山形	96.0	小本	98.0	川井	69.0	小槌	92.5	大東	33.5
久慈	94.5	葛根田	122.5	沢内	55.5	金ヶ崎	70.5	陸前高田	44.5
荒屋	148.0	滝沢	99.5	豊沢	105.0	北上	71.5	大船渡	40.5
奥中山	124.0	藪川	66.5	花巻	59.0	米里	40.0	一関	55.0
葛巻	89.5	雫石	97.0	大迫	31.0	釜石	64.0	千厩	19.5
下戸鎖	95.5	盛岡	65.5	附馬牛	78.5	若柳	66.0		

○主な地点の降水量時系列図 (9月16日06時~18時)

注1)左縦軸(棒グラフ):時間降水量、右縦軸(折れ線):降水量積算値
注2)縦軸のスケールが異なる場合がある。



注) 1時間降水量: 棒グラフ、降水量積算値: 折れ線グラフ

○最大風速と最大瞬間風速 (9月16日)

最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

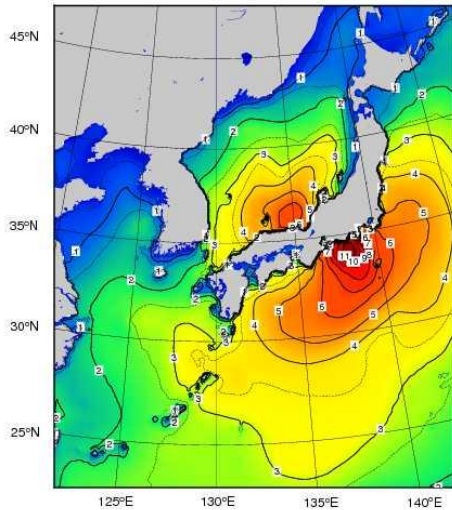
地点名	日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)		地点名	日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)	
	時分	風向/風速	時分	風向/風速		時分	風向/風速	時分	風向/風速
盛岡	15時44分	北 13.6	15時50分	北 22.5	若柳	13時40分	南南東 12.4	13時39分	南 24.5
宮古	12時46分	南東 17.6	13時11分	南南東 30.7	江刺	13時35分	南南東 12.5	13時31分	南東 23.0
紫波	19時38分	西北西 11.7	16時00分	北 19.5	住田	11時09分	南東 11.3	12時46分	南 21.7
花巻	14時14分	南南東 12.7	14時10分	南 22.6	大船渡	14時10分	南南東 14.9	17時18分	北北西 25.2
釜石	13時36分	東南東 10.6	13時28分	東南東 29.2					

注) 塗りつぶしの黄色は9月の極値更新、

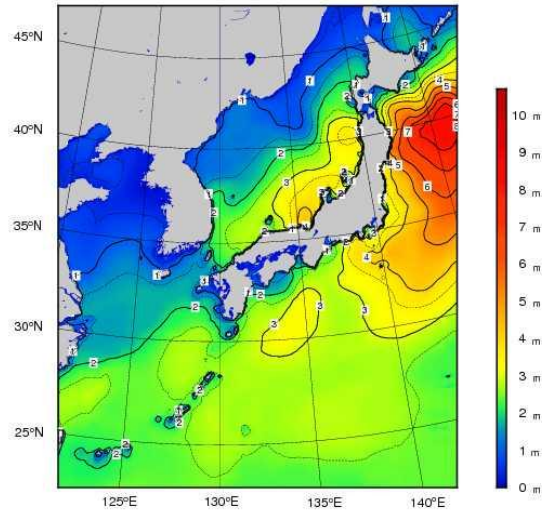
○極値更新 (9月：統計期間10年以上の観測所)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日降水量	mm	二戸	1	137.0	9月16日	1976年	日最大 1時間降 水量	mm	区界	1	南東 9.7	9月16日	1994年
		奥中山	1	28.0	9月16日	1978年			大迫	1	西 8.2	9月16日	1977年
		葛巻	1	25.5	9月16日	1976年			遠野	1	南 9.4	9月16日	1977年
		岩手松尾	1	48.5	9月16日	1976年			釜石	1	東南東 10.6	9月16日	1977年
		好摩	1	42.0	9月16日	1976年			若柳	1	南南東 12.4	9月16日	1977年
		葛根田	1	47.5	9月16日	1977年			江刺	1	南南東 12.5	9月16日	1977年
		雫石	1	38.5	9月16日	1976年			住田	1	南東 11.3	9月16日	1978年

○沿岸波浪図 (9月16日)



沿岸波浪図 9月16日 09時



沿岸波浪図 9月16日 21時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と 0.5mごとの破線 (4m未満の領域のみ) を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	337,329	水稲、牧草等 954.6ha、肉用牛死亡 6頭、ブロイラー死亡 94 千羽	八幡平市、盛岡市等 19 市町村
	農業施設	119,808	パイプハウス、牛舎等破損 355 棟	盛岡市、二戸市等 8 市町
	農地・農業用施設	2,785,000	農地の法面崩壊等 1,500 箇所、水路の法面崩壊等 759 箇所	19
林 業	林業施設	184,350	林道の路面洗掘、治山施設の破損等 217 箇所	
	森林	160	県有林の山腹崩壊 0.1ha	一戸町、八幡平市
	林地荒廃	253,756	山腹崩壊等 15 箇所	一戸町、二戸市等 4 市町
水産業	水産施設	40,100	養魚場水没等 2 箇所	二戸市、久慈市
	漁船	2,130	漁船の転覆等 8 隻	大槌町、宮古市
	養殖施設	100	養殖施設破損 1 台	大船渡市
	水産物	17,450	養魚流出 3 トン	二戸市
漁港	漁港施設	100	漁港用地内への落石 1 箇所	釜石市
計		3,740,283		

13 10月16日の台風第26号災害

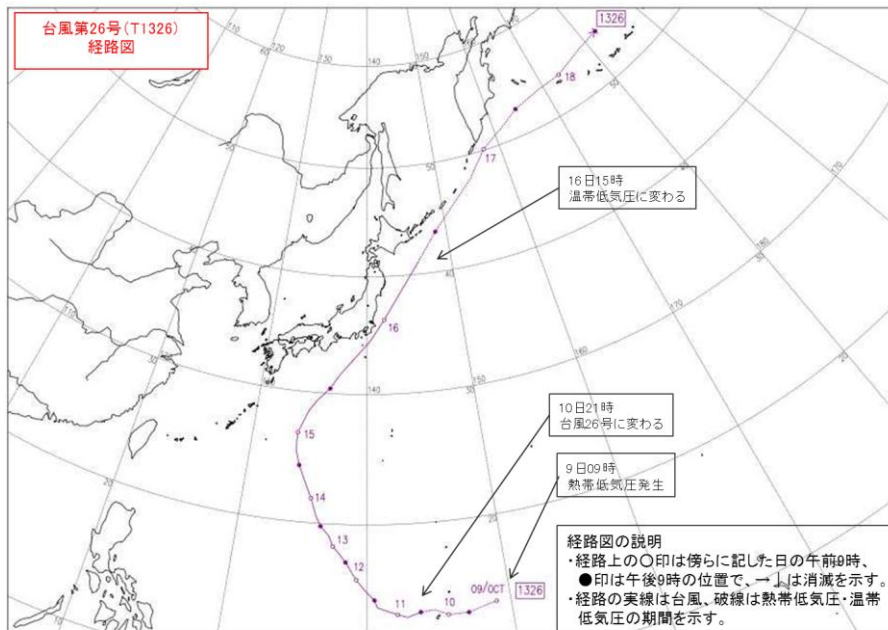
(1) 気象概況

台風第26号は、日本の南を北上し関東の東海上を通った後、10月16日昼頃、岩手県に最も接近し、速度を速めながら三陸沖を北東進して、16日15時に北海道の南東海上で温帯低気圧に変わった。

16日は、台風の北上に伴って次第に雨が強まり、降り始め(15日17時)からの総降水量は、岩泉町小本で162.5mm、宮古で162.0mmを観測するなど、沿岸北部を中心に100mmを超える大雨となった。また、16日朝から昼過ぎにかけて北よりの非常に強い風が吹き、大船渡で20.6m/s(16日09時58分)、紫波で19.1m/s(16日11時17分)の日最大風速を観測した。

この台風による大雨や暴風、波浪、高潮で、軽傷者が出たほか、住家の一部破損や床上浸水、果樹の落下等の農業被害、交通障害、停電などの被害が発生した。

○台風第26号の経路図

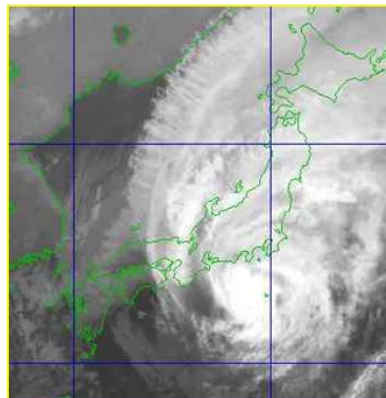
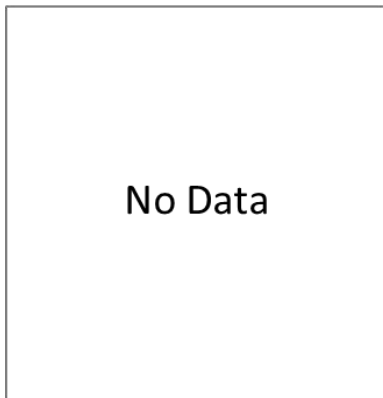


○関連する警報・注意報等の発表状況 (10月15日から16日：岩手県)

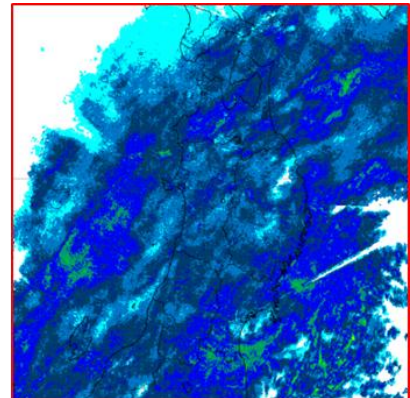
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
宮古市、山田町 釜石地域 大船渡地域 (住田町を除く)	大雨・洪水 暴風 波浪・高潮	強風・大雨・洪水 雷・波浪・高潮 濃霧	盛岡市、八幡平市 遠野市、花巻市 軽米町	暴風・大雨	強風・大雨・洪水 雷・濃霧
久慈地域 田野畑村 岩泉町	大雨・洪水 暴風 波浪	強風・大雨・洪水 雷・波浪・高潮 濃霧	二戸市、一戸町 雫石町、滝沢村 紫波町、矢巾町	暴風	強風・大雨・洪水 雷・濃霧
九戸村 葛巻町 住田町	大雨・洪水 暴風	強風・大雨・洪水 雷・濃霧	北上市、西和賀町 奥州金ヶ崎地域 両磐地域、岩手町		

府県気象情報
「平成25年 台風第26号に関する岩手県気象情報」を第6号まで発表
岩手県土砂災害警戒情報を第5号まで発表
「大潮による高い潮位に関する岩手県潮位情報」を第2号まで発表

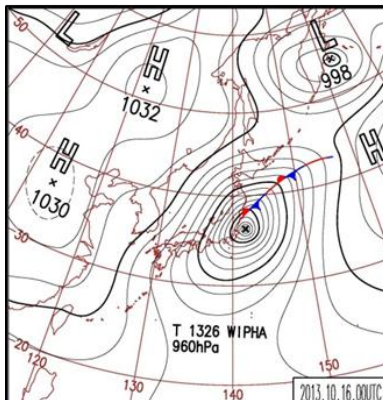
○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像



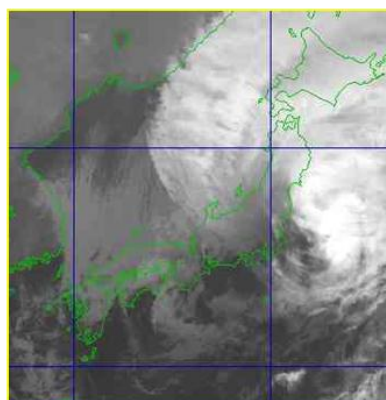
気象衛星赤外画像 10月16日03時



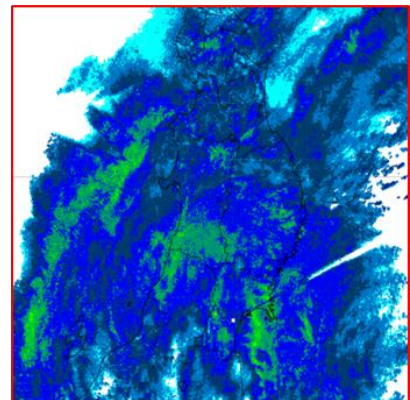
レーダー画像 10月16日03時



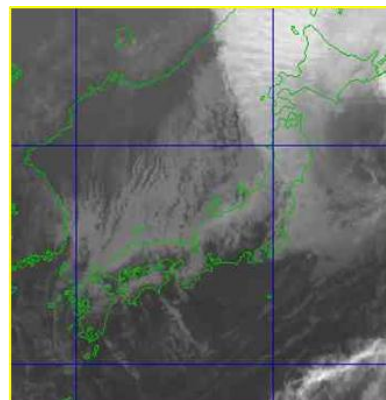
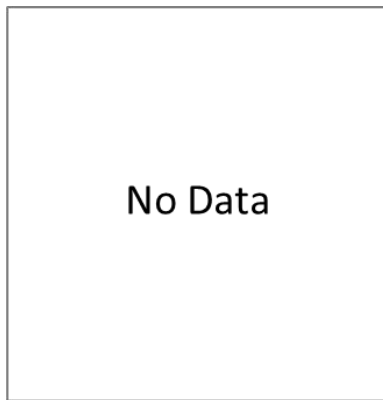
地上天気図 10月16日09時



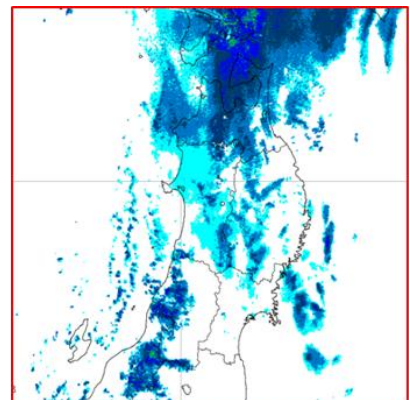
気象衛星赤外画像 10月16日09時



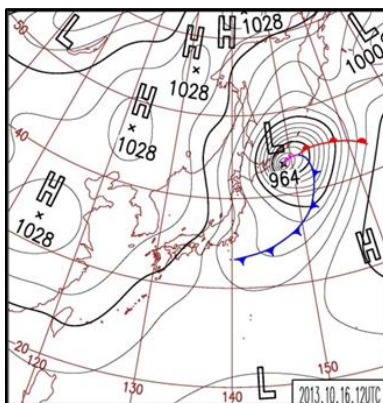
レーダー画像 10月16日09時



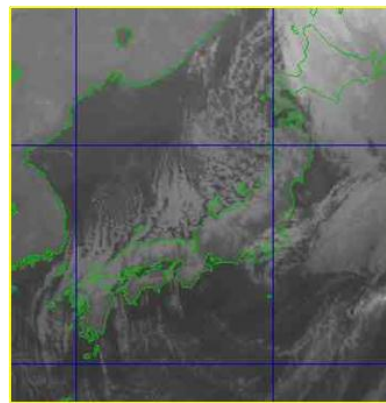
気象衛星赤外画像 10月16日15時



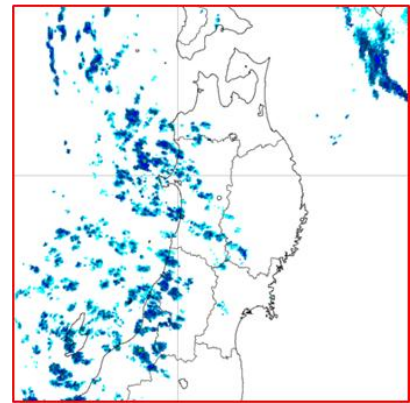
レーダー画像 10月16日15時



地上天気図 10月16日21時

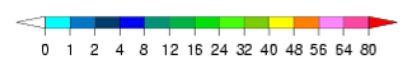


気象衛星赤外画像 10月16日21時

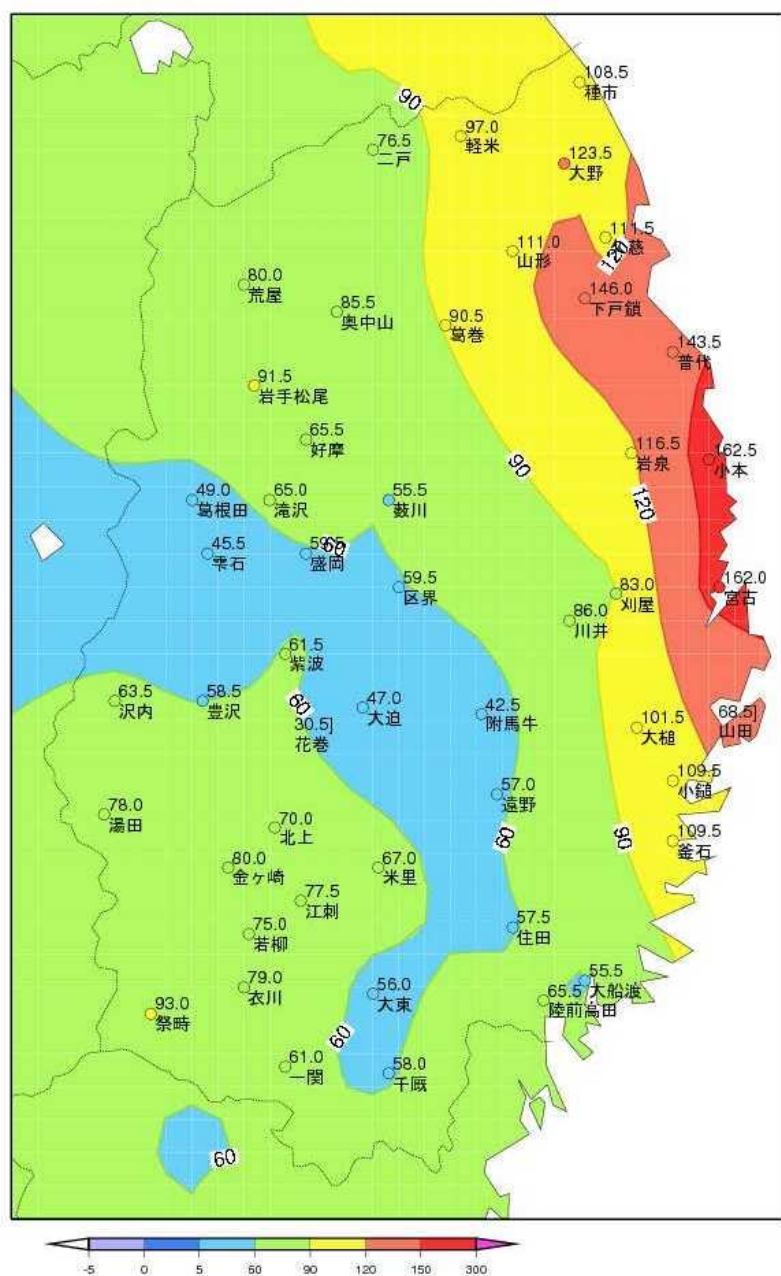


レーダー画像 10月16日21時

レーダー強度 (mm/h)



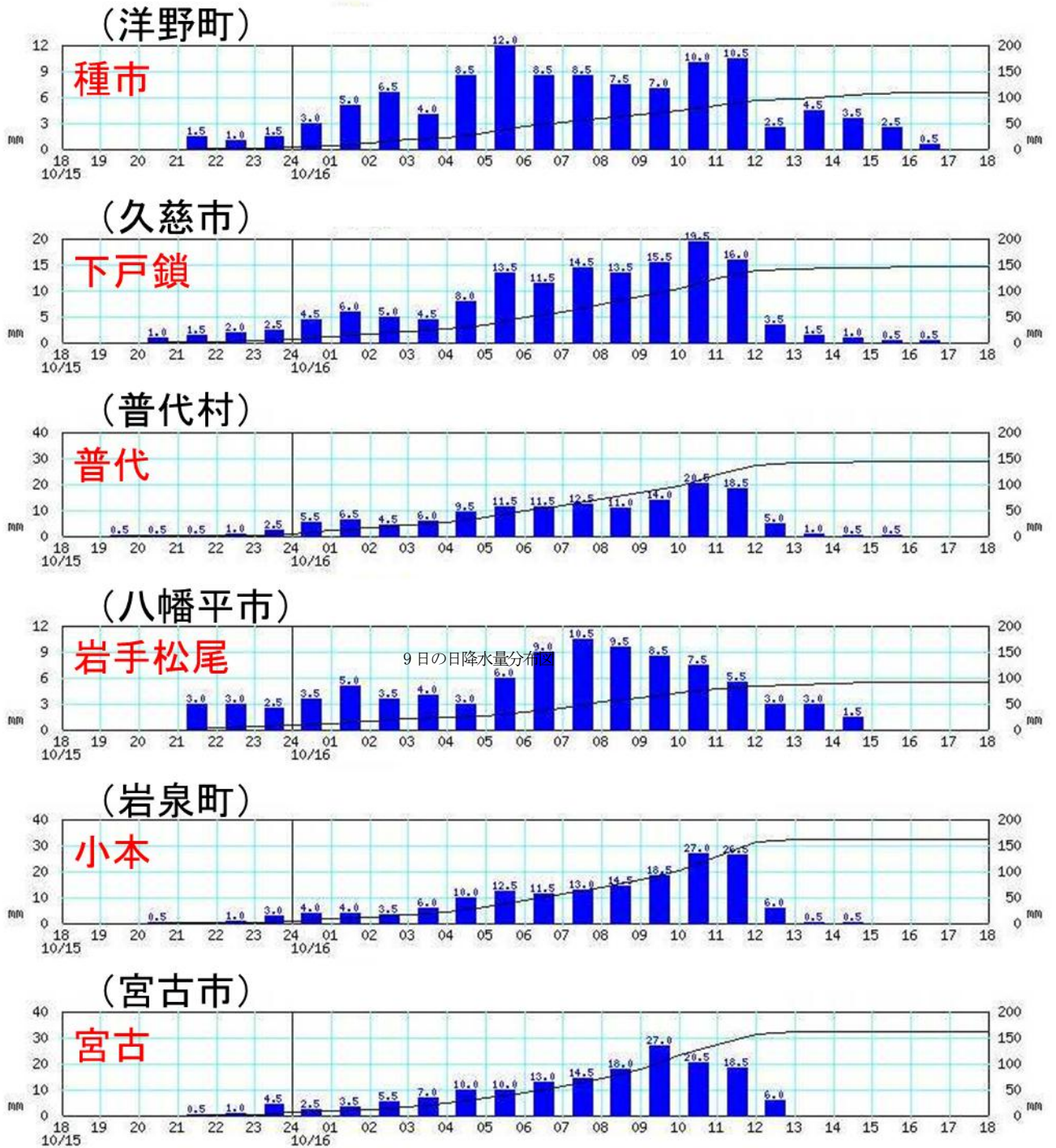
○10月15日18時～16日18時の日降水量分布図 [単位：mm]



○10月16日の日降水量 [単位：mm]

地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量
種市	104.5	普代	138.5	区界	53.5	大槌	96.0	江刺	69.5
軽米	93.0	岩手松尾	83.0	刈屋	76.5	山田	63.0	住田	50.5
二戸	71.5	好摩	56.5	宮古	156.0	湯田	71.0	祭時	88.5
大野	119.5	岩泉	112.5	紫波	54.5	遠野	50.5	衣川	70.0
山形	104.0	小本	158.0	川井	79.5	小槌	104.0	大東	48.5
久慈	107.5	葛根田	40.0	沢内	57.0	金ヶ崎	72.0	陸前高田	58.0
荒屋	74.0	滝沢	55.0	豊沢	50.5	北上	62.0	大船渡	49.5
奥中山	76.0	藪川	51.0	花巻	30.5	米里	60.0	一関	52.5
葛巻	83.5	雫石	36.5	大迫	41.0	釜石	104.0	千厩	50.0
下戸鎖	139.0	盛岡	53.0	附馬牛	37.0	若柳	67.5		

○主な地点の降水量時系列図 (10月15日18時~16日18時) 単位 mm



注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

○最大風速と最大瞬間風速（10月16日）

最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

地点名	日最大風速	起時	日最大瞬間風速	起時	地点名	日最大風速	起時	日最大瞬間風速	起時
久慈	北北東 10.5	11時00分	北東 21.1	10時07分	紫波	北北西 19.1	11時17分	北北西 28.4	11時16分
普代	北北東 10.4	11時54分	北北東 24.8	12時20分	花巻	北] 15.9]	7時31分	北] 27.3]	10時14分
好摩	北 12.4	10時46分	北 21.3	10時38分	遠野	西北西 10.9	13時05分	西北西 19.3	13時10分
岩泉	東北東 10.0	11時41分	北東 19.9	11時18分	小鎚	西 10.4	10時19分	西 24.9	10時17分
小本	東北東 11.5	8時42分	東北東 22.6	10時49分	若柳	北北西 13.8	11時17分	北北西 25.1	11時00分
藪川	東北東 10.1	9時42分	東北東 19.8	9時07分	江刺	北西 14.6	11時08分	北北西 23.3	11時08分
雫石	北東 11.3	6時56分	北北東 23.5	10時53分	住田	西北西 13.3	12時58分	北西 23.5	11時38分
盛岡	北 15.1	11時12分	北北西 24.4	11時02分	大船渡	北 20.6	9時58分	北東 35.0	9時51分
宮古	北北東 14.2	9時12分	北 28.0	9時04分	千厩	北西 11.3	12時19分	北北西 24.0	12時24分

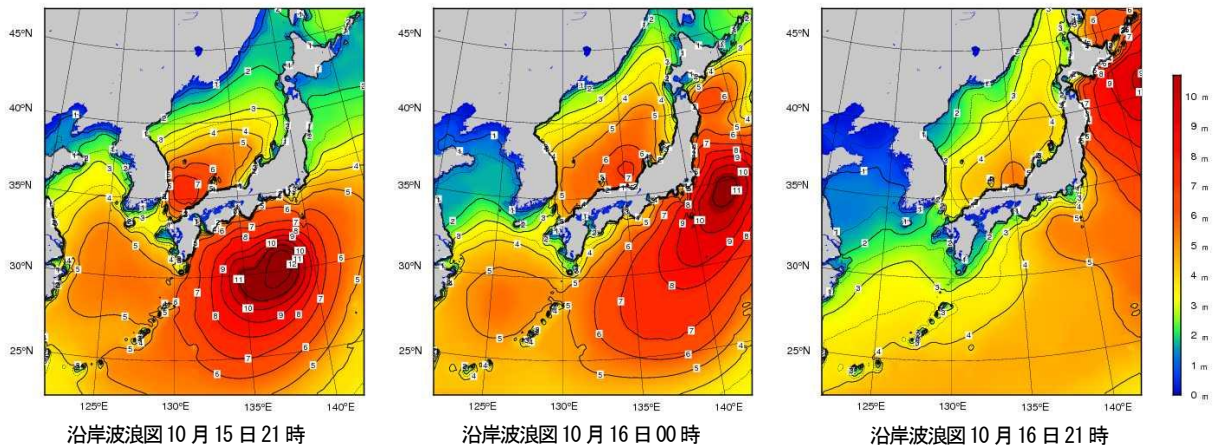
注) 塗りつぶしの黄色は10月の極値更新、橙色は年の極値更新

○極値更新（10月の極値更新した観測地点）

地点名	要素名	順位	値	起日	統計期間
普代	日最大 風向・風速 16方位 (m/s)	1	北北東 10.4	10月16日	1977年
小本		1	東北東 11.5	10月16日	1977年
紫波		1	北北西 19.1	10月16日	1977年
大迫		1	西 9.0	10月16日	1977年
小鎚		1	西 10.4	10月16日	2011年
若柳		1	北北西 13.8	10月16日	1977年
江刺		1	北西 14.6	10月16日	1977年
住田		1	西北西 13.3	10月16日	1977年
陸前高田		1	北東 8.9	10月16日	2011年
千厩		1	北西 11.3	10月16日	1977年
岩手松尾	日降水量 (mm)	1	83.0	10月16日	1976年
刈屋		1	76.5	10月16日	2011年
小鎚		1	104.0	10月16日	2011年

注) 赤字「1」は極値更新を表す。黒字「1」は統計期間10年未満の極値更新

○沿岸波浪図（10月15・16日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と 0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	309,785	りんご、ねぎ等 480.1ha	陸前高田市、奥州市等 14 市町
	農業施設	71,840	パイプハウス、牛舎等破損 219 棟	陸前高田市、葛巻町等 16 市町
	農地・農業用施設	48,000	水路への土砂流入等 13 箇所	洋野町、葛巻町、宮古市
林 業	林業施設	12,821	林産施設等破損 19 箇所	大船渡市、陸前高田市
水産業	水産施設	15,940	荷捌施設、製氷保管施設等破損 36 箇所	大船渡市、宮古市等 5 市村
	漁船	53,629	漁船の転覆等 121 隻	大槌町、山田町等 9 市町村
	漁具	453,098	定置網等破損 24 ヶ統	大船渡市、久慈市等 6 市町村
	養殖施設	7,334	養殖施設破損 71 台	久慈市、大船渡市等 4 市町
	水産物	125,312	養殖物の落下 101 トン	宮古市
漁港	漁港施設	826,630	ケーソン滑動、流木流入等 54 箇所	山田町、釜石市等 8 市町村
計		1,924,389		

14 10月25日～26日の大雨洪水災害

(1) 気象概況

25日から26日にかけて日本海北部を低気圧が北東へ進み、日本の南の台風第27号から北へのびる雨雲が広く北日本を覆った。また、日本の東を台風第28号が北上したため東北地方に暖かく湿った空気が流入した。この影響で沿岸部を中心に雨が降り、25日の午後には沿岸南部で雨が強まった。大船渡市では24・25日の総雨量101.5mmを観測した。

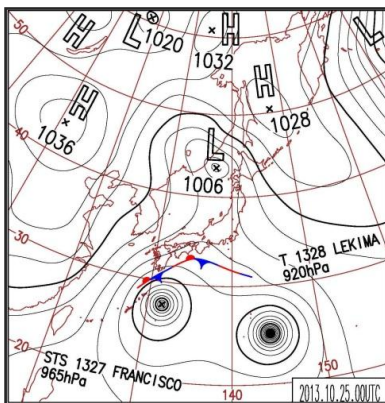
この雨で、大船渡市と陸前高田市で、水産施設に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況（10月25日から26日：岩手県）

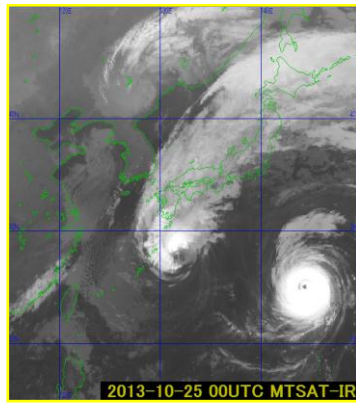
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
宮古市 釜石市 大船渡市 陸前高田市	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧・高潮・波浪	山田町 大槌町	—	強風・大雨・洪水 濃霧・高潮・波浪
岩泉町	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧・波浪	久慈地域 田野畑村	—	強風・大雨・洪水 濃霧・波浪
花巻市 遠野市	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧	二戸地域 盛岡地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域 北上市・西和賀町 住田町	—	強風・大雨・洪水 濃霧

府県気象情報
「大雨に関する岩手県気象情報」を第4号まで発表

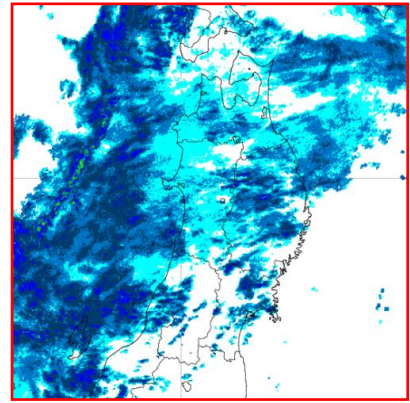
○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像



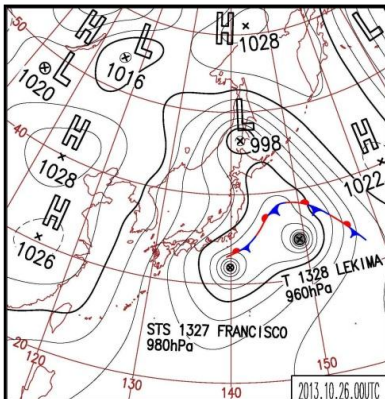
地上天気図 10月25日09時



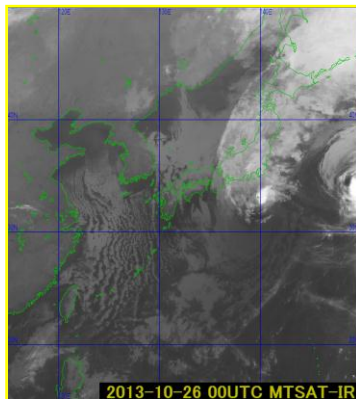
気象衛星赤外画像 10月25日09時



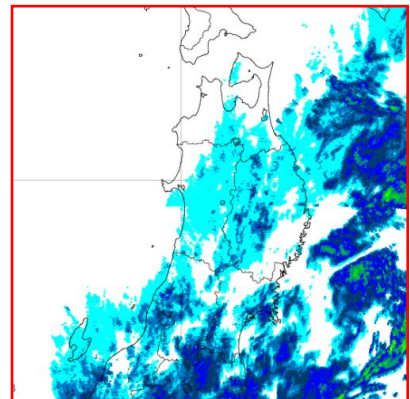
レーダー画像 10月25日09時



地上天気図 10月26日09時



気象衛星赤外画像 10月26日09時



レーダー画像 10月26日09時

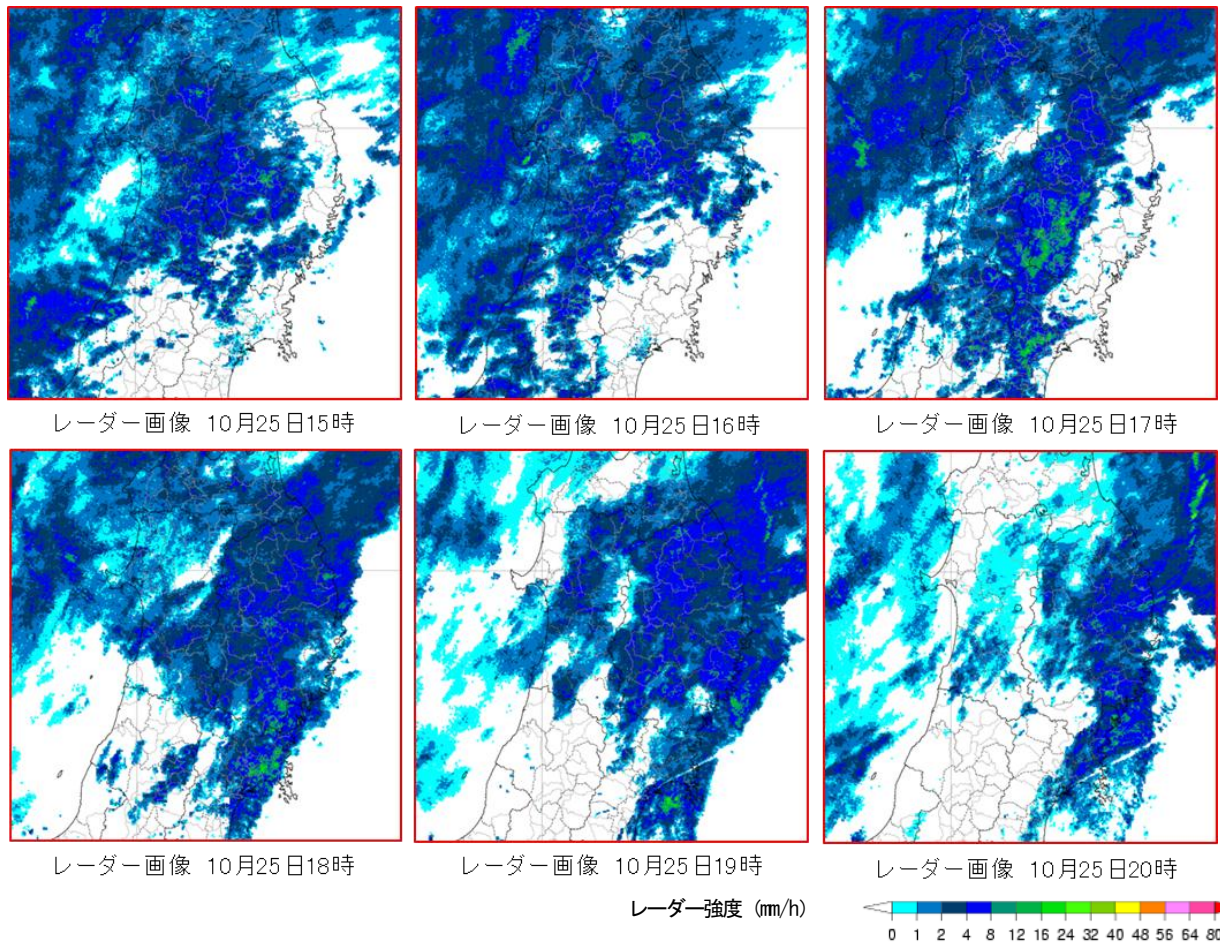
レーダー強度 (mm/h)

61

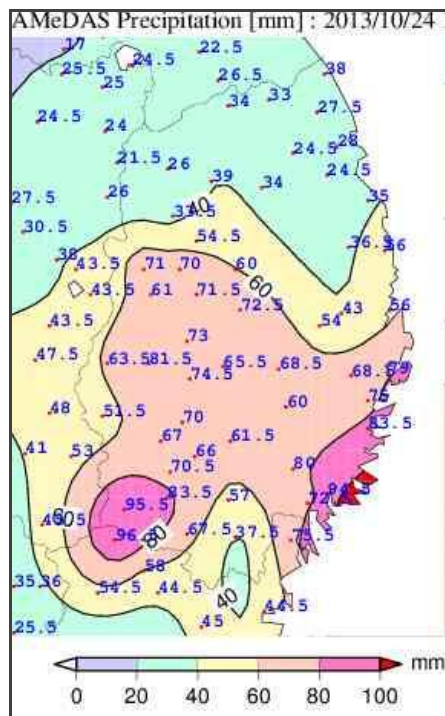


0 1 2 4 8 12 16 24 32 40 48 56 64 80

○気象レーダー画像



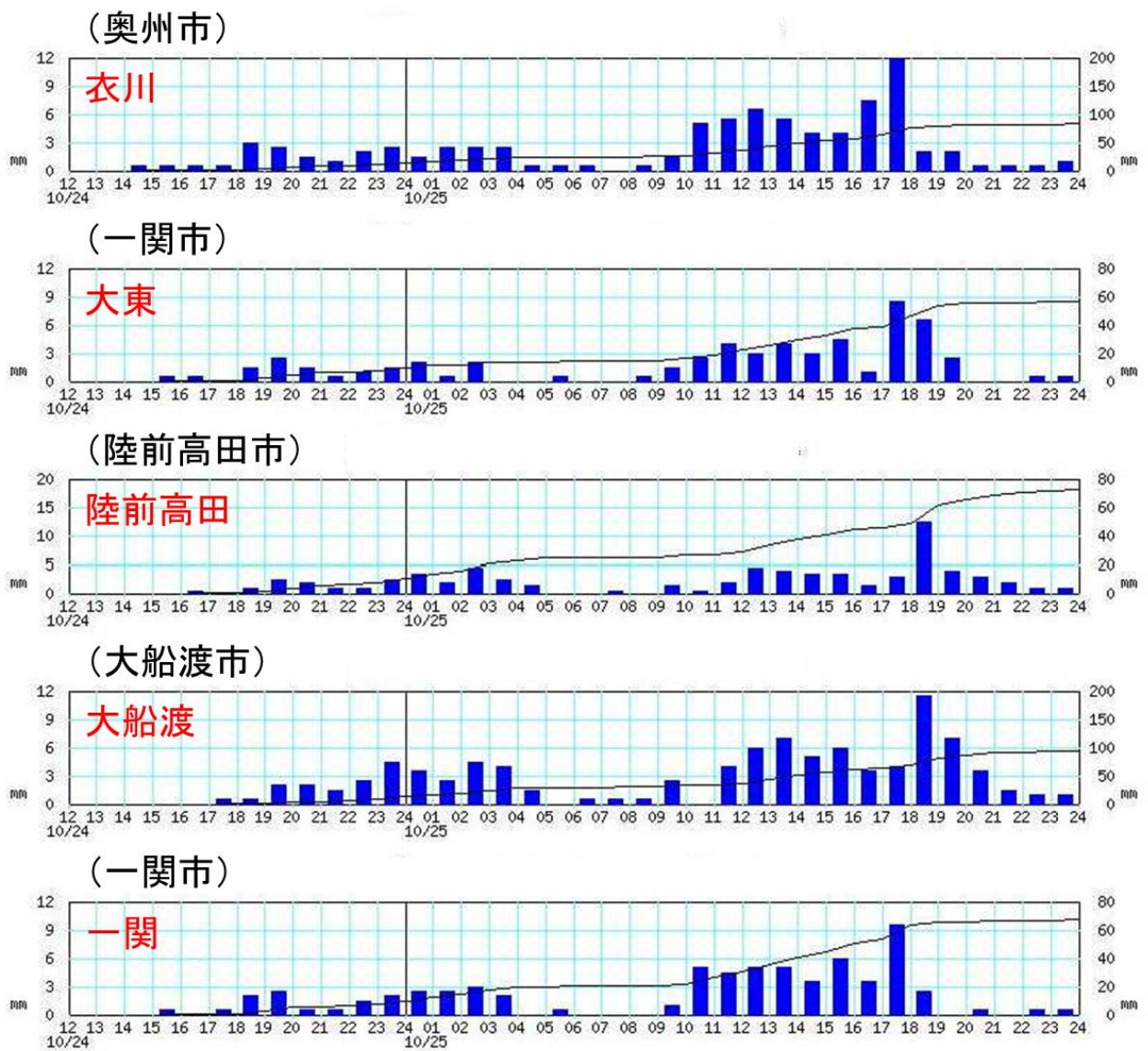
○10月24日12時～25日24時までの日降水量分布図 [単位: mm]



○降水量の観測値（10月24日00時～25日24時までの合計と、25日の1時間最大降水量：単位 mm）

地点名	降水量合計 (24・25日)	1時間降水量		地点名	降水量合計 (24・25日)	1時間降水量	
		最大	起時			最大	起時
豊沢	81.5	8.5	17時18分	若柳	71.0	16.0	17時50分
大迫	65.5	14.0	17時54分	江刺	66.5	15.0	17時59分
山田	89.5	9.5	19時33分	住田	81.5	12.5	19時05分
金ヶ崎	67.0	13.0	17時41分	祭時	95.5	13.0	17時33分
北上	70.5	14.5	17時49分	衣川	83.5	14.5	17時46分
米里	61.5	13.5	18時12分	陸前高田	75.0	12.5	19時07分
釜石	87.0	9.5	20時39分	大船渡	101.5	12.0	19時01分

○主な地点の降水量時系列図（10月24日12時～25日24時：単位 mm）



注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位：千円)

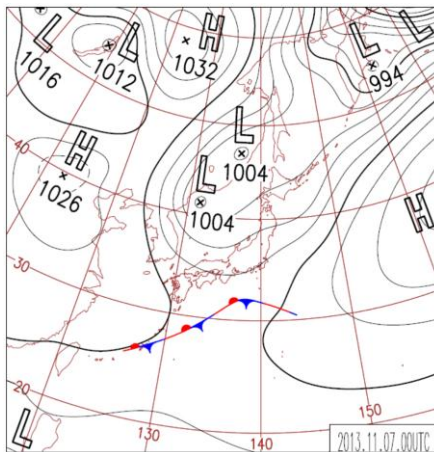
区 分		被害額	被害状況	被害地域
漁港	漁港施設	350	舗装破損等 2 箇所	陸前高田市、大船渡市
計		350		

15 11月7日の強風災害

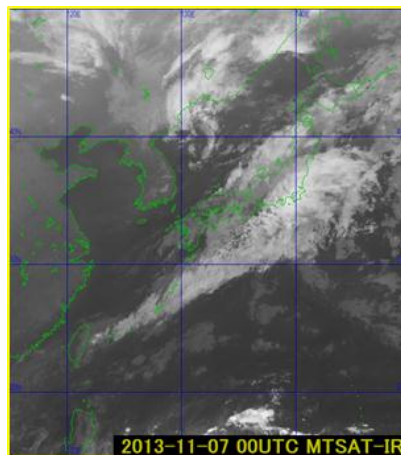
(1) 気象概況

日本海の低気圧が発達しながら北東へ進み、また、前線が東北地方を通過して、前線通過後は気圧の傾きが大きくなった。前線の通過時と通過後には県内各地で風が強まり、久慈と釜石で11月の日最大風速の極値を更新した。

強風により、二戸市や軽米町で果樹の落下などの被害が発生した。



地上天気図 11月7日09時



気象衛星赤外画像 11月7日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況 (11月7日：岩手県)

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	雷、強風、濃霧
沿岸北部	—	波浪、高潮
沿岸南部(住田町を除く)	—	高潮

府県気象情報
「雷と突風に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表 「岩手県竜巻注意情報」を第2号まで発表

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○官署等と最大風速 12m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速 (11月7日)

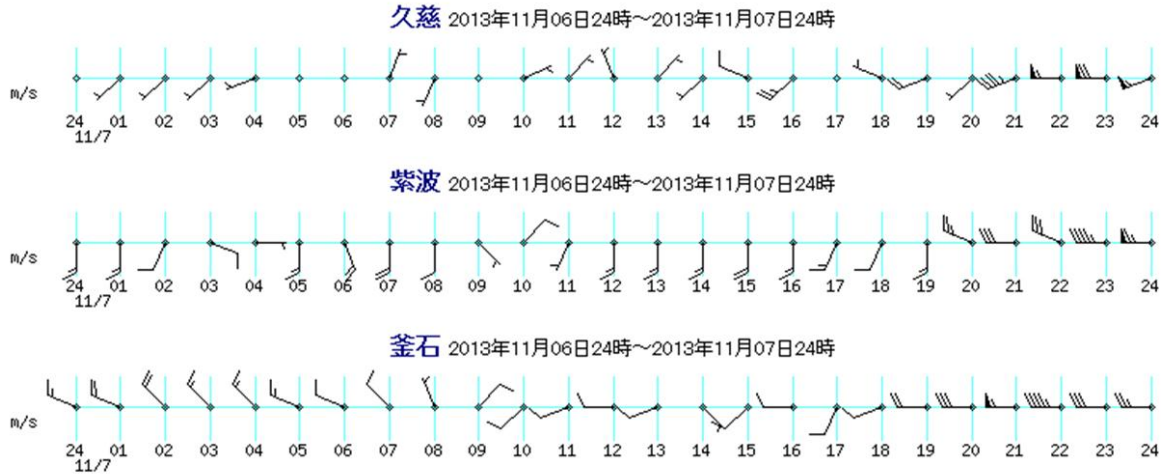
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西 9.0	24時00分	南南西 17.5	18時11分	アメダス	久慈	西 14.4	23時06分	西 30.9	22時14分
	宮古	西南西 6.7	23時13分	西 18.0	23時20分		紫波	西 14.1	23時51分	西 21.3	23時49分
	大船渡	北西 7.1	22時23分	北 15.5	23時52分		釜石	西 12.7	21時41分	西 26.3	20時58分

注1) 色塗りの黄色は11月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図 (11月7日)



○日最大風速の極値更新 (11月:統計期間10年以上)

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年
久慈	1	西 14.4	11月7日	1976年
釜石	1	西 12.7	11月7日	1976年

(2) 被害状況

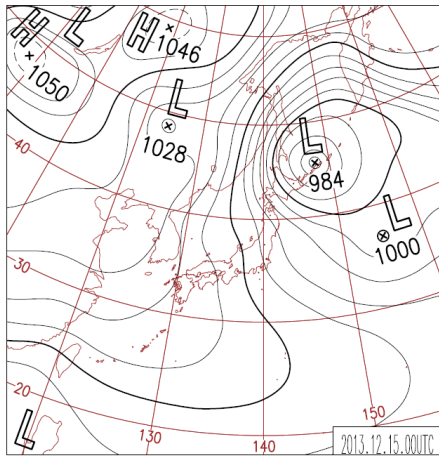
(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	4,326	りんご 33.0ha	二戸市、軽米町
	農業施設	200	倉庫破損 1棟	久慈市
計		4,526		

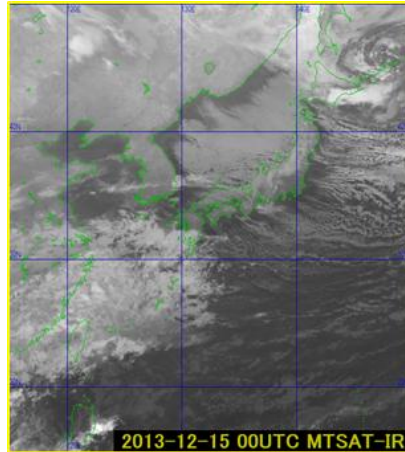
16 12月15日から16日にかけての強風災害

(1) 気象概況

15日、発達した低気圧が千島近海に進み、16日にかけて北日本は強い冬型の気圧配置となった。このため岩手県内では西から北西の風が非常に強くなり、陸前高田市で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 12月15日 09時



気象衛星赤外画像 12月15日 09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（12月15日～16日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	風雪
久慈地域	暴風雪	強風、波浪、乾燥
宮古地域	暴風雪	強風、波浪、乾燥、高潮
沿岸南部(住田町を除く)	—	強風、波浪、高潮
花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雪、なだれ(平泉町を除く)

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表

○官署等と最大風速 10m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速（12月15日）

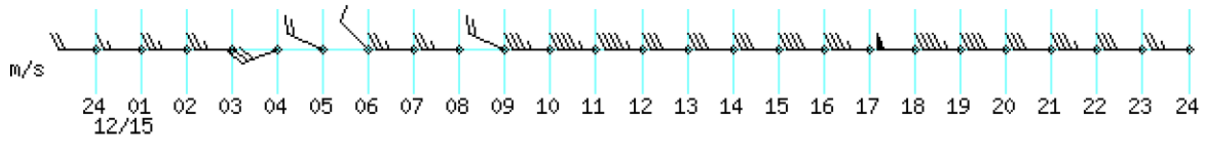
単位: m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西南西 6.1	12時05分	西 10.1	13時53分	アメダス	久慈	西 11.1	10時17分	西 20.2	18時04分
	宮古	西 6.5	09時15分	西 17.0	19時56分		釜石	西 10.6	17時21分	西南西 22.3	17時04分
	大船渡	北西 14.2	20時28分	北北西 27.3	20時06分		遠野	西 10.3	17時21分	西北西 19.2	16時29分

注) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図 (12月15日)

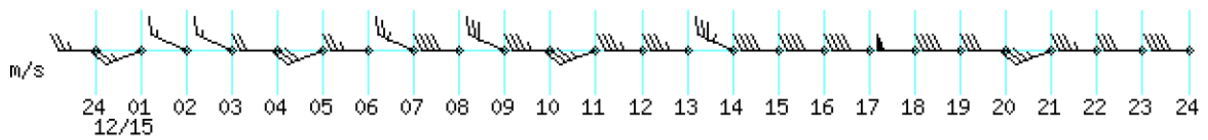
久慈 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



遠野 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



釜石 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



○日最大風速の極値更新 (12月: 統計期間10年以上)

該当なし

(2) 被害状況

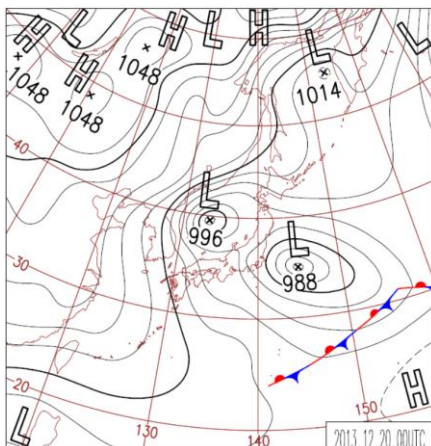
(単位: 千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	100	パイプハウス破損	陸前高田市
計	100		

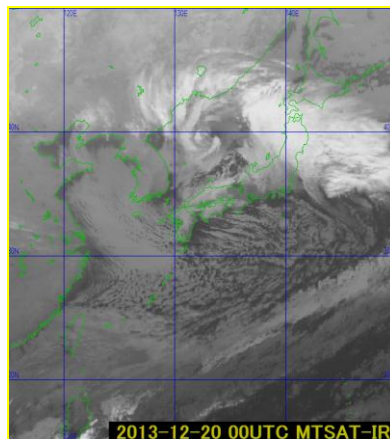
17 12月20日から21日の暴風雪災害

(1) 気象概況

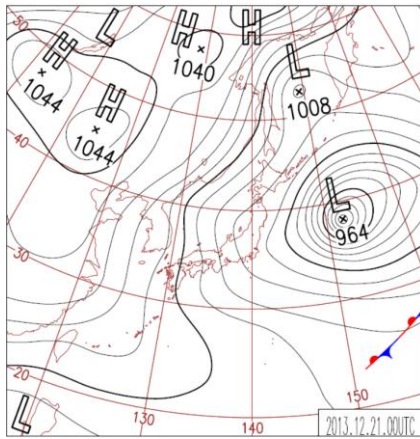
低気圧が日本海と関東の東海上にあり、関東の東の低気圧が急速に発達しながら三陸沖を北東へ進んだ。岩手県では海上を中心に風及びうねりを伴った波浪が強まり、20日の大潮の影響による海面上昇と重なったため、海岸では波が高かった。



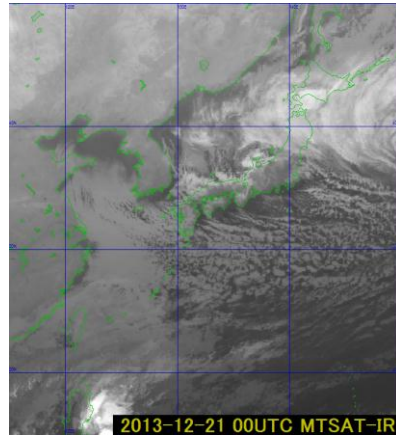
地上天気図 12月20日09時



気象衛星画像 12月20日09時



地上天気図 12月21日09時



気象衛星画像 12月21日09時

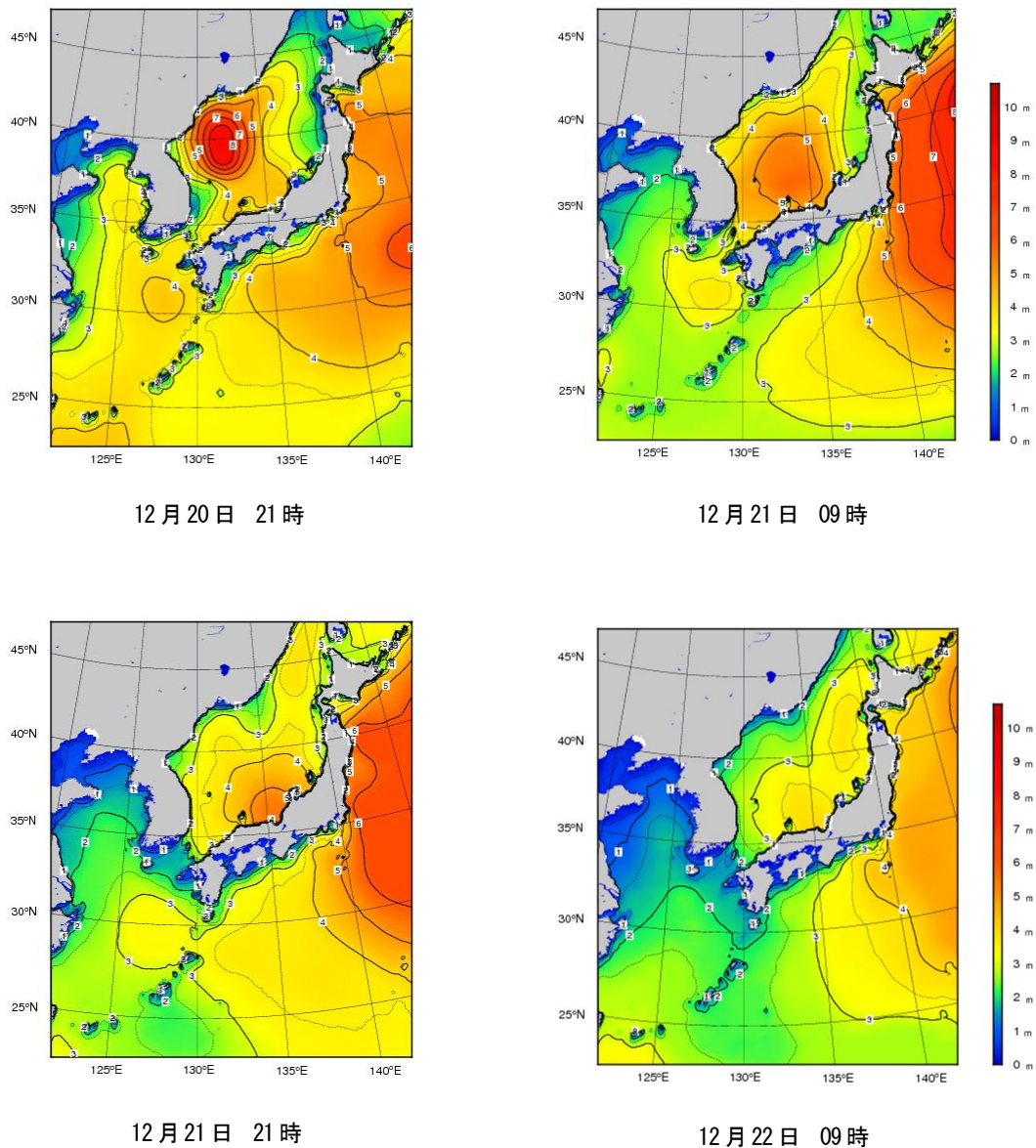
○関連する警報・注意報等の発表状況（12月20～21日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	風雪
宮古地域	波浪	大雪、強風、波浪、高潮、着雪
久慈地域	波浪	大雪、強風、波浪、着雪
沿岸南部（住田町を除く）	波浪	強風、波浪、高潮
遠野地域	—	大雪、着雪、なだれ

府県気象情報
「高波と強風に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第4号まで発表

注)一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○沿岸波浪図



【沿岸波浪図利用上の注意】

- ・波の高さを等波高線で示しています。等波高線は、1メートルごとの実線と0.5メートルごとの破線(4メートル未満の領域のみ)を表示しています。
- ・波の高さは「有義波高」で示しています。
- ・白い領域は海水域を表します。
- ・実際の波には、有義波よりも高い波が含まれているので注意が必要です。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域	
水産業	漁船	3,610	船体破損5隻	普代村
	漁具	15,760	定置網破損22ヶ統	久慈市、野田村、普代村
	養殖施設	1,570	養殖施設破損2台	大槌町
漁港	漁港施設	500	止壁流出1箇所	大船渡市
計	21,440			

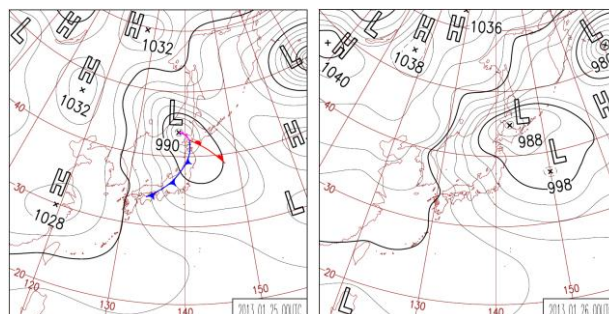
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 1月25～26日の大雪による災害

(1) 気象概況

25日は、北海道の西海上に停滞する低気圧からのびる寒冷前線が本州付近を通過した。その後、26日にかけて日本付近は冬型の気圧配置となり、岩手県の内陸の山沿いを中心に大雪となった。26日には、西和賀町湯田で217cmの積雪を観測し、1月の極値を更新した。

大雪により、西和賀町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 1月25日 09時

地上天気図 1月26日 09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（1月25～26日：花北地域）

地域	警報	注意報	府県気象情報
花北地域	大雪	大雪、風雪、なだれ、着雪、雷	「大雪に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第6号まで発表

注) 市町村等をまとめた地域で記載

○西和賀町湯田の降雪量と最深積雪（1月25日～26日） 単位：cm

日	降雪量	最深積雪
25日	46	203
26日	21	217

注) 色塗りは1月の極値更新を表す。

○月最深積雪の極値更新（1月：統計期間10年以上）

単位：cm

地点名	順位	値	起日	統計開始年
湯田	1	217	1月26日	1980年

(2) 被害状況

(単位：千円)

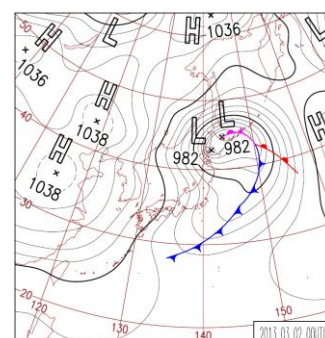
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	1,500	パイプハウス破損 1棟	西和賀町
計	1,500		

2 3月2日の暴風雪による災害

(1) 気象概況

日本海の低気圧が急速に発達しながら釧路沖から千島近海に進み、日本海北部に別の低気圧が発生した。北日本は冬型の気圧配置が強まり、岩手県では暴風雪となった。釜石や紫波など8地点で日最大風速の3月の極値（内5地点では通年の極値）を更新した。

暴風雪により、住家被害や停電、交通障害のほか、花巻市など9市町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 3月2日 09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（3月2日：岩手県）

地域	警報	注意報
盛岡地域	暴風雪	大雪、風雪、着雪、強風
二戸地域 遠野地域	—	風雪、強風
花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雪、風雪、強風、着雪
沿岸南部	—	風雪、強風
宮古地域	暴風雪	風雪、強風、着雪
久慈地域	暴風雪	風雪、強風

府県気象情報
「暴風雪と高波」に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第5号まで発表

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○官署等と日最大風速 15m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速（3月2日）

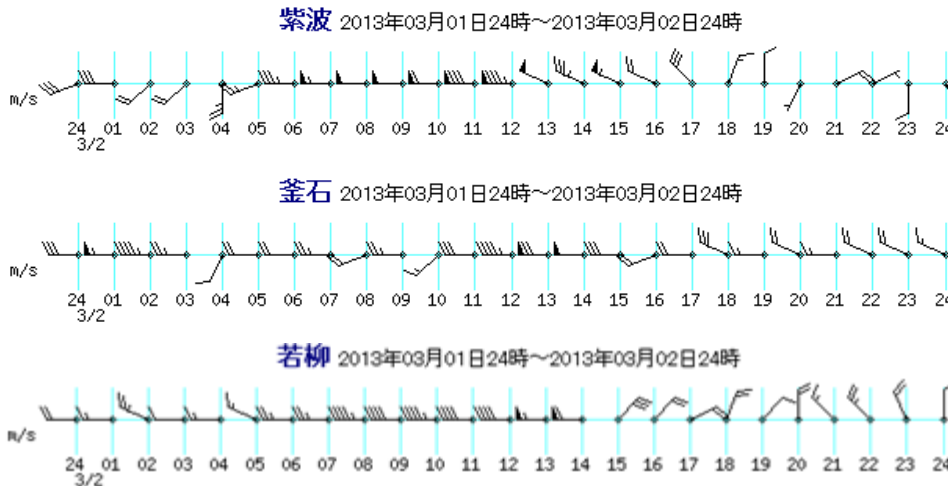
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西 11.2	10時57分	西南西 21.6	11時00分	アメダス	紫波	西 18.3	12時20分	西 29.0	12時40分
	宮古	西南西 10.2	10時56分	西南西 29.1	12時20分		釜石	西 16.5	13時22分	西 30.7	13時41分
	大船渡	北西 12.2	01時50分	北西 23.6	14時43分		若柳	西 15.3	13時30分	西 24.1	13時22分

注1) 色塗りの黄色は3月の極値更新、橙色は通年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図（3月2日）



○日最大風速の極値更新（3月：統計期間10年以上）

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年	地点名	順位	値	起日	統計開始年
久慈	年1	西南西 14.3	3月2日	1977年	遠野	1	西北西 13.4	3月2日	1977年
奥中山	年1	西 12.2	3月2日	1978年	釜石	年1	西 16.5	3月2日	1977年
岩手松尾	年1	西北西 14.4	3月2日	1977年	若柳	年1	西 15.3	3月2日	1977年
紫波	1	西 18.3	3月2日	1977年	千厩	1	西北西 11.1	3月2日	1977年

注) 「年1」は通年の極値を表す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

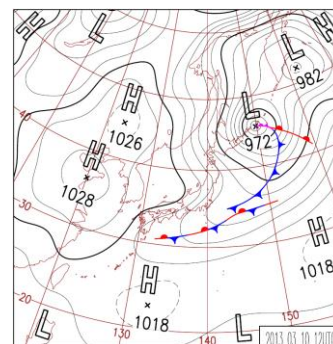
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	1,786	パイプハウス破損等 46 棟	花巻市、雫石町等 9 市町
計		1,786		

3 3月10日の暴風雪による災害

(1) 気象概況

急速に発達しながら北海道付近を東進する低気圧からのびる寒冷前線が、本州付近を通過した。その後、低気圧が千島近海に進み、北日本は冬型の気圧配置が強まり、岩手県では暴風雪となった。紫波や岩泉町小本など4地点で日最大風速の3月の極値（紫波では通年の極値）を更新した。

暴風雪により、人的被害や住家被害、停電、交通障害のほか、花巻市など12市町で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 3月10日 21時

○関連する警報・注意報等の発表状況（3月10日：岩手県）

地域	警報	注意報	府県気象情報 「暴風雪と高波に関する岩手県気象情報」を第7号まで発表
盛岡地域	暴風雪	風雪、強風、雷	
花北地域	暴風雪	大雪、風雪、強風、雷	
二戸地域	—	風雪、強風、雷	
遠野地域			
両磐地域	—	大雪、風雪、強風、雷	
奥州金ヶ崎地域			
沿岸南部	暴風雪、	強風、雷	
沿岸北部	暴風		

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○官署等と最大風速 15m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速 (3月10日)

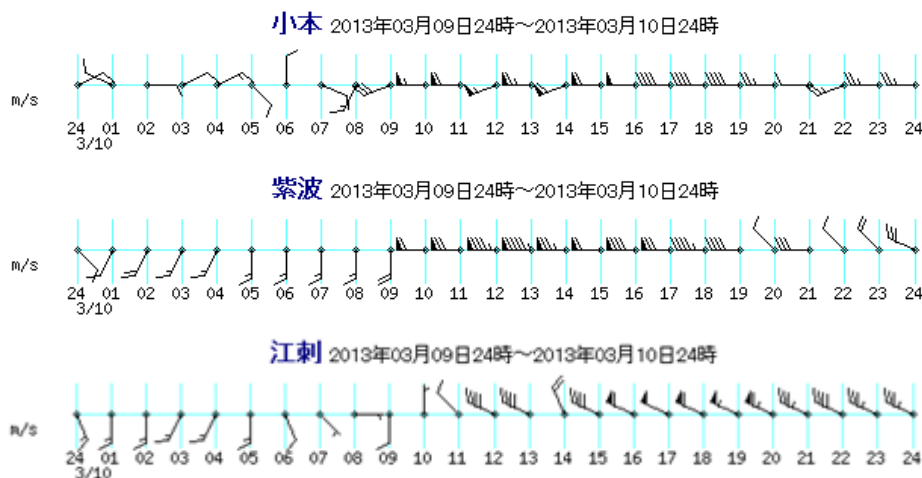
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西北西 13.3	12時24分	西北西 24.6	11時59分	アメダス	紫波	西 20.7	12時32分	西 29.7	12時30分
	宮古	西南西 11.2	16時17分	西 27.4	13時58分		小本	西 15.6	13時42分	西 28.4	12時48分
	大船渡	北北西 10.3	23時30分	北北西 19.6	15時01分		江刺	西北西 15.2	17時41分	西北西 21.3	17時32分

注1) 色塗りの黄色は3月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図 (3月10日)



○日最大風速の極値更新 (3月:統計期間10年以上)

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年
荒屋	1	南 11.3	3月10日	1977年
小本	1	西 15.6	3月10日	1978年
紫波	年1	西 20.7	3月10日	1977年
千厩	1	西 11.5	3月10日	1977年

注) 「年1」は通年の極値を表す。

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	20,959	パイプハウス破損等 285 棟	花巻市、山田町等 12 市町
計	20,959		

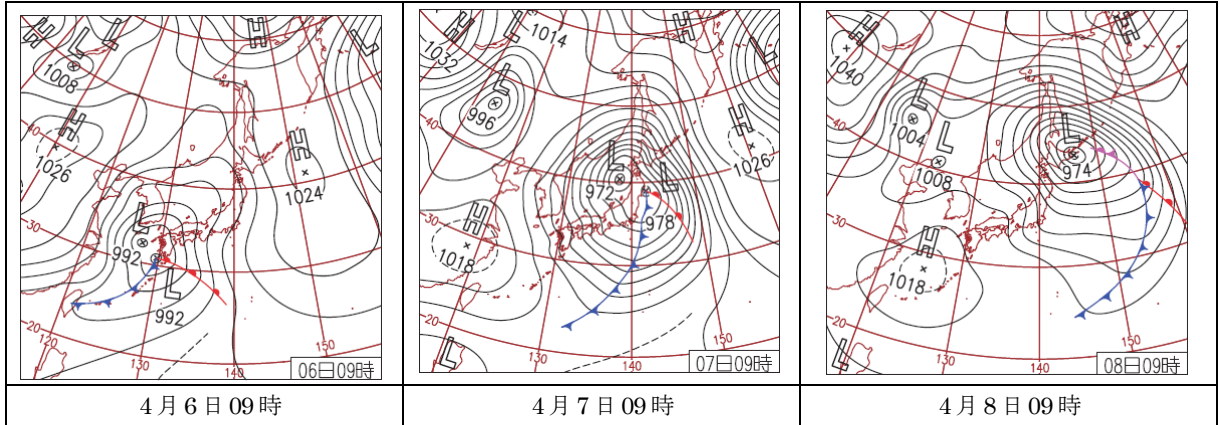
4 4月6日から8日の暴風雨災害

(1) 気象概況

6日から8日にかけて、日本海の低気圧と本州南岸の低気圧が共に発達しながら北東進し、北海道付近で一つにまとまり、北日本は一時的に強い冬型の気圧配置となった。このため、岩手県では暴風となり、海上は大しけとなった。

8日には、葛巻や久慈など4地点で観測開始以来の日最大風速の極値を更新(統計期間10年以上の地点)した。この強風で、飛散物による人的被害のほか、住家被害、停電、交通障害のほか農業施設被害など、また、沿岸では船舶被害が発生した。

○地上天気図



○関連する警報・注意報等の発表状況（4月6日～8日：岩手県）

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域	—	強風、融雪、濃霧、雷、なだれ	久慈地域	暴風、波浪	強風、濃霧、雷、波浪
二戸地域	—	強風、濃霧、雷	宮古地域	暴風、波浪	強風、濃霧、大雨、雷、洪水、高潮、波浪
花北地域	—	強風、融雪、濃霧、雷、洪水、なだれ			
遠野地域	—	強風、濃霧、大雨、雷、洪水	釜石地域	暴風、波浪	強風、濃霧、大雨、雷、洪水、高潮、波浪
奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	強風、融雪、濃霧、大雨、雷、洪水、なだれ	大船渡地域	大雨、洪水	

注) 市町村をまとめた地域で記載

府県気象情報
「発達する低気圧に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第7号まで発表

○官署等と最大風速 15m/s の地点の日最大風速と日最大瞬間風速（4月8日）

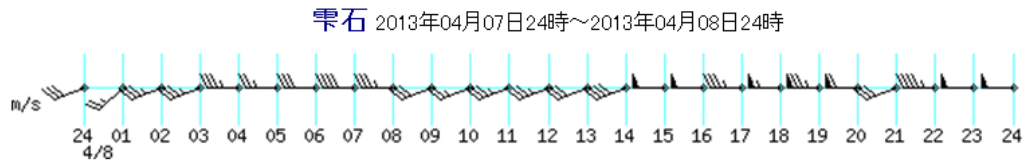
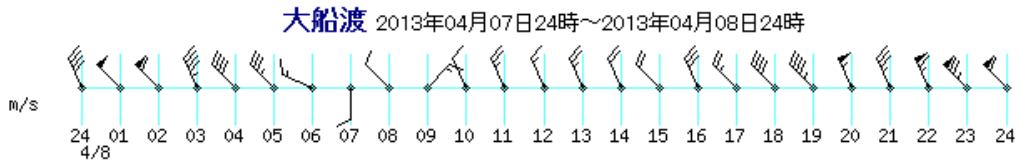
地点名	日最大風速		日最大瞬間風速	
	風向/風速(m/s)	時分	風向/風速(m/s)	時分
官署等	盛岡	西南西 8.0 16時02分	南南西 17.0 09時31分	
	宮古	西南西 8.2 11時44分	南西 18.3 08時39分	
	大船渡	北西 16.2 22時37分	西北西 29.0 02時16分	
アメダス	雫石	西 15.6 19時23分	西 28.4 19時35分	
	住田	西北西 15.1 20時53分	西北西 24.1 20時48分	
	葛巻	南南西 15.0 14時59分	南西 29.6 14時52分	
	遠野	西北西 15.0 20時45分	西北西 24.0 20時38分	

注1) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。
 注2) 塗潰しの黄色は4月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図（4月7日24時～8日24時）

県内で最大風速を観測した大船渡と強風害が発生した盛岡地域（雫石）の観測値

風速の凡例 旗：10m/s、長線：2m/s、短線：1m/s 例)  : 13m/s



○極値更新状況（4月：統計期間10年以上の要素を記載）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
月降水量の多い方から	mm	大槌	1	163.5	2013年4月	2001年
日最大風向・風速	m/s	大船渡	1	北西 162	2013年4月8日	1964年
		久慈	年1	西南西 14.8	2013年4月8日	1977年
		葛巻	年1	南南西 15.0	2013年4月8日	1977年
		区界	1	南東 12.9	2013年4月6日	1994年
		遠野	年1	西北西 15.0	2013年4月8日	1977年
			2	西北西 11.2	2013年4月7日	
住田	年1	西北西 15.1	2013年4月8日	1978年		

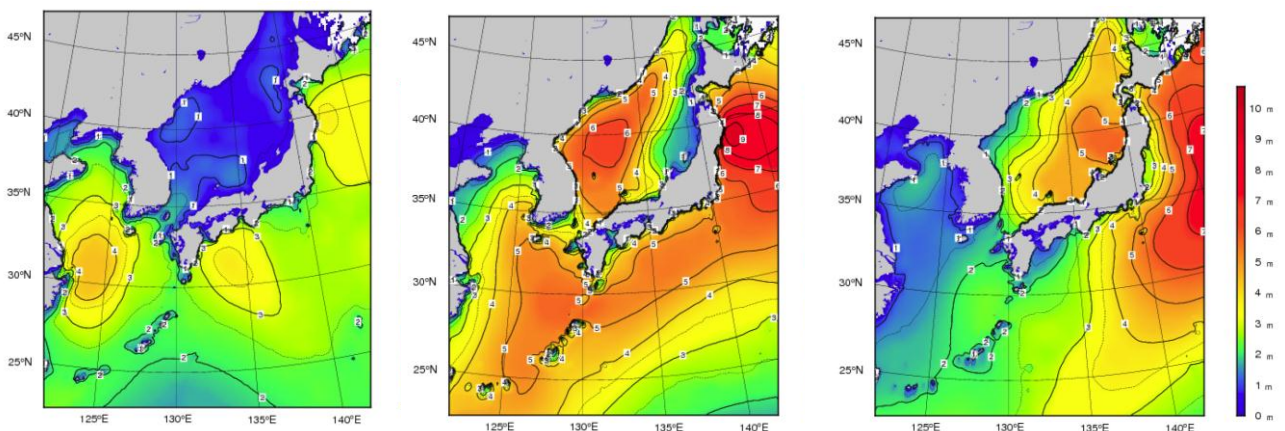
注) 「年1」は通年の極値更新を表す。

○ 沿岸波浪図

6日09時

7日09時

8日09時



【図の説明】

- 波の高さを等波高線で示しています。等波高線は、1メートルごとの実線と0.5メートルごとの破線(4メートル未満の領域のみ)を表示しています。
- 波の高さは「**有義波高**」で示しています。

(2) 被害状況

(単位：千円)

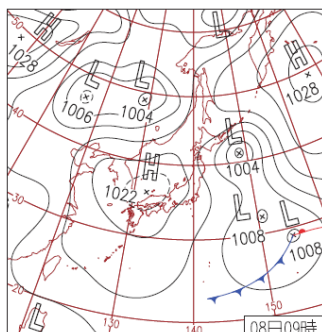
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	53	ほうれんそう 0.03ha	洋野町
	農業施設	18,444	パイプハウス破損等 140 棟	雫石町、洋野町等 20 市町村
林 業	林業施設	17,900	林道法面崩壊、治山施設破損等 10 箇所	奥州市、住田町、大槌町
水産業	水産施設	10,420	作業保管施設破損等 5 箇所	釜石市、大船渡市、洋野町
	漁船	17,730	漁船転覆等 15 隻	大船渡市、陸前高田市等 4 市町
	養殖施設	8,100	養殖施設の破損 23 台	大船渡市、釜石市
	水産物	77,802	養殖物の落下等 258 トン	大船渡市、釜石市、陸前高田市
漁 港	漁港施設	93,880	防波堤の破損等 33 箇所	大船渡市、宮古市等 5 市町
計		244,329		

5 5月8日の低温被害

(1) 気象概況

8日は、日本海に中心を持つ高気圧に覆われ本県でも晴れとなり、上空の寒気と放射冷却により気温が下がったため、日最低気温は紫波と花巻の2地点で低い方からの5月の極値を更新するなど、内陸や沿岸北部で氷点下を観測した所が多く（それぞれ統計期間10年以上の地点）、八幡平市及び滝沢村などで野菜、果樹に被害が発生した。

○地上天気図5月8日09時



○関連する警報・注意報等の発表状況（5月7～8日：花北地域）

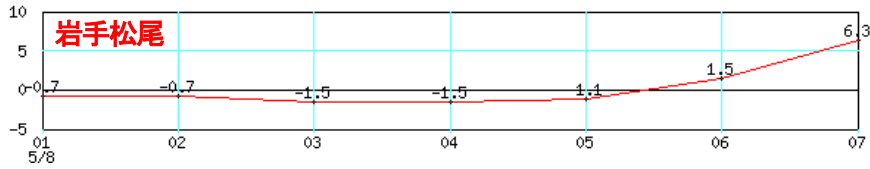
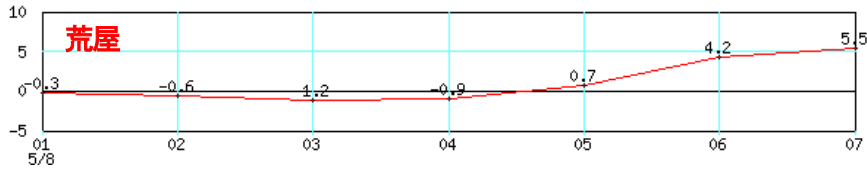
地 域	警 報	注意報
花北地域	—	霜、強風、濃霧、なだれ

注)市町村等をまとめた地域で記載

○極値更新状況（統計期間10年以上）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日最低気温の低い方から	℃	紫波	1	-0.7	2013年5月8日	1977年	日最高気温の低い方から	℃	葛巻	1	2.6	2013年5月7日	1977年
		花巻	1	-0.6	2013年5月8日	2003年			岩手松尾	1	6.9	2013年5月7日	1977年
日最高気温の低い方から	℃	軽米	1	4.9	2013年5月7日	1977年			好摩	1	6.8	2013年5月7日	1977年
		二戸	1	5.2	2013年5月7日	1977年			岩泉	1	5.9	2013年5月7日	1977年
		山形	1	3.9	2013年5月7日	1978年			藪川	1	2.8	2013年5月7日	1977年
		荒屋	1	4.9	2013年5月7日	1977年			区界	1	3.1	2013年5月7日	1994年
		奥中山	1	2.5	2013年5月7日	1978年			花巻	1	9.4	2013年5月7日	2003年

○主な地点の気温時系列図（八幡平市の5月8日：01時～07時）



(2) 被害状況

(単位：千円)

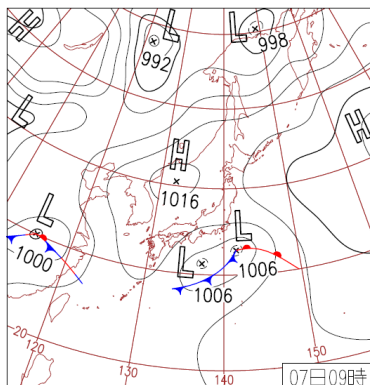
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	925	おとう等 3.4ha	一戸町、八幡平市、滝沢市
計				

6 6月7日の降雹被害

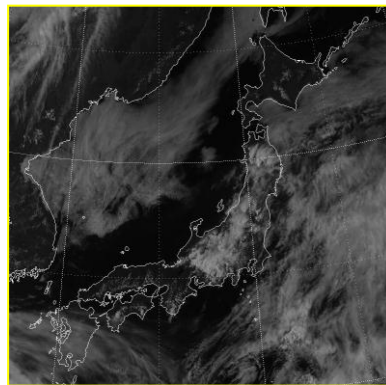
(1) 気象概況

7日は、寒気を伴った気圧の谷が東北地方上空を通過した影響により大気の状態が不安定となり、局地的な雷雨や降雹があり、八幡平市で花き等に被害が発生した。

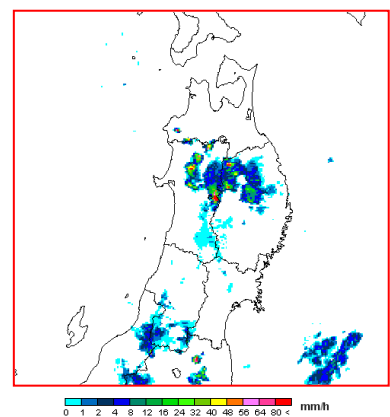
○地上天気図、気象衛星写真、レーダー画像



地上天気図 7日09時



気象衛星可視画像 7日14時30分



レーダー画像 7日14時30分

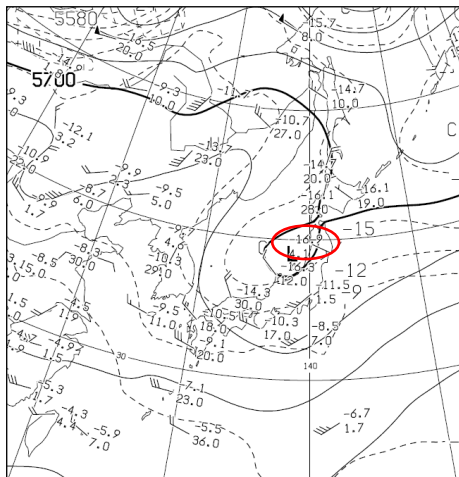
○関連する警報・注意報等の発表状況（6月7日：岩手県）

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	雷、大雨、洪水、濃霧
二戸地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域 沿岸北部	—	雷、大雨、洪水、濃霧
遠野地域 花北地域 沿岸南部	—	雷、濃霧

府県気象情報

「雷と突風及び降雹に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ気象情報を第3号まで発表

○高層天気図（6月7日）



秋田上空約5500mの気温（℃）

観測日時	観測値	平年差
6月7日	-16.8	-3.1

500hPa 高層天気図 6月7日 09時
(上空約5500m)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物	499	りんどう 2.5ha	八幡平市
計	499		

7 6月14日の少雨高温被害

(1) 気象概況

5月下旬から、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、平均気温はかなり高かった。降水量はかなり少ない所があった。日照時間は平年並からかなり多かった。特に6月上旬は、県内アメダス観測地点全体の70%以上の地点で降水量0.0mmを記録した。

月降水量は大船渡など13地点で少ない方からの6月の極値を更新し、記録的な少雨となった。月間日照時間は盛岡市好摩など4地点で多い方からの6月の極値を更新し(それぞれ統計期間10年以上の地点)、八幡平市、滝沢村では、水稻の作付け不能や、野菜のしおれ等の被害が発生した。

○旬別の気温、降水量、日照時間（盛岡：5月中旬から、6月中旬）

<官署：盛岡地方気象台>

種別	5月下旬			6月上旬			6月中旬		
	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分	観測値	平年差・比	階級区分
平均気温(°C)	17.2	+1.9	かなり高い	19.5	+2.3	かなり高い	21.6	+3.1	かなり高い
降水量(mm)	13.0	40	少ない	0.0	0	かなり少ない	44.0	115	平年並
日照時間(h)	71.3	105	平年並	102.0	170	かなり多い	44.6	86	平年並

<単位：気温=°C、降水量=mm、日照時間=h、平年差（比）=°C（%）> 平年値：1981～2010年の平均値

○極値更新（6月：統計期間10年以上の観測所）

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始年
月降水量の少ない方から	mm	大船渡	1	45.5	2013年6月	1964年	月降水量の少ない方から	mm	大槌	1	34.5	2013年6月	2001年
		久慈	1	30.5	2013年6月	1976年			北上	1	45.0	2013年6月	1977年
		下戸鎖	1	26.5	2013年6月	1979年			釜石	1	46.0	2013年6月	1976年
		普代	1	33.0	2013年6月	1977年			住田	1	46.0	2013年6月	1978年
		岩手松尾	1	20.0	2013年6月	1976年			月間日照時間の多い方から	h	好摩	1	216.2
	好摩	1	21.5	2013年6月	1976年	大迫	1	192.1			2013年6月	1988年	
	葛根田	1	49.0	2013年6月	1978年	若柳	1	185.4			2013年6月	1987年	
	川井	1	35.0	2013年6月	1978年	江刺	1	193.4			2013年6月	1986年	
	大迫	1	44.5	2013年6月	1976年	日最大風向・風速	m/s	遠野			1	西 6.9	2013年6月22日

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	28,924	水稲、野菜 59.9ha	一関市、平泉町等 7 市町
計				

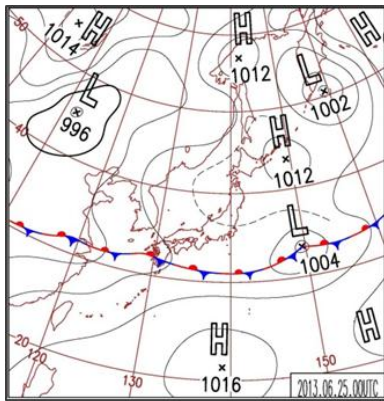
8 6月25日の降雹災害

(1) 気象概況

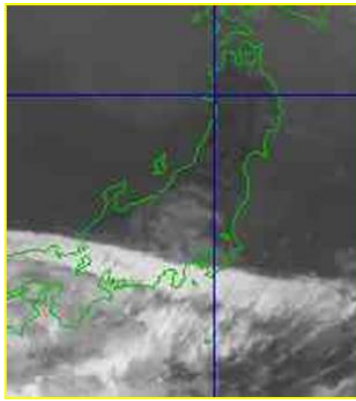
6月25日、北日本は千島近海の高気圧に覆われたため晴れて気温が上昇した。一方、岩手県北部の上空を、寒気を伴った気圧の谷が通過した。このため岩手県の北部では大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、県の北部を中心に局地的に雷を伴った激しい雨が降った。葛巻町では、日最大1時間降水量23.0mm、八幡平市荒屋では21.5mmを観測した。

この発達した積乱雲から、一戸町ではひょうが降り、農作物（野菜）に被害が発生した。

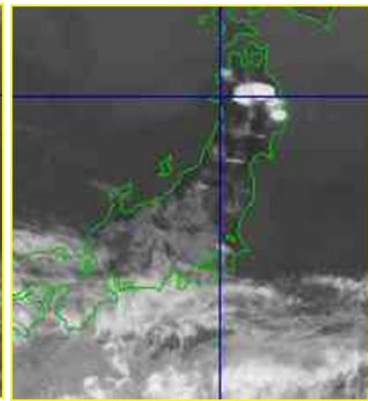
○地上天気図、気象衛星赤外画像（6月25日）



地上天気図 6月25日09時



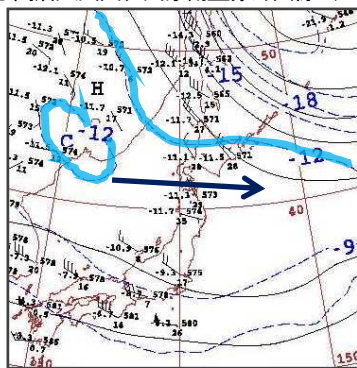
気象衛星赤外画像 6月25日09時



気象衛星赤外画像 6月25日15時

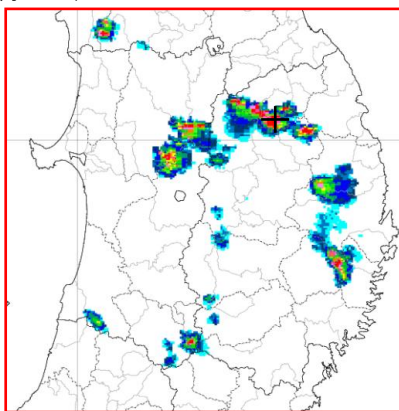
○高層天気図、気象衛星赤外画像（6月25日）

注) 十印は一戸町を示す。

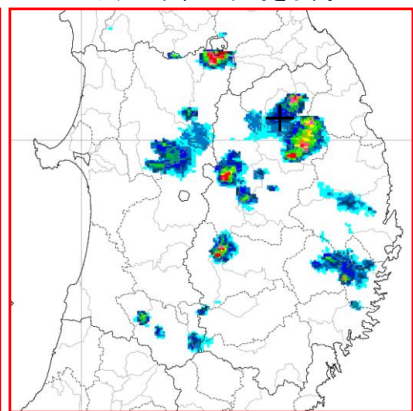


500hPa 高層天気図 6月25日09時

(上空約5500m)



レーダー画像6月25日14時00分



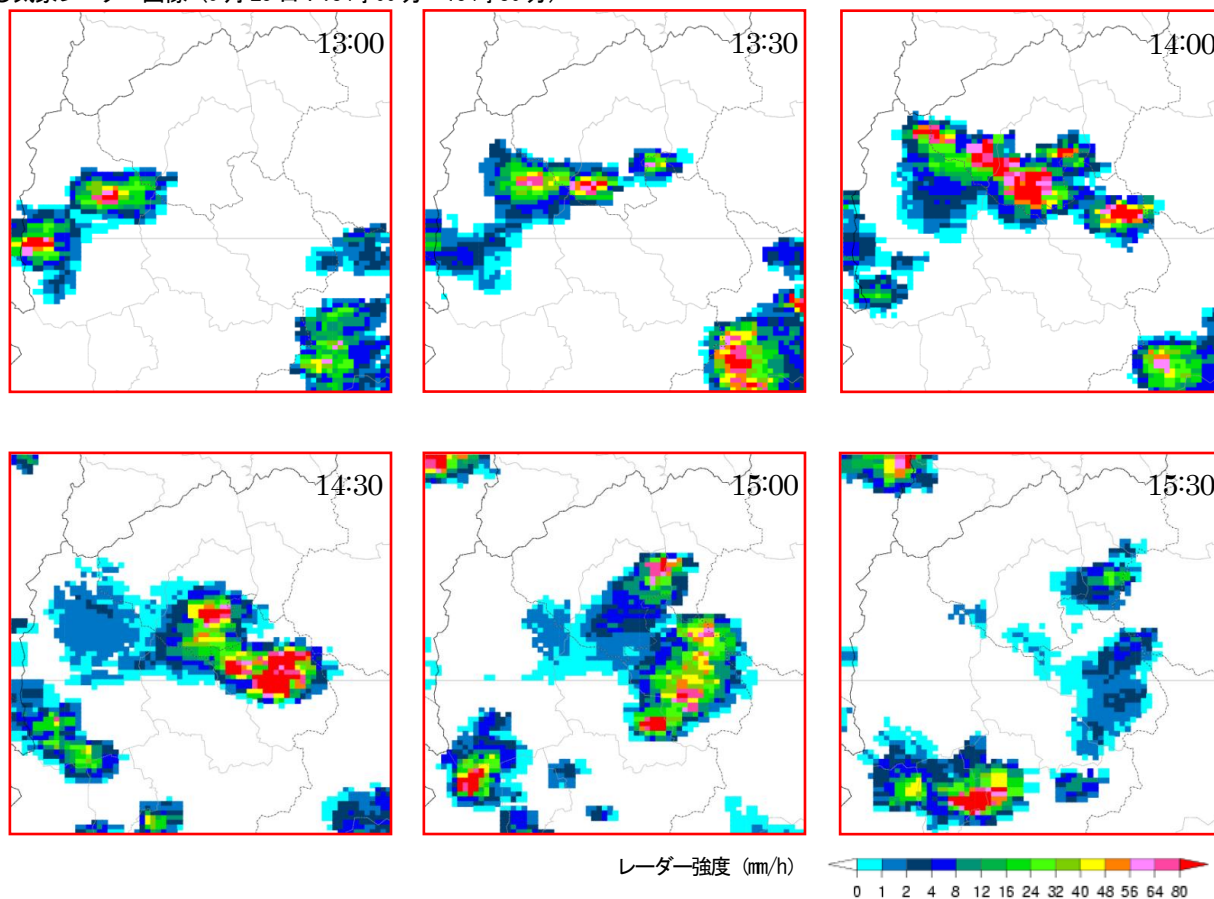
レーダー画像6月25日15時00分

○関連する警報・注意報等の発表状況（6月25日：岩手県）

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
一戸町 葛巻町 岩泉町 釜石市	大雨・洪水	大雨・洪水・雷	宮古市 山田町 大槌町 大船渡市 陸前高田市	—	大雨・洪水・雷 高潮・濃霧
内陸 (葛巻町と一戸町を除く) 住田町	—	大雨・洪水・雷	久慈地域 田野畑村	—	大雨・洪水・雷 濃霧

気象情報
「岩手県竜巻注意情報」を第3号まで発表
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を2回発表

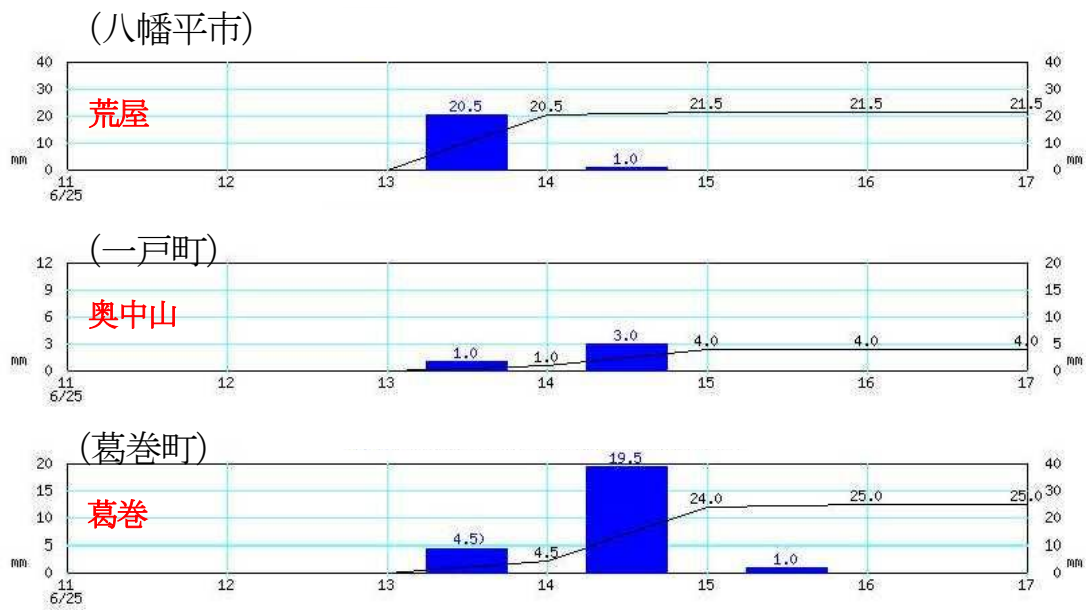
○気象レーダー画像 (6月25日 : 13時00分~15時30分)



○主な地点の降水量 (6月25日 : 単位 mm)

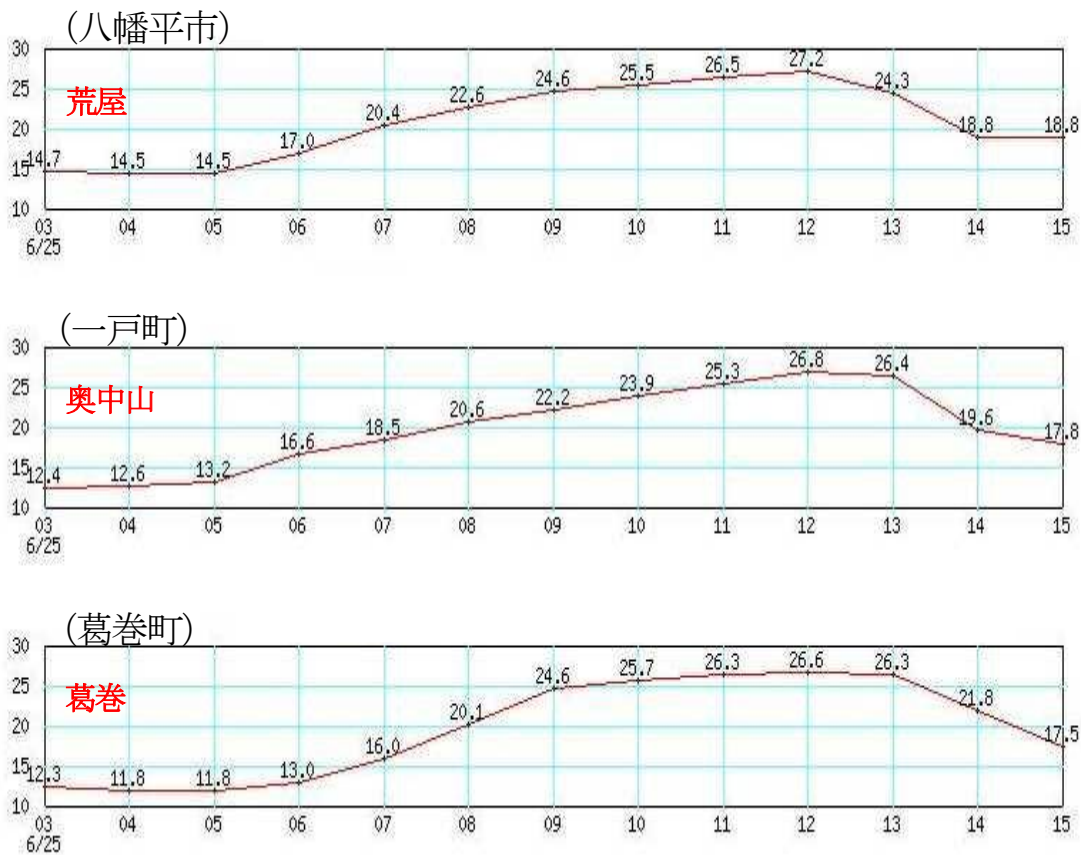
観測所名	日降水量		日最大1時間降水量			統計期間
	順位	値	順位	値	起時	
荒屋	—	21.5	2	21.5	14時17分	1977年
奥中山	—	4.0	—	4.0	14時53分	1978年
葛巻	—	25.5	2	23.0	14時55分	1976年

○主な地点の降水量時系列 (6月25日 11時~17時 : 単位 mm)



注1) 1時間降水量: 棒グラフ、降水量積算値: 折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○主な地点の気温時系列 (6月25日 3時~15時 : 単位 °C)



注) 毎正時の気温: 折れ線グラフ

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	20,286	レタス、はくさい8.2ha	一戸町
計		20,286		

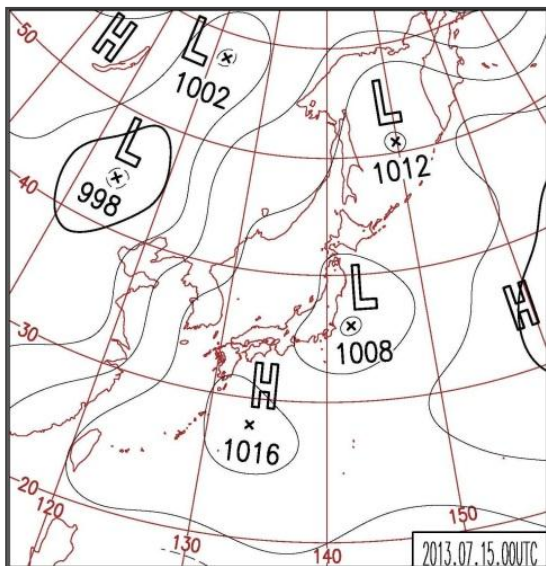
9 7月15日の大雨による災害

(1) 気象概況

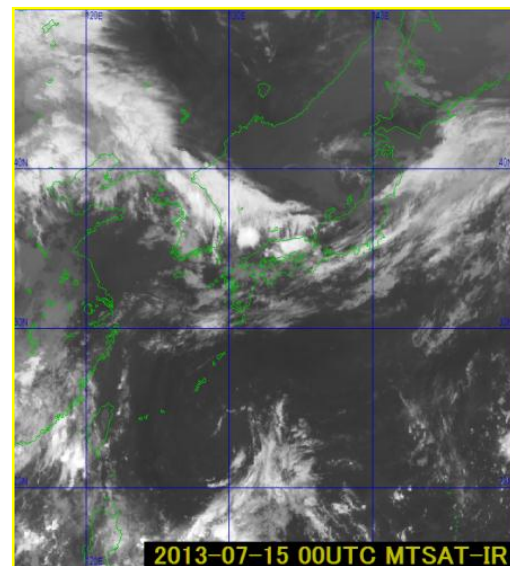
15日は、低気圧が日本の東を東北東に進んだため、東北地方には暖かく湿った空気が流入した。16日、日本付近は気圧の尾根に覆われ、日本の南にある高気圧縁辺を回る、暖かく湿った空気が流入し気温が上昇した。一方、15日から16日にかけて寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したことにより不安定な状態となった。このため、岩手県では局地的に激しい雨が降った。

この大雨により、宮古市区界では15日に日最大1時間降水量86.5mmを観測し通年の極値を更新した。北上市では土砂災害等により農業施設等に被害が発生した。

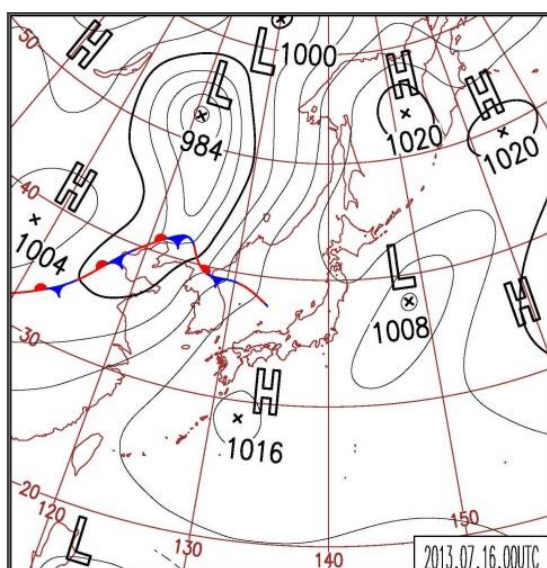
○地上天気図、気象衛星赤外面像（7月15日～16日）



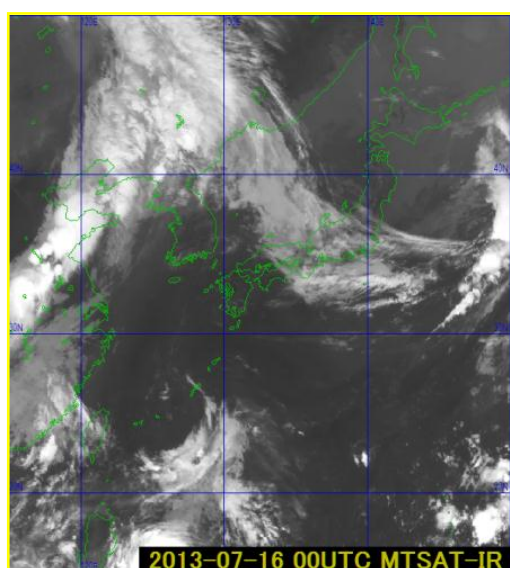
地上天気図 7月15日 09時



気象衛星赤外面像 7月15日 09時



地上天気図 7月16日 09時



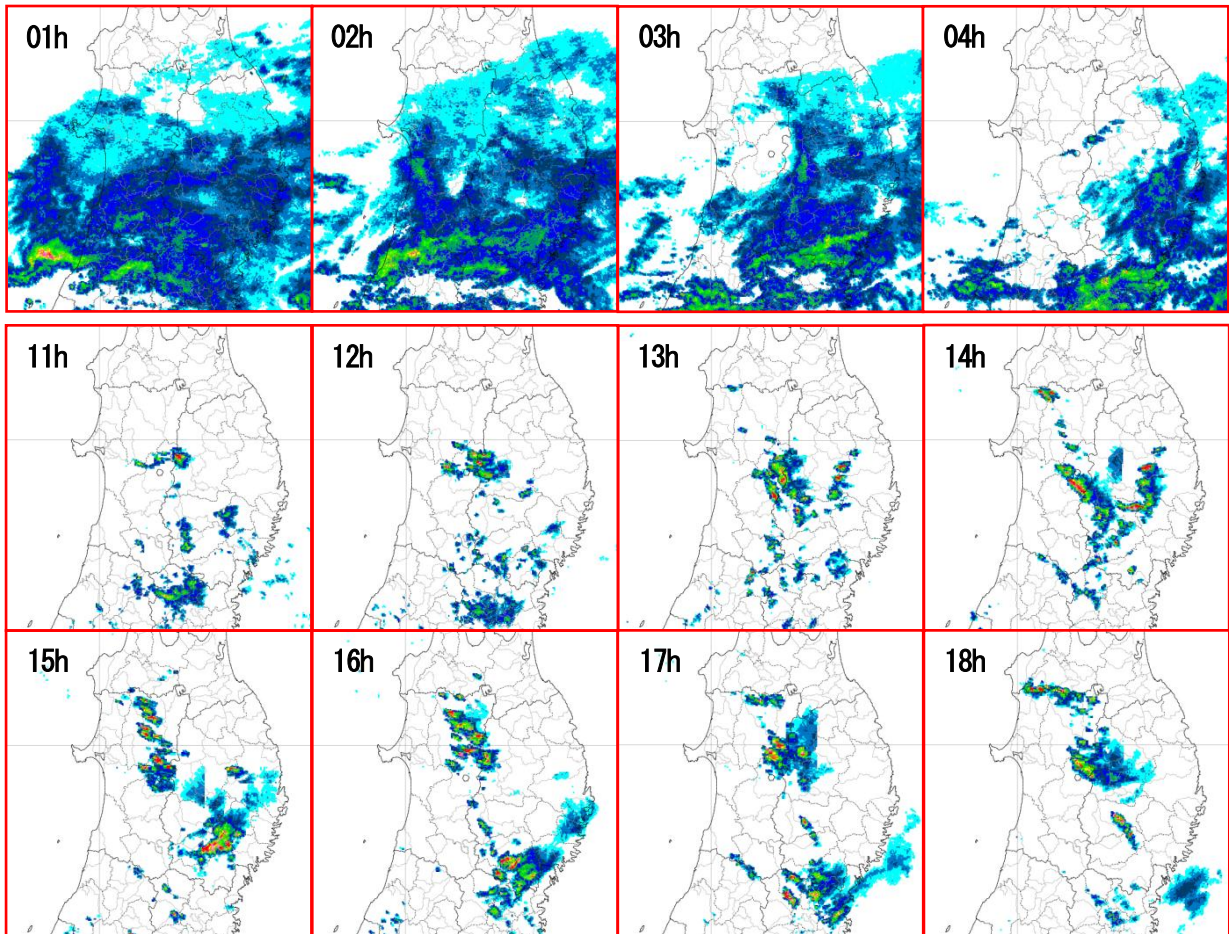
気象衛星赤外面像 7月16日 09時

○関連する警報・注意報等の発表状況 (7月15日：岩手県)

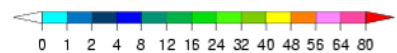
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡市、雫石町	大雨、洪水	大雨、洪水、雷、濃霧	葛巻町、岩手町	—	大雨、洪水、雷、濃霧
花北地域			滝沢村、紫波町		
遠野地域			矢巾町		
宮古市、岩泉町			釜石地域		
奥州市			田野畑村、山田町		
大船渡市			金ヶ崎町		
陸前高田市			住田町		
一関市			平泉町		
八幡平市	大雨	大雨、洪水、雷、濃霧	二戸地域	—	大雨、雷、濃霧
			久慈地域		

気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」を第3号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を7回発表

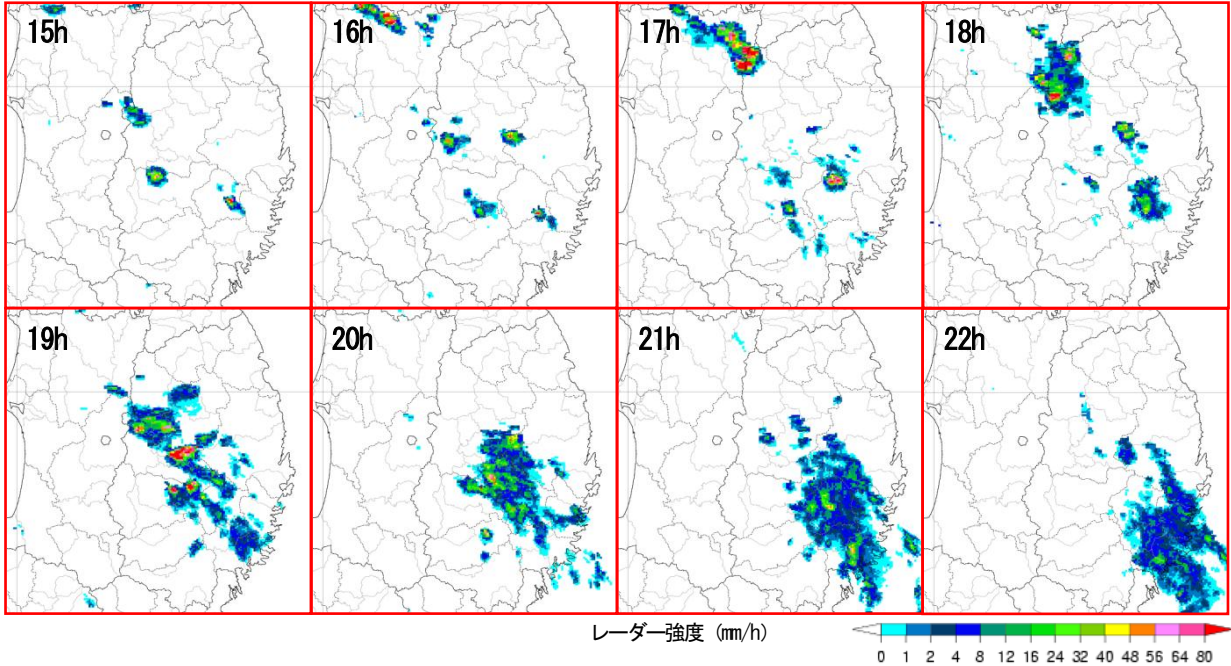
○気象レーダー画像 (7月15日 01h~04h・11h~18h)



レーダー強度 (mm/h)



○気象レーダー画像 (7月16日 15h~22h)

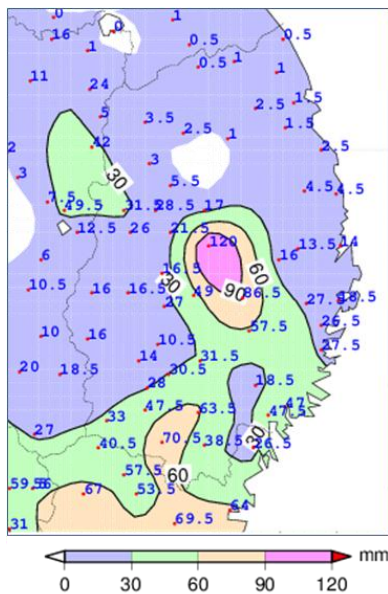


○主な地点の降水量 (7月15~16日 単位: mm)

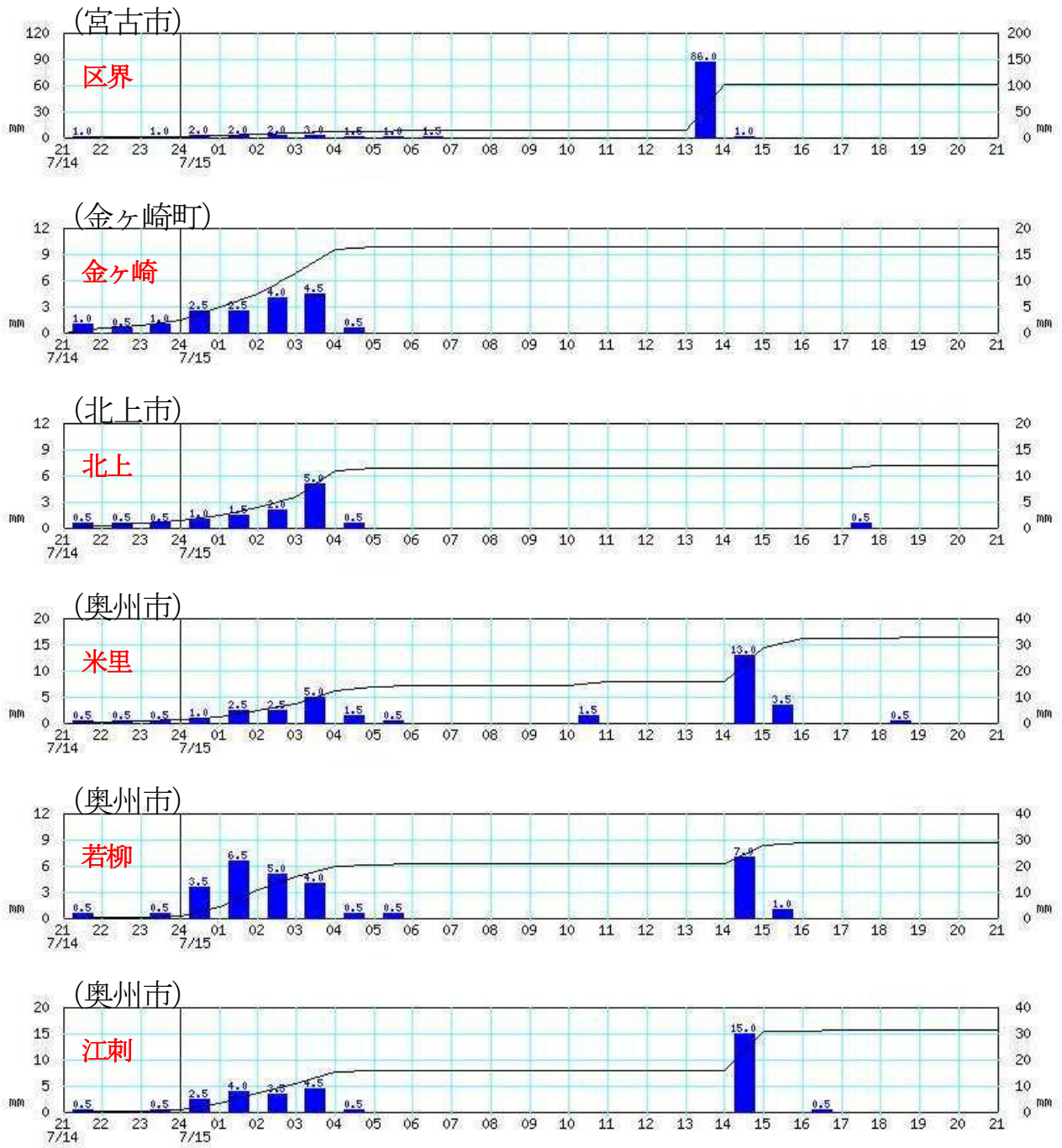
地点名	15日			地点名	16日		
	日降水量	1時間最大降水量			日降水量	1時間最大降水量	
		値 (mm)	起時			値 (mm)	起時
区界	105.5	86.5	14時13分	大迫	32.5	31.0	20時39分
衣川	47.5	18.0	16時43分	附馬牛	66.0	43.5	17時58分
大東	63.5	31.0	03時17分	遠野	37.0	21.5	21時18分
陸前高田	44.5	25.0	03時45分	滝沢	20.5	19.0	19時22分
一関	70.5	26.0	03時10分	区界	14.5	12.5	20時24分

注) 塗りつぶし橙色は年の極値更新

○主な地点の降水量分布図 (7月15日00時分~16日24時00分 単位: mm)

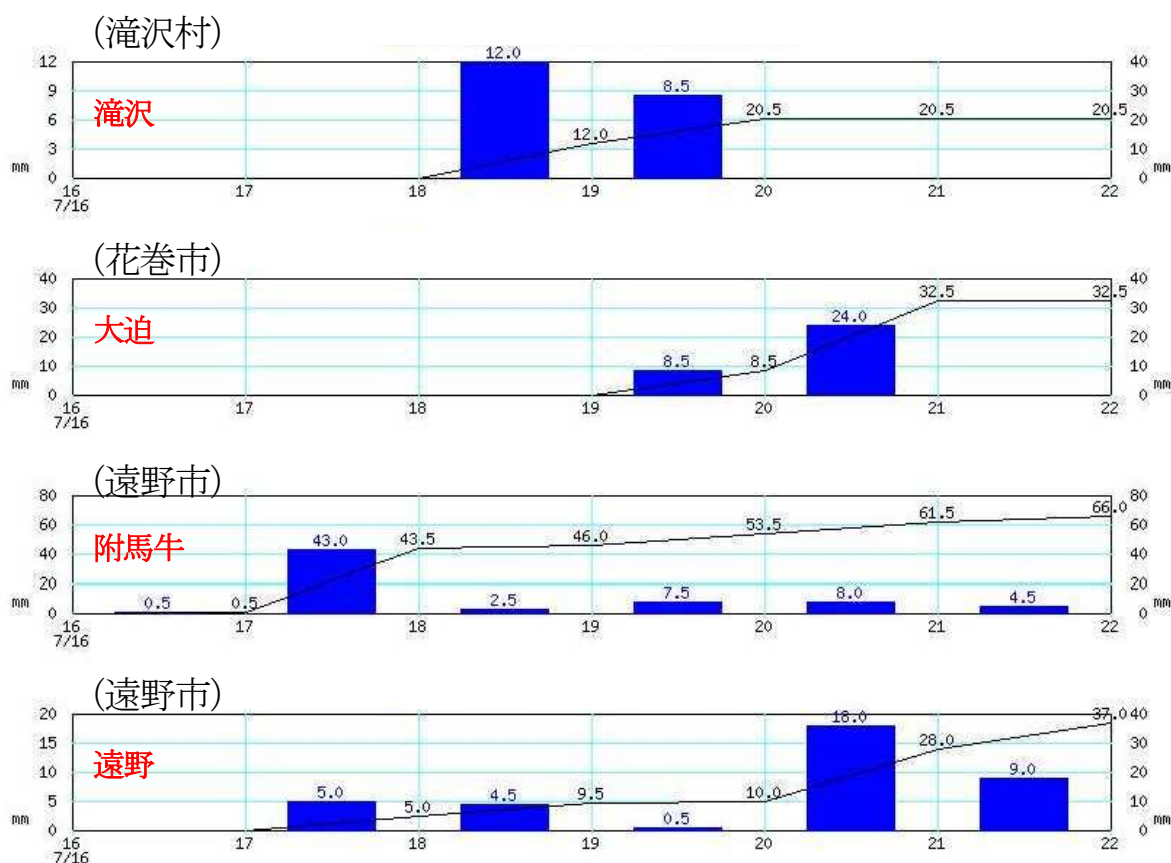


○主な地点の降水量時系列図（7月14日21時～15日21時：単位 mm）



注1) 1時間降水量：棒グラフ、降水量積算値：折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○主な地点の降水量時系列図 (7月16日16時~22時 : 単位 mm)



注1) 1時間降水量: 棒グラフ、降水量積算値: 折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○極値更新 (7月15日、16日 : 単位 mm)

地点名	要素名	順位	値	起日	統計期間
区界	日降水量	2	105.5	2013年7月15日	1994年
附馬牛		1	66.0	2013年7月16日	2006年
大東		2	63.5	2013年7月15日	2006年
陸前高田		4	44.5	2013年7月15日	2011年
区界	日最大1時間降水量	年1	86.5	2013年7月15日	1994年
大迫		2	31.0	2013年7月16日	1976年
附馬牛		1	43.5	2013年7月16日	2006年
小鍬		5	8.5	2013年7月16日	2011年
大東		4	31.0	2013年7月15日	2006年
陸前高田		3	25.0	2013年7月15日	2011年

注) 「年1」は7月の極値更新、「1」は統計期間10年の未満の極値更新

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	25,170	だいこん、しそ等 18.1ha	宮古市
	農地・農業用施設	42,000	農地の法面崩壊 39 箇所、水路への土砂流入、道路の法面崩壊等 42 箇所	一関市、奥州市、宮古市
計		67,170		

10 7月26～28日の大雨による災害

(1) 気象概況

26日から28日にかけて、上空約5500mに氷点下6℃以下の寒気を伴った気圧の谷が日本海をゆっくり東進し、28日に東北地方を通過した。日本海の低気圧に向って暖かく湿った空気が流れ込み、東北地方は大気が不安定な状態が続いた。

このため岩手県では、非常に激しい雨が降り、3日間の総降水量は住田で239.0mmを観測するなど、県の南部を中心に150mmを超える大雨となった。26日の日最大1時降水量は釜石と住田で通年の極値を、26日の日降水量は住田で7月の極値をそれぞれ更新した。

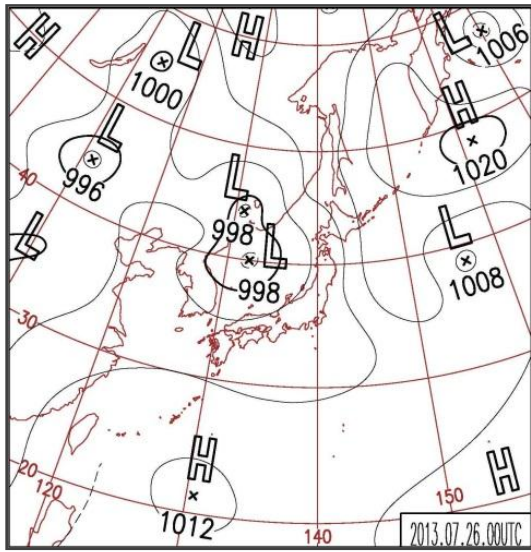
この大雨により、県の南部を中心に住家の床上浸水やがけ崩れなどの土砂災害等のほか、農地の冠水、農林水産業施設等に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況（7月26～28日：岩手県）

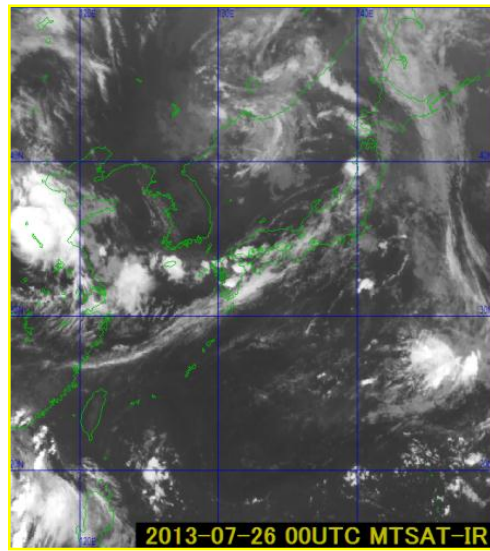
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域 花北地域 遠野地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	大雨、洪水	大雨、洪水、雷 濃霧	宮古地域 沿岸南部	大雨、洪水	大雨、洪水、強風、雷 高潮、濃霧
九戸村	大雨	大雨、洪水、雷 濃霧	久慈市	大雨	大雨、洪水、強風、雷 濃霧
二戸市、軽米町 一戸町	—	大雨、洪水、雷 濃霧	普代村、野田村 洋野町	—	大雨、洪水、強風、雷 濃霧

気象情報
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」及び引継ぐ情報を第7号まで発表
「竜巻注意情報」を2回発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を18回発表
「北上川上流洪水予報」を7回発表

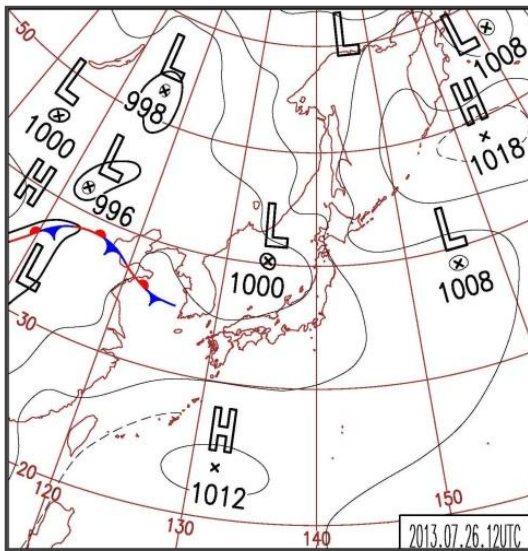
○地上天気図、気象衛星赤外画像（7月26日～27日）



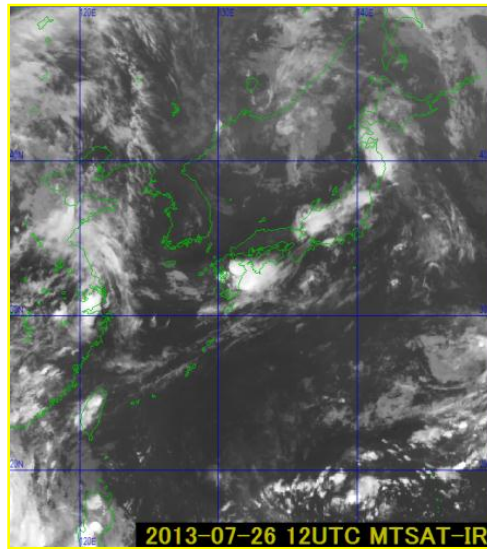
地上天気図 7月26日09時



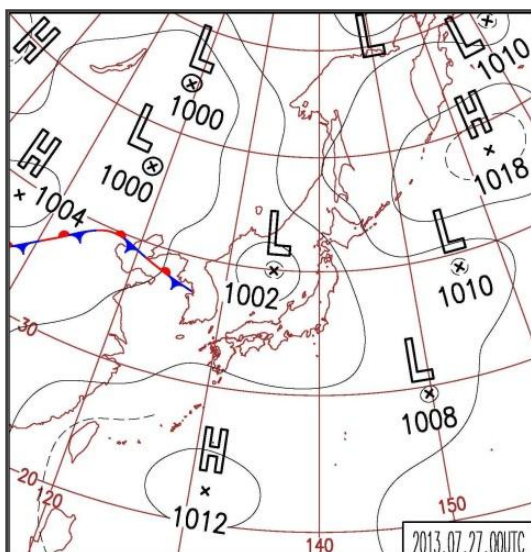
気象衛星赤外画像 7月26日09時



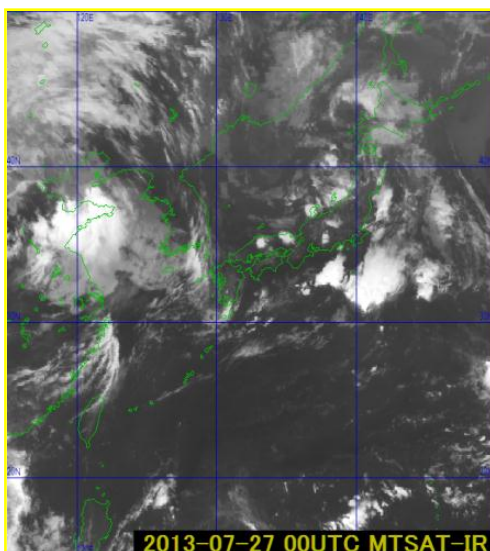
地上天気図 7月26日21時



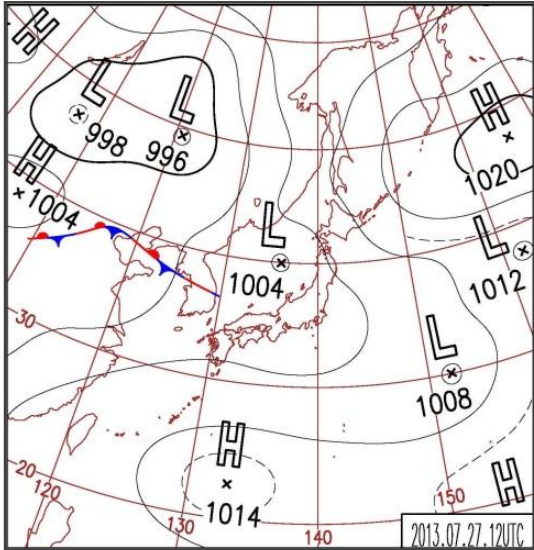
気象衛星赤外画像 7月26日21時



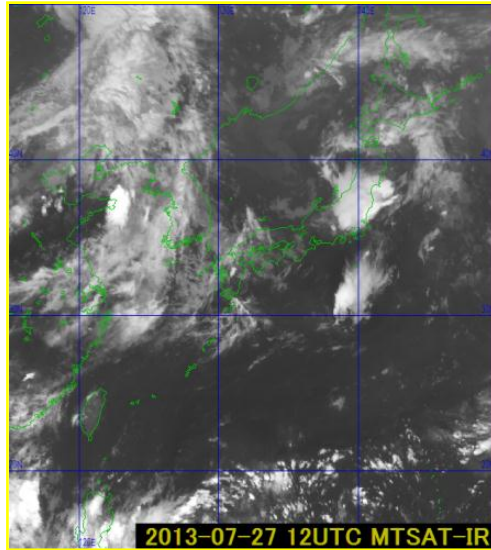
地上天気図 7月27日09時



気象衛星赤外画像 7月27日09時



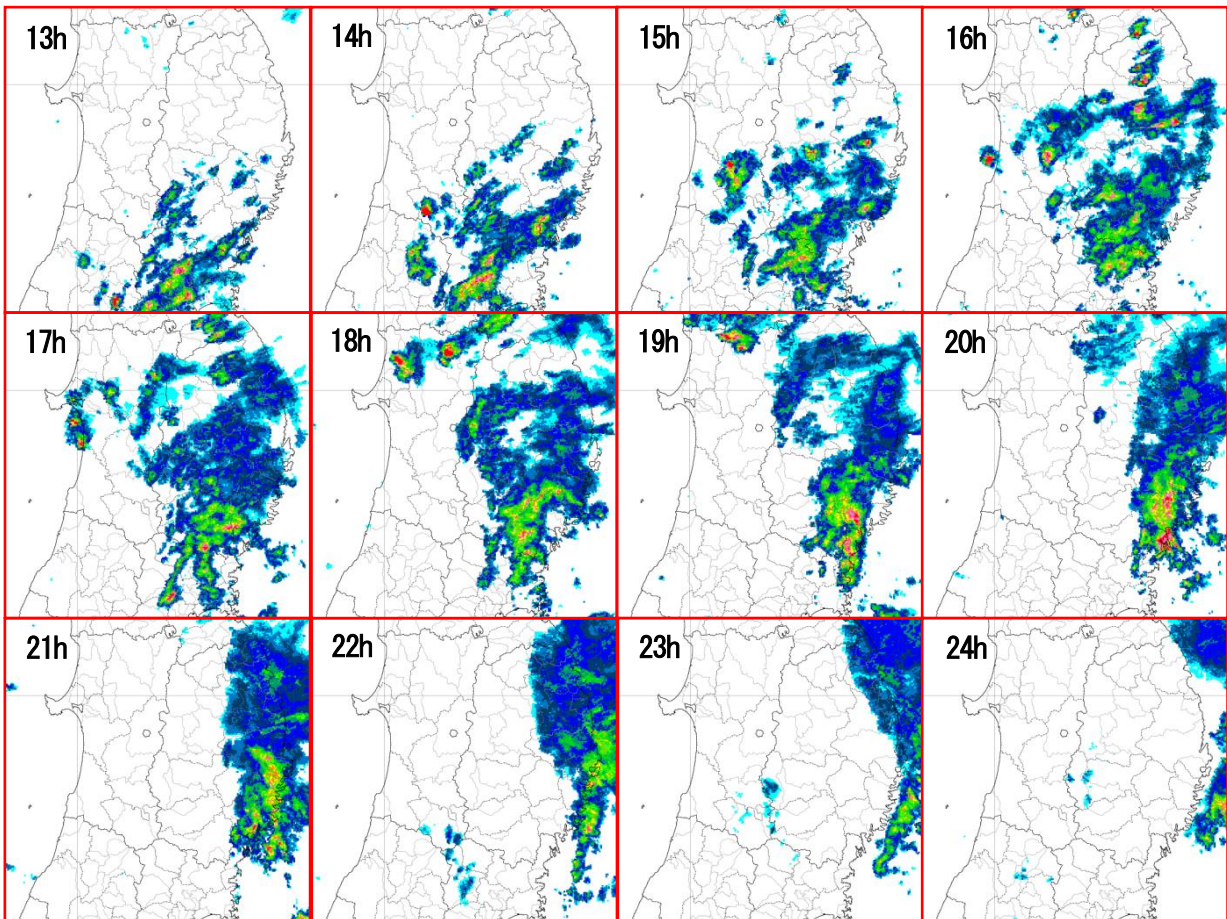
地上天気図 7月27日21時



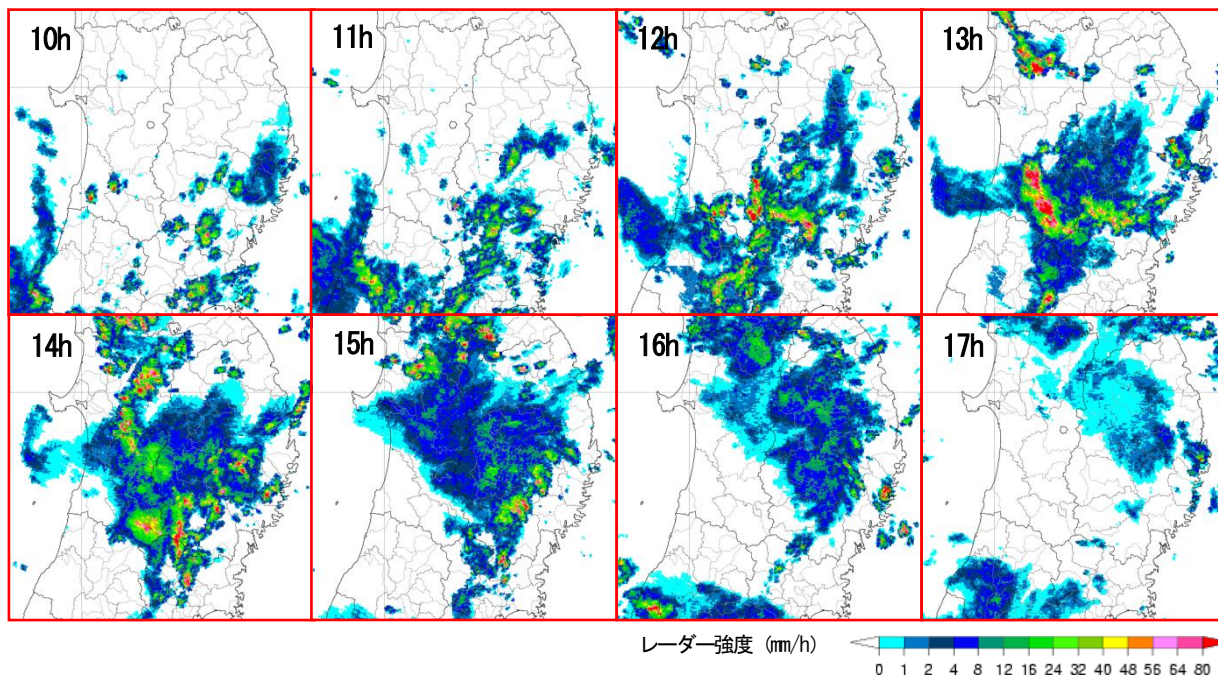
気象衛星赤外画像 7月27日21時

○気象レーダー画像

(7月26日 13h~24h)



(7月27日 10h~17h)

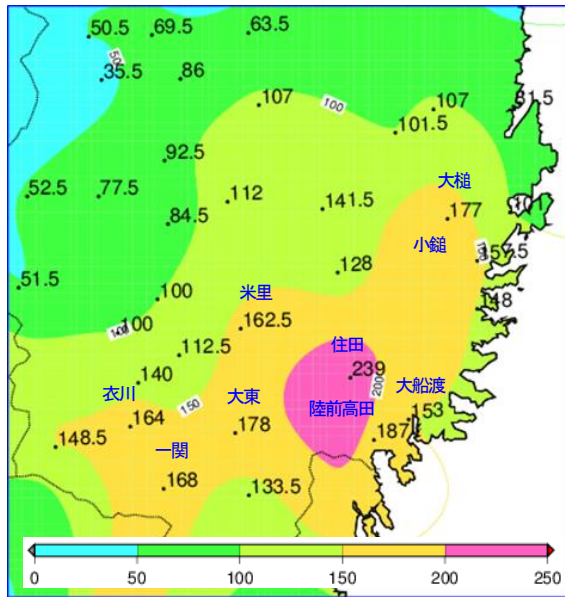


○主な地点の降水量 (7月26日~28日 単位: mm)

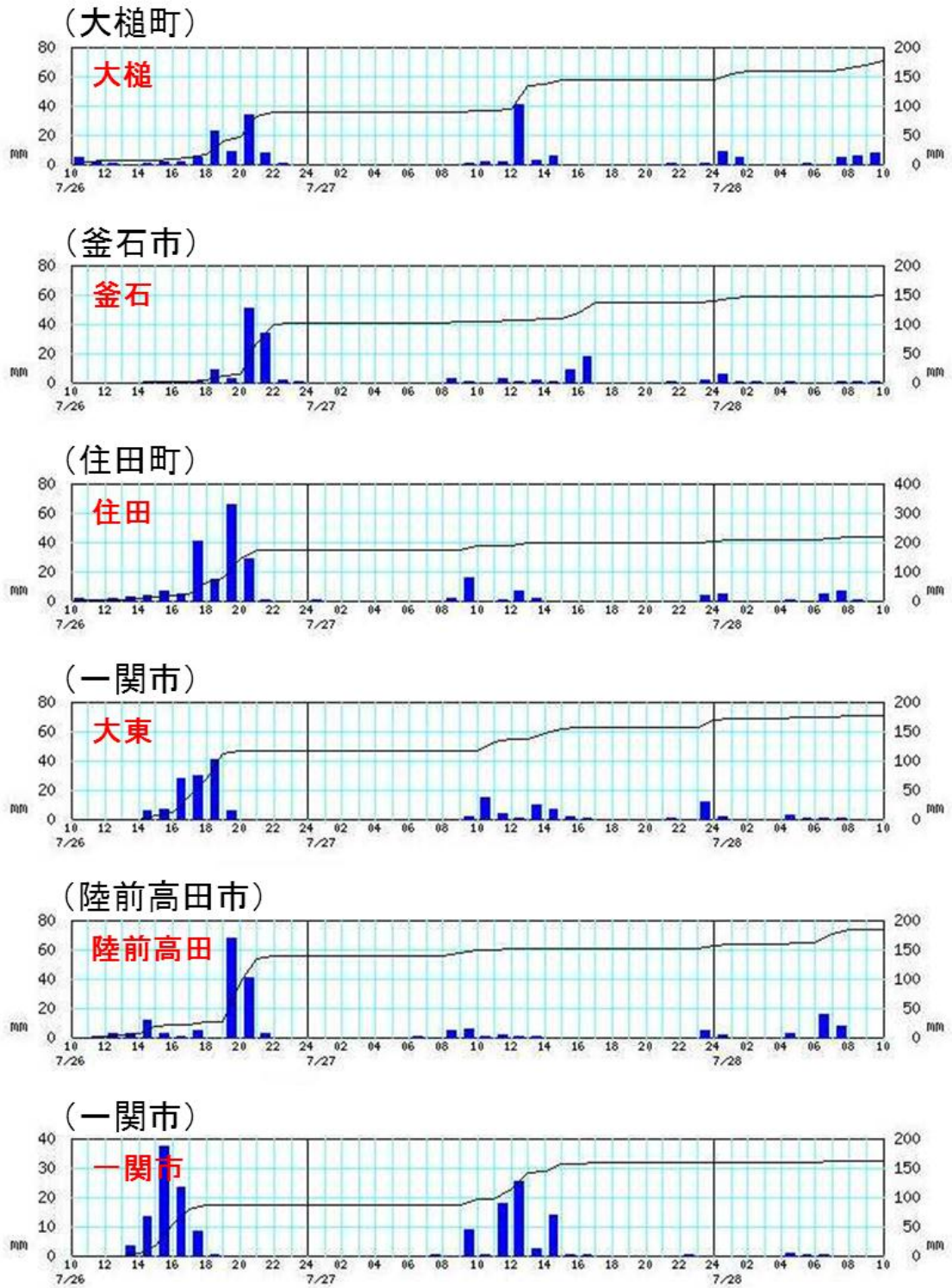
観測所名	7月26日			7月27日			7月28日		
	日降水量 値	1時間降水量		日降水量 値	1時間降水量		日降水量 値	1時間降水量	
		値	起時		値	起時		値	起時
区界	29.0	14.5	04時24分	21.0	8.5	15時14分	57.0	43.5	16時58分
刈屋	46.0	19.5	21時30分	10.5	6.0	15時40分	50.5	20.0	10時00分
宮古	61.5	29.0	22時00分	5.5	3.0	18時18分	14.5	6.5	02時08分
大槌	90.0	34.5	21時10分	54.5	42.5	13時19分	32.5	10.0	01時13分
山田	81.5	47.5	21時54分	8.0	2.5	13時41分	11.5	5.0	01時30分
遠野	94.5	35.5	20時32分	22.5	8.0	14時25分	11.0	7.0	01時14分
小鎚	99.5	59.5	21時38分	47.5	28.0	17時09分	10.5	6.5	01時13分
米里	70.0	21.0	19時14分	70.0	39.5	15時24分	22.5	16.5	18時54分
釜石	101.0	68.0	21時23分	37.5	27.0	16時47分	9.5	6.5	01時05分
若柳	68.5	33.0	16時24分	71.0	34.5	12時59分	0.5	0.5	07時53分
江刺	56.0	17.5	16時40分	45.0	24.0	14時24分	11.5	10.5	01時00分
住田	191.0	66.5	19時57分	30.0	16.5	09時57分	18.0	8.0	07時44分
祭時	35.0	12.5	13時48分	99.5	30.0	14時06分	14.0	5.0	15時37分
衣川	55.5	21.0	16時17分	108.0	37.0	12時58分	0.5	0.5	09時12分
大東	118.5	46.5	18時49分	52.5	15.5	10時59分	7.0	12.5	00時15分
陸前高田	140.0	73.0	20時22分	18.5	10.0	09時34分	28.5	18.5	07時18分
大船渡	104.5	53.0	20時58分	25.0	11.0	24時00分	23.5	13.0	00時18分
一関	92.5	43.0	15時37分	71.5	42.0	12時41分	4.0	2.0	19時21分
千厩	116.5	42.5	18時30分	15.0	5.5	23時56分	2.0	4.0	00時01分

注) 薄茶色塗は日降水量7月の極値更新、濃茶色塗は通年の極値更新を表す。

○総降水量分布図 (7月26日00時00分~28日24時00分 : 単位 mm)



○主な地点の降水量時系列図（7月26日～28日）



注1) 1時間降水量：棒グラフ、降水量積算値：折れ線グラフ
 注2) 縦軸のスケールは地点により異なる

○極値更新（7月：統計期間10年以上の観測所）

要素 地点	日降水量			1時間最大降水量				統計期間
	順位	値	起日	順位	値	起日	起時	
大槌	2	90.0	7月26日	1	42.5	7月27日	13時19分	2001年
山田	-	81.5	7月26日	1	47.5	7月26日	21時54分	1976年
小鎚	2	99.5	7月26日	年1	59.5	7月26日	21時38分	2011年
釜石	8	101.0	7月26日	年1	68.0	7月26日	21時23分	1976年
若柳	10	71.0	7月27日	1	34.5	7月27日	12時00分	1976年
住田	1	191.0	7月26日	年1	66.5	7月26日	19時57分	1978年
大東	年1	118.5	7月26日	年1	46.5	7月26日	18時49分	2006年
陸前高田	年1	140.0	7月26日	年1	73.0	7月26日	20時22分	2011年
一関	2	92.5	7月26日	1	43.0	2月12日	15時37分	1976年
千厩	2	116.5	7月26日	1	42.5	2月11日	18時30分	1976年

注) 赤字「1」は7月の極値更新、「年1」年の極値更新を表す。

注) 黒字「1」「年1」は統計期間10年未満の極値更新を表す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	108,705	水稲、大豆等488.4ha、ブロイラー死亡15千羽	一関市、奥州市等8市町
	農業施設	6,480	パイプハウス破損等33棟	一関市
	農地・農業用施設	1,969,000	農地の法面崩壊等2,138箇所、水路への土砂流入、道路の法面崩壊等1,750箇所	一関市、岩泉町等12市町
林業	林業施設	297,118	林道の法面崩壊、治山施設破損等532箇所	一関市、住田町等12市町
	林産物	2,126	菌床しいたけ流失1,600kg、菌床しいたけブロック流失2,000玉	一関市
	森林	117	県有林の山腹崩壊0.1ha	陸前高田市
	林地荒廃	486,500	山腹崩壊等25箇所	一関市、遠野市等5市町
水産業	漁船	150	漁船の水没1隻	大船渡市
漁港	漁港施設	3,500	浮遊ゴミ流入7箇所	大船渡市、釜石市等4市町
計		2,873,696		

11 8月9日の大雨洪水災害

(1) 気象概況

9日は北日本が気圧の谷となり、東北地方に日本海から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため、岩手県では盛岡地域を中心に朝から昼過ぎにかけて猛烈な雨が降り、日最大1時間降水量が雫石で78.0mm、紫波で71.0mm、大迫で63.5mmを観測した。また、日降水量は、雫石で264.0mm、紫波で211.0mmを観測し、盛岡地域を中心に200mmを超える大雨となった。

雫石と紫波では、日降水量が平年の8月の月降水量平年値を超える記録的な豪雨となった。

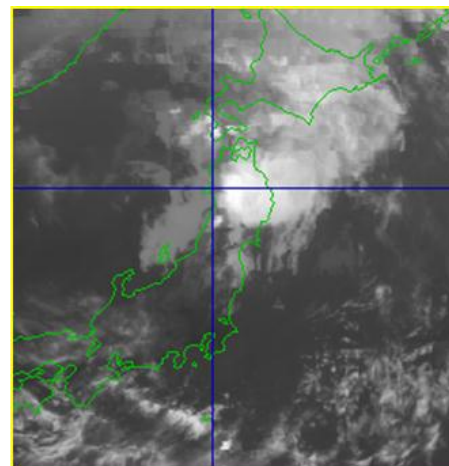
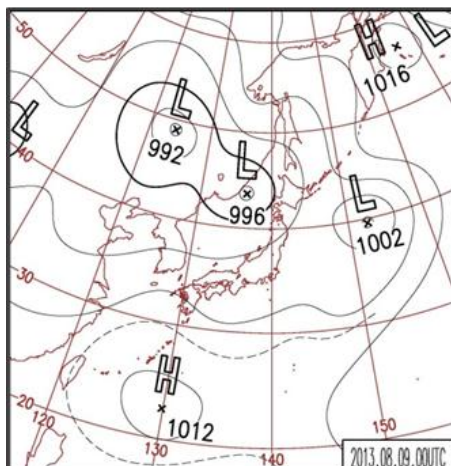
この大雨により、盛岡地域、花北地域を中心に、住宅の床上浸水やがけ崩れなどの土砂災害等のほか、道路の損壊や農地の冠水など農林業施設等に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表（8月9日～10日：岩手県）

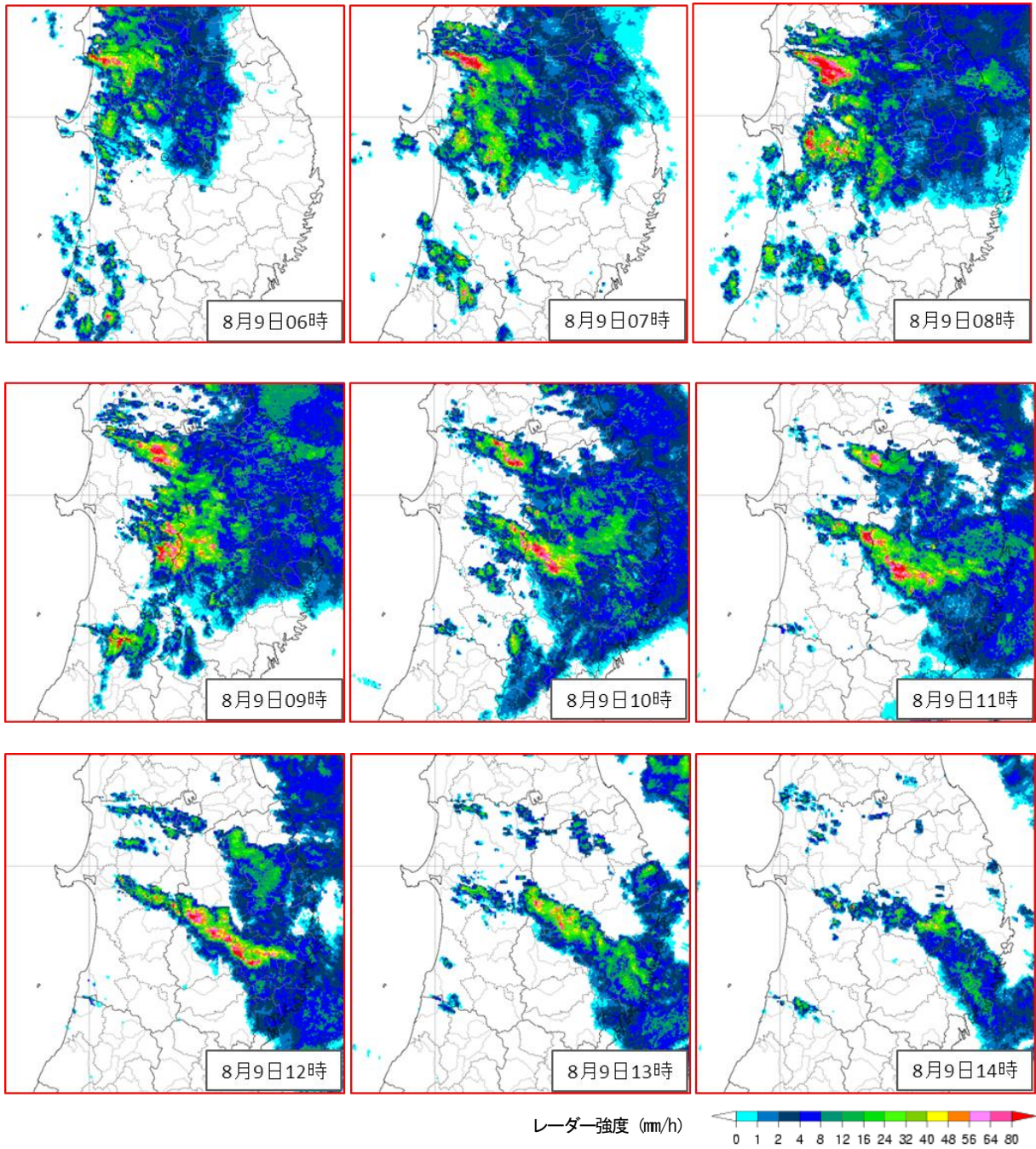
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域 花北地域 遠野地域 二戸地域	大雨 洪水	大雨・洪水・雷 濃霧	宮古地域 釜石地域	大雨 洪水	大雨・洪水・雷 濃霧・高潮
両磐地域 奥州金ヶ崎地域 住田町 久慈地域	—	大雨・洪水・雷 濃霧	大船渡市 陸前高田市	—	大雨・洪水・雷 濃霧・高潮

岩手県気象情報
「岩手県竜巻注意情報」を、第3号まで発表。
「岩手県土砂災害警戒情報」を、第7号まで発表。
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」及び引継ぐ情報を、第8号まで発表。
「岩手県記録的短時間大雨情報」第1号発表。
「雫石川洪水予報」を、第3号まで発表。
「北上川上流洪水予報」を、第9号まで発表。

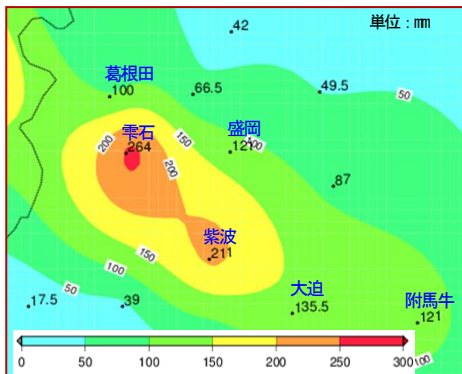
○地上天気図、気象衛星赤外面像



○気象レーダー画像 (8月9日 6h~14h)



〇8月9日、主な地点の降水量

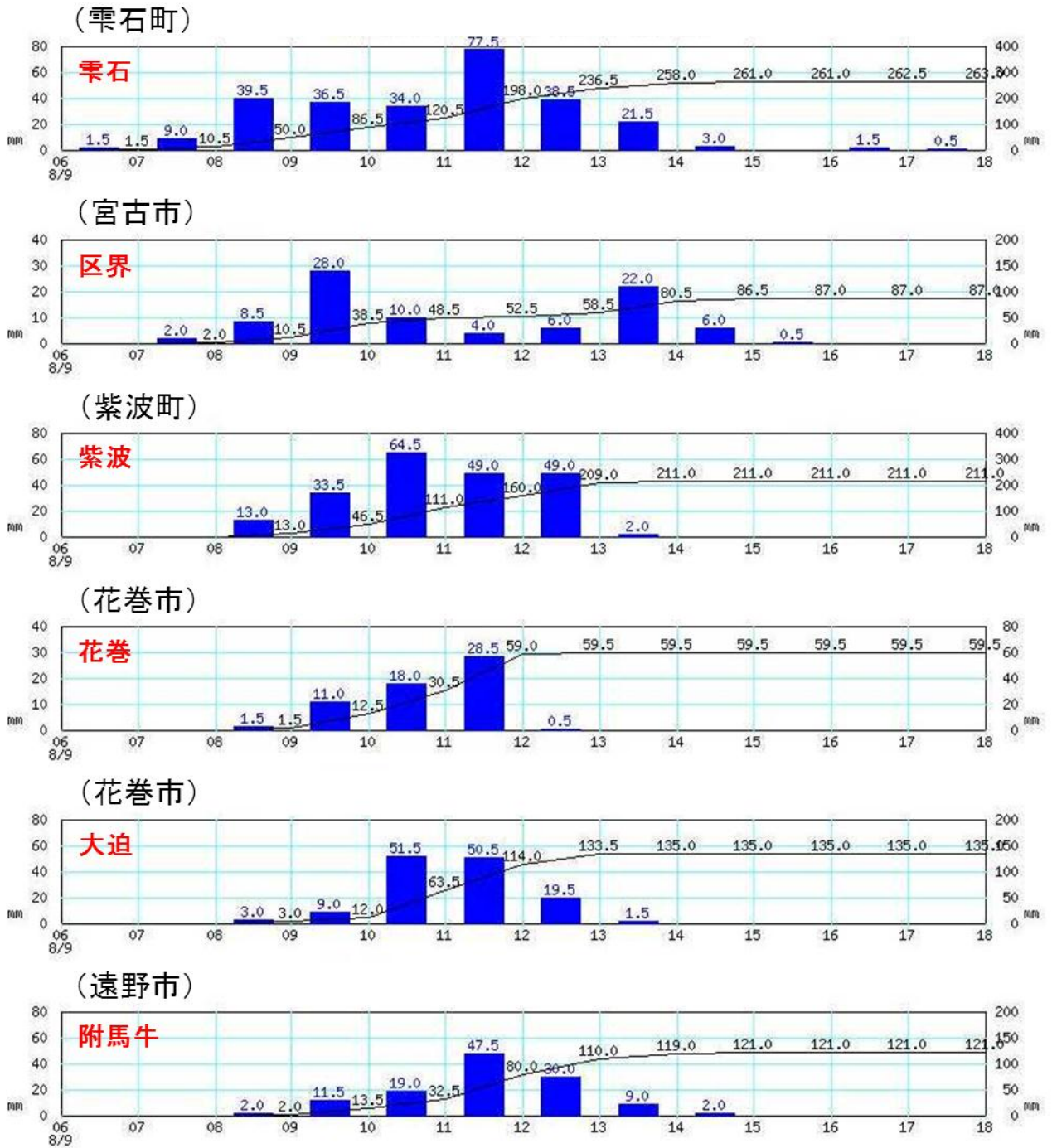


8月9日の日降水量分布図 単位：mm

地点名	日降水量	1時間最大降水量	
		値(mm)	起時
荒屋	78.5	24.0	8時49分
葛根田	100.0	36.0	8時55分
雫石	264.0	78.0	12時02分
盛岡	121.0	33.0	13時53分
区界	87.0	30.0	10時16分
紫波	211.0	71.0	10時44分
花巻	59.5	45.0	11時40分
大迫	135.5	63.5	11時24分
附馬牛	121.0	50.0	12時13分
遠野	69.0	42.0	12時36分

注) 色塗は、極値更新を表す。
 濃茶色：通年の極値更新、薄茶色：8月の極値更新

○主な地点の降水量時系列図 (8月9日:06時~18時)



注1)左縦軸(棒グラフ):時間降水量、右縦軸(折れ線):降水量積算値
注2)縦軸のスケールが異なる場合がある。

○極値更新（8月：統計期間10年以上の観測所）

要素名	単位	地点名	順位	値	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	統計期間
日降水量	mm	雫石	年1	264.0	1976年	日最大 1時間降水量	mm	雫石	年1	78.0	1976年
		区界	1	87.0	1994年			区界	5	30.0	1994年
		紫波	1	211.0	1977年			紫波	年1	71.0	1977年
		花巻	3	59.5	1976年			花巻	1	45.0	1976年
		大迫	1	135.5	1976年			大迫	年1	63.5	1976年
		附馬牛	1	121.0	2006年			附馬牛	年1	50.0	2006年
		小鎚	1	50.0	2011年			小鎚	1	17.5	2011年

注)「1」は、8月の極値更新。「年1」は、年の極値更新。「1」は、統計期間10年未満の地点で8月の極値更新。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	597,212	水稲、牧草等2,083.4ha、豚死亡10頭	雫石町、紫波町等12市町
	農業施設	12,642	パイプハウス破損等53棟	雫石町、紫波町等6市町
	農地・農業 用施設	5,298,000	農地の法面崩壊等2,914箇所、水路への 土砂流入等1,404箇所	雫石町、紫波町等9市町
林 業	林業施設	763,328	林道の法面崩壊等387箇所	雫石町、盛岡市等6市町
	林産物	2,600	菌床しいたけブロック等流失13,000玉	雫石町
	森林	9,533	県有林及び町有林の山腹崩壊4.7ha	紫波町、雫石町等4市町
	林地荒廃	2,264,000	山腹崩壊等66箇所	雫石町、盛岡市等7市町
計		8,947,315		

12 9月16日の台風第18号災害

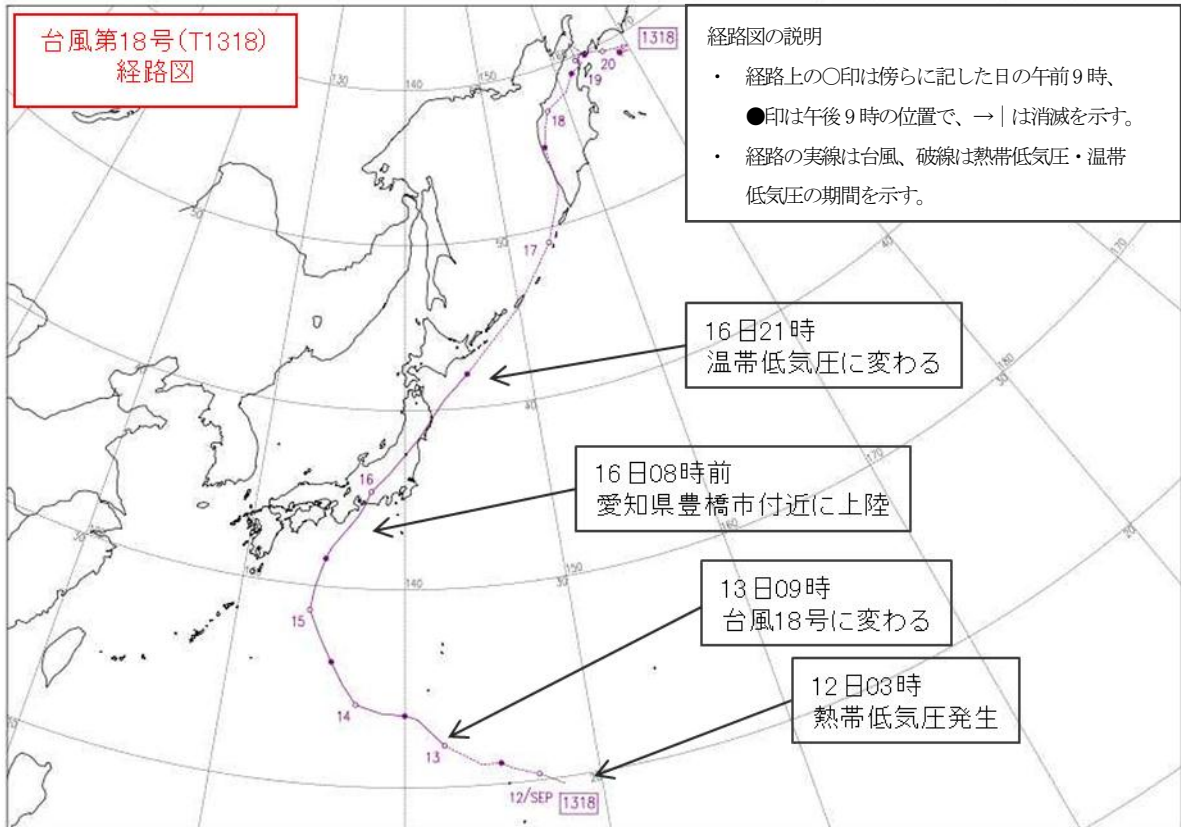
(1) 気象概況

台風第18号は、16日朝に愛知県付近に上陸した後、速度を速めながら東日本を北東進し、16日夕方には東北地方を通過して、三陸沖に達した。

15日は、気圧の谷と南から流れ込む湿った空気の影響により、大気の状態が不安定となって県内の広い範囲で雨となった。16日は、東北地方に停滞する前線の活動が活発化し、また、台風が接近したことから、岩手松尾で48.5mm(16日15:16)、葛根田で47.5mm(16日15:53)の日最大1時間降水量を観測した。降り始め(15日5時)からの総降水量は、岩手松尾で195.5mm、祭時で194.5mmを観測するなど、県の北部を中心に150mmを超える大雨となった。

台風の大雨や強風により、死者1人の人的被害があった他、住家の床上浸水や床下浸水、河川の増水、道路の損壊や冠水、農業被害、交通障害、停電などの被害が発生した。

○台風第18号の経路図



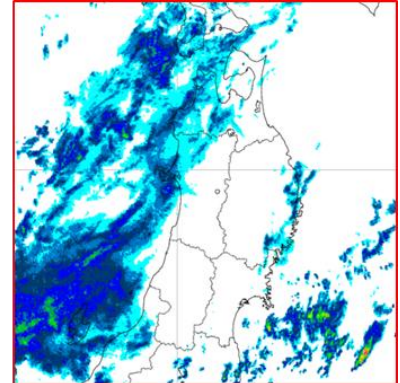
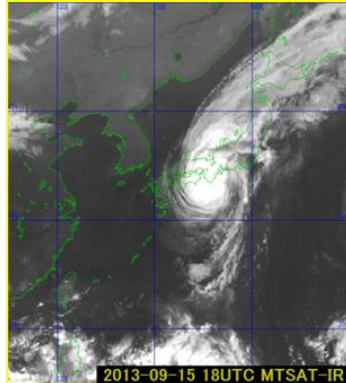
○関連する警報・注意報等の発表 (9月15日～16日：岩手県)

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
内陸	大雨・洪水 暴風	大雨、洪水、雷、強風 濃霧	沿岸北部	大雨・洪水 波浪・高潮 暴風	大雨、洪水、雷、強風 濃霧、波浪、高潮
			沿岸南部		

注)一次細分区域で記載

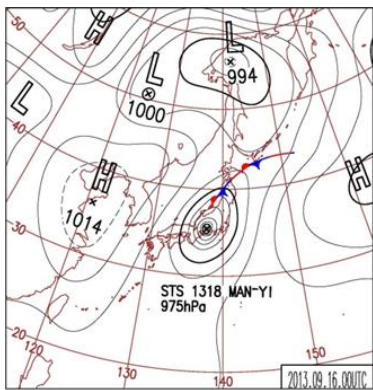
府県気象情報
「平成25年 台風第18号に関する岩手県気象情報」を第8号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を第8号まで発表。
「大潮による高い潮位に関する岩手県潮位情報」を第2号まで発表
「北上川上流洪水予報」を第12号まで発表

○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像 (9月16日)

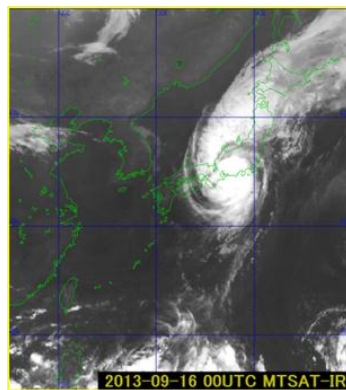


気象衛星赤外画像 9月16日03時

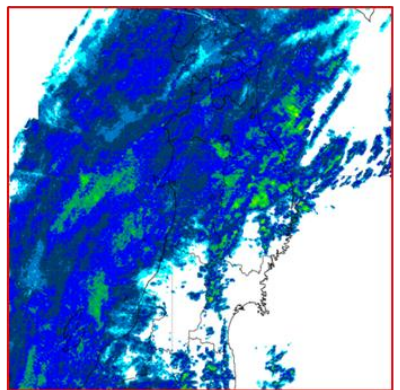
レーダー画像 9月16日03時



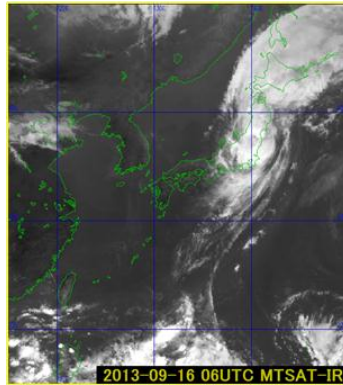
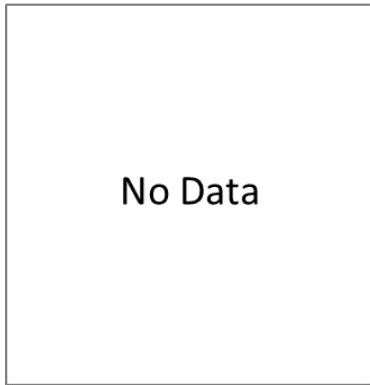
地上天気図 9月16日09時



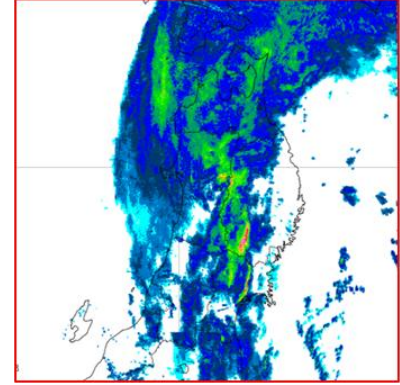
気象衛星赤外画像 9月16日09時



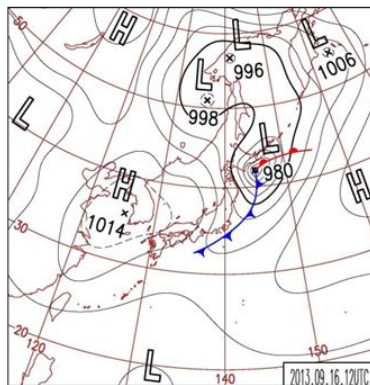
レーダー画像 9月16日09時



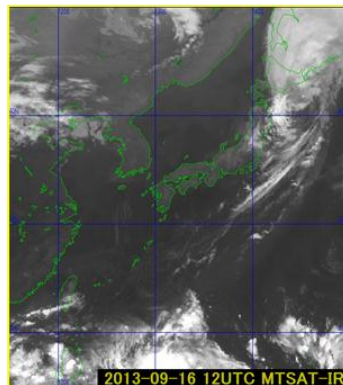
気象衛星赤外画像 9月16日15時



レーダー画像 9月16日15時



地上天気図 9月16日21時



気象衛星赤外画像 9月16日21時

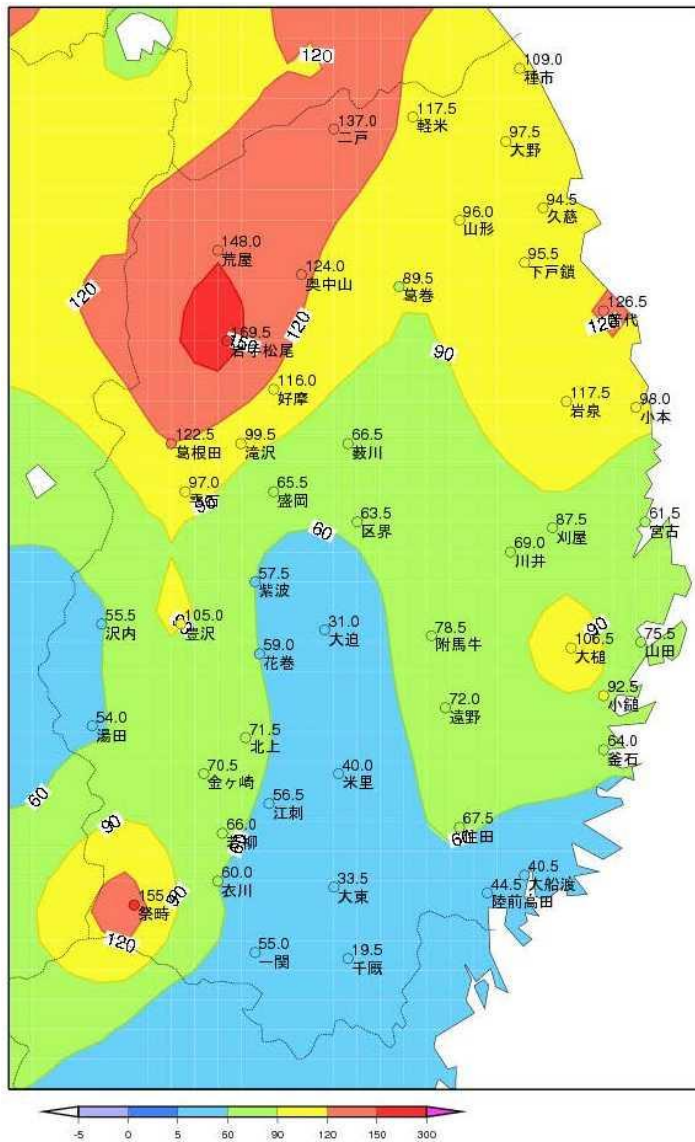


レーダー画像 9月16日21時

レーダー強度 (mm/h)



○降水量分布図（9月16日の日降水量 [単位：mm]）



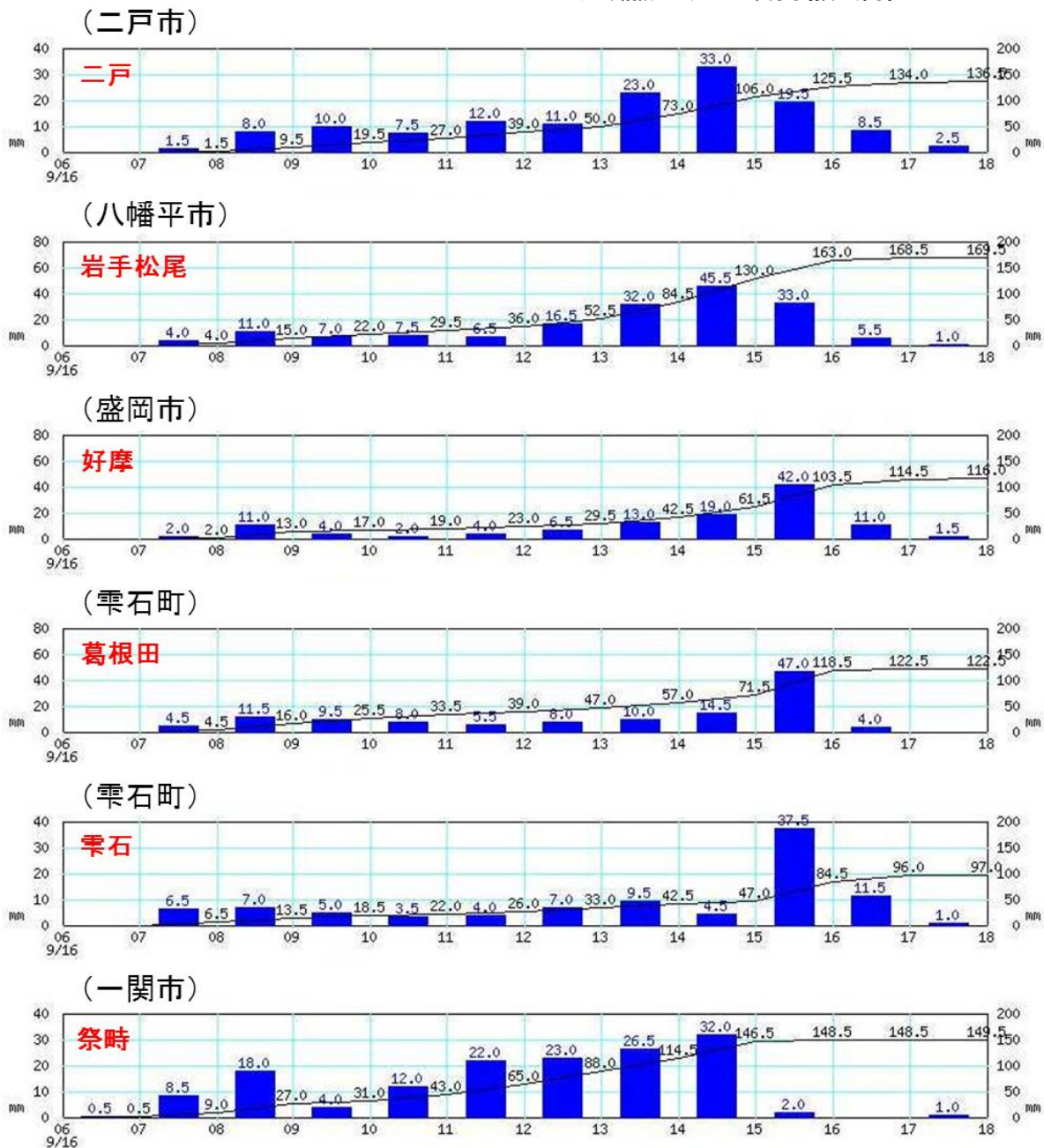
○日降水量（9月16日）

単位 mm

地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量
種市	109.0	普代	126.5	区界	63.5	大槌	106.5	江刺	56.5
軽米	117.5	岩手松尾	169.5	刈屋	87.5	山田	75.5	住田	67.5
二戸	137.0	好摩	116.0	宮古	61.5	湯田	54.0	祭時	155.0
大野	97.5	岩泉	117.5	紫波	57.5	遠野	72.0	衣川	60.0
山形	96.0	小本	98.0	川井	69.0	小槌	92.5	大東	33.5
久慈	94.5	葛根田	122.5	沢内	55.5	金ヶ崎	70.5	陸前高田	44.5
荒屋	148.0	滝沢	99.5	豊沢	105.0	北上	71.5	大船渡	40.5
奥中山	124.0	藪川	66.5	花巻	59.0	米里	40.0	一関	55.0
葛巻	89.5	雫石	97.0	大迫	31.0	釜石	64.0	千厩	19.5
下戸鎖	95.5	盛岡	65.5	附馬牛	78.5	若柳	66.0		

○主な地点の降水量時系列図 (9月16日06時~18時)

注1)左縦軸(棒グラフ):時間降水量、右縦軸(折れ線):降水量積算値
注2)縦軸のスケールが異なる場合がある。



注) 1時間降水量: 棒グラフ、降水量積算値: 折れ線グラフ

○最大風速と最大瞬間風速 (9月16日)

最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

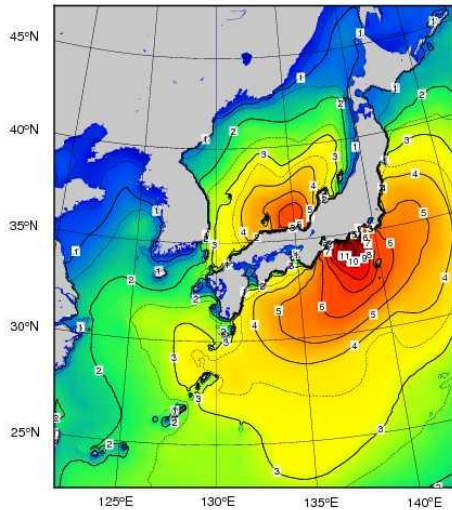
地点名	日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)		地点名	日最大風速(m/s)		日最大瞬間風速(m/s)	
	時分	風向/風速	時分	風向/風速		時分	風向/風速	時分	風向/風速
盛岡	15時44分	北 13.6	15時50分	北 22.5	若柳	13時40分	南南東 12.4	13時39分	南 24.5
宮古	12時46分	南東 17.6	13時11分	南南東 30.7	江刺	13時35分	南南東 12.5	13時31分	南東 23.0
紫波	19時38分	西北西 11.7	16時00分	北 19.5	住田	11時09分	南東 11.3	12時46分	南 21.7
花巻	14時14分	南南東 12.7	14時10分	南 22.6	大船渡	14時10分	南南東 14.9	17時18分	北北西 25.2
釜石	13時36分	東南東 10.6	13時28分	東南東 29.2					

注) 塗りつぶしの黄色は9月の極値更新、

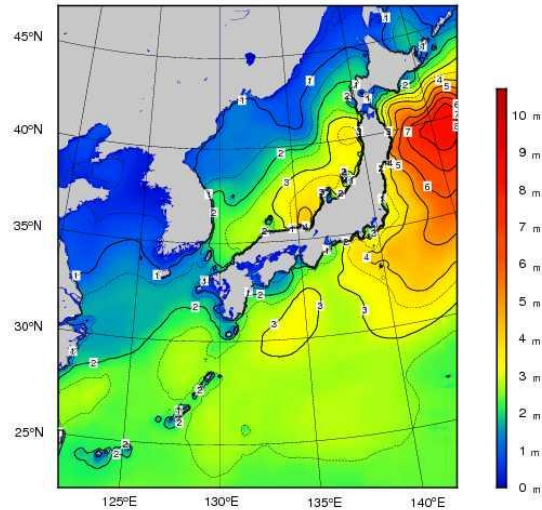
○極値更新 (9月：統計期間10年以上の観測所)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間	要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日降水量	mm	二戸	1	137.0	9月16日	1976年	日最大 風向・風速	m/s	区界	1	南東 9.7	9月16日	1994年
日最大 1時間降 水量	mm	奥中山	1	28.0	9月16日	1978年			大迫	1	西 8.2	9月16日	1977年
		葛巻	1	25.5	9月16日	1976年			遠野	1	南 9.4	9月16日	1977年
		岩手松尾	1	48.5	9月16日	1976年			釜石	1	東南東 10.6	9月16日	1977年
		好摩	1	42.0	9月16日	1976年			若柳	1	南南東 12.4	9月16日	1977年
		葛根田	1	47.5	9月16日	1977年			江刺	1	南南東 12.5	9月16日	1977年
		雫石	1	38.5	9月16日	1976年			住田	1	南東 11.3	9月16日	1978年

○沿岸波浪図 (9月16日)



沿岸波浪図 9月16日 09時



沿岸波浪図 9月16日 21時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と 0.5mごとの破線 (4m未満の領域のみ) を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域	
農業	農畜産物	337,329	水稲、牧草等 954.6ha、肉用牛死亡 6頭、ブロイラー死亡 94千羽	八幡平市、盛岡市等 19市町村
	農業施設	119,808	パイプハウス、牛舎等破損 355棟	盛岡市、二戸市等 8市町
	農地・農業用施設	2,785,000	農地の法面崩壊等 1,500箇所、水路の法面崩壊等 759箇所	19
林業	林業施設	184,350	林道の路面洗掘、治山施設の破損等 217箇所	
	森林	160	県有林の山腹崩壊 0.1ha	一戸町、八幡平市
	林地荒廃	253,756	山腹崩壊等 15箇所	一戸町、二戸市等 4市町
水産業	水産施設	40,100	養魚場水没等 2箇所	二戸市、久慈市
	漁船	2,130	漁船の転覆等 8隻	大槌町、宮古市
	養殖施設	100	養殖施設破損 1台	大船渡市
	水産物	17,450	養魚流出 3トン	二戸市
漁港	100	漁港用地内への落石 1箇所	釜石市	
計	3,740,283			

13 10月16日の台風第26号災害

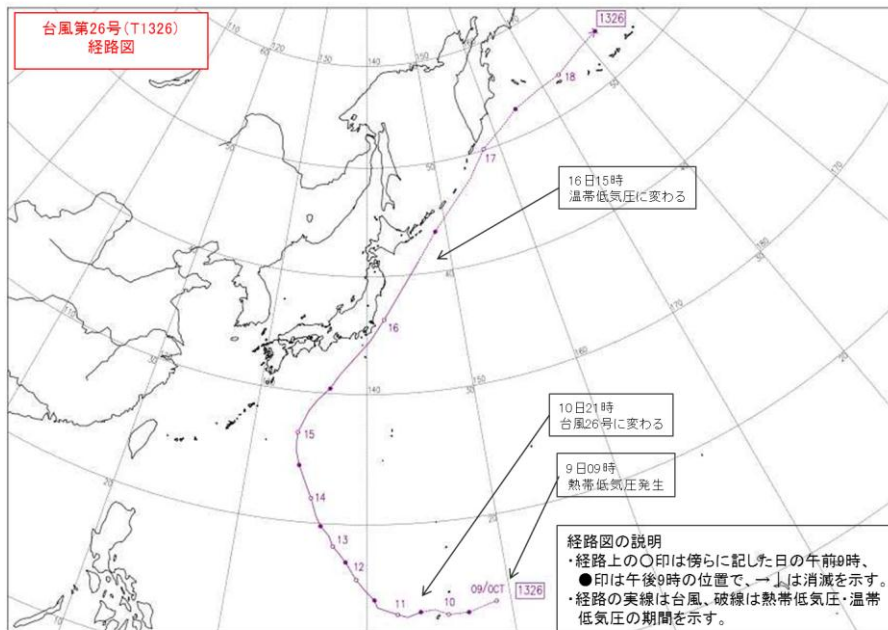
(1) 気象概況

台風第26号は、日本の南を北上し関東の東海上を通った後、10月16日昼頃、岩手県に最も接近し、速度を速めながら三陸沖を北東進して、16日15時に北海道の南東海上で温帯低気圧に変わった。

16日は、台風の北上に伴って次第に雨が強まり、降り始め(15日17時)からの総降水量は、岩泉町小本で162.5mm、宮古で162.0mmを観測するなど、沿岸北部を中心に100mmを超える大雨となった。また、16日朝から昼過ぎにかけて北よりの非常に強い風が吹き、大船渡で20.6m/s(16日09時58分)、紫波で19.1m/s(16日11時17分)の日最大風速を観測した。

この台風による大雨や暴風、波浪、高潮で、軽傷者が出たほか、住家の一部破損や床上浸水、果樹の落下等の農業被害、交通障害、停電などの被害が発生した。

○台風第26号の経路図

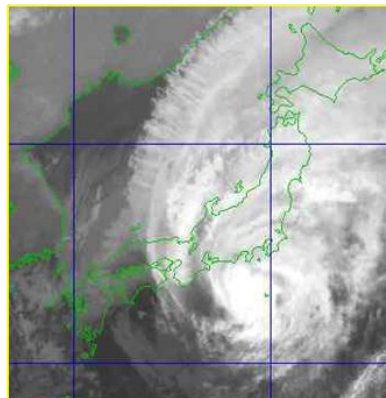
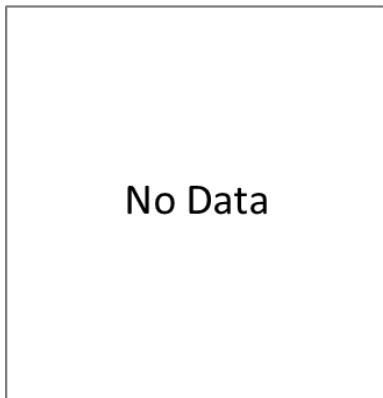


○関連する警報・注意報等の発表状況 (10月15日から16日：岩手県)

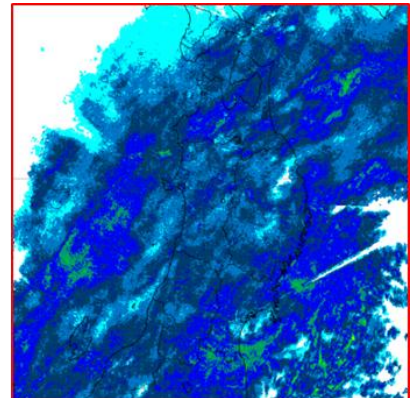
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
宮古市、山田町 釜石地域 大船渡地域 (住田町を除く)	大雨・洪水 暴風 波浪・高潮	強風・大雨・洪水 雷・波浪・高潮 濃霧	盛岡市、八幡平市 遠野市、花巻市 軽米町	暴風・大雨	強風・大雨・洪水 雷・濃霧
久慈地域 田野畑村 岩泉町	大雨・洪水 暴風 波浪	強風・大雨・洪水 雷・波浪・高潮 濃霧	二戸市、一戸町 雫石町、滝沢村 紫波町、矢巾町	暴風	強風・大雨・洪水 雷・濃霧
九戸村 葛巻町 住田町	大雨・洪水 暴風	強風・大雨・洪水 雷・濃霧	北上市、西和賀町 奥州金ヶ崎地域 両磐地域、岩手町		

府県気象情報
「平成25年 台風第26号に関する岩手県気象情報」を第6号まで発表
岩手県土砂災害警戒情報を第5号まで発表
「大潮による高い潮位に関する岩手県潮位情報」を第2号まで発表

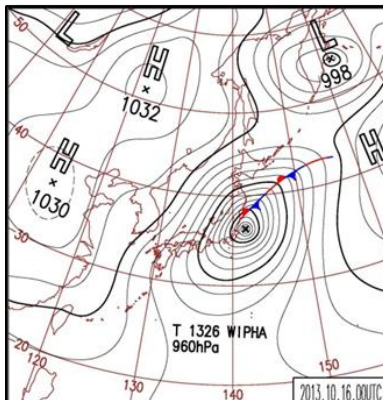
○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像



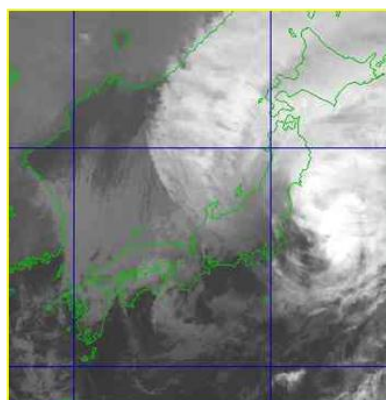
気象衛星赤外画像 10月16日03時



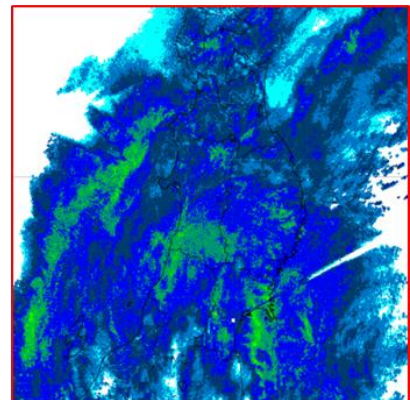
レーダー画像 10月16日03時



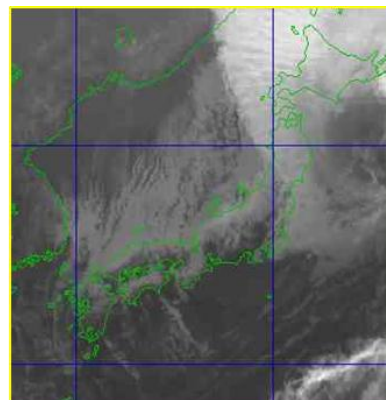
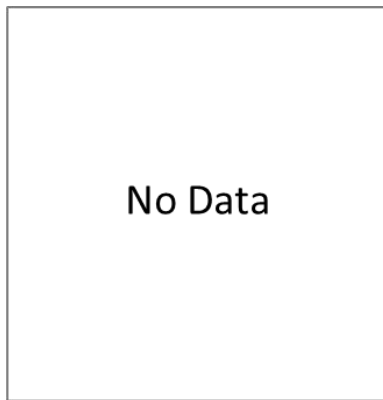
地上天気図 10月16日09時



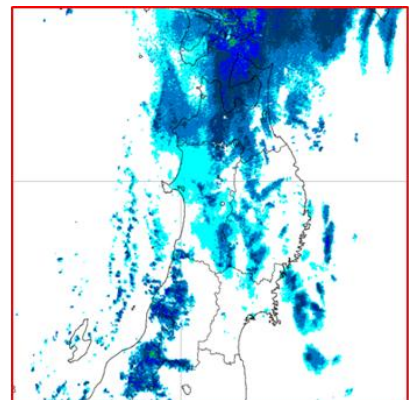
気象衛星赤外画像 10月16日09時



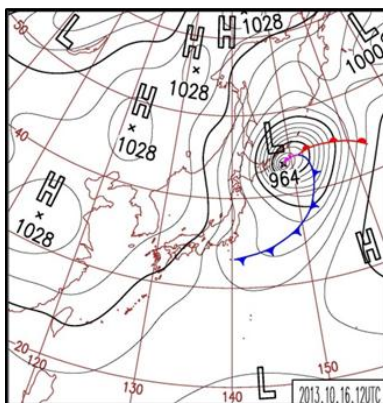
レーダー画像 10月16日09時



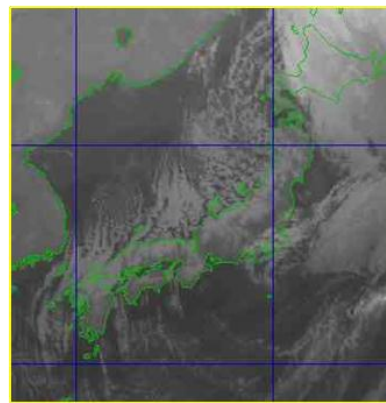
気象衛星赤外画像 10月16日15時



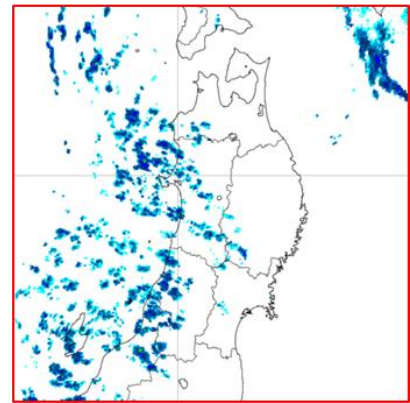
レーダー画像 10月16日15時



地上天気図 10月16日21時



気象衛星赤外画像 10月16日21時

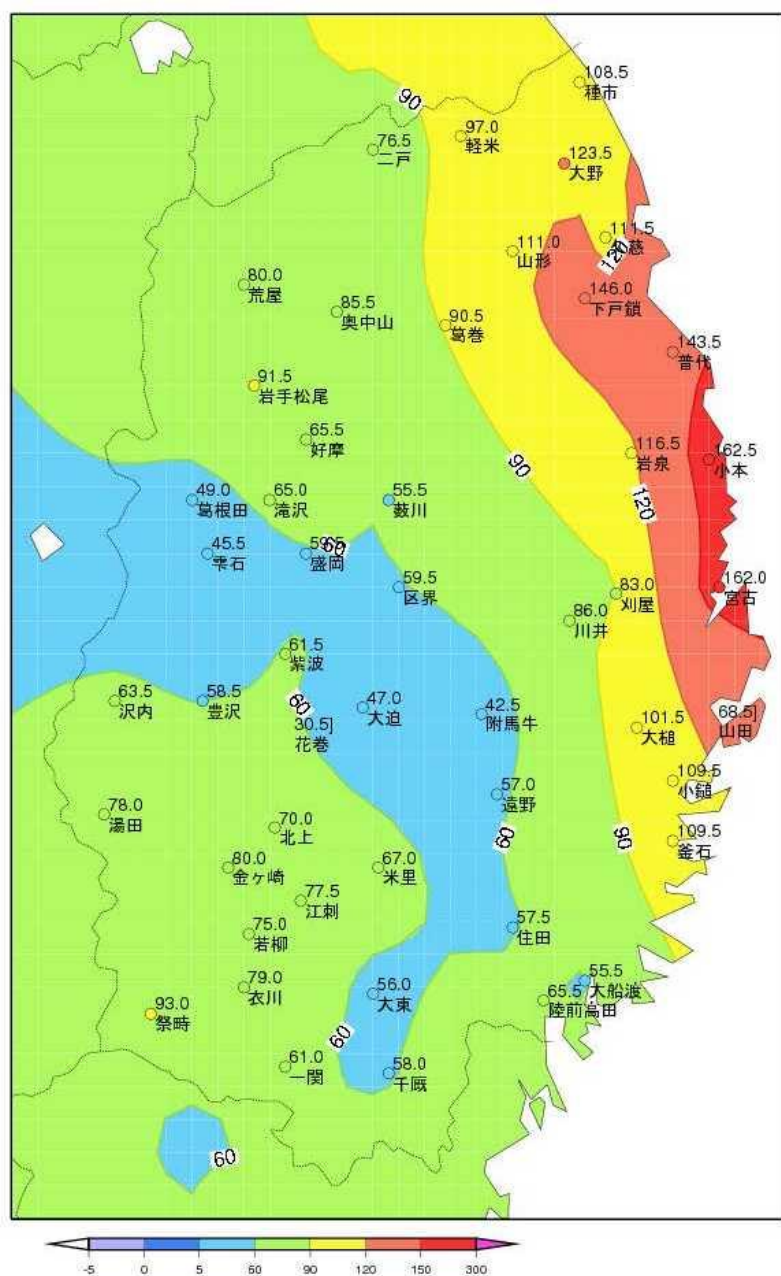


レーダー画像 10月16日21時

レーダー強度 (mm/h)



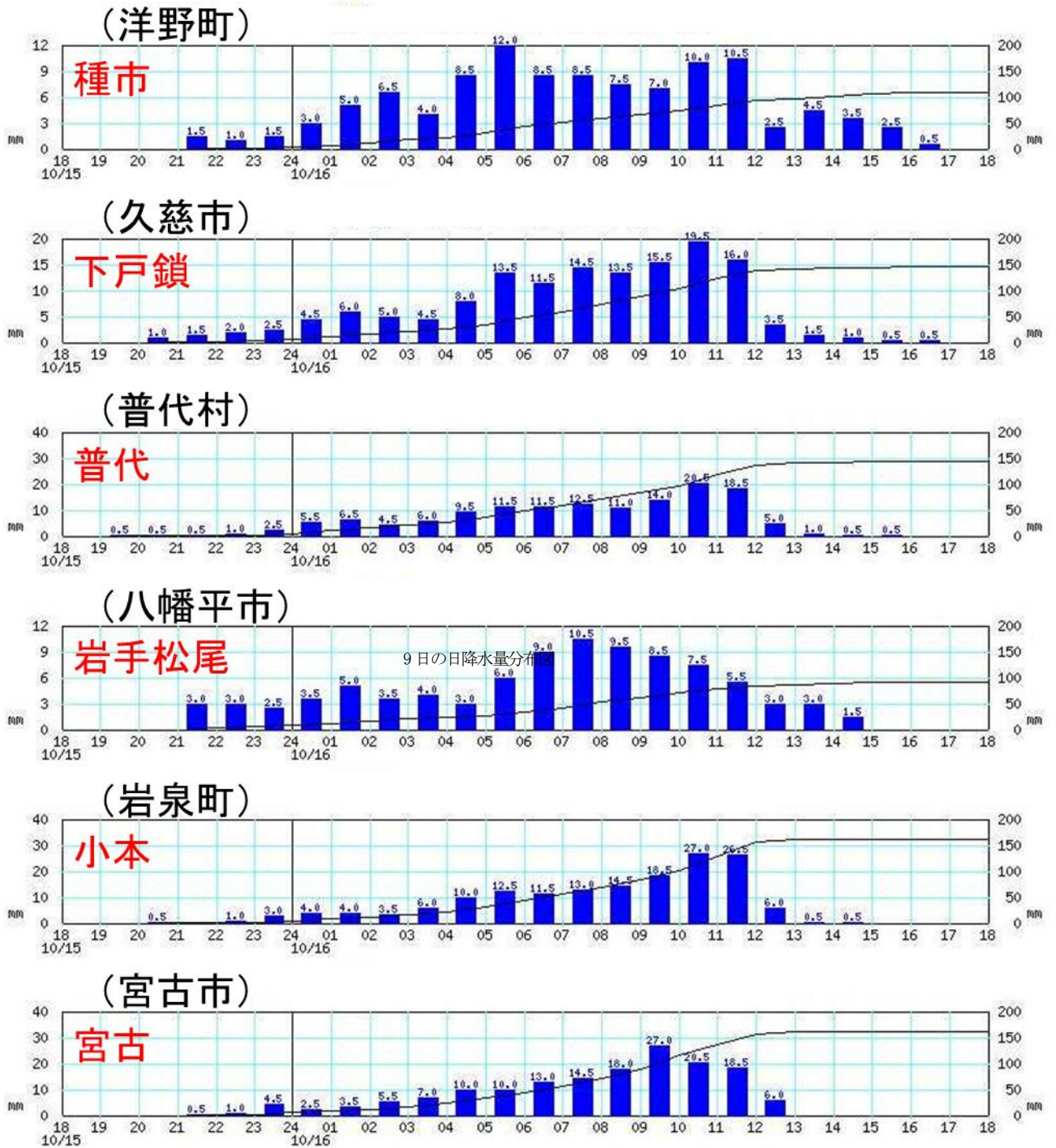
○10月15日18時～16日18時の日降水量分布図 [単位：mm]



○10月16日の日降水量 [単位：mm]

地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量	地点名	総降水量
種市	104.5	普代	138.5	区界	53.5	大槌	96.0	江刺	69.5
軽米	93.0	岩手松尾	83.0	刈屋	76.5	山田	63.0	住田	50.5
二戸	71.5	好摩	56.5	宮古	156.0	湯田	71.0	祭時	88.5
大野	119.5	岩泉	112.5	紫波	54.5	遠野	50.5	衣川	70.0
山形	104.0	小本	158.0	川井	79.5	小槌	104.0	大東	48.5
久慈	107.5	葛根田	40.0	沢内	57.0	金ヶ崎	72.0	陸前高田	58.0
荒屋	74.0	滝沢	55.0	豊沢	50.5	北上	62.0	大船渡	49.5
奥中山	76.0	藪川	51.0	花巻	30.5	米里	60.0	一関	52.5
葛巻	83.5	雫石	36.5	大迫	41.0	釜石	104.0	千厩	50.0
下戸鎖	139.0	盛岡	53.0	附馬牛	37.0	若柳	67.5		

○主な地点の降水量時系列図 (10月15日18時~16日18時) 単位 mm



注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

○最大風速と最大瞬間風速（10月16日）

最大風速 10m/s 以上の地点の日最大風速と日最大瞬間風速

地点名	日最大風速	起時	日最大瞬間風速	起時	地点名	日最大風速	起時	日最大瞬間風速	起時
久慈	北北東 10.5	11時00分	北東 21.1	10時07分	紫波	北北西 19.1	11時17分	北北西 28.4	11時16分
普代	北北東 10.4	11時54分	北北東 24.8	12時20分	花巻	北] 15.9]	7時31分	北] 27.3]	10時14分
好摩	北 12.4	10時46分	北 21.3	10時38分	遠野	西北西 10.9	13時05分	西北西 19.3	13時10分
岩泉	東北東 10.0	11時41分	北東 19.9	11時18分	小鎚	西 10.4	10時19分	西 24.9	10時17分
小本	東北東 11.5	8時42分	東北東 22.6	10時49分	若柳	北北西 13.8	11時17分	北北西 25.1	11時00分
藪川	東北東 10.1	9時42分	東北東 19.8	9時07分	江刺	北西 14.6	11時08分	北北西 23.3	11時08分
雫石	北東 11.3	6時56分	北北東 23.5	10時53分	住田	西北西 13.3	12時58分	北西 23.5	11時38分
盛岡	北 15.1	11時12分	北北西 24.4	11時02分	大船渡	北 20.6	9時58分	北東 35.0	9時51分
宮古	北北東 14.2	9時12分	北 28.0	9時04分	千厩	北西 11.3	12時19分	北北西 24.0	12時24分

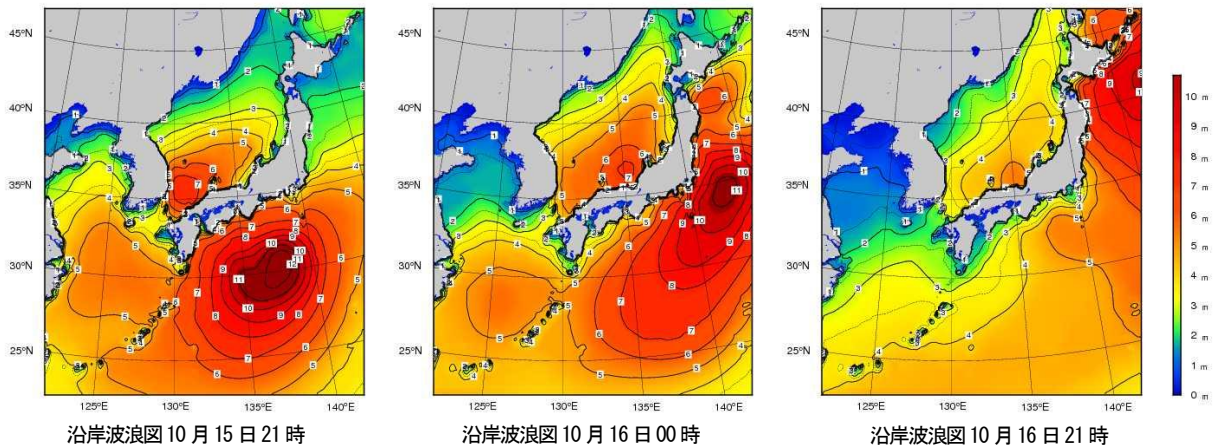
注) 塗りつぶしの黄色は10月の極値更新、橙色は年の極値更新

○極値更新（10月の極値更新した観測地点）

地点名	要素名	順位	値	起日	統計期間
普代	日最大 風向・風速 16方位 (m/s)	1	北北東 10.4	10月16日	1977年
小本		1	東北東 11.5	10月16日	1977年
紫波		1	北北西 19.1	10月16日	1977年
大迫		1	西 9.0	10月16日	1977年
小鎚		1	西 10.4	10月16日	2011年
若柳		1	北北西 13.8	10月16日	1977年
江刺		1	北西 14.6	10月16日	1977年
住田		1	西北西 13.3	10月16日	1977年
陸前高田		1	北東 8.9	10月16日	2011年
千厩		1	北西 11.3	10月16日	1977年
岩手松尾	日降水量 (mm)	1	83.0	10月16日	1976年
刈屋		1	76.5	10月16日	2011年
小鎚		1	104.0	10月16日	2011年

注) 赤字「1」は極値更新を表す。黒字「1」は統計期間10年未満の極値更新

○沿岸波浪図（10月15・16日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1mごとの実線と 0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農作物	309,785	りんご、ねぎ等 480.1ha	陸前高田市、奥州市等 14 市町
	農業施設	71,840	パイプハウス、牛舎等破損 219 棟	陸前高田市、葛巻町等 16 市町
	農地・農業用施設	48,000	水路への土砂流入等 13 箇所	洋野町、葛巻町、宮古市
林 業	林業施設	12,821	林産施設等破損 19 箇所	大船渡市、陸前高田市
水産業	水産施設	15,940	荷捌施設、製氷保管施設等破損 36 箇所	大船渡市、宮古市等 5 市村
	漁船	53,629	漁船の転覆等 121 隻	大槌町、山田町等 9 市町村
	漁具	453,098	定置網等破損 24 ヶ統	大船渡市、久慈市等 6 市町村
	養殖施設	7,334	養殖施設破損 71 台	久慈市、大船渡市等 4 市町
	水産物	125,312	養殖物の落下 101 トン	宮古市
漁港	漁港施設	826,630	ケーソン滑動、流木流入等 54 箇所	山田町、釜石市等 8 市町村
計		1,924,389		

14 10月25日～26日の大雨洪水災害

(1) 気象概況

25日から26日にかけて日本海北部を低気圧が北東へ進み、日本の南の台風第27号から北へのびる雨雲が広く北日本を覆った。また、日本の東を台風第28号が北上したため東北地方に暖かく湿った空気が流入した。この影響で沿岸部を中心に雨が降り、25日の午後には沿岸南部で雨が強まった。大船渡市では24・25日の総雨量101.5mmを観測した。

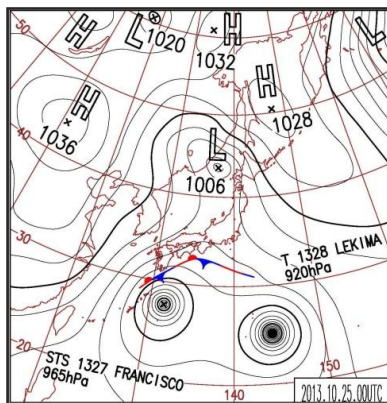
この雨で、大船渡市と陸前高田市で、水産施設に被害が発生した。

○関連する警報・注意報等の発表状況（10月25日から26日：岩手県）

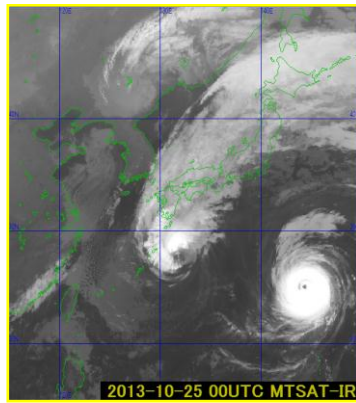
地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
宮古市 釜石市 大船渡市 陸前高田市	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧・高潮・波浪	山田町 大槌町	—	強風・大雨・洪水 濃霧・高潮・波浪
岩泉町	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧・波浪	久慈地域 田野畑村	—	強風・大雨・洪水 濃霧・波浪
花巻市 遠野市	大雨	強風・大雨・洪水 濃霧	二戸地域 盛岡地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域 北上市・西和賀町 住田町	—	強風・大雨・洪水 濃霧

府県気象情報
「大雨に関する岩手県気象情報」を第4号まで発表

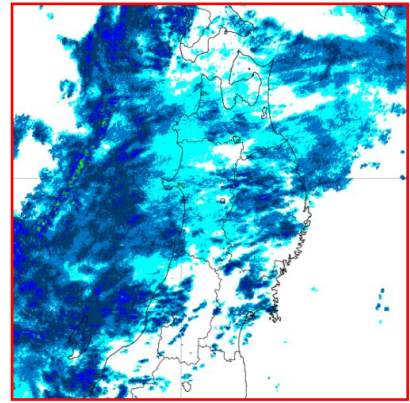
○地上天気図、気象衛星赤外画像、気象レーダー画像



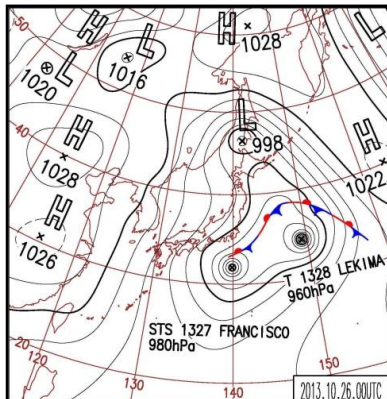
地上天気図 10月25日09時



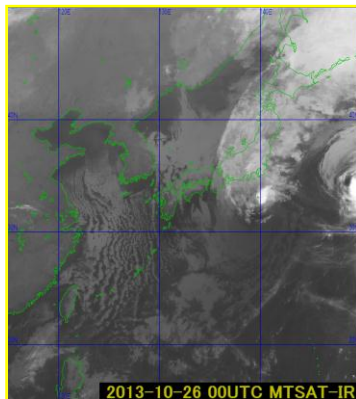
気象衛星赤外画像 10月25日09時



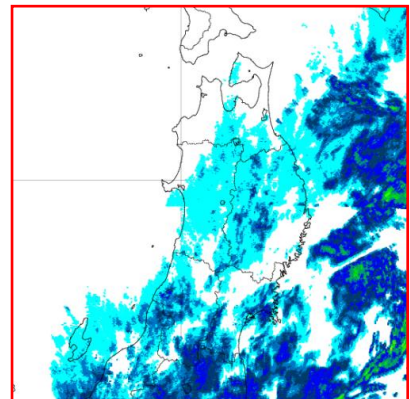
レーダー画像 10月25日09時



地上天気図 10月26日09時



気象衛星赤外画像 10月26日09時



レーダー画像 10月26日09時

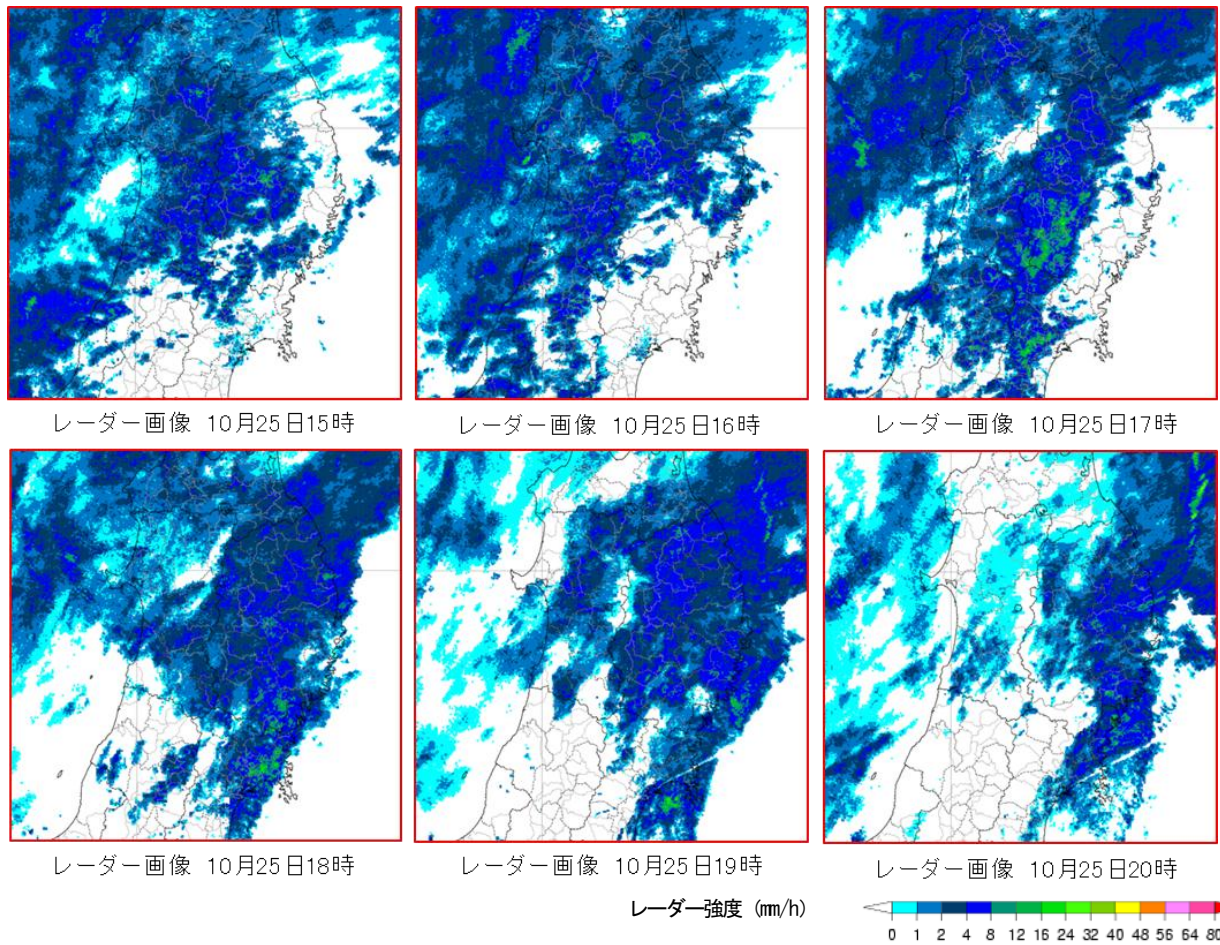
レーダー強度 (mm/h)

61

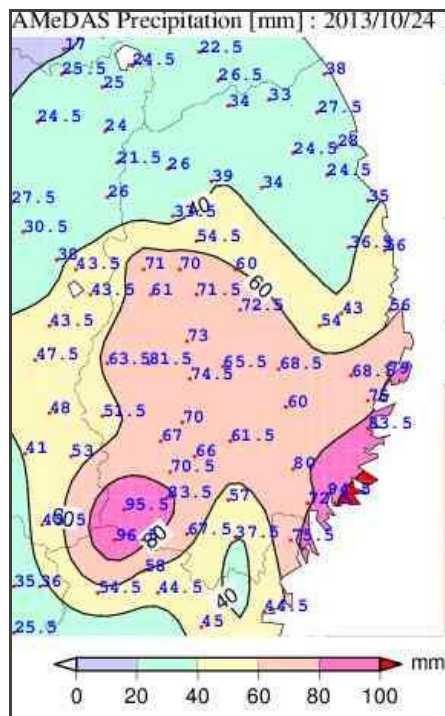


0 1 2 4 8 12 16 24 32 40 48 56 64 80

○気象レーダー画像



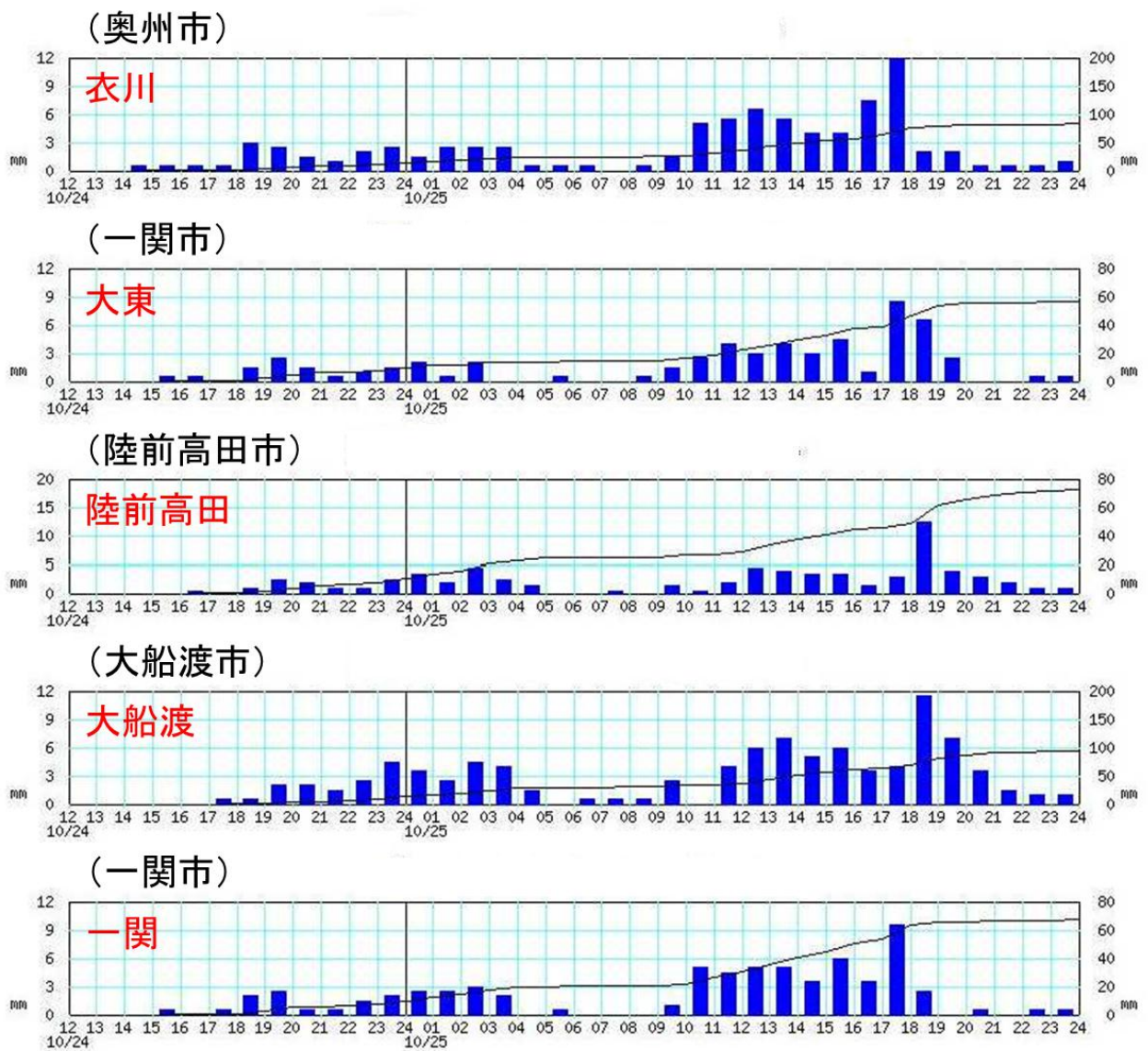
○10月24日12時～25日24時までの日降水量分布図 [単位: mm]



○降水量の観測値（10月24日00時～25日24時までの合計と、25日の1時間最大降水量：単位 mm）

地点名	降水量合計 (24・25日)	1時間降水量		地点名	降水量合計 (24・25日)	1時間降水量	
		最大	起時			最大	起時
豊沢	81.5	8.5	17時18分	若柳	71.0	16.0	17時50分
大迫	65.5	14.0	17時54分	江刺	66.5	15.0	17時59分
山田	89.5	9.5	19時33分	住田	81.5	12.5	19時05分
金ヶ崎	67.0	13.0	17時41分	祭時	95.5	13.0	17時33分
北上	70.5	14.5	17時49分	衣川	83.5	14.5	17時46分
米里	61.5	13.5	18時12分	陸前高田	75.0	12.5	19時07分
釜石	87.0	9.5	20時39分	大船渡	101.5	12.0	19時01分

○主な地点の降水量時系列図（10月24日12時～25日24時：単位 mm）



注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位：千円)

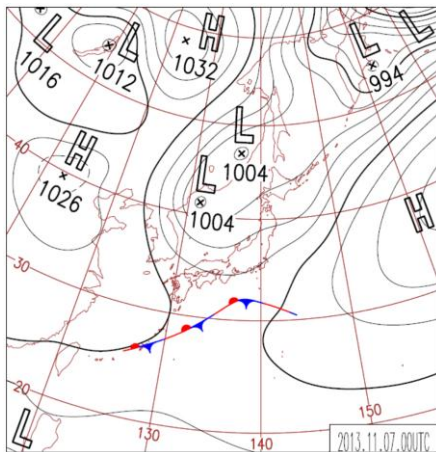
区 分		被害額	被害状況	被害地域
漁港	漁港施設	350	舗装破損等 2 箇所	陸前高田市、大船渡市
計		350		

15 11月7日の強風災害

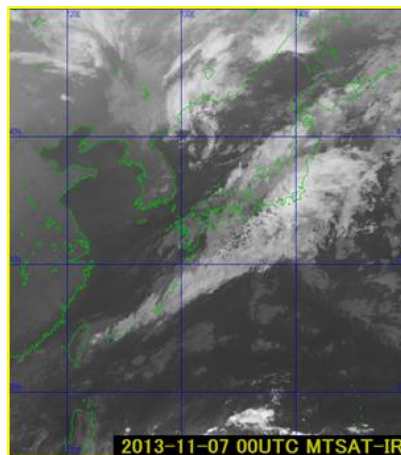
(1) 気象概況

日本海の低気圧が発達しながら北東へ進み、また、前線が東北地方を通過して、前線通過後は気圧の傾きが大きくなった。前線の通過時と通過後には県内各地で風が強まり、久慈と釜石で11月の日最大風速の極値を更新した。

強風により、二戸市や軽米町で果樹の落下などの被害が発生した。



地上天気図 11月7日09時



気象衛星赤外画像 11月7日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況 (11月7日：岩手県)

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	雷、強風、濃霧
沿岸北部	—	波浪、高潮
沿岸南部(住田町を除く)	—	高潮

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

府県気象情報
「雷と突風に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表 「岩手県竜巻注意情報」を第2号まで発表

○官署等と最大風速 12m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速 (11月7日)

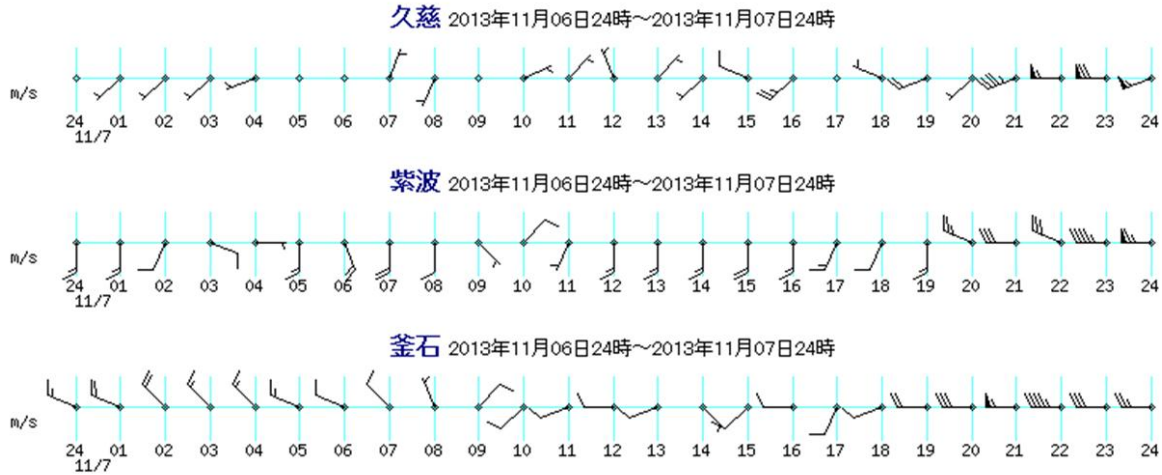
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西 9.0	24時00分	南南西 17.5	18時11分	アメダス	久慈	西 14.4	23時06分	西 30.9	22時14分
	宮古	西南西 6.7	23時13分	西 18.0	23時20分		紫波	西 14.1	23時51分	西 21.3	23時49分
	大船渡	北西 7.1	22時23分	北 15.5	23時52分		釜石	西 12.7	21時41分	西 26.3	20時58分

注1) 色塗りの黄色は11月の極値更新、橙色は年の極値更新を表わす。

注2) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図 (11月7日)



○日最大風速の極値更新 (11月:統計期間10年以上)

単位:m/s

地点名	順位	値	起日	統計開始年
久慈	1	西 14.4	11月7日	1976年
釜石	1	西 12.7	11月7日	1976年

(2) 被害状況

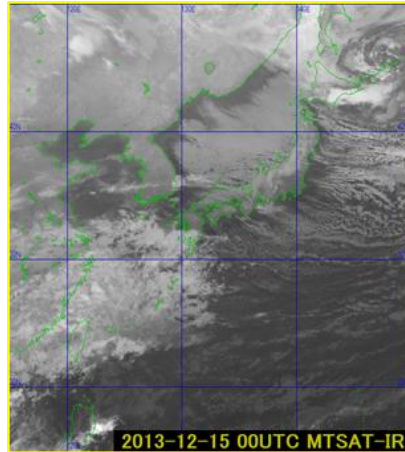
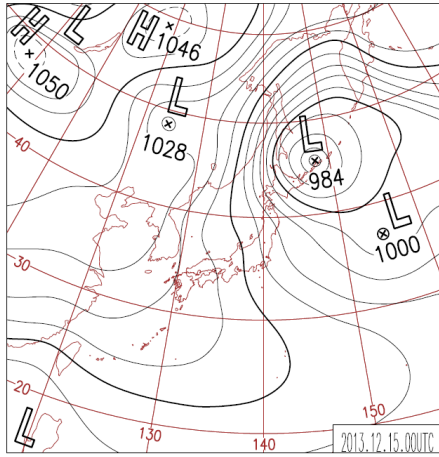
(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物	4,326	りんご 33.0ha	二戸市、軽米町
	農業施設	200	倉庫破損1棟	久慈市
計		4,526		

16 12月15日から16日にかけての強風災害

(1) 気象概況

15日、発達した低気圧が千島近海に進み、16日にかけて北日本は強い冬型の気圧配置となった。このため岩手県内では西から北西の風が非常に強くなり、陸前高田市で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 12月15日09時

気象衛星赤外画像 12月15日09時

○関連する警報・注意報等の発表状況（12月15日～16日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	風雪
久慈地域	暴風雪	強風、波浪、乾燥
宮古地域	暴風雪	強風、波浪、乾燥、高潮
沿岸南部(住田町を除く)	—	強風、波浪、高潮
花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雪、なだれ(平泉町を除く)

府県気象情報
「暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表

注) 一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○官署等と最大風速 10m/s 以上のアメダス地点の日最大風速と日最大瞬間風速（12月15日）

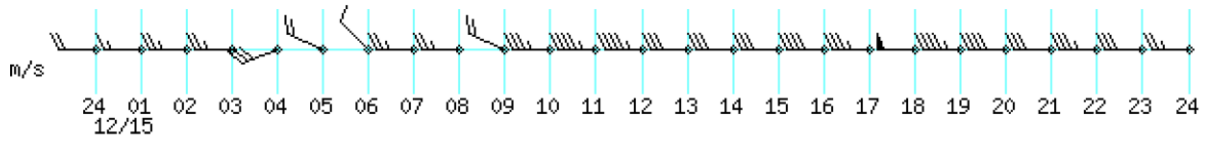
単位:m/s

地点名	日最大風速		日最大瞬間風速		地点名	日最大風速		日最大瞬間風速			
	風向/風速	時分	風向/風速	時分		風向/風速	時分	風向/風速	時分		
官署等	盛岡	西南西 6.1	12時05分	西 10.1	13時53分	アメダス	久慈	西 11.1	10時17分	西 20.2	18時04分
	宮古	西 6.5	09時15分	西 17.0	19時56分		釜石	西 10.6	17時21分	西南西 22.3	17時04分
	大船渡	北西 14.2	20時28分	北北西 27.3	20時06分		遠野	西 10.3	17時21分	西北西 19.2	16時29分

注) 官署等は盛岡地方気象台と特別地域気象観測所を表わす。

○主な地点の風向風速時系列図 (12月15日)

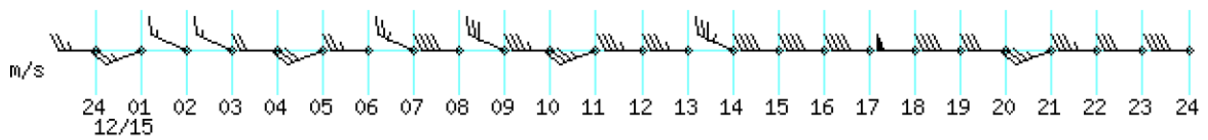
久慈 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



遠野 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



釜石 2013年12月14日24時～2013年12月15日24時



○日最大風速の極値更新 (12月: 統計期間10年以上)

該当なし

(2) 被害状況

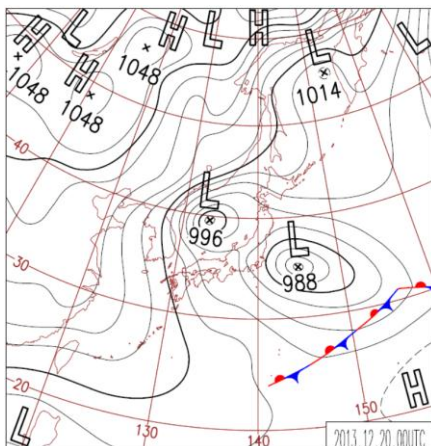
(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	100	パイプハウス破損	陸前高田市
計		100		

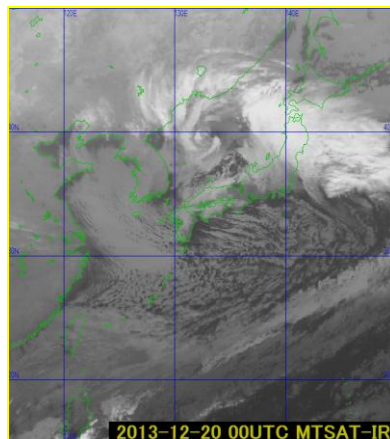
17 12月20日から21日の暴風雪災害

(1) 気象概況

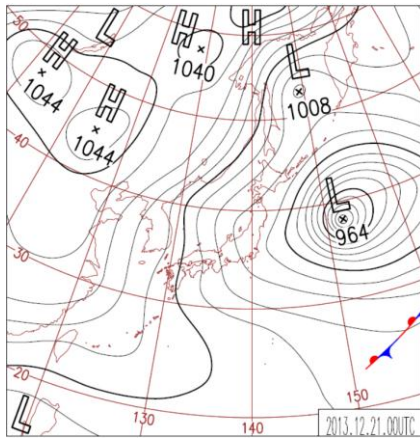
低気圧が日本海と関東の東海上にあり、関東の東の低気圧が急速に発達しながら三陸沖を北東へ進んだ。岩手県では海上を中心に風及びうねりを伴った波浪が強まり、20日の大潮の影響による海面上昇と重なったため、海岸では波が高かった。



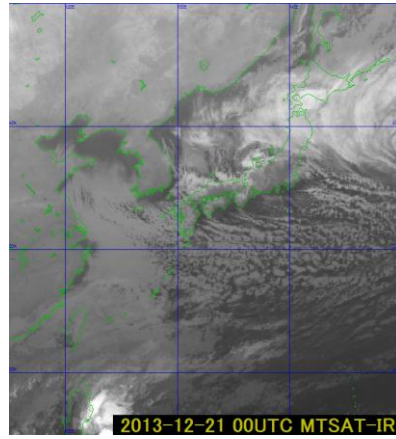
地上天気図 12月20日09時



気象衛星画像 12月20日09時



地上天気図 12月21日09時



気象衛星画像 12月21日09時

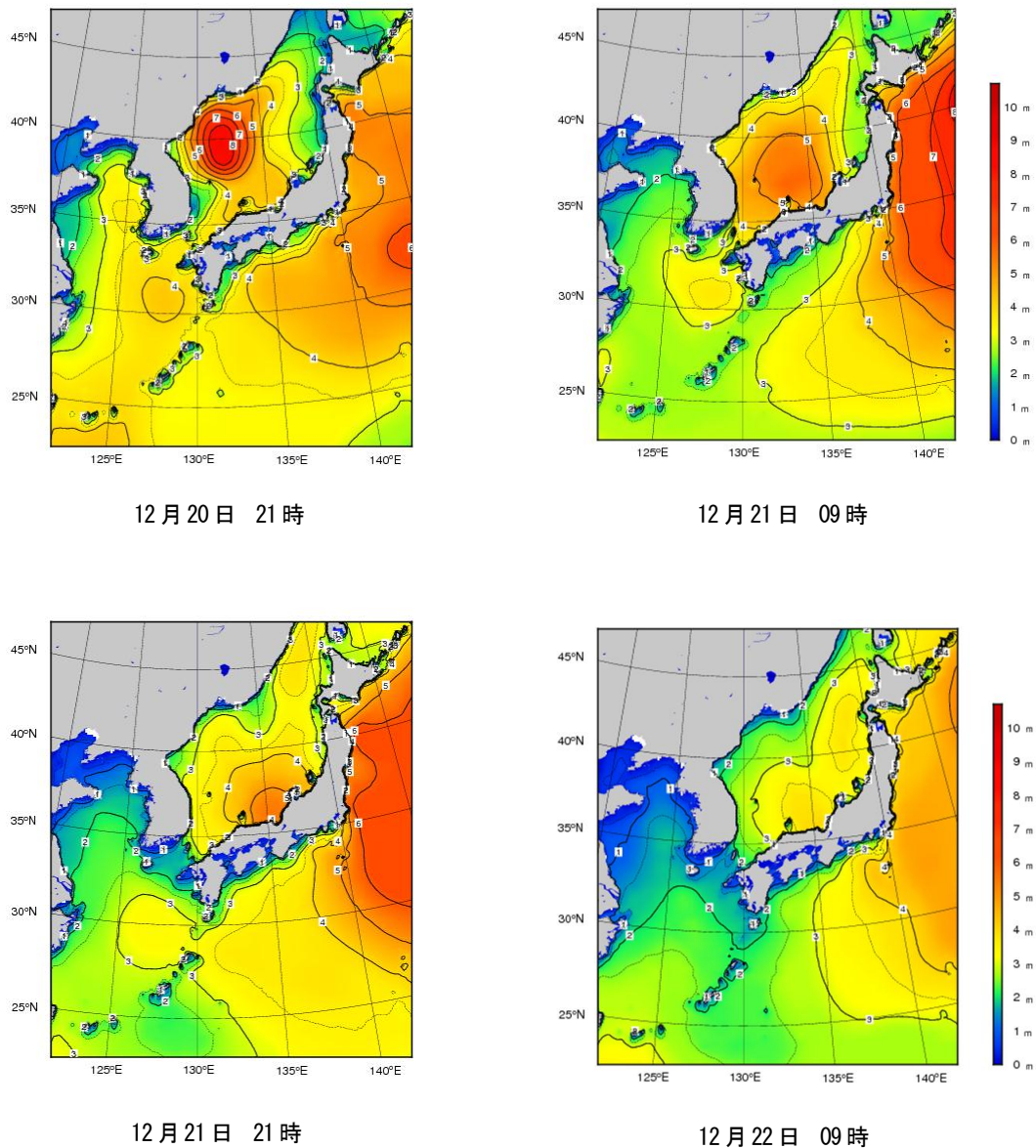
○関連する警報・注意報等の発表状況（12月20～21日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩手県全域	—	風雪
宮古地域	波浪	大雪、強風、波浪、高潮、着雪
久慈地域	波浪	大雪、強風、波浪、着雪
沿岸南部（住田町を除く）	波浪	強風、波浪、高潮
遠野地域	—	大雪、着雪、なだれ

府県気象情報
「高波と強風に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第4号まで発表

注)一次細分区域または市町村等をまとめた地域で記載

○沿岸波浪図



【沿岸波浪図利用上の注意】

- ・波の高さを等波高線で示しています。等波高線は、1メートルごとの実線と0.5メートルごとの破線(4メートル未満の領域のみ)を表示しています。
- ・波の高さは「有義波高」で示しています。
- ・白い領域は海水域を表します。
- ・実際の波には、有義波よりも高い波が含まれているので注意が必要です。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域	
水産業	漁船	3,610	船体破損5隻	普代村
	漁具	15,760	定置網破損22ヶ統	久慈市、野田村、普代村
	養殖施設	1,570	養殖施設破損2台	大槌町
漁港	500	止壁流出1箇所	大船渡市	
計	21,440			

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 4月6日から8日の暴風雨災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

育苗用ビニールハウスの破損や農作物の倒伏防止等について、4月5日に農作物技術情報（号外、暴風対策）を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

(2) 水産関係被害に対する対策

陸前高田市など5市町において、漁船の沈没や養殖施設からの水産物落下等の被害が発生した。

いずれも漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応したほか、生産物被害についても漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんするかたちで共済金が支払われた。

(3) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、宮古市、山田町、釜石市、大船渡市の県営・市町村営漁港の21漁港33箇所において、防波堤・護岸の損壊、岸壁・物揚場エプロン舗装路盤の流出、用地嵩上げ盛土の流出、臨港道路、泊地への土砂堆積などの被害が発生した。

防波堤・護岸の被災は、被害額55百万円程度と見込まれるが、東日本大震災津波により不安定になっていたことが主な原因と考えられることから、既に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）に基づく災害査定により採択されている災害復旧事業の変更設計協議により増工し対応する予定であり、一部は工事実施中である。

また、その他の被災については、負担法の採択基準に該当しないことから、県単独災害復旧事業、市町の単独費により復旧した。

2 7月26日から28日の大雨洪水災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

排水や病害虫防除の実施等について、7月30日に農作物技術情報（号外、浸冠水事後対策）を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業共済の対象となる水稲、畑作物（大豆）、果樹、園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

(2) 畜産関係被害に対する対策

ア 技術対策等

農業改良普及センターを中心に、牛舎への雨水流入等による飼養環境の悪化から発生する疾病の予防対策を指導した。

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、牧草地等への土砂流入や収穫した乾草の流失等により、越冬用粗飼料の確保ができなくなる被害があったことから、農作物災害復旧対策事業において代替粗飼料の確保を支援する9月補正予算を措置した。

(3) 農業施設被害に対する対策

ア 復旧対策事業

平成25年7月26日から28日、8月9日の大雨被害及び9月16日の台風18号被害に係る県独自の支援策として、国の被災農業者向け経営体育成支援事業を活用し、県及び市町村が上乗せ補助する「被災農業者緊急支援事業」を創設した。

【事業の概要】

- 農業施設等の再整備するための融資等残額を補助
 - ① 支援対象
大雨により被害を受けたことについて、市町村長から証明を受けた農業者
 - ② 事業実施主体 市町村
 - ③ 基本負担区分・補助率
補助率：23/30（国費9/30、県費7/30、市町村費7/30（義務負担））
 - ※ 国費は被災農業者向け経営体育成支援事業で対応するもの
 - ※ 市町村が7/30以上負担する場合に限り、県が7/30以内負担するもの

(4) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し348箇所1,000,230千円の採択を申請し、348箇所906,749千円が採択された。

なお、国庫補助率は農地50%、農業用施設65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高の適用を申請したことにより、県平均で農地94.2%、農業用施設98.1%となった。

(5) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害に対する対策

一関市など5市町村において、治山施設11箇所が被災した。このうち、国庫事業の採択基準に満たない小規模な災害を県単独事業で4箇所（事業費14,600千円）復旧することとなった。

また、一関市など11市町において、林道（199路線511箇所）の路肩決壊・法面崩壊等の被害が発生し、このうち、暫定法に基づき、11路線11箇所66,971千円の採択を申請した。平成25年10月に国による災害査定が実施され、11路線11箇所64,778千円が採択となり、林道施設災害復旧事業により復旧を進めることとしている。

イ 林産物被害

一関市において、菌床しいたけや、菌床ブロックの流失被害が発生し、いずれも生産者の自力復旧により対応した。

ウ 林地荒廃に対する対策

一関市など5市町において、林地荒廃25箇所への被害が発生し、災害関連緊急治山事業の採択要件に満たない3箇所については、県単災害関連緊急治山事業（事業費18,900千円）で復旧整備を実施することとした。このうち人家の後背地が崩壊し1名が死亡した1箇所については、平成26年3月に復旧が完了している。

また、上記以外の被災箇所について、平成26年度以降、国庫補助治山事業等により3箇所を復旧整備することとしている。

(6) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、大槌町、釜石市、大船渡市の県営・市町村営漁港の7漁港7箇所において、流木等の泊地への流入被害があり、公共土木施設災害復旧事業国庫負担法の採択基準に該当しないことから、県単災害復旧事業、市の単独費により集積及び処分済みである。

(7) 制度資金による被災農業者等への支援

被災農業者の経営安定化を図るため、JAグループが創設した「JAバンク自然災害対応特別資金」に対して利子補給を行った。

また、被災農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

3 8月9日の大雨洪水災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

排水や病虫害防除の実施等について、8月9日に農作物技術情報（号外、浸冠水事後対策）を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業共済の対象となる水稲、畑作物（大豆・蚕繭）、園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

ウ 復旧対策事業

盛岡市など4市町における豪雨災害対策として、水稲、果菜、葉菜、花き、穀類の緊急防除、生育回復、播き直し、改植を農作物災害復旧対策事業で実施した。

また、大きな被害を受けた菌床しいたけの菌床入れ替えと、収穫が不能となった牧草の代替粗飼料購入経費について、知事特認として事業実施することとした。

土砂の流入等により、生育回復が見込めなくなった盛岡市猪去地区のりんご園地について、果樹経営支援対策事業による改植を実施することとした。

(2) 畜産関係被害に対する対策

ア 技術対策等

牛舎への土砂流入等による飼養環境の悪化から発生する疾病の予防対策や長雨による飼料作物の収量及び品質低下を軽減するための技術情報を作成し、被害のあった農家や関係機関に配布するとともに県のHPに掲載した。

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な

現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、牧草地等への土砂流入や収穫した乾草の流失等により、越冬用粗飼料の確保ができなくなる被害があったことから、農作物災害復旧対策事業において代替粗飼料の確保を支援する9月補正予算を措置した

(3) 農業施設被害に対する対策

ア 復旧対策事業

平成25年7月26日から28日、8月9日の大雨被害及び9月16日の台風18号被害に係る県独自の支援策として、国の被災農業者向け経営体育成支援事業を活用し、県及び市町村が上乗せ補助する「被災農業者緊急支援事業」を創設した。

(4) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し169箇所917,590千円の採択を申請し、169箇所883,004千円が採択された。

なお、国庫補助率は農地50%、農業用施設65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高の適用を申請したことにより、県平均で農地96.5%、農業用施設97.0%となった。

(5) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害

雫石町など6市町において、林道88路線357箇所の路肩決壊・橋梁落下等の被害が発生し、暫定法に基づき、25路線55箇所648,027千円の採択を申請した。平成25年10月及び11月に国による災害査定が実施され、25路線55箇所624,993千円が採択となり、林道施設災害復旧事業により復旧を進めることとしている。

また、紫波町など3市町において、治山施設5箇所の破損による直下の市道等への土砂流出被害が発生し、このうち、国庫事業の採択基準に満たない小規模な災害を県単独事業で1箇所復旧することとなった。

このほか、盛岡市及び紫波町において、林産施設(森林体験施設)の遊歩道の一部崩落被害が発生し、施設所有者の自力復旧により対応した。

イ 林産物被害

菌床しいたけなどの菌床ブロック流失被害が発生し、県単独事業「農作物災害復旧対策事業」により菌床更新を支援した。

ウ 林地荒廃に対する対策

雫石町など7市町において林地荒廃66箇所の被害が発生し、直下の鉄道や温泉宿泊施設等が土砂被害を受けた。このうち8箇所について災害関連緊急治山事業により復旧することとした。災害関連緊急治山事業の採択要件に満たない1箇所については、県単独災害関連緊急治山事業で復旧整備を実施することとした。

上記以外の被災箇所について、平成26年度以降、国庫補助治山事業等により、4箇所を復旧整備することとしている。

(6) 制度資金による被災農業者等への支援

被災農業者の経営安定化を図るため、JAグループが創設した「JAバンク自然災害対応特別資金」に対して利子補給を行った。

また、被災農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

4 9月16日の台風18号災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

排水や病害虫防除の実施等について、9月17日に農作物技術情報（号外、台風事後対策）を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業共済の対象となる水稲、畑作物（大豆・そば・蚕繭）、果樹、園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

ウ 復旧対策事業

八幡平市において、葉菜、花きを対象に、緊急防除、生育回復、播き直し、改植を農作物災害復旧対策で実施した。

(2) 畜産関係被害に対する対策

ア 技術対策等

農業改良普及センターを中心に、牛舎への雨水流入等による飼養環境の悪化から発生する疾病の予防対策について、指導を行った。

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、牧草地等への土砂流入や収穫した乾草の流失等により、越冬用粗飼料の確保ができなくなる被害があったことから、農作物災害復旧対策事業において代替粗飼料の確保を支援する9月補正予算を措置した。

(3) 農業施設被害に対する対策

ア 復旧対策事業

平成25年7月26日から28日、8月9日の大雨被害及び9月16日の台風18号被害に係る県独自の支援策として、国の被災農業者向け経営体育成支援事業を活用し、県及び市町村が上乘せ補助する「被災農業者緊急支援事業」を創設した。

(4) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し241箇所1,282,215千円の採択を申請し、241箇所1,210,037千円が採択された。

なお、国庫補助率は農地50%、農業用施設65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高の適用を申請したことにより、県平均で農地96.1%、農業用施設98.1%となった。

(5) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害に対する対策

二戸市及び一戸町の治山施設の破損被害が発生した。施設被害の規模が小さいことから、平成26年度以降の県単独治山事業（施設維持補修）や県単独施設災害復旧で復旧整備することとしている。

また、一戸町など11市町村において、林道76路線202箇所の路肩決壊・路面流出等

の被害が発生した。このうち、暫定法に基づき、9路線12箇所61,968千円の採択を申請した。

平成25年12月に国による災害査定が実施され、9路線12箇所59,070千円が採択された、林道施設災害復旧事業により復旧を進めている。

イ 林地荒廃に対する対策

一戸町など4市町において、林地荒廃13箇所の被害が発生した。保全対象や緊急度を精査の上、平成26年度国庫補助事業により2箇所を整備復旧することとしている。

(6) 水産関係被害に対する対策

二戸市など5市町において、漁船の沈没や養殖施設破損等の被害が発生した。

いずれも漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てん等により、所有者の自力復旧により対応した。

(7) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、釜石市営漁港において、漁港用地背後の崖からの落石被害があり、落石量が少量であったことから、市の単独費により撤去済みである。

(8) 制度資金による被災農業者等への支援

被災農業者の経営安定化を図るため、JAグループが創設した「JAバンク自然災害対応特別資金」に対して利子補給を行った。

また、被災農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

5 10月16日の台風26号災害

(1) 農作物被害に対する対策

ア 技術対策等

排水の実施や稲刈り作業の留意点等について、10月15日に農作物技術情報(号外、台風対策)を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

農業共済の対象となる水稲、畑作物(大豆・そば・蚕繭)、果樹、園芸施設(パイプハウス等)や建物(住宅、作業小屋等)等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

(2) 畜産関係被害に対する対策

ア 技術対策等

農業改良普及センターを中心に、倒伏した飼料作物は土砂などが混じらないよう早めに収穫・調製するよう指導を行った。

イ 被災畜産農家への対策

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜(牛、豚)については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

(3) 農業施設被害に対する対策

ア 復旧対策事業

県独自の支援策として、国の被災農業者向け経営体育成支援事業を活用し、県及び市町村が上乘せ補助する「被災農業者緊急支援事業」を創設した。

(4) 林業関係被害に対する対策

ア 林業施設被害

大船渡市において、林産施設(森林体験施設)の管理設備の破損被害が発生した。また、陸前高田市において、特用林産施設(菌床しいたけ生産施設)の一部(フレーム)破損被害が発生した。

いずれも、施設所有者の自力復旧により対応した。

(5) 水産関係被害に対する対策

大船渡市など 10 市町村において、定置網や共同利用施設の破損、漁船の転覆、養殖施設からの水産物落下等の被害が発生した。

いずれも漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応したほか、生産物被害についても漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんするかたちで共済金が支払われた。

(6) 漁港関係被害に対する対策

漁港施設について、野田村、普代村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市の県営・市町村営漁港 48 漁港 76 箇所、県営・市町村営漁港海岸 3 漁港海岸 3 箇所において、漁港施設では、防波堤・護岸の倒壊・傾斜、船揚場斜路・基礎部の洗掘、臨港道路舗装の破損・流出、泊地への流木等流入・堆積など、海岸保全施設では、階段護岸の破損、仮締切土のう流出、水門前面の流入土砂堆積などの被害があった。

宮古市、山田町、釜石市の被害のうち、市町営漁港の防波堤倒壊等については、被害程度が大きく、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(以下「負担法」)の採択基準を満たすことから、平成 25 年 12 月 24 日～26 日にかけての災害査定で災害復旧事業採択され、今後、復旧工事を実施する。

また、東日本大震災により被災し、平成 23 年に負担法による災害復旧事業採択箇所の被害については、東日本大震災津波により不安定になっていたことが主な原因と考えられることから、既に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(以下「負担法」)に基づく災害査定により採択されている災害復旧事業の変更設計協議により増工し対応する予定であり、一部は工事实施中である。

さらに、その他の被災については、負担法の採択基準及び限度額に該当しないことから、県単独災害復旧事業、市町村の単独費により復旧した。

V 参考資料

農林水産部災害対策実施マニュアル

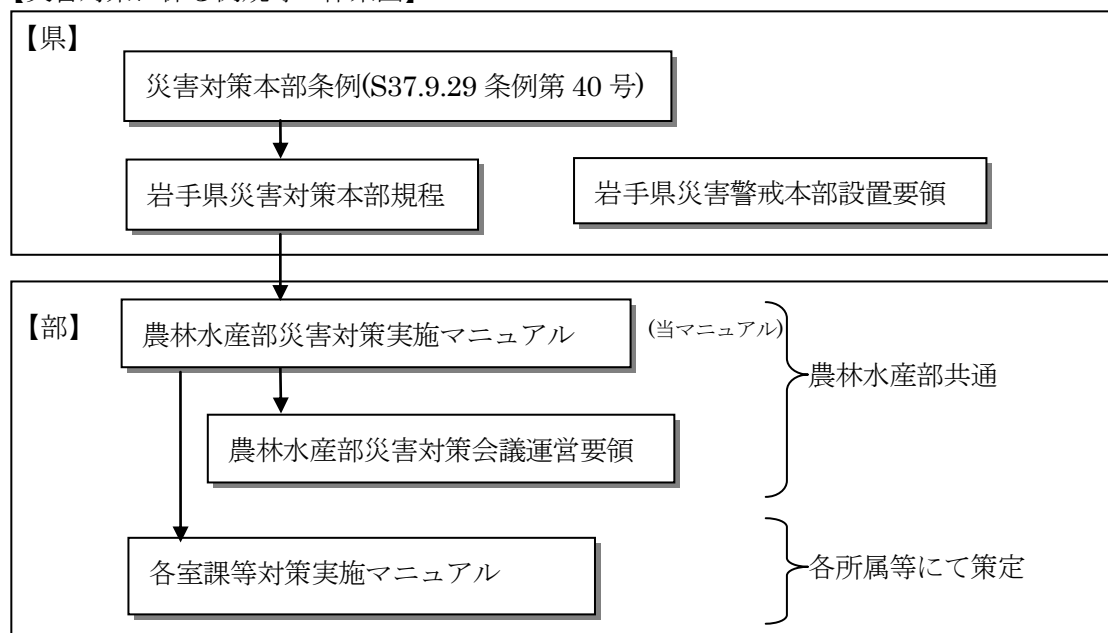
制 定 平成15年5月1日

最終改正 平成18年4月1日

このマニュアルは、岩手県災害対策本部規程（平成8年岩手県災害対策本部長訓令第2号）第9条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合(以下「災害発生時」という。)において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行なわれる。

また、岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、関係する広域振興局、総合支局及び地方振興局（以下、「振興局等」という。）に地方支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

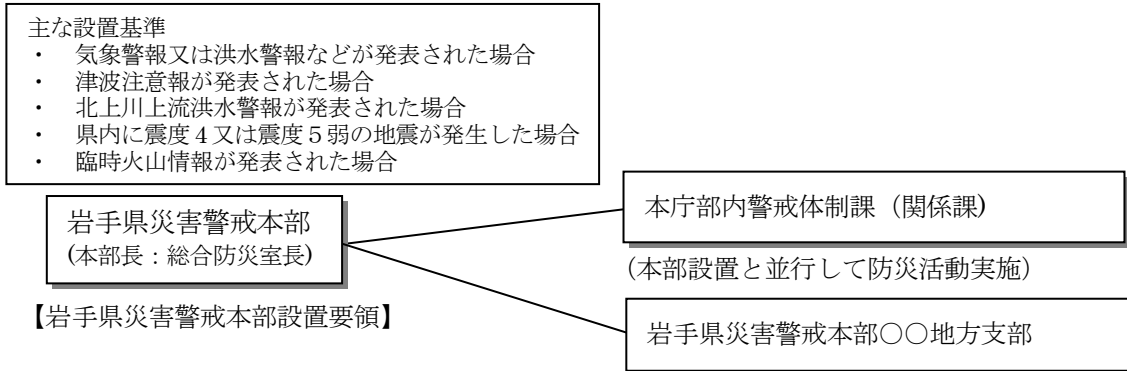
岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 『農林水産部災害対策実施マニュアル』

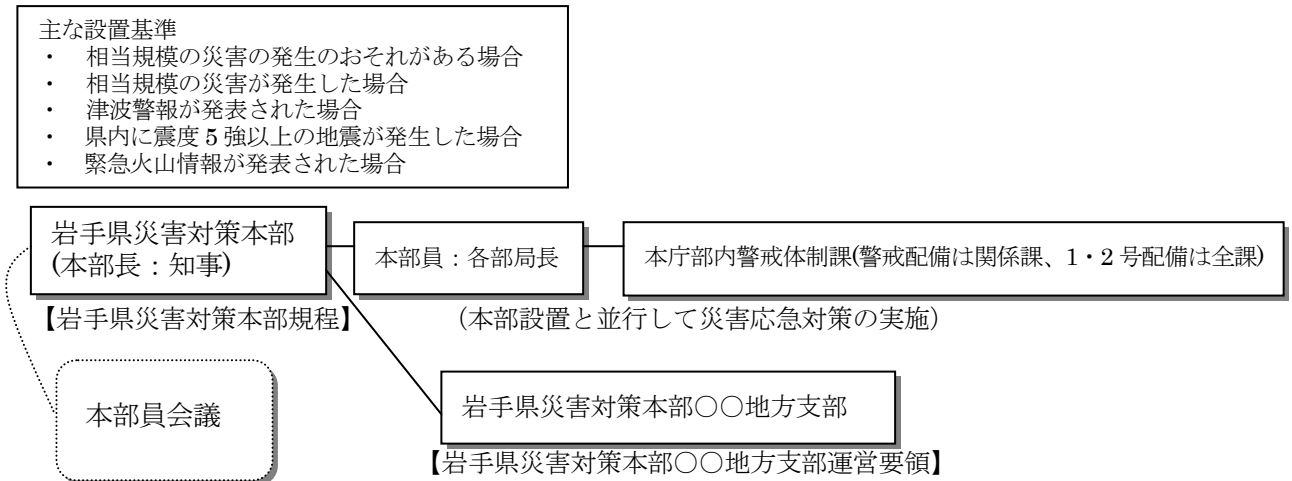
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置



★岩手県災害対策本部の設置



III 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第21条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①警戒配備、②1号非常配備、③2号非常配備となっている。

また、気象予警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒体制をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。
- (3) 振興局等農林水産担当部等の職員及び出先機関の職員は、振興局等各部長又は各地方支部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。

警 戒 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 気象警報、高潮警報、波浪警報、洪水警報、津波注意報若しくは臨時火山情報（火山噴火予知連絡会の統一見解を除く。）が発表され、又は大規模な火災、爆発等により相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 2 北上川上流洪水警報、北上川上流水防警報又は閉伊川水防警報が発表され、かつ、相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 3 津波警報が発表された場合 4 県内に震度5強の地震が発生した場合 5 県内の火山について緊急火山情報が発表された場合	
本 庁	活動要領	部 長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。 (1) 災害対策本部員会議への付議 (2) その他必要と認める事項の処理 2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。 3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。 4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。
		各室課の長	(農林水産企画室長処理事項) 本庁関係課、振興局等農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。 (各室課の長共通処理事項) 1 マニュアルに従い、振興局等農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。 2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課、漁港漁村課及び部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当並びに各課の長があらかじめ指名する職員	
振興局等農林水産担当部等	活動要領	振興局等農林水産担当部長等	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課又は農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。
		配備職員	振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員
出先機関	活動要領	出先機関の長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。
		配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

1 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		1 相当規模の災害が発生した場合 2 大津波警報が発表された場合
本 庁	活動要領	部長 警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
	活動要領	室課の長 (農林水産企画室長処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。
	配備職員	すべての課の主査相当職以上の職員及び各課の長があらかじめ指名する職員
部等 振興局等農林水産担当	活動要領	振興局等農林水産担当部長等 警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての所属の主査相当職以上の職員及び振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員
出先機関	活動要領	出先機関の長 警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

2 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		1 大災害が発生した場合において、本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認められる場合 2 県内に震度6弱以上の地震が発生した場合
本 庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
部等 林水産担当 振興局等農	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
出先機関	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、部長が部内の職員のうちから指名する。

本部連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令の伝達、各部門間の連絡・調整及び情報収集の業務を担当する。

4 緊急初動特別班員（県災害対策本部規程第17条）

本部（及び地方支部）に、緊急初動特別班を置き、班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。

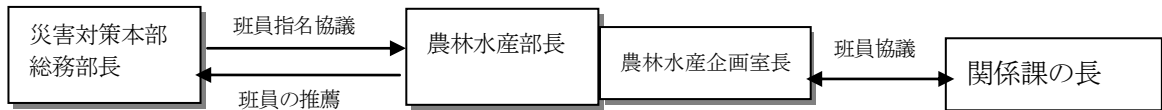
緊急初動特別班員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害情報の収集・報告・周知、災害応急対策の実施、国、市町村その他の関係機関との連絡等に関する事務を行う。

5 災害対策本部調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第19条）

岩手県災害対策本部に調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

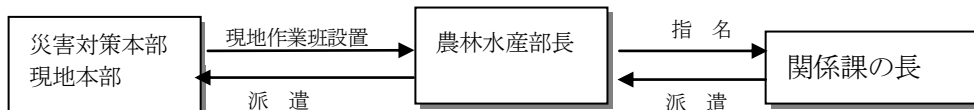
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第20条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認めるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 29 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

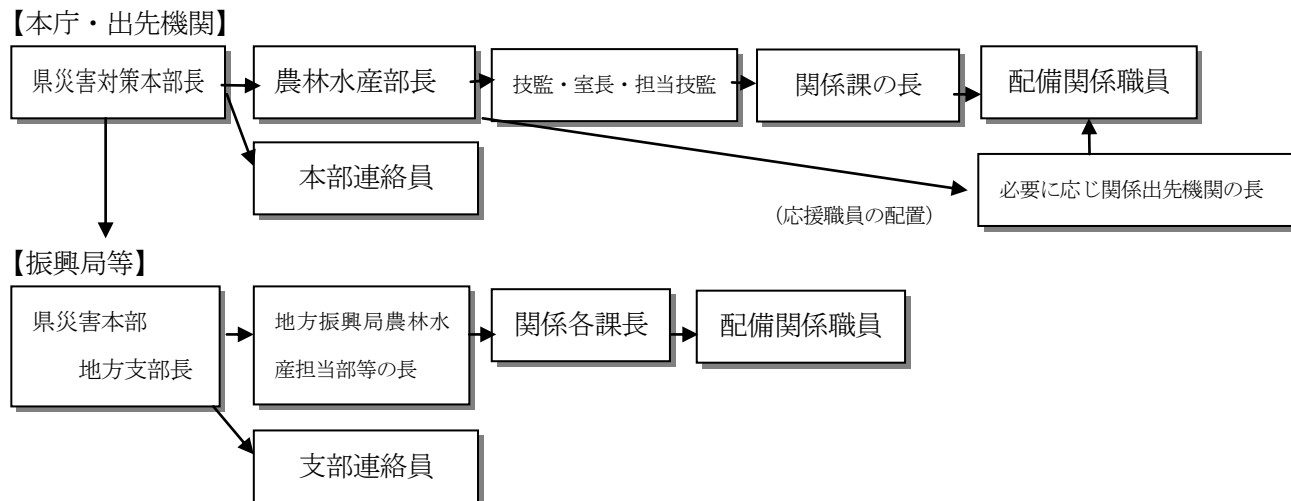
IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 23 条）

- ① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。
【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、本部連絡員にも伝えられる】
- ② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ③ 振興局等農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。
- ⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。
- ⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

非常招集体系図



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 24 条）

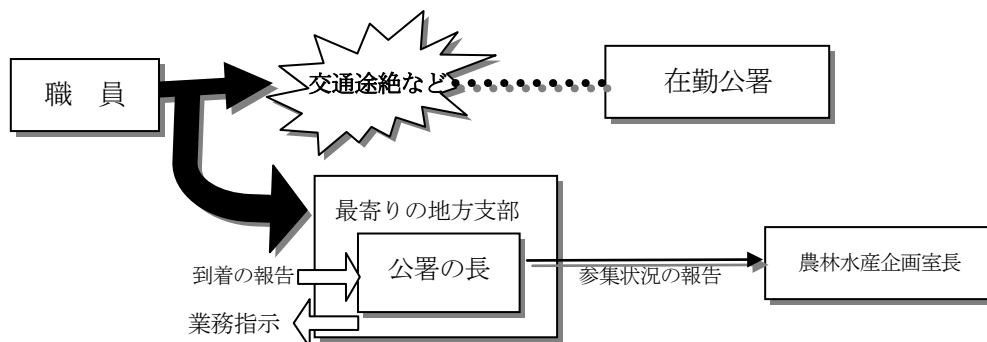
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である】

2 在勤公署に参集できない場合の対応

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集し、参集先の公署の長に到着の報告を行なうとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。

その場合、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当者

本庁各室課の長、振興局等農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、振興局等農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農林水産企画室	1 部内各課等の連絡調整に関すること。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関すること。	1 情報の収集・伝達計画 ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 2 広報広聴計画 ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 3 林野火災応急対策計画 ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集	
団体指導課	1 農業共済に関すること。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関すること。		
流通課	1 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせんに関すること。 2 食料品取扱機関との連絡に関すること。	1 相互応援協力計画 ・米穀の調達に係る岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・畜産副食物の調達に係る畜産加工品製造業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料供給計画 ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん	
農業振興課	1 経営構造対策事業及び山村等振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。		1 農作物気象災害対策のとりまとめに関すること。
農業普及技術課	1 農作物の被害の技術対策に関すること。 2 農業気象に関すること。 3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。 4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。 5 病虫害防除に関すること。	1 相互応援協力計画 ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理及び病虫害防除に係る技術指導	1 低温・日照不足の異常気象による被災農家の救済対策や消費者に対する適時適切な情報提供等に関すること。
農村計画課	1 他課等に対する応援に関すること。		

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農村建設課	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。 2 農地、農業用施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 国営土地改良事業及び県営土地改良事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 3 農地農業用施設応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設に係る被害状況調査及び応急対策の実施 	
農産園芸課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。 2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。 3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	
畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害の取りまとめに関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・畜産対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 木材及び木炭の調達及びあっせんに関すること。 2 林産物及び林業関係施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設関係被害報告 ・林産物関係被害報告 ・国有林の施設・森林等被害報告 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 生活必需品供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木炭の調達及びあっせん 4 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 5 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 6 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設関係被害情報の収集 ・林産物関係被害情報の収集 ・国有林の施設・森林等被害情報の収集 	

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防に関する事 2 林業種苗の調達及びあっせんに関する事 3 林業関係施設(林業振興課の主管に属するものを除く。)の被害調査及び応急対策に関する事 4 森林の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・森林関係被害報告 2 相互応援協力計画 ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 ・消火薬剤及び消防資機材の調達及びあっせん ・森林関係被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関する事 2 県有林の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害報告 ・県有林関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関する事 2 水産食品の調達及びあっせんに関する事 3 漁業災害補償に関する事 4 海上輸送(漁船によるものに限る。)に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 ・漁船による海上輸送の要請 2 相互応援協力計画 ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業協同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料供給計画 ・水産物の調達及びあっせん 4 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関する事 2 沿岸魚場整備開発施設の被害調査及び応急対策に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 ・漁港施設等被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 ・漁港施設等被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 ・漁港関係障害物の除去 4 海上災害応急対策計画 ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	

2 振興局等農林水産担当部等

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
振興局等 { 農政(林)部 水産部 農村整備室 林務事務所 家畜保健衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

3 出先機関

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学校	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

本庁各室課の長、地方振興局農林水産担当部長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種 類	内 容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画 (様式1)	原則として、電子メール及び県行政情報ネットワークによるものとし、防災行政無線(電話、FAX)等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方 支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間(災害発生初期)に、種類別に報告するもの	〃 (様式F及び3、 10～16、		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	〃 (同上)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
その他の報告	前記の報告以外で、必要な事項について報告するもの	〃 (任意様式)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系図は12頁)

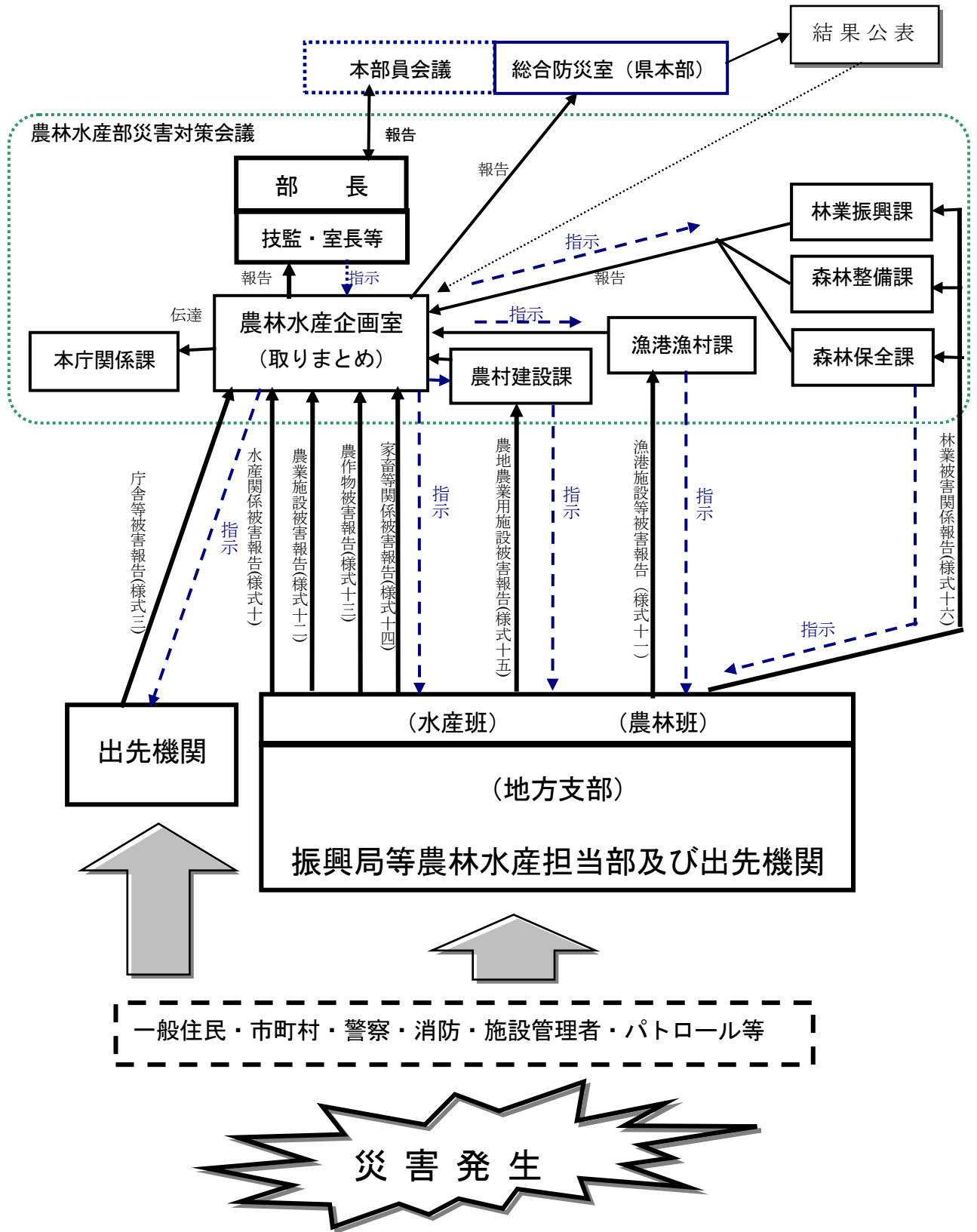
報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
農業施設被害報告	様式12	市町村本部	農林水産企画室	関係課に伝達	部 長
農作物等被害報告	様式13	↓			
家畜等関係被害報告	様式14	振興局等(農	農村建設課 林業振興課 森林整備課 森林保全課 漁港漁村課	農林水産企画 室に報告	県災害対 策本部長 (総合防災 室)
水産関係被害報告	様式10	林水産担当			
農地農業用施設被害報告	様式15	部等)及び出			
林業関係被害報告(林産施設・林産物)	様式16	先機関			
〃 (作業道、市町村有林、私有林)	様式16				
〃 (林産施設・作業道以外の林業施設)	様式16				
漁港施設等被害報告	様式11				

2 応急対策及び指示

- (1) 振興局等農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部長の指示確認)	別紙様式1	振興局等農林水産担当部等 及び出先機関	農林水産企画室又は本庁 関係課(情報伝達と同様)	部 長

災害情報収集・報告区分別系統図



Ⅶ 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合(警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度 5 強以上の地震	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、森林整備課長、森林保全課長、水産振興課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

- ・本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。
- ・勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。
- ・拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課(V 分掌事務参照)の長が対象となること。

VIII その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (振興局等の長)	緊急初動特別班員の指名	毎年度当初	本庁及び振興局等
本庁各室課の長 振興局農林水産担当部長 出先機関の長	非常招集系統図（配備体制区分 がわかるもの）作成	毎年度当初	本庁は農林水産 企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常招集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画(災害応急対策計画)に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等災害防止対策本部(以下「本部」という。)を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議(以下「対策会議」という。)が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局、広域振興局総合支局及び地方振興局（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長又は農林部長をもって充て、副地方支部長は、盛岡地方振興局農政部にあつては農業振興室長、県南広域振興局農林部にあつては地域農政推進課長、その他の広域振興局等の農政部及び農林部にあつては農林水産調整主幹（宮古地方振興局農政部にあつては農林水産調整監）並びに所管区域を所掌する農業改良普及センター所長（花巻及び北上地方支部にあつては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあつては地方支部長と、副本部長にあつては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

別表 1 (要綱第 3 関係)

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
中央農業改良普及センター	所長

別表 2 (要綱第 6 関係)

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	企画マーケティング担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
中央農業改良普及センター	(県域普及グループ)

農林漁業セーフティネット資金の概要

「農林漁業セーフティネット資金」は、不慮の災害や経済環境の変化等によって収支が悪化し、資金繰りに支障を来している場合などに利用できる低利な長期資金（償還期間 10 年以内うち据置 3 年以内）です。

項 目	内 容
貸付対象者	<ul style="list-style-type: none"> ①認定農業者 ②認定就農者 ③林業経営改善経営計画の認定を受けている林業経営者 ④漁業経営の改善に関する計画の認定を受けている中小漁業者 ⑤農林漁業に係る所得が総所得の過半を占めるか粗収益が 200 万円以上の個人 ⑥農林漁業に係る売上高が総売上上の過半を占めるか 1,000 万円以上の法人
貸付対象者	<ul style="list-style-type: none"> ①災害の被害を受けた ②疾病や病虫害等の被害により殺処分や出荷停止の指導を受けた ③前期より粗収益が 10%以上減少した ④最近 3 ヶ月の粗収益が前年同期を下回っており、今後も減少が見込まれる ⑤前期より所得率や純利益が悪化している ⑥燃油や資材費等の高騰により一時的に経営が悪化している ⑦取引先や取引金融機関が破綻し、経営に支障を来している
取扱融資機関	日本政策金融公庫 ※農協、銀行等を窓口として融資される
資金使途	経営の維持安定に必要な長期運転資金
貸付限度額	個人、法人とも 600 万円（特認：年間経営費の 3/12 以内） （東日本大震災被災者：1,200 万円（特認：年間経営費の 12/12 以内））
貸付利率	0.35～0.85%（H25.2.21 現在） （東日本大震災被災者：無利子）
協会保証及び保証料率	無（保証人、担保等については別途要相談）
償還期限	10 年以内（うち据置 3 年以内） （東日本大震災被災者 13 年以内（うち据置 6 年以内））
その他	日本政策金融公庫盛岡支店 TEL019-653-5121

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	<p>水稻</p> <p>麦</p>	<p>気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災</p> <p>上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）</p>	<p>【当然加入制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻 30 a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25 a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・ 麦 10a 以上（全組合） 	<p>【一筆・半相殺・全相殺方式】</p> <p>共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合）</p> <p>【水稻品質・麦災害収入共済方式】</p> <p>基準生産金額の6～9割</p>
	果樹共済	<p>りんご</p> <p>ぶどう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（冷害、風水害、干害等） ・ 病虫害、鳥獣害 <p>【特定危険方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 10a 以上（最低加入基準） <p>【特定危険方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに 10a 以上の栽培面積と栽培経験 5 年以上
畑作物共済	大豆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（冷害・風水害・干害等） ・ 病虫害、鳥獣害、火災 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 5 a 以上（最低加入基準） 	<p>【一筆単位方式】</p> <p>耕地ごとの基準収穫量の 7 割×単位当補償金額</p>
	そば			<p>【半相殺・全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の（8割：半相殺・9割：全相殺）×単位当補償金額</p>
	ホップ			<p>【全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の 8 割×単位当補償金額</p>
	蚕繭（春・初秋・晩秋）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象災害（風水害、地震等） ・ 病虫害、鳥獣害、火災 	<p>最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1 箱以上）、初秋蚕繭（0.5 箱以上）、晩秋蚕繭（0.5 箱以上）</p>	<p>【全相殺方式】</p> <p>基準取繭量の 8 割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）</p>
家畜共済	牛馬豚	<p>死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、</p> <p>廃用（胎児・肉豚を除く）、病気（胎児・肉豚を除く）、傷害（胎児・肉豚を除く）</p> <p>【事故除外】</p> <p>特定の事故のみ限定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・ 肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛） <p>（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）の胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共済価額×付保割合で共済金額を求め、この範囲内で死廃用事故にかかる共済金が支払われる（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・ 高被害率農家（死廃事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死廃事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が3万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く 	<p>共済価額（施設時価額）×付保割合 付保割合（組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択）</p> <p>※施設内農作物は、施設の再建築価額（新築価額）に該当施設内農作物の価額算定率をかけ、さらに付保割合をかけて共済金額を求める（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）</p>

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に収容されている家具、家財 ・農作業場等に収容されている小農器具 	<p>（火災事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機具共済	農機具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 <p>（更新共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有または管理している未使用の状態を取得した農機具 	<p>損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額</p> <p>※損害額1万円以上の事故から対象</p> <p>※機械の腐食等の自然消耗等は対象外</p>

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁協一括契約、集団契約) 【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="text-align: center;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位 当たり生産 金額のうち 最高と最低 を除く3年 平均 × 契約年のさ く数、台数、 または幹縄 の延長数 × 一定割合 (養殖種類 ごとに一 律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定して、てん補する方式</p> <p>【支払上限てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合は不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

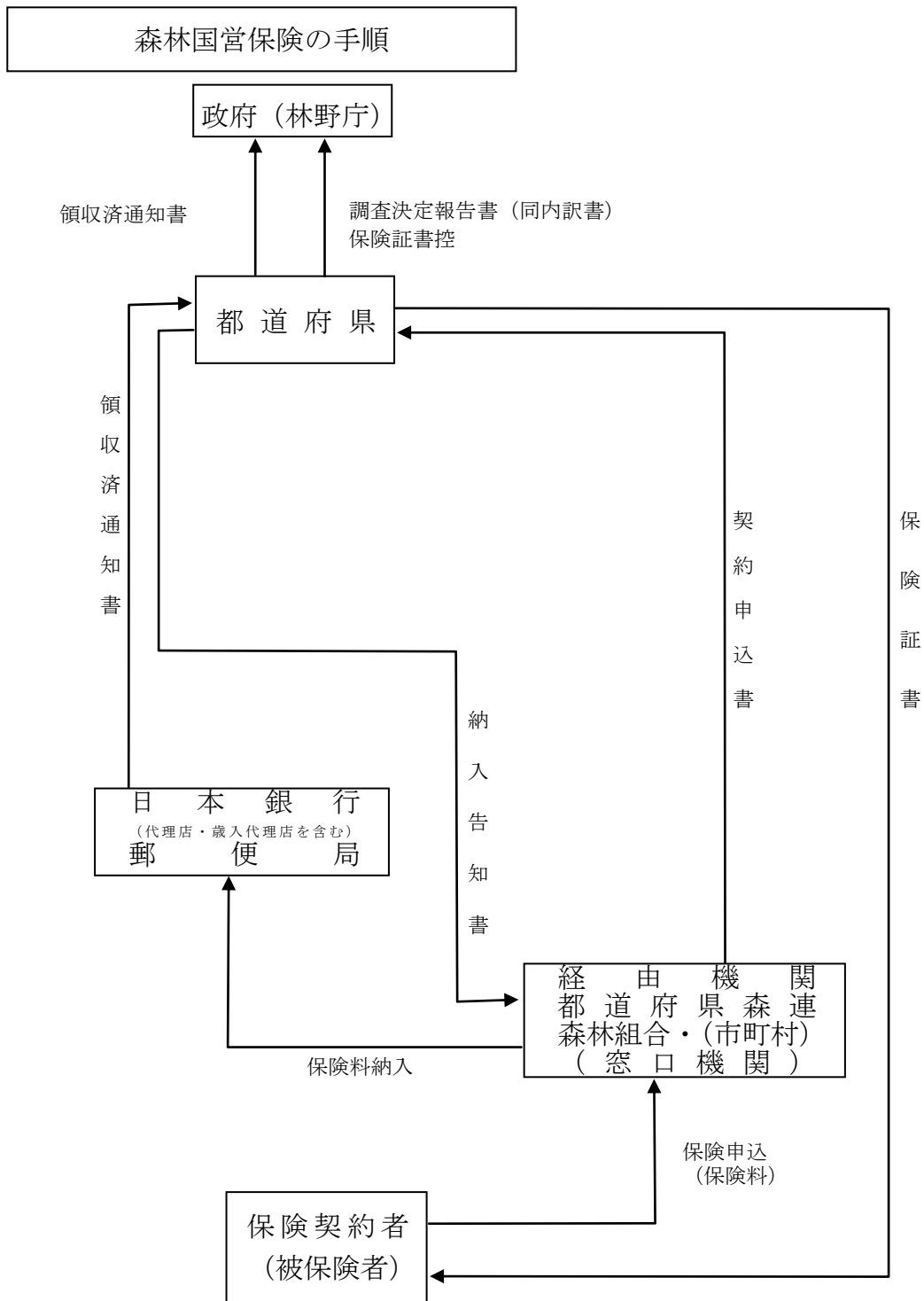
引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁業施設共済	漁具	定置網	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償 【各網全損特約】(定置網) 【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定てん補(分損)契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	はえ縄 いかだ 網いけす			

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約
漁協が加入する方式
- 3 集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、病虫害獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が 1,500 万円以上で、かつ、要復旧面積が 90ha 以上の市町村（激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が 4,500 万円以上、かつ、要復旧面積が 40ha 以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1 施行地の面積が 0.1ha 以上		
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	被害森林における被害木等の伐採・搬出及び人工造林等	倒伏木の引きこし	森林作業道の開設及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体等			都道府県、市町村、森林整備法人等、森林組合等、森林法施行令第 11 条第 7 号に掲げる特定非営利活動法人等（ただし、事業主体が自ら所有する森林で実施する場合を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林国営保険の概要



注) 保険の目的が都道府県有林で、被保険者かつ契約者が都道府県である場合の事務の流れは上図と異なる。(※經由機関に委任している事務を都道府県が実施する。)

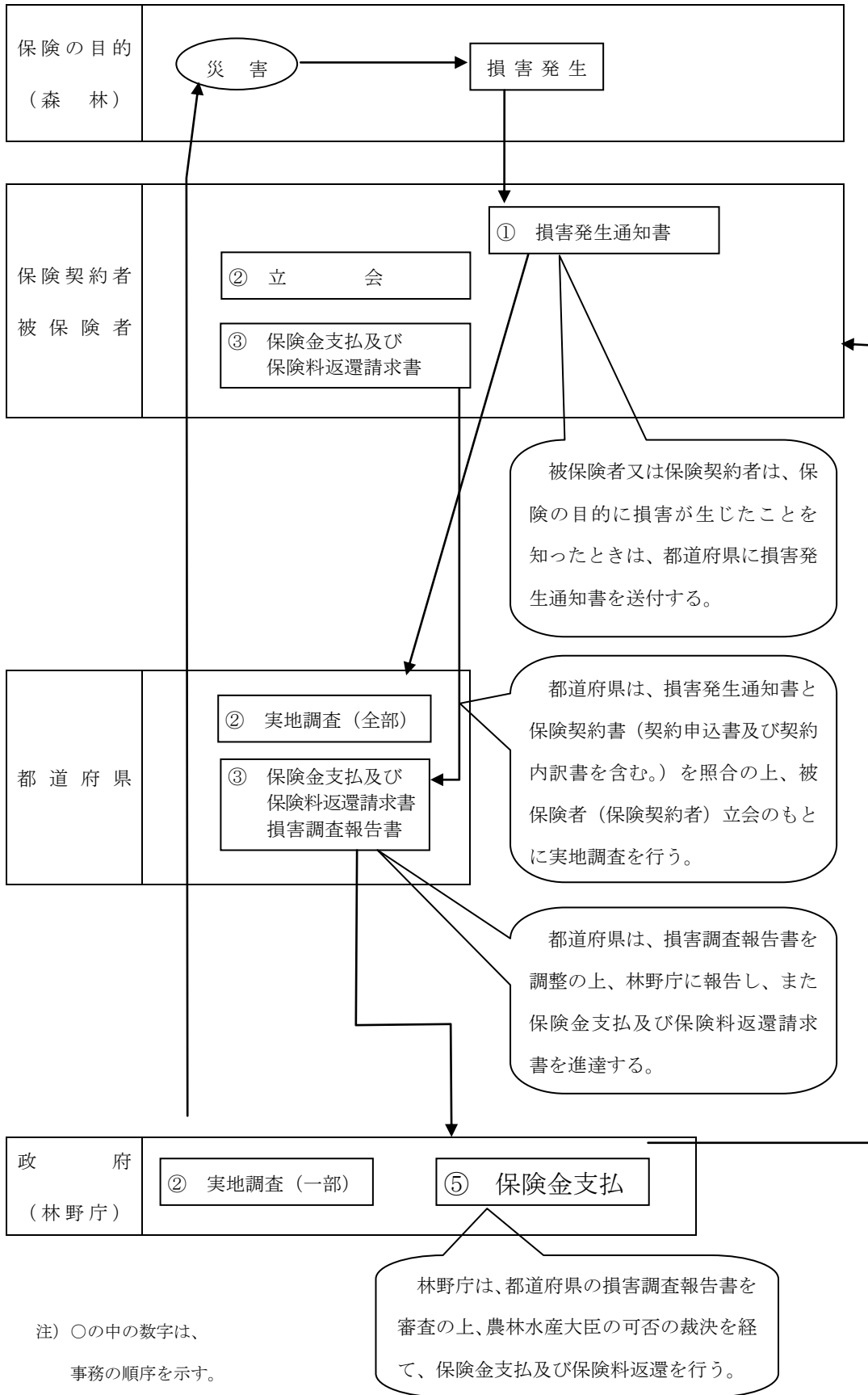
森林国営保険に係る損害てん補業務

業務の流れ	仕事をすべき者	費用負担者等
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険事故の発生</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	森林所有者 (保険契約者・被保険者)	・発生に係る通知は森林所有者 保険契約者・被保険者<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害発生通知書</div> <p style="text-align: center;">↓</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上の受理・送付</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	経由機関 (市町村、森林組合、都道府県森連)	経由機関 <市町村等交付金・手数料> ・通知書の作成は経由期間の受理業務の一環
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上の受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害の現地調査 概況調査</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">現地調査</div> <p style="text-align: center;">↓</p>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">現地調査立会</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	保険契約者又は被保険者 (委任を受けた者を含む)	保険契約者・被保険者<個人負担>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">現地調査補助</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県の職員又は 現地雇用作業員	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">損害調査報告書 保険金支払及び保険料 返還請求書</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)> ・保険金等の請求書作成、請求印受領も調査の一環
<p style="text-align: center;">(報告)</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県	都道府県 <都道府県交付金>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">同上受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	林野庁	林野庁
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険金支払い</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	林野庁	林野庁
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険金代理受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	保険金受取人(被保険者)の 委任を受けた者	保険金受取人<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保険金受理</div>	保険金受取人	

(注)

- 1 損害発生通知書、保険金支払請求書の作成の考え方は、民間損保も同様である。
- 2 現地調査立会と現地調査補助は別の立場である。立会者に調査手伝いをさせた場合の経費は都道府県又は都道府県森連が都道府県交付金または都道府県の委託費から負担する。

森林国営保険損害てん補の手順



農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあつては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成25年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
					小計		8.8	1,267	421	7市町村	
					桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村	
	計		1,351.9	15,087	5,020	7市町村					
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町		
年度計							1,429.9	18,866	6,279		
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
						小計		673.6	41,991	13,909	14市町村
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
						計		2,462.9	56,225	18,589	25市町村
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町	
						小計		4.9	607	201	2町村
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
						生育回復	5.5	59	19	川崎村	
						小計		45.1	8,453	2,813	4市町村
	9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村	
						計		1,558.6	25,441	8,470	7市町村
						果樹	病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村
	計		3.2	689	224	紫波町					
	計		142.2	5,044	1,664	4市町村					
年度計							4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
					小計		7.8	701	233		
					果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市	
	計		38.8	1,827		607	2市町				
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	水稲	病害虫防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						病害虫防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村	
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
						小計		110.4	2,479	824	4市町村
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
						代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村	
						小計		149.0	12,683	4,165	6市町村
					桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市	
計		747.3	20,372	6,722		11市町村					
夏期		低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施						
年度計							786.1	22,199	7,329		
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村	
						小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村	
						果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町
					とうもろこし		播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村
					計		233.3	15,323	5,088	6市町村	
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町		
					揚水機購入	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
					計		110.2	25,701	8,490	4市町村	
8月下旬～9月下旬		長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村	
年度計							529.0	45,947	15,201		
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
						小計		94.0	6,665	2,219	2町村
	8月26日	降雹	810.9	277,266	キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町	
						計		104.0	6,826	2,272	2町村
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
						だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町
							代作	8.0	1,031	343	紫波町
					小計		10.0	1,054	350		
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
						小計		4.0	275	90	
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村	
						病害虫防除	4.0	28	9	花巻市	
					プロックロー	代作	4.0	515	171	花巻市	
						小計		8.0	543	180	
					レタス	代作	3.0	386	128	遠野市	
					ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市	
わさび					植え直し	0.3	2,039	679	宮守村		
計					32.2	5,186	1,722	4市町村			
年度計							193.2	14,068	4,678		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町	
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	りんご	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村
						病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村	
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村	
					小計	842.7	35,330	11,706	15市町村		
夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施							
年度計						911.1	46,528	15,384			
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市	
	年度計						30.0	534	178		
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施						
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町	
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730		改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町	
						計	36.4	5,114	1,704	2町	
					レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町	
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町	
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町	
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町	
					さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市	
	牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町					
	9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計						124.2	39,176	13,017			
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稻	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村	
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町	
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石巻谷町	
						小計	30.3	7,289	2,426	4市町村	
	ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石巻谷町、大迫町					
		ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石巻谷町、大迫町					
		小計	60.1	61,649	20,452	3市町村					
年度計						90.4	68,938	22,878	5市町村		
年度計						1,385.4	84,152	27,934			
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町	
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302		雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町	
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町	
					計	58.4	36,898	12,298	2町		
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村		
年度計						47.2	4,782	1,593	2町村		
年度計						1,825.4	58,728	19,570			
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村	
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村	
年度計						0.7	4,966	1,655	2町村		
年度計						0.7	4,966	1,655			
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村	
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計						1.5	1,898	632			
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町	
						りんご	病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村
							代作	0.9	1,164	387	二戸市
							花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村	
						おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503		紫波町等4市町村				
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計						697.4	53,473	17,805			
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市	
						播き直し	0.07	134	45	北上市	
						ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市
						スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市
						水稻	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、栗山町
	年度計						317.27	5,411	1,802		
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町	
						キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町
だいこん						緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村	
年度計						225.18	11,947	3,981			
年度計						542.45	17,358	5,783			

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稻	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村 磐石町等6市町村	
						代作	10.9	7,928	2,637		
						計	1,900.3	18,817	6,262		
	年度計						1,900.3	18,817	6,262		
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	年度計						0.0	0	0		
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稻	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村	
						りんどう	生育回復	17.5	826		275
						計	24.0	2,217	738		
	年度計						24.0	2,217	738		
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区) 北上市、奥州市(江刺区)	
	10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620		生育回復対策	35.0	388	129		
						計	70.0	3,670	1,223		
	年度計						70.0	3,670	1,223		
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89		
						おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363		121
							生育回復対策	2.5	103		34
		年度計						63.6	1,319	438	
9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区 一関市、平泉町 一関市、平泉町		
					大豆	代作	76.8	8,263		2,750	
					飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958		2,984	
					計	106.0	20,822	6,934			
	年度計						169.6	22,141	7,372		
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468		
						加工もも	生育回復対策	16.5	986		329
						計	57.5	3,248	1,082		
	年度計						57.5	3,248	1,082		
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市	
						生育回復対策	30.0	456	152		
						計	60.0	1,459	486		
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
緊急薬剤散布						29.79	669	223			
	年度計						90.069	3,622	1,207		
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町	
						まき直し	6.00	2,038	679		
						改植	4.00	2,335	778		
						代作(大根)	4.47	1,014	337		
	7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	6.89	1,563	520	岩手町	
計						27.21	7,239	2,410			
	年度計						43.01	10,160	3,360		
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	年度計						0.0	0	0		
H24	6月4日、6日	降雹	150.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市	
						生育回復対策	45.5	701	234		
						計	95.5	2,414	805		
	年度計						95.5	2,414	805		
H25	7月26日～28日 8月9日	大雨・洪水	488.4 302.7	101,340 596,914	水稻	緊急防除	150.0	3,393	1,131	磐石町 盛岡市 紫波町 矢巾町 磐石町 紫波町 矢巾町 磐石町 盛岡市 磐石町 紫波町 矢巾町 磐石町 矢巾町 磐石町 矢巾町 磐石町 紫波町 矢巾町 磐石町 紫波町 磐石町	
						播き直し	9.4	2,571	856		
						果菜	播き直し	1.5	2,394		797
							播き直し	2.3	1,890		630
							緊急防除	1.8	60		61
							緊急防除	0.5	9		3
							生育回復	0.8	17		5
						葉菜	生育回復	1.4	286		95
							播き直し	2.5	1,950		650
							播き直し	1.3	524		174
							播き直し	0.8	500		166
							播き直し	2.5	1,530		510
							緊急防除	9.3	981		326
						花き	生育回復	0.7	49		16
							生育回復	4.2	878		292
							播き直し	0.8	3,215		1,071
							播き直し	0.8	4,610		1,536
							播き直し	0.1	135		45
							改植	0.8	2,310		770
							改植	0.1	231		77
							緊急防除	0.9	2,599		866
						穀類	播き直し	1.3	27		9
							播き直し	68.4	1,959		652
							播き直し	35.4	11,176		3,725
							代替粗飼料確保	3.3	1,042		347
代替粗飼料確保	1.9	600	199								
菌床しいたけ	菌床の更新	13,000個	3,185	1,061							
	年度計						302.7	48,121.0	16,070.0		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H25	9月16日	台風18号	954.6	328,503	葉菜	播き直し	12.2	2,266	755	八幡平市
						緊急防除	1.4	176	58	八幡平市
						生育回復	1.0	203	67	八幡平市
					花き	改植	2.2	6,055	2,018	八幡平市
						緊急防除	7.7	162	54	八幡平市
						計	24.5	8,862	2,952	
	10月16日	台風26号	480.1	309,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							327.2	56,983.0	19,022.0	

1億円以上の被害額となった災害：60災害（S61～H25）
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：42災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雹災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雹災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雹災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630			800	3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雹等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雹等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
	10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991
	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848
	11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994
	11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
3	6月12日～14日にかけての大雨災害					40,000			40,000							40,000
	6月16日の豪雨災害			64,000	64,000											64,000
	6月30日の落雷災害			3,000	3,000											3,000
	7月10日～11日にかけての豪雨災害	11,589		29,000	40,589											40,589
	7月16日～17日にかけての豪雨災害			222,000	222,000											222,000
	7月21日の大雨災害					65,000			65,000							65,000
	7月24日～25日にかけての豪雨災害			105,000	105,000	55,288			55,288							160,288
	8月22日の豪雨災害			67,000	67,000											67,000
	8月30日～31日にかけての台風14号による大雨洪水災害	104,153	65,634	2,411,000	2,580,787	456,594		18,089	474,683					44,160	44,160	3,099,630
	8月7日の豪雨災害			59,000	59,000	18,804			18,804							77,804
	9月17日～18日にかけての台風18号による大雨洪水災害	21,648		288,000	309,648	156,216		4,687	160,903	200	121,440	300			121,940	592,491
	9月27日～28日にかけての台風19号による強風災害	2,452,393	1,364,292	35,000	3,851,685	5,300	3,705	56,348	65,353	5,205	4,430				9,635	3,926,673
	10月10日～14日にかけての台風21号による大雨洪水災害	9,390		990,000	999,390	357,055		1,152	358,207							1,357,597
長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883			25,761,883											25,761,883	
12月28日～29日にかけての強風災害		3,905		3,905											3,905	
4	5月21日の降雹災害	10,106			10,106											10,106
	5月28日の降雹災害	5,073			5,073											5,073
	6月14日の降雹災害	144,624			144,624											144,624
	6月28日の降雹災害	9,609			9,609											9,609
	8月8日～9日の台風10号による災害	27,408	4,411		31,819											31,819
	9月11日～12日の台風17号による波浪災害										20,220				20,220	20,220
5	1月15日の地震災害			10,000	10,000											10,000
	1月29日の強風災害		763		763											763
	2月6日～7日の大雨・融雪災害			83,000	83,000											83,000
	3月8日の波浪災害										1,607		99,000		100,607	100,607
	4月18日の強風災害	7,387	78,330		85,717											85,717
	4月28日の強風災害		2,468		2,468											2,468
	5月6日の地震災害			14,000	14,000											14,000
	6月2日～4日の大雨・洪水・波浪災害			83,000	83,000	84,823			84,823					33,631	33,631	201,454
	6月9日の降雹災害	20,477	1,200		21,677											21,677
	7月25日～26日の大雨災害	5,541	300		5,841											5,841
	7月28日～29日の大雨・洪水・波浪災害	112,727	850	2,643,000	2,756,577	1,453,148		17,576	1,470,724	5,000	1,500		3,500		10,000	4,237,301
	8月27日～28日の台風11号による大雨・洪水・波浪災害	9,972	5,483	200,000	215,455	57,143			57,143	100			5,400	133,609	139,109	411,707
	9月4日の台風13号による大雨災害			75,000	75,000	502,976			502,976							577,976
	10月24日～25日の強風災害	27,707	4,240		31,947											31,947
異常低温・日照不足等による災害	102,690,977			102,690,977											102,690,977	
6	1月29日～30日の大雪による災害	12,356	73,714		86,070											86,070
	2月9日～10日の大雪による災害		60		60											60
	2月21日～23日の強風による災害	3,271	28,299		31,570					2,570	11,480	9,561	37,770		61,381	92,951
	4月3日の強風による災害		1,532		1,532											1,532
	5月15日の大雨災害					40,000			40,000							40,000
	6月3日の降雹による災害	17,031			17,031											17,031
	6月9日の降雹による災害	20,290			20,290											20,290

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
6	6月17日の降雹と雷雨による災害	105,419			105,419											105,419
	7月1日～2日の大雨による災害			15,000	15,000											15,000
	8月18日～21日の大雨と強風による災害	33,971	17,749	156,000	207,720	94,390			94,390							302,110
	7月～8月の高温乾燥と少雨による災害	4,541,905			4,541,905											4,541,905
	9月8日～9日の強風と降雹による災害	75,209	4,180		79,389											79,389
	9月15日の大雨による災害	31,931		542,000	573,931	350,548			350,548							924,479
	9月18日～22日の台風24号による波浪災害					614,123			614,123	96,940	430,730	106,325	287,716	3,774,893	4,696,604	5,310,727
	9月30日の台風26号による災害	155,193	13,059	920,000	1,088,252											1,088,252
	10月4日の北海道東方沖地震津波による災害										282,675	236,989	718,576		1,238,240	1,238,240
	10月11日～12日にかけての大雨による地すべり災害						10,000			10,000						10,000
	11月4日の強風による災害	51,680			51,680											51,680
	12月28日の三陸はるか沖地震・津波による災害		5,582		5,582	50,591	3		50,594		3,500	14,091	7,029		24,620	80,796
7	1月7日の地震による災害			105,000	105,000	15,325			15,325							120,325
	4月20日の強風による災害		13,298		13,298											13,298
	5月31日の降雹による災害	37,960	2,949		40,909											40,909
	7月10日の豪雨による災害			4,000	4,000											4,000
	8月2日～7日の大雨洪水による災害	1,338,377	3,249	1,044,000	2,385,626	185,719		2,000	187,719							2,573,345
	8月22日の大雨による災害	2,073		246,000	248,073											248,073
	8月24日～26日の大雨による災害	7,679		323,000	330,679	47,677		1,022	48,699							379,378
	11月7日～9日の暴風雪・波浪による災害	293,169	122,772		415,941			700	700	425	192				617	417,258
	12月24日～25日の暴風雪・波浪による災害										8,560	60			8,620	8,620
	8	9月2日の大雨・強風による災害			261,000	261,000										
9月22日～23日の台風17号による災害										48,870	1,010	2,520	140,819	193,219	193,219	193,219
4月3日の融雪災害						88,890			88,890							88,890
6月24日～25日にかけての大雨災害						47,000			47,000							47,000
2月6日～7日の暴風雪・波浪による災害											450		18,810		19,260	19,260
3月31日の強風による災害			14,565		14,565											14,565
11月6日の強風による災害		12,612			12,612											12,612
11月21日の強風による災害			384		384											384
9	1月6日～7日にかけての大雪災害							301,084	301,084							301,084
	2月4日～5日の波浪による災害									4,420	9,163	48,630	57,493	119,706	119,706	119,706
	3月1日の強風による災害		835		835			672	672							1,507
	3月11日の強風による災害		6,131		6,131											6,131
	4月10日の強風による災害		2,423		2,423											2,423
	5月2日の強風による災害		920		920											920
	5月7日～8日の強風による災害			8,000	8,000											8,000
	6月20日～21日の台風7号による災害			53,000	53,000											53,000
	6月23日の雷雨と降雹による災害	30,605		78,000	108,605	500			500							109,105
	6月28日～29日の台風8号による災害	8,832		623,000	631,832	155,369			155,369							787,201
	7月4日～5日の強風による災害	28,454	1,908		30,362	54,218			54,218							84,580
	8月12日の局地的大雨による災害			5,000	5,000											5,000
	8月3日～4日の局地的大雨による災害			9,000	9,000											9,000
	9月16日～17日の台風19号による災害			1,000	1,000											1,000

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
11	9月24日～25日の台風18号による災害		2,512		2,512											2,512
	10月27日～28日の大雨による災害	229,072	36,297	8,462,000	8,727,369	4,800,318	5,643	20,679	4,826,640	8,500	63,200	300			72,000	13,626,009
12	3月16日～17日の大雪による災害		10,300		10,300											10,300
	3月28日～29日の大雨による災害			37,000	37,000	85,000			85,000							122,000
	4月1日～2日の強風による災害		4,162		4,162											4,162
	4月7日～8日の強風による災害		2,954		2,954											2,954
	4月10日～11日の大雨による災害	217			217											217
	4月20日～21日の大雨による災害	6,783		14,800	21,583											21,583
	5月8日の降雹による災害	8,457	3,940		12,397											12,397
	7月4日の降雹による災害	100,644	256		100,900											100,900
	7月8日～9日の大雨・洪水・暴風による災害	545,492	5,182	681,000	1,231,674	1,134,756	460	12,376	1,147,592	200	2,150	200	100,100	357,476	460,126	2,839,392
	7月18日の大雨による災害	8,486		70,000	78,486											78,486
	7月下旬～8月中旬の高温による災害	186,950			186,950											186,950
	8月3日の大雨被害					47,706			47,706							47,706
	8月5日～8日の降雹、大雨等による災害	75,880	520	313,000	389,400							7,400	6,028		13,428	402,828
	8月23日の局地的な降雹と突風による災害	24,890	275		25,165											25,165
	10月18日の強風による災害	50,794	450		51,244											51,244
10月26日の強風による災害	18,204			18,204											18,204	
11月21日の強風による災害		3,540		3,540											3,540	
12月19日～23日の強風による災害		881		881											881	
13	1月7日～10日の大雪による災害		10,815		10,815											10,815
	1月18日～4月9日の低温による災害			199,000	199,000											199,000
	1月28日の大雪による災害		1,732		1,732											1,732
	2月2日～4日の大雪・強風による災害		1,490		1,490											1,490
	3月18日～21日の強風による災害		8,618		8,618											8,618
	4月13日の強風による災害		423		423											423
	4月20日の強風による災害		900		900											900
	4月下旬の低温・降雹による災害	1,883,809			1,883,809											1,883,809
	6月19日～20日の大雨による災害			21,000	21,000	5,000			5,000							26,000
	6月25日～26日のペルー沖地震津波による災害											470			470	470
	6月29～30日にかけての大雨による災害					60,300			60,300							60,300
	6月30～7月1日にかけての大雨による災害					5,000			5,000							5,000
	7月4日の大雨による災害			120,000	120,000											120,000
	7月23日～24日の大雨による災害			93,000	93,000											93,000
	7月30日～8月2日の大雨による災害	173,156	1,290	1,209,000	1,383,446	608,626		1,170	609,796							1,993,242
	7月下旬の高温による災害	30,063			30,063											30,063
	8月3日～4日の大雨による災害			23,000	23,000											23,000
	8月22日～23日の台風11号による災害	2,548		36,000	38,548	4,680		346	5,026			50	1,500		1,550	45,124
	8月27日～28日の大雨による災害			30,000	30,000											30,000
	9月10日～12日の台風15号による災害	7,822		442,000	449,822	470,422		534	470,956	3,200	2,200	350			5,750	926,528
9月22日～23日の低温・降雹による災害	99,945			99,945											99,945	
10月1日～3日にかけての大雨による災害						70,000		70,000							70,000	
12月14日～16日の大雪による災害	2,200	32,850		35,050											35,050	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森 林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	1,591	55,566	475,676	532,833	7,045		1,636,265	1,643,310	11,471	68,272	124,844	524,076	786,163	1,514,826	3,690,969
	3月6日～7日にかけての大雪による災害					97,100			97,100							97,100
	4月5日～7日にかけての低気圧通過による災害									1,330	6,100	3,000	28,743	105,000	144,173	144,173
	4月下旬～5月上旬にかけての降霜による災害	97,363			97,363											97,363
	5月下旬～6月上旬にかけての降雹による災害	30,620			30,620											30,620
	台風6号による災害	1,330,021	34,314	10,073,000	11,437,335	6,711,859	18,238	43,342	6,773,439	5,450	10,000	3,343	12,050	33,683	64,526	18,275,300
	8月の長雨・日照不足による災害	686,136		463,000	1,149,136	30,100			30,100							1,179,236
	7月～9月の暑熱による災害		70,922		70,922											70,922
	台風21号による災害	375,816	73,444	37,000	486,260	71,145		7,204	78,349	20,915	147,586	22,898	99,950	3,800	295,149	859,758
	10月21日～22日にかけての大雨暴風雨による災害	919			919			1,300	1,300	500	72,000			500	73,000	75,219
	11月の低温による災害	5,184			5,184											5,184
15	2月20日から21日にかけての大雪による災害										5,050				5,050	5,050
	3月1日から2日にかけての暴風による災害		933		933											933
	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	9,955	153,620		163,575	104,786		421,600	526,386	3,057	25,458	467,019	2,291,362	1,249,500	4,036,396	4,726,357
	4月1日の融雪災害					146,055			146,055							146,055
	4月12日～13日の強風災害		583		583											583
	消雪の遅れによる農作物の被害	16,733			16,733											16,733
	4月下旬から5月上旬にかけての降霜災害	21,152			21,152											21,152
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	881	150,461	500,000	651,342	514,950	27,885	620	543,455	27,493	410			721,100	749,003	1,943,800
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	2,135			2,135											2,135
	7月10日から11日にかけての大雨災害					110,000			110,000							110,000
	7月24日～27日にかけての大雨災害					276,961		533	277,494	300					300	277,794
	7月26日に発生した地震（震度4）による被害			59,000	59,000											59,000
	8月25日の降雹による被害	1,454			1,454											1,454
	台風10号による被害	10,508	162		10,670	200			200							10,870
	台風14号による被害	24,115	6,358		30,473											30,473
	平成15年十勝沖地震に伴う津波被害									1,935	3,192	154,394	273,981		433,502	433,502
	6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921			32,906,921											32,906,921
	11月16日の強風災害	3,232			6,022											6,022
	12月7日の強風災害		1,189		1,189											1,189
16	1月14日強風災害		1,192		1,192											1,192
	2月15日強風災害		1,300		1,300											1,300
	2月23日強風災害		23,716		23,716	295			295		4,000				4,000	28,011
	3月6日大雪災害		1,044		1,044											1,044
	3月31日強風災害		4,668		4,668											4,668
	4月20日強風災害		52,742		52,742					200	7,730				7,930	60,672
	4月～5月降霜被害	115,327			115,327											115,327
	6月15日降雹災害	17,708			17,708											17,708
	6月21日台風6号災害	5,297	950	116,000	122,247	52,430			52,430							174,677
	6月30日降雹災害	19,802			19,802											19,802
	7月11日～20日大雨災害	30,559		166,000	196,559	84,800			84,800							281,359
7月26日～27日落雷・降雹災害	12,850	230	22,000	35,080											35,080	
8月5日～7日大雨災害			47,000	47,000											47,000	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
16	8月8日降雹災害	763			763											763
	8月9日大雨災害			16,000	16,000											16,000
	8月20日台風15号災害	392,461	81,398		473,859					2,781	1,943				4,724	478,583
	8月31日台風16号災害	209,739	19,254		228,993					2,113	1,900	1,260	3,660		8,933	237,926
	7月1日～8月31日高温被害	94,626			94,626											94,626
	9月8日台風18号災害	87,312	26,993		114,305					1,004					1,004	115,309
	9月21日～22日大雨被害			28,000	28,000											28,000
	9月30日台風21号災害	100,785	27,286	1,836,000	1,964,071	316,236		800	317,036	6,127	2,100				8,227	2,289,334
	10月10日台風22号災害	1,011	491		1,502											1,502
	11月27日強風災害	12,998	146,165		159,163	9,015		3,681	12,696	3,899	6,760	34,119	55,150	2,400	102,328	274,187
	9月～11月降雨による品質低下減収被害	363,914			363,914											
17	1月17日大雪・波浪災害	71	220		291			543	543	2,773	49,270	12,347	46,760	539,300	650,450	651,284
	平成16年末からの積雪による被害	13,171	90,357		103,528			2,863	2,863							106,391
	4月7日強風災害		4,795		4,795											4,795
	4月7日落雷災害			2,000	2,000											2,000
	4月29日・5月1日強風災害		1,645		1,645											1,645
	5月19日強風災害		130		130											130
	5月20日地すべり災害					98,115			98,115							98,115
	5月27日落雷災害			8,000	8,000											8,000
	6月4日大雨災害	1,438			1,438											1,438
	6月11日大雨災害					224		42	266							266
	6月19日・20日降雹災害	93,263			93,263											93,263
	6月27日大雨災害	140		119,000	119,140											119,140
	7月26日台風7号災害		20		20	9,937			9,937			1,560			1,560	11,517
	7月31日大雨災害			3,000	3,000											3,000
	8月の高温災害	22,583			22,583											22,583
	8月14日～15日大雨災害			5,000	5,000	57,900		162	58,062							63,062
	8月16日地震災害		4,000	22,000	26,000	1,006	3,000		4,006	90					90	30,096
	8月20日降雹災害	1,864			1,864											1,864
	8月21日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	8月23日落雷災害		50		50											50
	8月22～23日大雨災害			11,000	11,000	4,161			4,161							15,161
9月7日台風14号災害	9,723	848		10,571	4,100		137	4,237							14,808	
10月22日から23日大雨及び低気圧災害			9,000	9,000					50	100				150	9,150	
11月8日強風災害		50		50											50	
11月15日地震災害			16,000	16,000											16,000	
12月20日強風災害		100		100											100	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
18	平成18年豪雪災害	17,227	505,764	13,000	535,991	5,039	500	234,538	240,077							776,068
	2月の低温災害			36,000	36,000											36,000
	3月20日強風災害		18,787		18,787											18,787
	4月11日地すべり災害					10,000			10,000							10,000
	4月21日地すべり災害					9,724			9,724							9,724
	5月16日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	6月22日降雹災害	192,823	60		192,883											192,883
	8月12日降雹災害	146			146											146
	8月上旬の高温災害	7,141			7,141											7,141
	8月18日大雨災害	88		110,000	110,088											110,088
	8月22日大雨災害			20,000	20,000											20,000
	8月30日大雨災害					17,000			17,000							17,000
	9月5日台風12号災害					1,193,409		20	1,193,429	9,310	290,032	27,478	49,950	265,570	642,340	1,835,769
	10月6日から8日の低気圧による大雨、暴風、高波災害	270,278	66,976	1,530,000	1,867,254	995,394	300	98,107	1,093,801	56,626	3,090,816	134,766	436,783	1,812,780	5,531,771	8,492,826
	11月7日の強風災害	22,126	900		23,026											23,026
	11月15日千島列島の地震に伴う津波災害										600	190			790	790
11月22日から23日の強風災害	4,820	13,664		18,484											18,484	
12月26日から28日の低気圧災害	3,912	13,217	117,000	134,129	816,512		2,804	819,316	12,050	11,309	1,500		7,330	32,189	985,634	
19	1月6日から8日の低気圧災害		2,463	22,000	24,463	500		304	804	310	4,500	670	4,910		10,390	35,657
	1月27日から28日にかけての大雪災害	813	460		1,273											1,273
	2月4日の強風災害		230		230											230
	2月15日から16日にかけての強風災害		80		80											80
	3月11日の大雪災害		21,253		21,253											21,253
	4月26日の強風災害		21		21											21
	5月10日の強風災害		222		222											222
	6月6日から8日の降雹災害	127,976	270		128,246											128,246
	6月25日の降雹災害	8,267			8,267											8,267
	6月29日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月6日の降雹災害	47,228	213		47,441											47,441
	8月22日の大雨災害			7,000	7,000	3,800			3,800							10,800
	9月7日の台風9号災害	161,562	12,178	629,000	802,740	370,981			370,981	1,000	4,700	7,715	17,210	18,300	48,925	1,222,646
	9月10日の大雨災害			69,000	69,000	8,000			8,000							77,000
	9月17日から20日の大雨・洪水災害	621,193	6,656	1,139,000	1,766,849	527,376			527,376	900	480	1,445	7,000		9,825	2,304,050
	5月から9月の暑熱による災害	20,272			20,272											20,272
11月10日から13日の低気圧災害	107		18,000	18,107						1,150				1,150	19,257	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
20	1月10日の暴風雪災害		144		144											144
	2月23日から24日の暴風雪災害											7,750		500	8,250	8,250
	4月1日から2日の強風・波浪災害		17,282		17,282							900			900	18,182
	4月13日から30日の強風災害		1,453		1,453											1,453
	4月から5月の降霜災害	110,481			110,481											110,481
	5月6日から7日の強風災害	4	2,118		2,122											2,122
	5月17日から26日の降雹災害	2,860			2,860											2,860
	5月20日の低気圧災害	10	535		545						500	500		6,000	7,000	7,545
	6月14日の平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震	51,904	230,309	2,126,000	2,408,213	1,186,134	80	7,023,529	8,209,743				1,000		1,000	10,618,956
	6月23日から24日の強風・大雨災害		121	14,000	14,121	3,000			3,000							17,121
	7月7日の大雨災害	46			46											46
	7月11日の落雷災害			1,000	1,000											1,000
	7月11日から12日の大雨災害			17,000	17,000											17,000
	7月14日の大雨災害			25,000	25,000											25,000
	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000											69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903											14,903
	9月12日の大雨災害			6,000	6,000											6,000
	10月24日の大雨災害							101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371											67,371
	11月28日の強風災害		192		192											192
21	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763					270		300			570	1,333
	2月7日の強風災害		105		105											105
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810											9,810
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842											2,842
	3月7日の強風災害		696		696											696
	3月10日の強風災害		774		774											774
	3月23日の強風災害		882		882											882
	3月30日の融雪災害					6,500			6,500							6,500
	4月21日から22日にかけての大雨災害					4,900			4,900							4,900
	4月23日の強風災害		28		28											28
	4月25日から26日にかけての強風・波浪災害										4,407	4,660		700	9,767	9,767
	4月25日から27日にかけての大雨災害			10,000	10,000			224	224							10,224
	4月から5月にかけての降雹災害	16,199			16,199											16,199
	5月17日から18日にかけての強風災害		5,064		5,064						800	50			850	5,914
	6月5日から7日にかけての大雨災害			1,000	1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409											121,409
	7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800			75,800							83,800
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森 林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計	
21	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79			40,000	40,000							40,079	
	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545	
	11月15日の強風災害		440		440											440	
	12月7日の強風災害		327		327											327	
22	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110						100				100	1,210	
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760	
	2月28日の津波災害							1,800			656,379		1,157,146		1,815,325	1,815,325	
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672		200	200			900				900	74,772	
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739	
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721	
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710	
	4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320	
	4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152		41,180	57,332	1,200	1,100			5,020	7,320	66,652	
	5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700		2,000	16,700							16,700	
	5月26日から27日にかけての波浪災害									300					300	300	
	5月31日の降霜災害	1,211			1,211												1,211
	6月3日の降霜災害	5,488			5,488												5,488
	6月5日の降霜災害	45,569			45,569												45,569
	6月20日の大雨災害			1,000	1,000												1,000
	7月2日から4日にかけての大雨災害		400	64,000	64,400			65,000	65,000								129,400
	7月7日の大雨災害			12,000	12,000												12,000
	7月8日の降霜災害	113,040	29,531		142,571												142,571
	7月9日から10日にかけての大雨災害			10,000	10,000												10,000
	7月12日の強風災害	5,627	150		5,777												5,777
	7月17日の大雨災害	58,035	3,610	846,000	907,645	41,730	3,155	754,976	799,861								1,707,506
	7月24日の落雷災害			10,000	10,000												10,000
	7月24日から25日にかけての大雨災害	26,493			26,493												26,493
	7月25日の大雨災害			4,000	4,000												4,000
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000												2,000
	7月29日から30日にかけての大雨災害			11,000	11,000	14,630		3,000	17,630								28,630
	8月12日の台風4号による災害			64,000	64,000												64,000
	8月14日の大雨災害			11,000	11,000	1,447			1,447								12,447
	8月31日の大雨災害			90,000	90,000	3,500			3,500					54		54	93,554
	6月から8月にかけての暑熱災害	550,893			550,893												550,893
	11月3日の強風災害		615		615												615
	11月9日から10日にかけての強風災害	2,270	730		3,000												3,000
	11月12日の強風災害	499			499												499
	12月3日から4日にかけて大雨、暴風、波浪災害		1,533	15,000	16,533			2,000	2,000			200			100	300	18,833
	12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	3,161	6,885	16,000	26,046	43,571		56,776	100,347		12,289	1,045,810	35,950	107,250	130,540	1,331,839	1,458,232
	12月24日から26日にかけての大雪災害		93,219		93,219			36,114	36,114								129,333

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	12月30日から1月2日にかけての大雪、暴風、波浪災害	110,094	1,221,712		1,331,806	163,109	106,267	405,441	674,817	132,585	1,489,071	295,959	1,863,657	1,782,588	5,563,860	7,570,483
	1月20日の大雪災害		3,000		3,000											3,000
	1月31日から2月2日にかけての大雪災害	732	37,919		38,651											38,651
	3月9日の地震・津波災害		30		30							1,050			1,050	1,080
	3月11日の東日本大震災津波	1,982,523	2,865,268	63,919,000	68,766,791	22,146,124	753,935	6,717,232	29,617,291	36,574,970	49,397,146	13,086,648	13,173,757	452,704,566	564,937,087	663,321,169
	4月13日の強風災害		1,582		1,582											1,582
	4月19日から20日にかけての大雪災害		2,156		2,156											2,156
	5月2日の強風災害		27,170		27,170											27,170
	5月8日の降雹、強風災害	15,537	625		16,162											16,162
	5月14日の強風災害		160		160											160
	5月16日の強風災害		250		250											250
	5月30日の強風災害		55		55											55
	6月23日から24日にかけての大雨災害	54,555	5,750	389,000	449,305	299,351	1,000	29,500	329,851							779,156
	6月27日から28日にかけての大雨災害							888	888							888
	7月23日の地震災害		11,367		11,367											11,367
	8月20日の大雨災害			45,000	45,000											45,000
	7月から9月にかけての暑熱災害	30,652			30,652											30,652
	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風、波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
	11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011
	12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499.0			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705.0	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861			150		3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
	10月26日から27日の大雨災害													350	350	350
	11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526
	12月15日の強風災害		100		100											100
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	